

ユーザーズガイド

ApeosWide 6050

ApeosWide 3030

★：ソフトウェアバージョン 1.1 以降の機能です。ソフトウェアのバージョンアップについては、カスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

はじめに

このたびはApeosWide 6050/3030をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

このマニュアルには、ApeosWide 6050/3030の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。

ApeosWide 6050/3030の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、ApeosWide 6050/3030をご使用になる前に必ず最初にこのユーザーズガイドをお読みのうえ、正しくご利用ください。

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、コピー／プリント／スキャン機能の操作方法、紙づまりの処置方法、日常の管理方法、各種設定項目、および使用上の注意事項などについて記載しています。

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。

Microsoft、Active Directory、Excel、Internet Explorer、Microsoft Edge、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Acrobat、PostScript3、PostScript、およびPostScriptロゴは、米国ならびに他の国におけるAdobeの登録商標または商標です。

Apple、macOS and OS X are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

HP、HP-GL、HP-GL/2、およびHP RTLは、米国ヒューレット・パカード社の登録商標です。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

ライセンスについては、メディア(ソフトウェア／製品マニュアル)内の「ライセンスについて」を参照してください。

このマニュアルのなかで▲と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

本機には偽造防止機能が搭載されているため、まれに原稿によっては適切なコピーやスキャンデータが得られないことがあります。

万一本体の記憶媒体（ストレージ等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

水、雨、蒸気などの水分によって、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは、弊社の営業担当者にお問い合わせください。

- ① このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ② このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ③ このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

2021年4月1日、富士ゼロックスは富士フィルムビジネスイノベーションへ社名を変更しました。

弊社はゼロックスあるいは富士ゼロックスブランドで販売した商品の保守サービスを今後も継続いたします。

Xerox、Xeroxロゴ、Fuji Xeroxロゴ、DocuCentre、およびDocuPrintは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

本書は、富士ゼロックス株式会社が過去に販売した次の機種にも適合するソフトウェアの説明を含みます。

適合機種名：DocuCentreシリーズ、DocuPrintシリーズ

FUJIFILM、およびFUJIFILMロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。

Apeos、ApeosWide、ApeosWare、ArcEPS、BT-PlotAssistant、DocuWide、およびDocuWorksは、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

マニュアルの表記

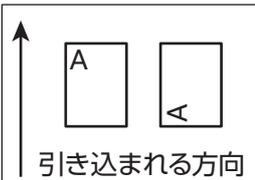
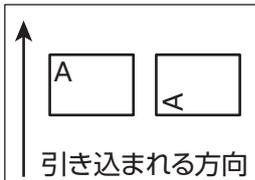
- ・本書では、次のマークを使用しています。

注記	必ず知っておいていただきたい情報、操作するときに必ず確認していただきたい情報を記載しています。
補足	操作の参考になる情報を記載しています。
参照	参照先を記載しています。

- ・本書では、次の記号を使用しています。

[]	本書内にある参照先を表しています。 機能名、入力値、入力例や、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージなどを表しています。
[『]	本書以外の参照するマニュアルを表しています。
[]	タッチパネルディスプレイに表示される画面、メニュー、ボタンなどの名称を表しています。 コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックス、ボタン、およびファイル、フォルダーなどの名称を表しています。
< >	操作パネルのボタンやランプを表しています。 コンピューターのキーボードのキーを表しています。
>	メニューやWebページの階層を表しています。

- ・本文中では、原稿または用紙の向きを、次のように表しています。

<p>たて置き よこ置き</p>	<p>本機の正面から見て、原稿や用紙をたて長にセットした状態を表しています。 本機の正面から見て、原稿や用紙をよこ長にセットした状態を表しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>たて置き</p>  <p>引き込まれる方向</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>よこ置き</p>  <p>引き込まれる方向</p> </div> </div>
----------------------	--

- ・本書に記載している画面や本機のイラストは、各種オプション製品が装着された状態のものです。使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。
- ・各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- ・本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- ・パーソナルコンピューターを「PC」と表記しています。
- ・本書では、主に Windows 10 で使用した場合の操作例を記述しています。Windows 10 以外の OS をお使いの場合は、操作方法や画面が異なることがあります。
- ・お客様がお使いの Web ブラウザーによって、本書に記載している操作方法や画面が異なる場合があります。
- ・マウスの右ボタンをクリックすることを「右クリック」と表記しています。
- ・右クリックして表示されるメニューを「ショートカットメニュー」と表記しています。

ApeosWide 6050/3030のモデルについて

ApeosWide 6050/3030には、次のモデルがあります。

- ・ マルチファンクションモデル：コピー、プリンター、スキャナーの機能を持つモデルです。
- ・ プリンターモデル：プリンター機能だけのモデルです。

本書では特に記載しない限り、ApeosWide 6050 マルチファンクションモデル 2ロール/2トレイタイプを例に説明しています。

■ ApeosWide 6050

タイプ	説明
4ロールタイプ	ロール給紙が4本のタイプです。
2ロール/2トレイタイプ*	ロール給紙が2本、用紙トレイが2つのタイプです。

* プリンターモデルは対応していません。

■ ApeosWide 3030

タイプ	説明
4ロールタイプ	ロール給紙が4本のタイプです。
2ロールタイプ	ロール給紙が2本のタイプです。
2ロール/2トレイタイプ*	ロール給紙が2本、用紙トレイが2つのタイプです。

* プリンターモデルは対応していません。

目次

1	お使いになる前に	
1.1	各部の名称と働き	14
1.2	操作パネル	19
1.3	電源について	20
1.3.1	電源を入れる	20
1.3.2	電源を切る	21
1.4	節電機能について	22
1.4.1	節電状態にする	22
1.4.2	節電状態から復帰する	22
1.5	ホーム画面について	23
1.5.1	マルチファンクションモデル／プリンターモデルのホーム画面	23
1.5.2	画面やボタンの表示について	27
1.6	文字の入力方法について	28
1.7	用紙を補給／交換する	29
1.7.1	ロール紙を交換／カットする	29
1.7.2	カット紙を補給／交換する	31
1.7.3	手差しで給紙する	33
1.7.4	用紙トレイを切り替えてプリントする	33
1.7.5	用紙の状態を確認する	34
1.8	メーターを確認する	35
1.9	消耗品を交換する	36
1.9.1	トナーカートリッジを交換する	37
1.9.2	トナー回収ボトルを交換する	39
1.10	読み取りセンサーのつなぎ目を補正する (ApeosWide 3030)	42
1.10.1	補正チャートを出力する	42
1.10.2	自動補正を行う	43
1.10.3	追加補正を行う	43
1.10.4	補正值を初期化する	45
1.10.5	エラーコード	45
1.11	定着器を設定する	46
1.11.1	定着器の温度を設定する	46
1.11.2	定着器を空運転する	47
1.12	本機を清掃する	48
1.12.1	本機を清掃する (ApeosWide 6050)	48
1.12.2	本機を清掃する (ApeosWide 3030)	49
1.13	機械確認	51
1.13.1	機械確認の概要	51
1.13.2	機械状態／レポート出力	51
1.13.3	消耗品の確認	54
1.14	ジョブ確認	55
1.14.1	ジョブ確認の概要	55
1.14.2	実行中／実行待ちのジョブを確認する	55
1.14.3	完了したジョブを確認する	56
1.15	ユーザー認証の操作	57
1.15.1	操作パネルで User ID 認証／解除する	57
1.15.2	IC カードで認証／解除する	59

1.16	原稿について	60
1.16.1	使用できる原稿 (ApeosWide 6050)	60
1.16.2	使用できる原稿 (ApeosWide 3030)	60
1.16.3	ドキュメントキャリア (オプション) を使用する原稿	60
1.16.4	原稿取り扱い上の注意事項	60
1.17	用紙について	61
1.17.1	用紙の種類	61
1.17.2	使用できない用紙	62
1.17.3	用紙の取り扱いと保管	62
1.18	ペーパーヒーターについて	63
2	コピー	
2.1	コピー操作の流れ	66
2.1.1	Step1 機能を選択する	66
2.1.2	Step2 部数を入力する	67
2.1.3	Step3 コピーを開始する	68
2.2	コピーを中止する	70
2.2.1	原稿の搬送を中止する	70
2.2.2	コピーを中止する	70
2.3	用紙サイズを指定してコピーする (オートモード)	71
2.4	原稿上の色を編集する	72
2.4.1	原稿上の指定した色の濃度を変える (色別濃度調整)	72
2.4.2	原稿上の指定した色を削除する (色カット)	73
2.5	原稿を最大幅で読み取ってコピーする	74
2.6	手差しで給紙する (手差しコピー)	75
2.7	長尺原稿をコピーする	77
2.8	紙折りしてコピーする	78
2.9	複数枚の原稿をコピーする (1部ごとにソート)	79
2.10	スタンプを付けてコピーする	80
2.11	サンプルコピーをする	82
2.12	追加コピーをする	84
2.13	割り込んでコピーする	86
2.14	[コピー (オートモード)] 画面	87
2.14.1	原稿の向き (原稿を挿入する向きを指定する)	87
2.14.2	原稿サイズに対する用紙サイズの対応表 (マトリックス)	87
2.14.3	用紙の向き (出力する用紙の向きを指定する)	88
2.15	[コピー (マニュアルモード)] 画面	89
2.15.1	倍率 (拡大/縮小してコピーする)	89
2.15.2	用紙選択 (コピーする用紙を選択する)	91
2.15.3	用紙カット方法 (コピーする用紙のカット方法を選択する)	92
2.15.4	原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)	92
2.15.5	原稿幅 (原稿を最大幅で読み取ってコピーする)	92
2.15.6	濃度 (コピーの濃度を調整する)	93
2.16	コピー - [画質調整] 画面	94
2.16.1	原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)	94
2.16.2	濃度	95
2.16.3	シャープネス	95
2.16.4	コントラスト	96

2.16.5	地色除去（原稿の背景にある色を除去する）.....	97
2.16.6	中間調の振り分け（原稿の中間調を振り分ける）.....	98
2.16.7	色別濃度調整（色別に濃度を調整する）.....	98
2.17	コピー - [読み取り方法] 画面.....	99
2.17.1	原稿幅（原稿を最大幅で読み取ってコピーする）.....	99
2.17.2	コピー位置（画像の位置を移動してコピーする）.....	100
2.17.3	読み取り開始位置（原稿を読み取りはじめる位置を設定する）.....	101
2.17.4	わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してコピーする）.....	102
2.17.5	鏡像（画像を反転してコピーする）.....	103
2.17.6	ネガポジ反転（画像を反転してコピーする）.....	103
2.17.7	原稿読み取り速度（読み取る速度を指定してコピーする）.....	104
2.17.8	自動画像回転（画像の回転方向を設定する）.....	104
2.18	コピー - [出力形式] 画面.....	105
2.18.1	複製管理（背景に文字列を印字してコピーする）.....	105
2.18.2	排出先（用紙の排出先を指定する）.....	107
2.18.3	紙折り（用紙を折って排出する：シンプルフォルダー）.....	107
2.18.4	紙折り（用紙を折って排出する：標準フォルダー）.....	109
2.18.5	仕分け（仕分けを指定して排出する）.....	110
2.18.6	先端後端余白（原稿の前後に余白を付けてコピーする）.....	112
2.18.7	スタンプ（スタンプ/日付を付けてコピーする）.....	112
2.18.8	マルチジョブ（マルチジョブメモリーを適用して仕分け排出する）（ApeosWide 6050）.....	114
2.18.9	サンプルコピー（できあがり状態を確認してコピーする）.....	115

3 スキャン

3.1	スキャン操作の流れ.....	118
3.1.1	Step1 機能を選択する.....	118
3.1.2	Step2 スキャンを開始する.....	122
3.1.3	Step3 スキャンデータを取り込む.....	123
3.2	スキャンを中止する.....	124
3.2.1	原稿の搬送を中止する.....	124
3.2.2	スキャンを中止する.....	124
3.3	フルカラーでスキャンする.....	125
3.4	原稿上の指定した色を赤色でスキャンする（赤黒スキャン）（ApeosWide 6050）.....	126
3.5	プレビューを表示する.....	127
3.6	スキャンデータを暗号化する.....	128
3.7	複数枚の原稿を1つのファイルとしてスキャンする.....	129
3.8	[スキャナー（ボックス保存）] 画面.....	130
3.8.1	ボックスの文書を確認/削除する.....	131
3.8.2	カラーモード（スキャンの色を選択する）.....	132
3.8.3	解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）.....	133
3.8.4	プレビュー（プレビュー表示を選択する）.....	133
3.8.5	原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）.....	134
3.8.6	出力ファイル形式（スキャンしたデータの種類を選択する）.....	135
3.9	[スキャナー（PC保存）] 画面.....	139
3.10	[スキャナー（マルチ送信）] 画面.....	141
3.11	[スキャナー（URL送信）] 画面★.....	143
3.12	スキャナー - [画質調整] 画面.....	144
3.12.1	濃度.....	144
3.12.2	シャープネス.....	145

3.12.3	コントラスト	145
3.12.4	地色除去（原稿の背景にある色を除去する）	146
3.12.5	中間調の振り分け（原稿の中間調を振り分ける）	147
3.12.6	色別濃度調整（色別に濃度を調整する）	148
3.13	スキャナー - [読み取り方法] 画面	149
3.13.1	倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）	149
3.13.2	読み取りサイズ（原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする）	150
3.13.3	わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してスキャンする）	152
3.13.4	読み取り開始位置（原稿の読み取りはじめる位置を設定する）	153
3.13.5	原稿読み取り速度（読み取る速度を指定してスキャンする）	153
3.14	スキャナー - [出力形式] 画面	154
4	ジョブメモリー	
4.1	ジョブメモリーの概要	156
4.2	ジョブメモリーの登録／削除／変更	157
4.2.1	ジョブメモリーを登録する	157
4.2.2	ジョブメモリーを削除する	158
4.2.3	ジョブメモリーの名称を登録／変更する	159
4.3	ジョブメモリーの呼び出し	160
5	コンピューターからの操作	
5.1	機能の紹介	162
5.1.1	最新ソフトウェアの入手方法について	162
5.2	インターネットサービス	163
5.2.1	インターネットサービスについて	163
5.2.2	インターネットサービスを使うための設定	164
5.2.3	インターネットサービスを起動する	165
5.2.4	インターネットサービスの画面構成	166
5.3	プリント	168
5.3.1	主なプリント機能について	168
5.3.2	プリントできるデータフォーマット	169
5.3.3	プリントするための準備をする	169
5.3.4	プリンタードライバーを使用してプリントする	170
5.3.5	プリントを中止する	170
5.4	親展プリントについて	171
5.4.1	セキュリティープリント	172
5.4.2	プライベートプリント	174
5.5	スキャンデータの取り込み	180
5.5.1	TWAIN 対応アプリケーションから取り込む	180
5.5.2	親展ボックスビューワー 3 から取り込む	183
5.5.3	インターネットサービスを利用して取り込む	185
5.5.4	メールに送信された URL にアクセスして取り込む★	187
6	登録／変更	
6.1	登録／変更	190
6.1.1	配布パターン（ApeosWide 6050）	191
6.1.2	ボックス登録	192
6.1.3	サーバー（PC 保存宛先）	194
6.1.4	プリンター（マルチ送信宛先用）	195

6.1.5	マルチ送信宛先 (グループ宛先)	197
6.1.6	用紙トレイの系列/種類設定	199
6.2	IP アドレスの設定	201
6.3	スキャン機能の設定	202
6.3.1	スキャナー (ボックス保存) の設定	202
6.3.2	スキャナー (PC 保存) の設定	203
6.3.3	スキャナー (URL 送信) の設定	204
6.4	セカンダリーイーサネットの設定	206
7 認証		
7.1	認証機能の概要	208
7.2	認証機能	209
7.2.1	認証で管理するユーザーについて	209
7.2.2	認証の種類について	210
7.3	認証機能を使ったサービスの利用制限	211
7.4	ボックスの認証について	212
7.4.1	概要	212
7.4.2	認証機能を利用していない場合	213
7.4.3	認証機能を利用している場合	214
7.5	本体認証で運用する	215
7.5.1	認証方式を「本体認証」に設定する	215
7.5.2	アクセス制限を設定する	216
7.5.3	ユーザーを登録する	217
7.5.4	ユーザーを一括登録する	218
7.6	外部認証で運用する	225
7.6.1	認証方式を「外部認証」に設定する	225
7.6.2	アクセス制限を設定する	226
7.6.3	外部認証情報の本体保存機能を設定する	227
7.6.4	認証サーバーを設定する	227
8 トラブル対処/こんなときには		
8.1	トラブルと思ったら	236
8.2	機械本体のトラブル	237
8.3	紙づまりのトラブル	238
8.4	画質のトラブル	239
8.5	コピーのトラブル	243
8.6	スキャンのトラブル	244
8.6.1	本機でスキャンできない	244
8.6.2	スキャンデータをコンピューターに取り込めない	245
8.6.3	スキャンデータをネットワーク転送 (SMB/LPR) できない	246
8.7	プリントのトラブル	247
8.8	インターネットサービスのトラブル	248
8.9	エラーメッセージ	249
8.10	用紙が詰まった場合	252
8.10.1	ロール紙トレイでの紙づまり	253
8.10.2	カット紙トレイでの紙づまり	254
8.10.3	手差しテーブルでの紙づまり	255

8.10.4	上部ユニットでの紙づまり	255
8.11	原稿が詰まった場合	257
8.11.1	原稿が詰まった場合 (ApeosWide 6050)	257
8.11.2	原稿が詰まった場合 (ApeosWide 3030)	258
8.12	こんなときには	259
8.12.1	自動リセットの時間を長くしたい	259
8.12.2	節電状態に移行するまでの時間を長くしたい (節電モード移行時間を変更する)	260
8.12.3	初期表示画面を変更したい	261
8.12.4	コピー中にコピージョブメモリーを使用できるようにしたい (登録ボタンへ登録する) ...	262
8.12.5	マニュアルモードを初期画面にしたい	263
8.12.6	スキャンデータの出力ファイル形式の初期設定を変えたい	263
8.12.7	スタンプのグレーの濃度を変えたい	264
8.12.8	自動的に用紙を切り替えたくない	264
8.12.9	本機を使用しないときの消費電力を節約したい	266
9	仕様設定	268
9.1	仕様設定の流れ	268
9.1.1	Step1 機械管理者モードに入る	268
9.1.2	Step2 設定する項目を選択する	269
9.1.3	Step3 機能を設定する	270
9.1.4	Step4 機械管理者モードを終了する	270
9.2	仕様設定メニュー一覧	271
9.3	共通設定	275
9.3.1	システム時計/タイマー設定	275
9.3.2	音の設定	276
9.3.3	画面/ボタンの設定	277
9.3.4	用紙/トレイの設定	279
9.3.5	読み取り色範囲指定	281
9.3.6	アテンションライトの設定	282
9.3.7	保守	283
9.3.8	複製管理	284
9.3.9	その他の設定	285
9.3.10	詳細設定	288
9.4	コピー設定	292
9.4.1	基本コピー画面の表示機能	292
9.4.2	プリセットボタンの設定	292
9.4.3	コピー機能設定初期値	293
9.4.4	自動トレイ切り替え	295
9.4.5	任意長の設定	295
9.4.6	オートモードの用紙種類設定	296
9.4.7	紙折りの設定 (ApeosWide 6050)	297
9.4.8	スタンプ日付書式の設定	298
9.4.9	スタンプ位置自動時の設定	298
9.4.10	複製管理向き自動時の設定	300
9.4.11	ユーザー ID/ 出力日時の印字★	300
9.4.12	詳細設定	301
9.5	ネットワーク設定	302
9.5.1	ポート設定	302
9.5.2	プロトコル設定	303
9.5.3	EP プロキシサーバー設定	305
9.5.4	SMTP サーバー設定★	306

9.5.5	外部認証サーバー／ディレクトリサービス設定	306
9.5.6	SSL/TLS 設定	308
9.5.7	詳細設定	309
9.6	スキャナー設定	310
9.6.1	プリセットボタンの設定	310
9.6.2	スキャナー機能設定初期値	311
9.6.3	その他の設定	312
9.6.4	詳細設定	313
9.7	保存文書設定	314
9.7.1	保存文書設定	314
9.8	プリンター設定	316
9.8.1	ジョブリカバリー方法	316
9.8.2	その他の設定	317
9.8.3	詳細設定	318
9.9	認証／セキュリティ設定	319
9.9.1	機械管理者情報の設定	319
9.9.2	スタンプデータ管理者情報の設定	320
9.9.3	認証の設定	321
9.9.4	ジョブの操作の設定	327
9.10	EP システム	329
10	付録	332
10.1	主な仕様	332
10.2	オプション製品一覧	339
10.2.1	オプション製品 (ApeosWide 6050)	339
10.2.2	オプション製品 (ApeosWide 3030)	340
10.2.3	主な関連ソフトウェア	341
10.3	保守サービスについて	342
10.3.1	トータルサービス契約	342
10.3.2	スポット保守サービス	342
10.3.3	補修用性能部品の保有期間について	342
10.4	注意／制限事項について	343
10.4.1	本機使用上の注意／制限	343
10.4.2	コピー機能での注意／制限	343
10.4.3	スキャン機能での注意／制限	344
10.4.4	プリント機能での注意／制限	347
10.4.5	IPv6 接続の注意／制限	348
10.4.6	その他の注意／制限	348

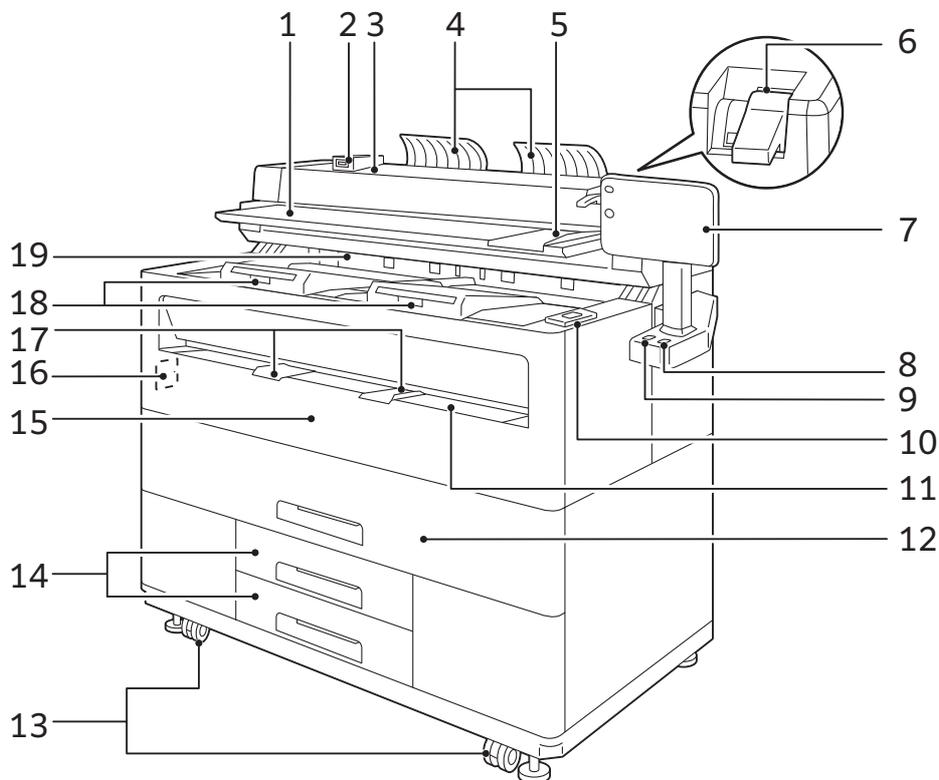
1 お使いになる前に

各部の名称、電源の入／切、操作パネルの使い方、節電機能の設定方法など、本機の基本的な操作について説明しています。

1.1	各部の名称と働き	14
1.2	操作パネル.....	19
1.3	電源について	20
1.4	節電機能について	22
1.5	ホーム画面について	23
1.6	文字の入力方法について	28
1.7	用紙を補給／交換する.....	29
1.8	メーターを確認する	35
1.9	消耗品を交換する	36
1.10	読み取りセンサーのつなぎ目を補正する (ApeosWide 3030)	42
1.11	定着器を設定する	46
1.12	本機を清掃する	48
1.13	機械確認	51
1.14	ジョブ確認.....	55
1.15	ユーザー認証の操作	57
1.16	原稿について	60
1.17	用紙について	61
1.18	ペーパーヒーターについて.....	63

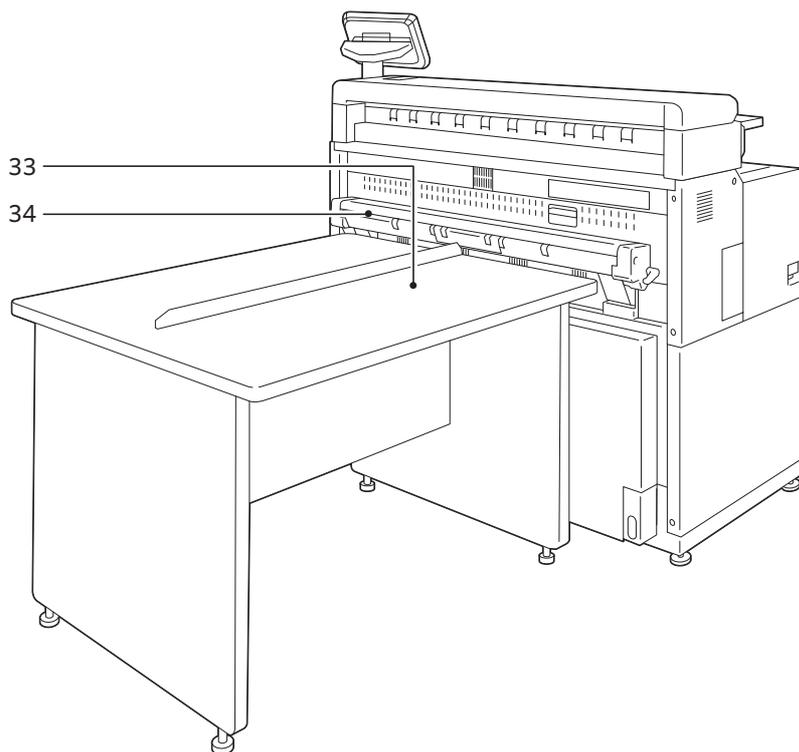
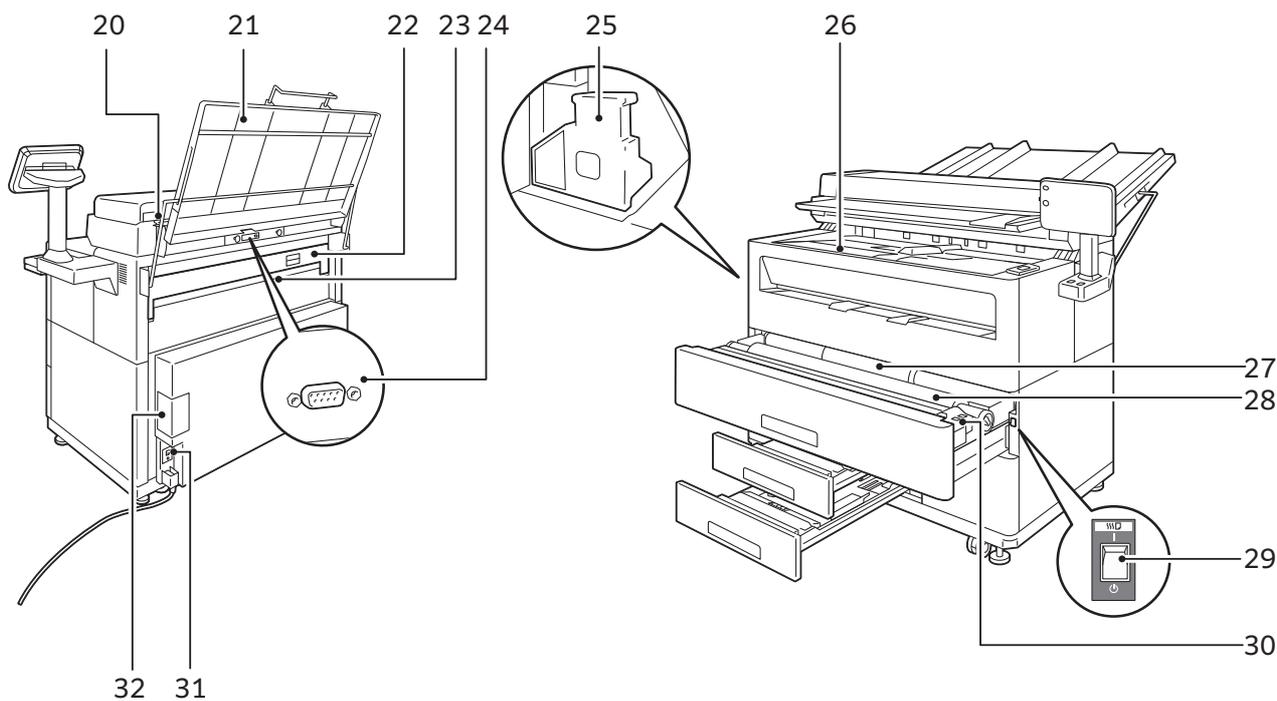
1.1 各部の名称と働き

本機の、各部の名称と働きについて説明します。



No.	名称	説明
1	原稿テーブル	原稿をセットします。
2	原稿枚数カウンター	リセットができる原稿枚数カウンターです。 (ApeosWide 6050用オプション)
3	原稿カバー	原稿カバーの裏の反射板や原稿読み取り部のガラス面を清掃するとき、原稿づまりを処置するときなどに取り外します。
4	Uターンガイド	原稿を後方に排出しないで、手前に戻します。(オプション) 補足 後方原稿キャッチトレイ (オプション) との選択になります。
5	原稿ガイド	原稿をセットするときに原稿の右端を合わせます。
6	原稿厚調整レバー	原稿の厚さに応じて原稿カバーを7段階に調整します。 補足 ApeosWide 6050だけ、原稿厚調整レバーがあります。
7	操作パネル	電源の入/切をします。操作するためのタッチパネルです。 参照 詳細については、「1.2 操作パネル」(P.19) を参照してください。
8	〈スタート〉ボタン	原稿の読み込みを開始するときに押します。
9	〈ストップ〉ボタン	コピーやスキャン時に、原稿の搬送を緊急停止するときに押します。
10	ICカードリーダー	ICカードを読み取ってICカード認証します。(オプション)
11	手差しテーブル	手差しコピー/プリントのときに、用紙をセットします。

No.	名称	説明
12	ロール紙トレイ	ロール紙をセットします。
13	キャスター	移動時に使用します。機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。
14	カット紙トレイ	カット紙をセットします。
15	上部ユニット	紙づまりを処置するときに開けます。
16	上部ユニット開放レバー	レバーを上げながら、上部ユニットを開けます。
17	手差しガイド	手差しテーブルに用紙をセットするときに、用紙の両端を合わせます。 (オプション)
18	前方用紙キャッチトレイ	本体前方に排出された用紙を収容するトレイです。(オプション)
19	前方排出口	コピーやプリントされたものが印字面を下にして、ここに排出されます。



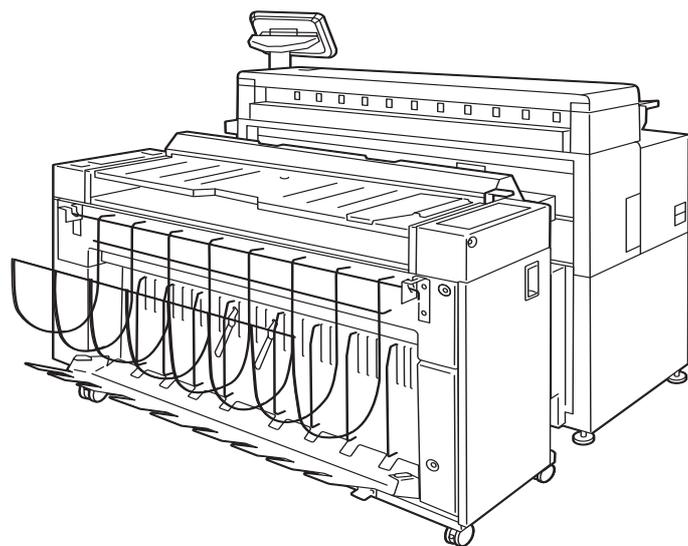
No.	名称	説明
20	原稿排出口	原稿が排出されます。
21	後方原稿キャッチトレイ	本体後方に排出された原稿を平らな状態で収容します。(オプション)
22	背面カバー	紙づまりを処置するときに開けます。
23	後方排出口	コピーやプリントされたものが印字面を上にして、ここに排出されます。 補足 ApeosWide 3030 の場合、オプションの後方排出切り替えキットが必要です。

No.	名称	説明
24	オプションインターフェイスコネクター*	ApeosWide6050用オプションのScanCounterKIT（原稿枚数カウンター）を接続します。
25	トナー回収ボトル	使用済みのトナーを回収するボトルです。
26	トナーカバー	トナーカートリッジを交換するときに開けます。
27	ロール2	ロール紙をセットします。
28	ロール1	ロール紙をセットします。
29	ペーパーヒータースイッチ	ペーパーヒーターのスイッチです。ロール紙トレイにペーパーヒーターがあります。 参照 詳細については、「1.18 ペーパーヒーターについて」(P.63)を参照してください。
30	先端カットボタン	ロール紙の先端をカットするときに押します。
31	電源ブレーカー	本機の電源ブレーカーです。
32	インターフェイスカバー	LANコネクターとメンテナンス用コネクターがあります。メンテナンス用コネクターは弊社カスタマーエンジニアが使用しますので、何も接続しないでください。 補足 ・LANコネクターは上下2つあります。上側のLANコネクターをご利用ください。 ・下側のLANコネクターは、セカンダリーイーサネット用です。セカンダリーイーサネット機能の詳細については、「6.4 セカンダリーイーサネットの設定」(P.206)を参照してください。
33	後方用紙収容トレイ（サイズMIX対応）	本体後方に排出された用紙を収容するトレイです。サイズが混在した用紙の収容にも対応しています。（オプション）
34	後方用紙収容トレイ（サイズMIX対応）接続キット	後方用紙収容トレイ（サイズMIX対応）を接続します。（オプション）

* ApeosWide 6050 だけ、コネクターがあります。

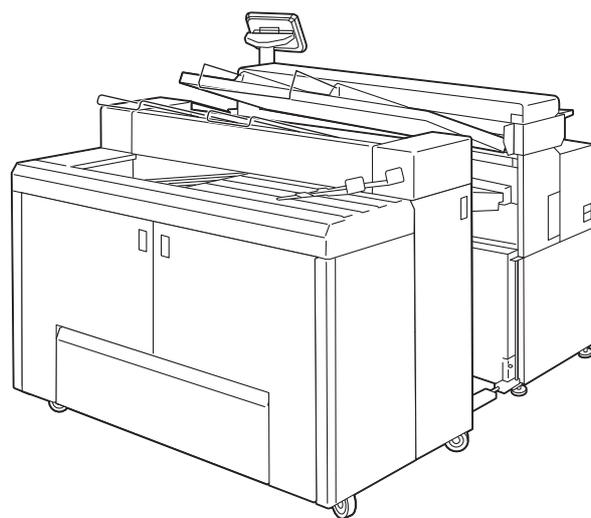
■ シンプルフォルダー（オプション）

ApeosWide 6050またはApeosWide 3030に接続します。



■ 標準フォルダー（オプション）

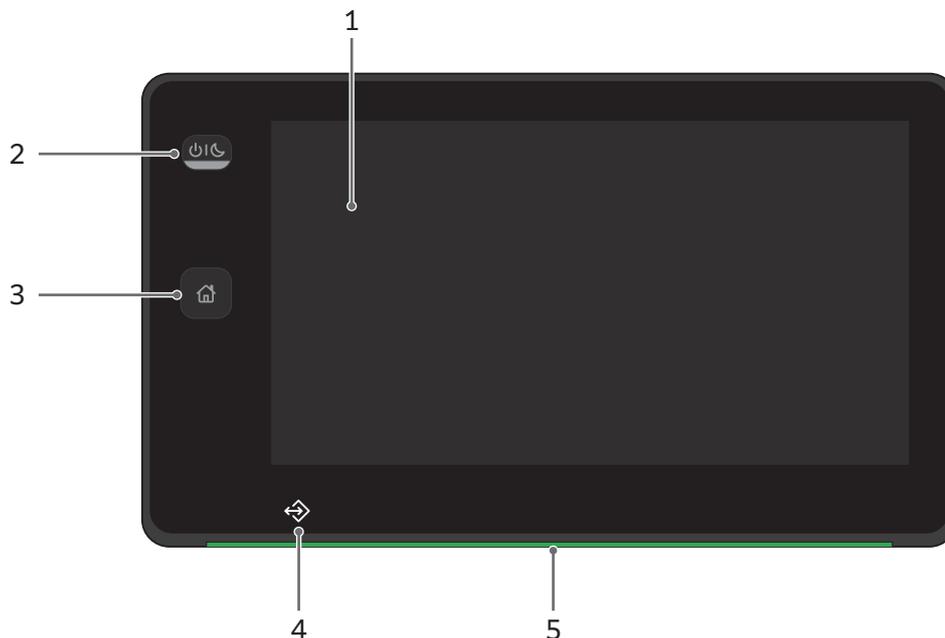
ApeosWide 6050またはApeosWide 3030に接続します。



参照 シンプルフォルダー、標準フォルダーについては、各オプション製品のマニュアルを参照してください。

1.2 操作パネル

操作パネルの各部の名称と働きについて説明します。



No.	名称	説明
1	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。
2	電源／節電ボタン	電源の入／切や、節電状態への移行または復帰に使用します。しばらく使用しないときに、本機は消費電力を下げ、節電状態に移行し、ボタンが点滅します。
3	ホームボタン	ホーム画面を表示させるときに押します。
4	データランプ	本機からスキャンデータを送信しているときに点滅します。
5	状態表示ランプ	<p>認証を完了したとき、認証を解除したとき、およびジョブを完了したときに緑色で点滅します。また、エラーが起きると、オレンジ色で点滅します。</p> <p>補足 状態表示ランプがオレンジ色で点滅したときは、タッチパネルディスプレイに表示されたメッセージに従って、対処してください。</p> <p>参照 紙づまり、用紙切れなどの対処方法は、「8 トラブル対処／こんなときには」(P.235)を参照してください。</p>

1.3 電源について

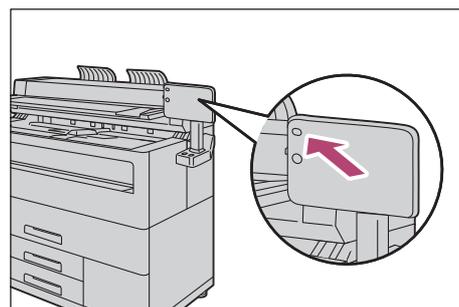
1.3.1 電源を入れる

電源／節電ボタンを押して、しばらくするとコピーまたはプリントできる状態になります。
また、節電機能を利用すると、本機の消費電力量を下げ、電力を節約できます。

補足 本機は電源を切った状態でも、0.8 W 以下の電力を消費しています。この消費電力を回避（または節約）するには、電源ブレーカーを「切」にしてください。操作方法については、「8.12.9 本機を使用しないときの消費電力を節約したい」（P.266）を参照してください。

参照 節電機能については、「1.4 節電機能について」（P.22）を参照してください。

1. 操作パネルの電源／節電ボタンを押します。

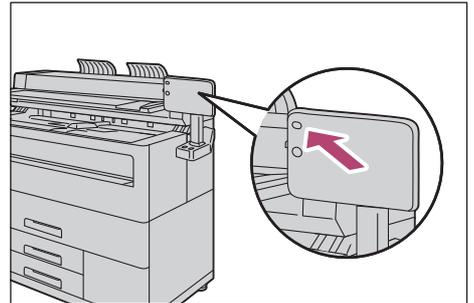


1.3.2 電源を切る

長時間使用しない場合や、1日の終わりには電源を切ってください。

- 注記**
- ・ 次の状態の場合は、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。
 - プリント処理が行われている
 - コピーが行われている
 - スキャンが行われている
 - ・ 用紙排出終了後、5 秒以上経過したあと電源を切ってください。
 - ・ 電源を入れたまま、電源ブレーカーを切らないでください。ストレージが破損したり、故障の原因になることがあります。

1. 操作パネルの電源／節電ボタンを押します。



2. [電源を切る] をタップします。



タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されたあと、電源が切れます。



1.4 節電機能について

本機には、一定時間コピーやプリントデータを受け付けないときに、消費電力量を下げ、電力を節約する、「節電機能」があります。

節電機能には、「低電力モード」と「スリープモード」があります。

本機を一定時間使用しないと、設定した時間の経過後に「低電力モード」に入ります。

さらに、設定時間が経過すると、「スリープモード」に移行します。

◆ 低電力モード

操作パネル、プリンターの電力を下げます。

◆ スリープモード

低電力モードより、さらに電力を下げます。

1.4.1 節電状態にする

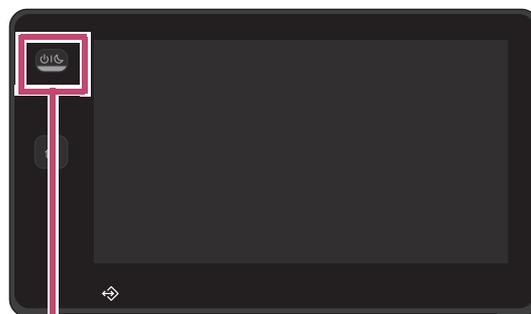
節電状態に移行すると、タッチパネルディスプレイは消灯し、操作パネルの電源/節電ボタンが点滅します。

節電状態には、次の操作または状況により移行します。

- ・ 電源/節電ボタンを押し、[節電モードに移行する] をタップする
- ・ 節電状態に移行する時間まで、本機を操作しなかったとき、ジョブが実行されなかったとき、プリントジョブを受信しなかったとき

補足

- ・ 本機の状態によっては、[節電モードに移行する] をタップしても、節電状態になりません。しばらく待つてから、電源/節電ボタンを押してください。
- ・ [節電モード移行時間] の [最終操作からスリープモードまで] の時間は、[最終操作から低電力モードまで] の時間より大きくなるように設定してください。[節電モード移行時間] の設定については、「節電モード移行時間」(P.275) を参照してください。

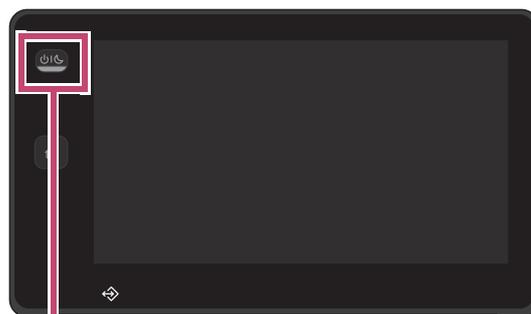


電源/節電ボタン

1.4.2 節電状態から復帰する

節電状態からは、次の操作または状況により復帰します。

- ・ 操作パネルの電源/節電ボタンを押す
- ・ プリントジョブを受信する



電源/節電ボタン

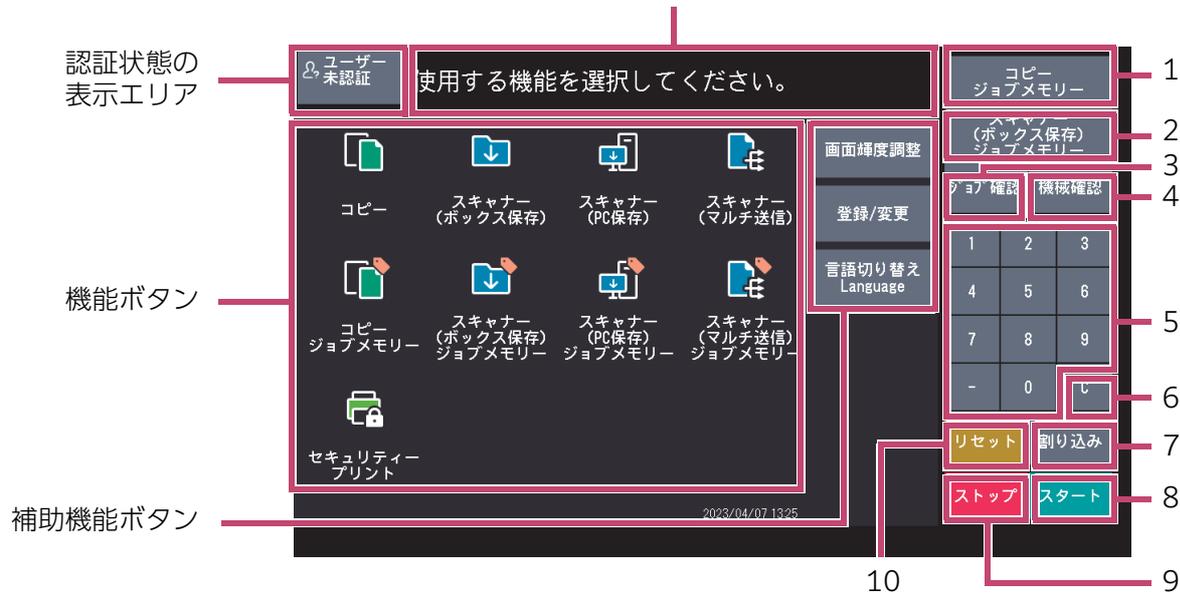
1.5 ホーム画面について

1.5.1 マルチファンクションモデル/プリンターモデルのホーム画面

ホームボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。

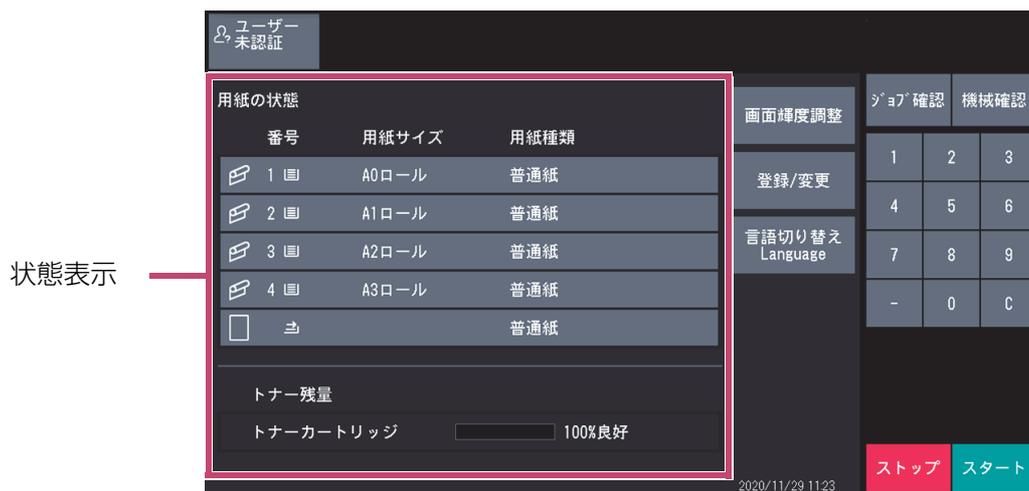
マルチファンクションモデルのホーム画面

メッセージエリア



- 補足**
- ・用紙の状態を確認する方法については、「1.7.5 用紙の状態を確認する」(P.34)を参照してください。
 - ・トナー残量を確認する方法については、「1.13.3 消耗品の確認」(P.54)を参照してください。

プリンターモデルのホーム画面



No.	名称	説明
1	登録1ボタン [コピージョブメモリ]	工場出荷時は、「コピージョブメモリ」が登録されています。 参照 ボタンへの登録内容を変更する場合は、「登録1、2ボタン」(P.278)を参照してください。

2	登録2ボタン [スキャナー (ボックス保存) ジョブメモリー]	工場出荷時は、「スキャナー (ボックス保存) ジョブメモリー」が登録されています。 参照 ボタンに機能を登録する方法については、「登録1、2ボタン」(P.278)を参照してください。
3	[ジョブ確認]	実行中のジョブの状態や完了したジョブを確認するときにタップします。
4	[機械確認]	機械状態、メーター、消耗品を確認するときにタップします。
5	テンキー	コピー枚数や設定値などの数値を入力するときにタップします。
6	クリアキー	数字ボタンで入力した数値をキャンセルするときにタップします。
7	[割り込み]	連続コピー中やプリント中に、実行中の作業を一時中断して、ほかの作業を優先させたいときにタップします。割り込み中は、ボタンの色が変わります。再度、[割り込み]をタップすると、割り込みが解除され、元の作業を再開できます。
8	[スタート]	原稿の読み込みを開始するとき、ジョブメモリーを登録するとき、追加コピーするときなどにタップします。
9	[ストップ]	コピー／スキャン時に原稿の搬送を緊急停止するとき、またはコピー／スキャン／プリントのジョブを中止するときにタップします。
10	[リセット]	表示されている各サービスの状態を初期状態に戻すときにタップします。

■ 認証情報の表示エリア

ユーザー ID を入力してログインすると、認証されます。機械管理者権限でログインすると、「機械管理者」と表示されます。認証中に認証情報の表示エリアをタップすると、ログアウトして未認証になります。

参照 ユーザー認証する方法については、「1.15 ユーザー認証の操作」(P.57)を参照してください。

■ メッセージエリア

メッセージが表示されます。

■ 機能ボタン

機能を設定します。

補足 機能へのアクセスが制限されている場合は、機能ボタンの左上に  マークが表示されます。ユーザー認証すると利用できるようになります。ただし、認証したユーザーが機能制限されている場合は、ユーザー認証しても利用できません。

参照

- 機能へのアクセス制限については、「アクセス制御 サービスへのアクセス」(P.321)を参照してください。
- ユーザー認証については、「1.15 ユーザー認証の操作」(P.57)を参照してください。
- ユーザーの機能制限については、「ユーザー登録」(P.322)を参照してください。

◆ コピー

コピーを実行します。

参照 詳細については、「2 コピー」(P.65)を参照してください。

◆ スキャナー (ボックス保存)

スキャンしたデータを、本機のボックスに保存します。

参照 詳細については、「スキャナー (ボックス保存)」(P.118)を参照してください。

◆ スキャナー (PC 保存)

スキャンしたデータを、ネットワーク上のコンピューター (サーバー) に転送します。

参照 詳細については、「スキャナー (PC 保存)」(P.118)を参照してください。

◆ スキャナー（マルチ送信）

スキャンしたデータを、登録したグループ宛先のコンピューター（サーバー）やプリンターに転送します。

参照 詳細については、「スキャナー（マルチ送信）」(P.119) を参照してください。

◆ コピージョブメモリー

登録されたコピージョブメモリーを呼び出します。

ジョブメモリーとは、よく使う機能の設定を記憶させておき、ボタンで呼び出す機能です。

参照 詳細については、「4 ジョブメモリー」(P.155) を参照してください。

◆ スキャナー（ボックス保存）ジョブメモリー

登録されたスキャナージョブメモリー（ボックス保存）を呼び出します。

ジョブメモリーとは、よく使う機能の設定を記憶させておき、ボタンで呼び出す機能です。

参照 詳細については、「4 ジョブメモリー」(P.155) を参照してください。

◆ スキャナー（PC 保存）ジョブメモリー

登録されたスキャナージョブメモリー（PC保存）を呼び出します。

ジョブメモリーとは、よく使う機能の設定を記憶させておき、ボタンで呼び出す機能です。

参照 詳細については、「4 ジョブメモリー」(P.155) を参照してください。

◆ スキャナー（マルチ送信）ジョブメモリー

登録されたスキャナージョブメモリー（マルチ送信）を呼び出します。

ジョブメモリーとは、よく使う機能の設定を記憶させておき、ボタンで呼び出す機能です。

参照 詳細については、「4 ジョブメモリー」(P.155) を参照してください。

◆ セキュリティープリント／プライベートプリント

セキュリティープリントやプライベートプリントなどの機能によって保存された文書を、プリントしたり、削除したりします。

セキュリティープリント／プライベートプリントとは、プリントを指示したデータを一時的に本機内に保存させ、プリントしたいときに本機側の指示でプリントする機能です。

補足 ・ [セキュリティープリント] と [プライベートプリント] は、同時には表示されません。詳細については、「プライベートプリントの設定」(P.326) を参照してください。

・ 補助機能ボタンにも設定できます。詳細については、「補助機能ボタン」(P.26) を参照してください。

参照 詳細については、「5.4 親展プリントについて」(P.171) を参照してください。

◆ スキャナー（URL 送信）★

スキャンしたデータを、本機に一時的に保存し、取り出し用と削除用のURLをメール本文に記載して送信します。

補足 [認証方式の設定] が [認証しない] のときは、表示されません。

参照 詳細については、「スキャナー（URL 送信）★」(P.119) を参照してください。

◆ スキャナー（URL 送信）ジョブメモリー★

登録されたスキャナージョブメモリー（URL送信）を呼び出します。

ジョブメモリーとは、よく使う機能の設定を記憶させておき、ボタンで呼び出す機能です。

補足 [認証方式の設定] が [認証しない] のときは、表示されません。

参照 詳細については、「4 ジョブメモリー」(P.155) を参照してください。

■ 状態表示

用紙の状態やトナー残量が表示されます。

用紙トレイをタップすると、用紙系列、用紙種類、厚さを変更できます。

- 参照**
- ・ [仕様設定/登録] > [仕様設定] > [共通設定] > [用紙/トレイの設定] > [登録/変更画面からのトレイ設定変更] を [禁止] に設定している場合は、ホーム画面から用紙系列、用紙種類、厚さは変更できません。
 - ・ インターネットサービスからでも用紙の状態やトナー残量を確認できます。詳細については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

■ 補助機能ボタン

ジョブ以外の補助的な機能を設定します。

◆ 画面輝度調整

タッチパネルディスプレイの明るさ（輝度）を調整できます。

1. ホーム画面で [画面輝度調整] をタップします。
2. 数字の左側のボタンをタップし、明るさ（輝度）を調整します。
3. [決定] をタップします。



◆ 登録/変更

ジョブメモリー、ボックス、宛先などの登録や変更をします。

- 参照** 詳細については、「6 登録/変更」(P.189) を参照してください。

◆ 言語切り替え

本機で表示する言語を [日本語] か [英語] のどちらにするか設定します。

ここで設定した言語は、本機の電源を切/入すると無効になります。

- 補足**
- ・ 宛先名などが ASCII 文字以外の文字で入力されている場合、英語に切り替えると正しく表示されないことがあります。
 - ・ 本機の電源を入れたときに表示される言語は、仕様設定機能の [初期表示言語] で設定します。設定方法については、「初期表示言語」(P.278) を参照してください。

◆ 読み取りセンサーつなぎ目補正

補正チャートを使用して、原稿を読み取るセンサーのつなぎ目を補正します。

- 補足**
- ・ 工場出荷時の設定では、「読み取りセンサーつなぎ目補正」は表示されていません。表示させるには、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「ホーム画面の補助機能配列」(P.278) を参照してください。
 - ・ この機能は、ApeosWide 3030 でだけ使用できます。
 - ・ 詳細については、「1.10 読み取りセンサーのつなぎ目を補正する (ApeosWide 3030)」(P.42) を参照してください。

◆ 定着器の設定

手差し給紙時の定着器の温度の設定と、定着器の空運転を指示します。

- 補足**
- ・ 工場出荷時の設定では、「定着器の設定」は表示されていません。表示させるには、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「ホーム画面の補助機能配列」(P.278) を参照してください。
 - ・ 詳細については「1.11 定着器を設定する」(P.46) を参照してください。

◆ セキュリティープリント

補足 工場出荷時の設定では、[セキュリティープリント] は表示されていません。表示させるには、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「ホーム画面の補助機能配列」(P.278) を参照してください。

参照 詳細については、「5.4 親展プリントについて」(P.171) を参照してください。

◆ 用紙トレイの系列／種類設定★

用紙の系列、種類、厚さを設定します。

補足 工場出荷時の設定では、[用紙トレイの系列／種類設定] は表示されていません。表示させるには、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「ホーム画面の補助機能配列」(P.278) を参照してください。

参照 詳細については、「6.1.6 用紙トレイの系列／種類設定」(P.199) を参照してください。

◆ セキュリティープリント（プリンターモデル）

補足 工場出荷時の設定では、[セキュリティープリント] は表示されていません。表示させるには、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「ホーム画面の補助機能配列」(P.278) を参照してください。

参照 詳細については、「5.4 親展プリントについて」(P.171) を参照してください。

1.5.2 画面やボタンの表示について

本機では、次のとおり、電源を入れたときにタッチパネルディスプレイに表示する機能やボタン機能を変更、または登録できます。

◆ 初期表示画面の変更

電源を入れたときや節電状態から復帰したときに、表示する画面を設定できます。

参照 設定方法については、「8.12.3 初期表示画面を変更したい」(P.261) を参照してください。

◆ 自動リセット後の画面の変更

自動リセット後の画面を、操作中の画面にするか初期表示画面にするかを設定できます。

参照 設定方法については、「自動リセット後の画面」(P.277) を参照してください。

◆ 登録ボタンへの登録

登録1ボタンと登録2ボタンに、機能を割り当てることができます。

登録ボタンによく使う機能を登録しておくと、機能を切り替えるときに、ホーム画面に戻らなくても、直接機能の画面が表示できます。

補足 工場出荷時は、登録1ボタンには「コピージョブメモリー」、登録2ボタンには「スキャナー（ボックス保存）ジョブメモリー」が登録されています。

参照 設定方法については、「登録1、2ボタン」(P.278) を参照してください。

1.6 文字の入力方法について

操作中に、文字を入力する画面が表示されることがあります。ここでは、文字を入力する方法について説明します。



入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、数字、英字、記号です。

項目	説明
ひらがなの入力	[ひらがな] をタップします。 小さいひらがな (っ、ゃ、ゅ、ょなど) を入力するときは、[シフト] をタップします。元に戻すときは、もう一度 [シフト] をタップします。
カタカナの入力	[カタカナ] をタップします。 小さいカタカナ (ッ、ャ、ュ、ヨなど) を入力するときは、[シフト] をタップします。元に戻すときは、もう一度 [シフト] をタップします。
漢字の入力	ひらがなを入力したあと、[単語変換] をタップします。[漢字変換] 画面に該当する漢字が表示されるので、目的の漢字を選択します。 [▲] で次の候補の漢字に進み、[▼] で前に表示した漢字に戻ります。変換しない場合は、[無変換] をタップします。
アルファベットや数字の入力	[英/数] をタップします。 アルファベットの太文字を入力するときは、[シフト] をタップします。元に戻すときは、もう一度 [シフト] をタップします。 アルファベットや数字の半角文字を入力するときは、[半角] をタップします。元に戻すときは、もう一度 [半角] をタップします。
記号の入力	[記号] をタップします。
スペースの入力	[空白] をタップします。
濁点、半濁点の入力	[゛]、[゜] をタップします。
文字の消去	[後退] をタップします。1文字ずつ消去できます。

1.7 用紙を補給／交換する

1.7.1 ロール紙を交換／カットする

ロール紙トレイに用紙をセットします。
用紙をセットしたときは、用紙の先端をカットしてください。

⚠ 注意

ロール紙は重いので、持ち上げるときには腰を痛めないように十分にひざを折り、必ず両手で持ち上げてください。2人で作業することをお勧めします。
落としたり倒したりすると、ケガの原因となるおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。

- 注記**
- ・ロール紙をセットするときは、指などをはさまないように注意してください。
 - ・ロール紙の巻き止めテープをはがすときに、ロール紙にテープののりが残らないように注意してください。のりが機械内部に入ると、印字品質が低下することがあります。

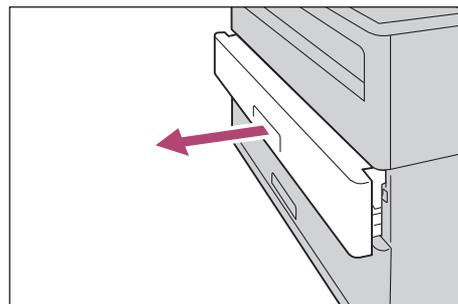
補足 用紙の種類、サイズ、および厚さを変更した場合、用紙の設定を変更してください。設定方法については、「6.1.6 用紙トレイの系列／種類設定」(P.199)を参照してください。

新しいロール紙を用意してから、次の手順で交換します。

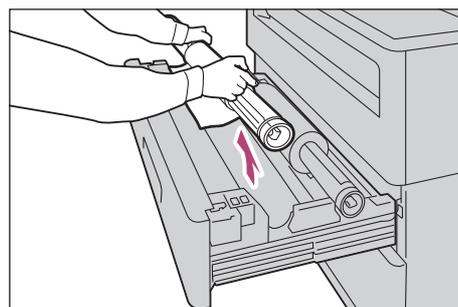
1. ロール紙トレイを引き出します。

注記 オプションの前方用紙キャッチトレイを装着していて手前に引き出している場合は、前方用紙キャッチトレイを押し込んでからロール紙トレイを引き出してください。

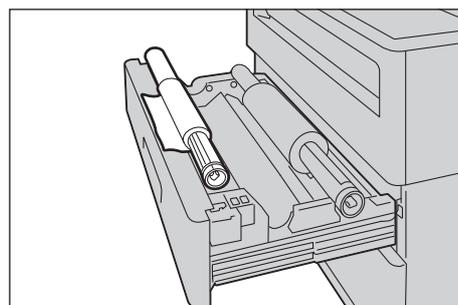
補足 ロール紙を交換せずに用紙の先端をカットする場合は、手順9に進んでください。



2. ロール紙のシャフトを取り外します。

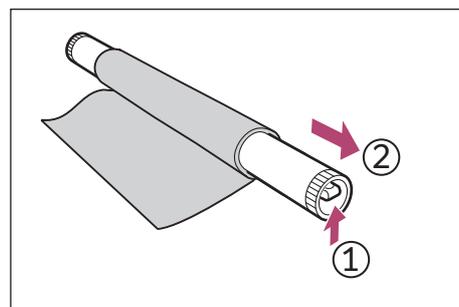


補足 トレイ手前にロール紙を置くことができます。



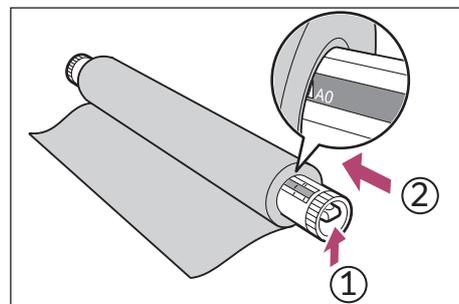
3. シャフトの端にあるロック解除レバーを引き上げながら ①、ロール紙の芯からシャフトを引き抜きます ②。

補足 ロック解除レバーを引き上げると、ロール紙のロックが外れてシャフトを抜くことができます。

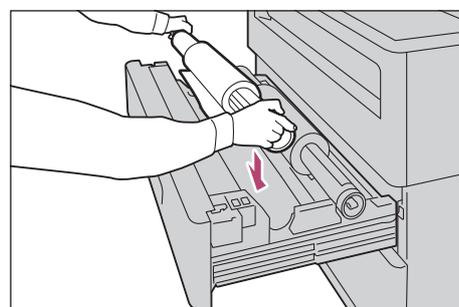


4. シャフトの端にあるロック解除レバーを引き上げながら ①、シャフトの用紙サイズガイドに合わせて新しいロール紙をセットします ②。

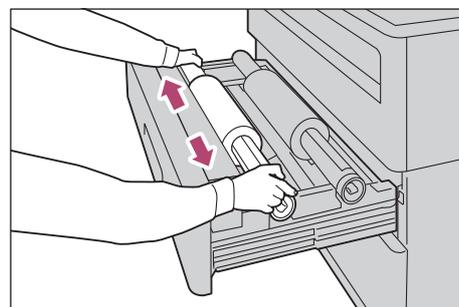
注記 ロール紙をシャフトにセットするときは、ロール紙が落下、転倒しないように、床などの安定した場所に置いてセットしてください。



5. ロール紙の巻き方向に注意し、シャフトをシャフトガイドに載せます。

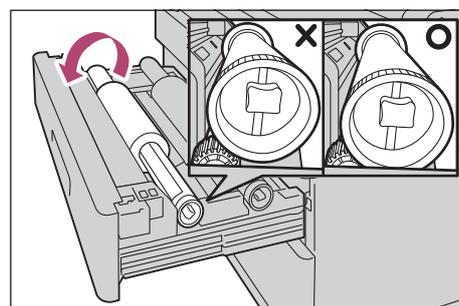


6. シャフトを左右に動かし、シャフトの両端をシャフトガイドの歯車に合わせます。



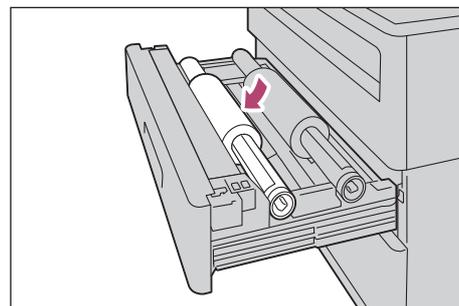
7. シャフトがシャフトガイドの歯車に合っていることを確認し、シャフトを手前に1回転以上させ抵抗感があることを確認します。

補足 シャフトガイドの歯車と合っていないと、抵抗感がなく回転するか音がすることがあります。



8. ロール紙を回し、ロール紙の先端をローラーに突き当てます。ロール紙が自動的に引き込まれ、停止します。

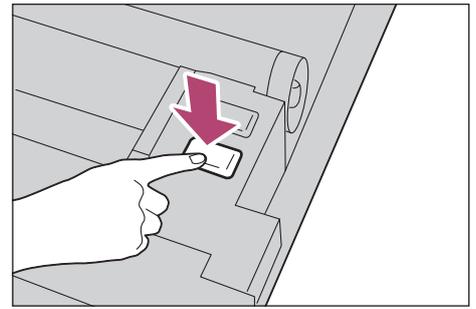
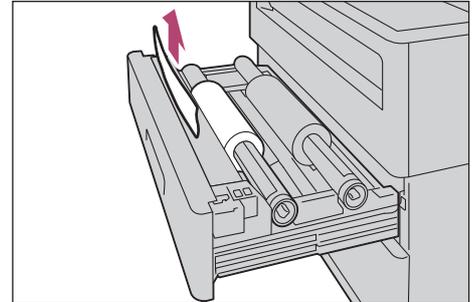
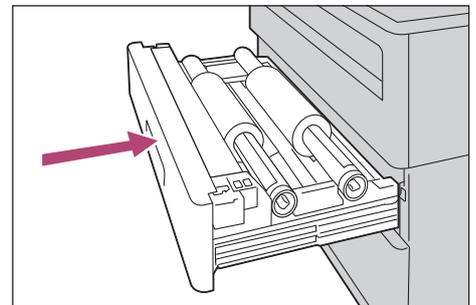
注記 用紙の先端などが傷んでいて、ロール紙がうまく引き込まれない場合は、用紙の先端をカットしてから、セットしてください。



9. 先端カットボタンを押します。

用紙の先端がカットされます。

補足 先端カットボタンを一度押すと、用紙が 150 mm の長さでカットされます。先端カットボタンを押し続けると、ボタンから手を離すまで用紙が送られ、手を離れたところで用紙がカットされます。

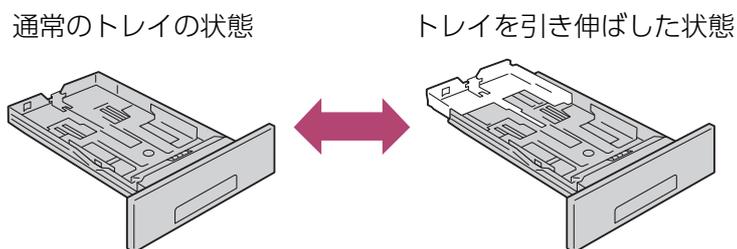
**10. カットされた用紙を取り除きます。****11. ロール紙トレイを奥に突き当たるまで、ゆっくりと押し込みます。**

1.7.2 カット紙を補給／交換する

カット紙トレイにカット紙をセットできます。

本機では、B4、A3、11×17"など、A4（297 mm）よりも長い用紙をトレイにセットする場合は、トレイを引き伸ばします。

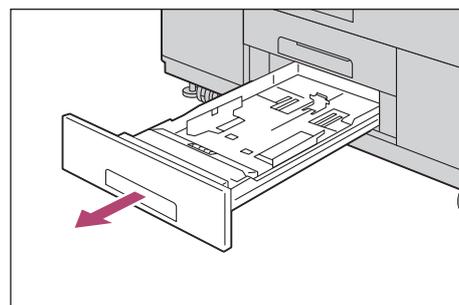
A4、8.5×11"、9×12"の用紙をセットする場合は、トレイを縮めた状態でご使用ください。トレイが伸びていると、A4、8.5×11"、9×12"の用紙サイズは、正しく検知できません。



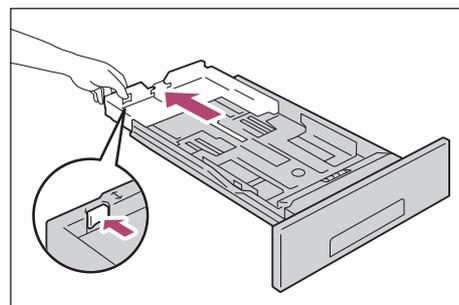
補足 ・ サイズ系列の設定方法については、「6.1.6 用紙トレイの系列／種類設定」(P.199) を参照してください。
 ・ フィルム、OHP 用フィルムは使用できません。

1. カット紙トレイを引き出します。

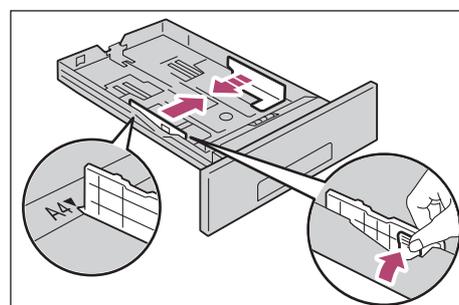
注記 オプションの前方用紙キャッチトレイを装着して
手前に引き出している場合は、前方用紙キャッチトレイ
を押し込んでからカット紙トレイを引き出してくださ
い。



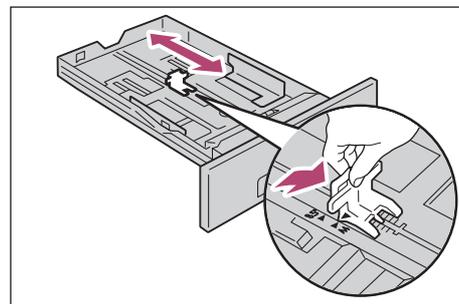
2. トレイの長さを変更する必要がない場合は、手順3に進みます。
トレイの長さを変更する場合は、トレイ端のクリップを指でつまみ、
トレイを引き出し（または縮め）ます。
右のイラストは、トレイを引き出す例です。



3. 左側の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙のサイズまで動か
かします。
右のイラストは、A4 サイズをよこ置きにする例です。

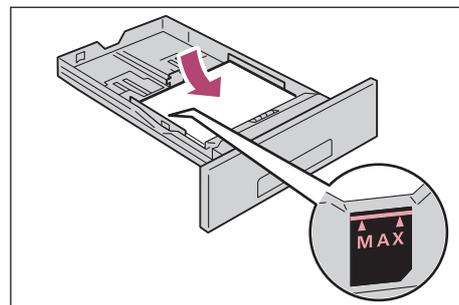


4. たての用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙のサイズまで動か
かします。
用紙サイズの▶マークの先端と、用紙ガイドの◀マークの先
端を合わせます。

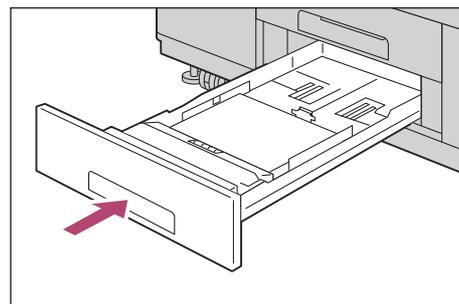


5. 印刷する面を下にし、用紙をセットします。

補足 ・ガイドがきついと紙送り不良の原因になります。
・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。
紙づまりの原因になります。
・用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでくだ
さい。紙づまりの原因になることがあります。



6. カット紙トレイを静かに押し込みます。



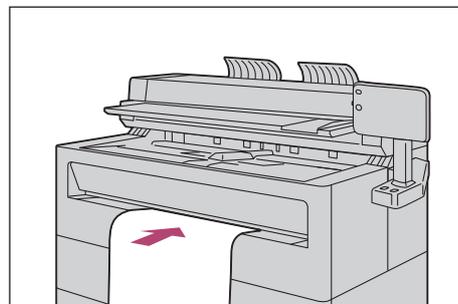
1.7.3 手差しで給紙する

カット紙トレイにセットできないサイズや種類のカット紙を使用してコピー／プリントするときは、手差しテーブルに用紙をセットします。

- 補足**
- ・用紙の種類、サイズ、および厚さを変更した場合、コピーする前に用紙の設定を変更してください。設定方法については、「6.1.6 用紙トレイの系列／種類設定」(P.199)を参照してください。
 - ・長さ 2,000 mm までの用紙をセットできます。

1. 用紙の両端を手差しテーブルの目盛りに合わせて、挿入します。
用紙が自動的に引き込まれ、停止します。

- 補足**
- ・用紙は 1 枚ずつセットしてください。
 - ・用紙端部がカールしている場合は、両手で用紙のカールを押さえながら挿入してください。
 - ・用紙が搬送されるまで、手を離さないでください。音がしたところで手を離すと、用紙が詰まることがあります。

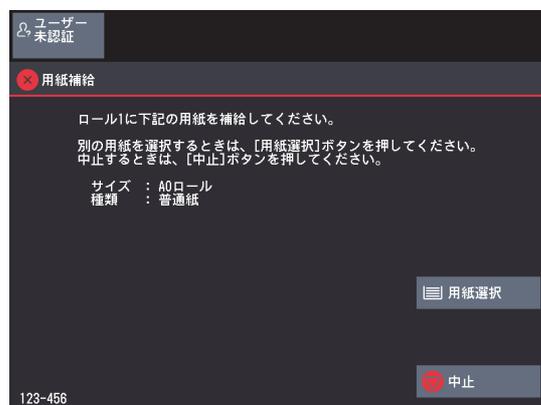


1.7.4 用紙トレイを切り替えてプリントする

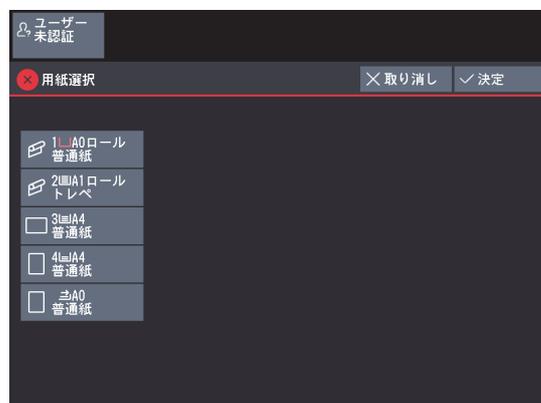
選択している用紙トレイの用紙がなくなったときに、用紙トレイを切り替えてプリントすることができます。

- 補足** [用紙の置き換え] の設定によっては、この画面が表示されずに、大きいサイズまたは近いサイズの用紙でプリントされることがあります。詳細については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. [用紙選択] をタップします。



2. 用紙トレイを選択し、[決定] をタップします。
プリントが開始されます。

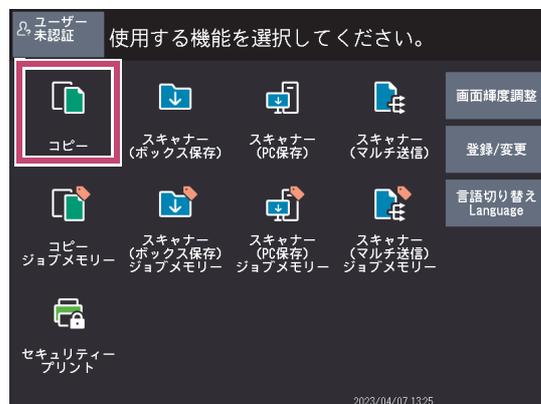


1.7.5 用紙の状態を確認する

ここでは、用紙の状態を確認する手順について説明します。

補足 インターネットサービスからでも用紙の状態を確認できます。詳細については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。



2. [オートモード] からチェックマークを外します。

3. 用紙のサイズや種類、残量を確認します。

補足 用紙の残量は、用紙トレイの選択項目に表示されるアイコンで確認できます。

ロール紙トレイ

: 用紙が20~100%セットされていることを表します。

: 用紙の残量が20%以下で、少なくなっていることを表します。

: 用紙切れ、またはセットされていないことを表します。

カット紙トレイ

: 用紙がセットされていることを表します。

: 用紙切れ、またはセットされていないことを表します。



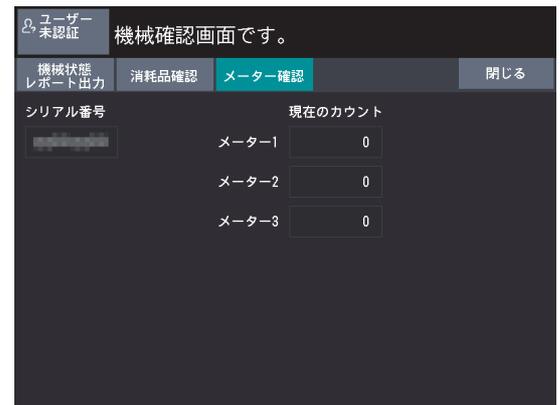
1.8 メーターを確認する

[メーター確認] 画面では、メーター別にプリントのカウント数を確認できます。

1. [機械確認] をタップします。



2. [メーター確認] をタップします。



3. 表示された画面で、各メーターを確認します。

◆ シリアル番号

本機のシリアル番号が表示されます。

◆ メーター 1

コピー／プリントの総カウント数が表示されます。

補足 カウント数は、用紙サイズによって異なります。各用紙サイズは、次のカウント数で加算されます。

用紙サイズ	カウント
A4、Arch-A、ANSI-A	1
A3、特 A3、JIS B4、ISO B4、Arch-B、ANSI-B、15×10.5"	1
A2、特 A2、JIS B3、ISO B3、Arch-C、ANSI-C、15×21"	2
A1、特 A1、JIS B2、ISO B2、Arch-D、ANSI-D、30×21"	3
A0、特 A0、JIS B1、ISO B1、Arch-E、ANSI-E、30×42"	5

◆ メーター 2

常に 0 が表示されます。

◆ メーター 3

スタンプの総カウント数が表示されます。

補足

- ・スタンプは、色、大きさ、数に関係なく、スタンプが押された枚数をカウントします。1枚に複数のスタンプが押されても、スタンプが押された枚数をカウントします。
- ・スタンプ機能がない場合は、常に 0 が表示されます。

1.9 消耗品を交換する

本機に適した規格で作られていますので、次の消耗品をお使いください。

消耗品の種類	商品コード	形態
トナーカートリッジ	CT202875	1個／1箱
トナー回収ボトル	CWAA0920	1個／1箱

- 補足**
- ・弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、機械本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。
 - ・消耗品は、予備を用意しておくことをお勧めします。
 - ・トナー回収ボトルは、契約形態により注文方法が異なります。

消耗品の取り扱いについて

- ・消耗品の箱は、必ず横置きにして、箱に記載された状態で保管してください。
- ・消耗品は、使用するまでは開封しないで、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- ・消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから、使用してください。
- ・消耗品を発注するときは、商品コードを確認のうえ、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご注文ください。
- ・使用済みのトナーカートリッジ、トナー回収ボトルは、適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店にお渡しください。

警告

- ・こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本機内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- ・トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- ・トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

- ・トナーカートリッジやトナー回収ボトルは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ・トナーカートリッジやトナー回収ボトルを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- ・次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

使用済み消耗品の回収

回収された消耗品は、環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。不要となりました消耗品は適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店へお渡しください。

1.9.1 トナーカートリッジを交換する

トナーが少なくなると、次のメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージに従って、処置してください。

◆ トナーカートリッジ交換時期です

トナーカートリッジの交換時期です。

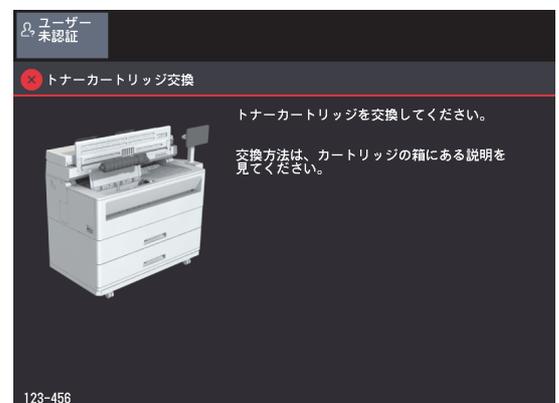
- 補足**
- ・このメッセージが表示されてから、コピー／プリントできるページ数は約 2,000 ページです。
 - ・使用可能ページ数は、A4 像密度 6 % の用紙を使用した場合の枚数です。使用可能ページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

◆ トナーカートリッジ交換

トナーカートリッジを交換してください。

このメッセージが表示されると、コピー／スキャン／プリントできません。

- 補足**
- トナー残量が少ないときは、プリント中に機械が停止してメッセージが表示されることがあります。その場合は、トナーカートリッジを交換すると、コピー／プリントが再開されます。

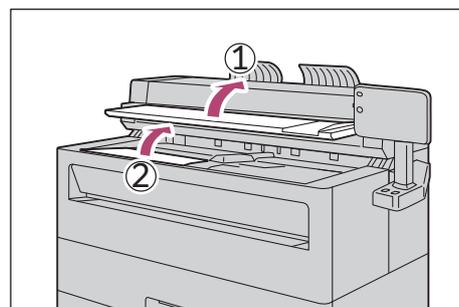


新しいトナーカートリッジを用意してから、次の手順で交換します。

- 補足**
- トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

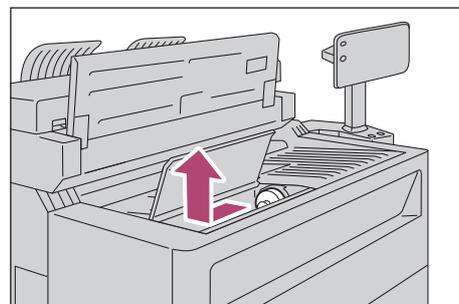
1. 機械が停止していることを確認し、原稿テーブルを上げます (①)。次にトナーカバーを開けます (②)。

注記 オプションの前方用紙キャッチトレイを装着している場合は、前方用紙キャッチトレイを取り外してからトナーカバーを開けてください。



2. トナーカートリッジを取り出します。

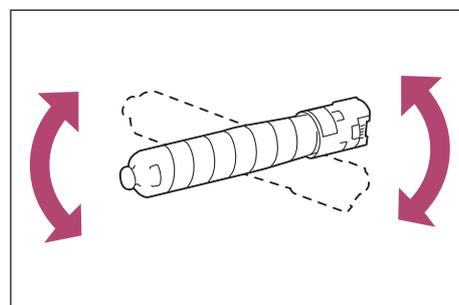
補足 使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



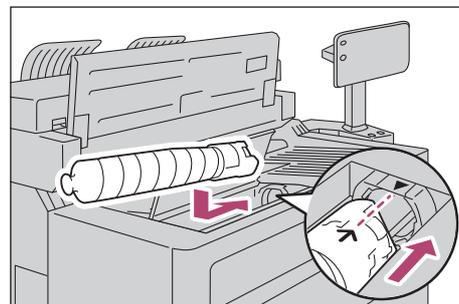
3. 新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、トナーを均一にするためによく振ります。

注記 トナーカートリッジのシャッター部には触れないでください。

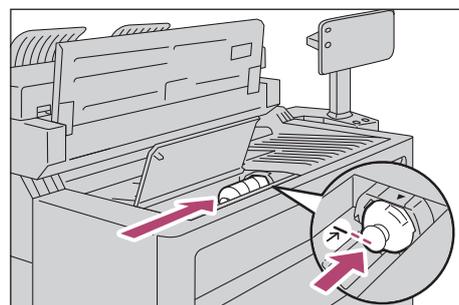
補足 約 10 回が目安です。



4. トナー補給口に、トナーカートリッジの口を合わせます。

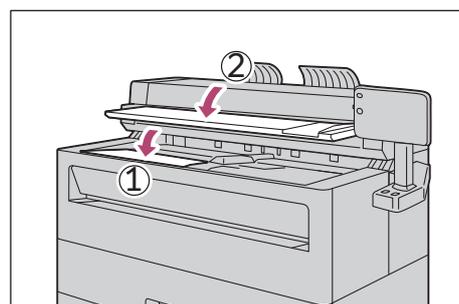


5. トナーカートリッジの左側を下げ、補給口に固定されるまで押し込みます。



6. トナーカバーを閉じて (①)、原稿テーブルを元の位置に戻します (②)。

補足 「1.13.3 消耗品の確認」(P.54) で、トナーカートリッジの状態を確認してください。



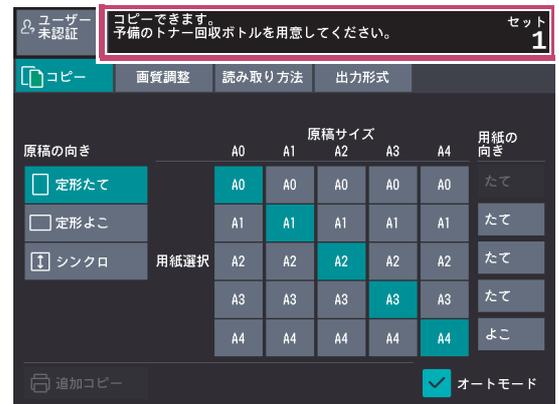
1.9.2 トナー回収ボトルを交換する

トナー回収ボトルがトナーでいっぱいになると、次のメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージに従って、処置してください。

◆ 予備のトナー回収ボトルを用意してください。

予備のトナー回収ボトルを用意してください。

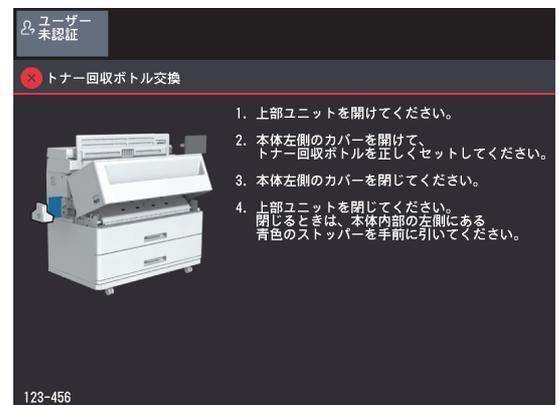
- 補足**
- このメッセージが表示されてから、コピー/プリントできるページ数は約 3,000 ページです。
 - 使用可能ページ数は、A4 像密度 6 % の用紙を使用した場合の枚数です。使用可能ページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。



◆ トナー回収ボトル交換

トナー回収ボトルを交換してください。

このメッセージが表示されると、コピー/スキャン/プリントできません。

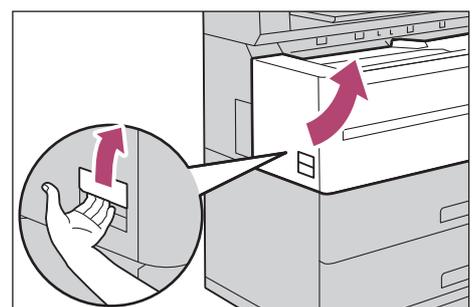


新しいトナー回収ボトルを用意してから、次の手順で交換します。

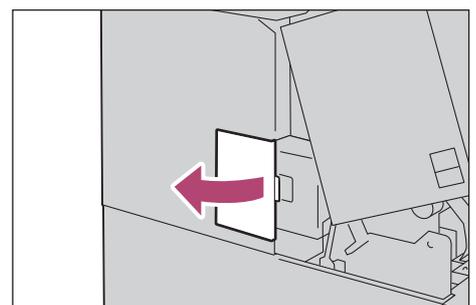
- 補足** トナー回収ボトルを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

1. 機械が停止していることを確認し、上部ユニット開放レバーを上げながら、上部ユニットを開けます。

- 補足** レバーは、中心より左寄り（後部側）を持つと、上げやすくなります。

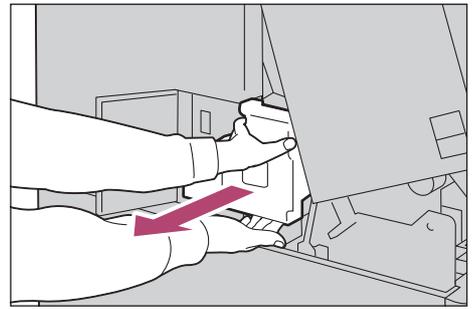


2. 本体左側のカバーを開けます。



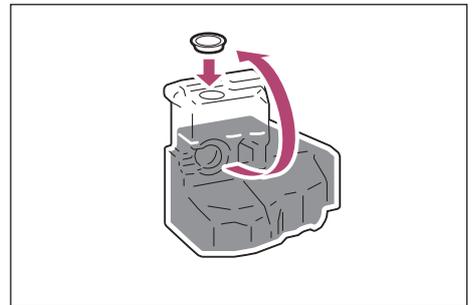
3. トナー回収ボトルを手前に引き、ゆっくりと外します。

注記 トナー回収ボトルを落とさないように、手前に引き出すときに両手を添えてください。

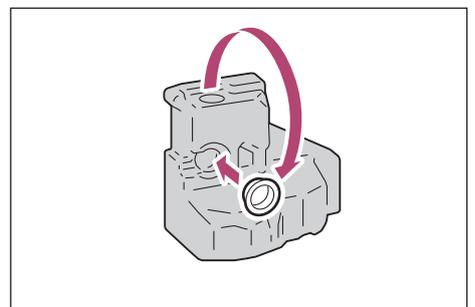


4. 用紙等を敷いた床にトナー回収ボトルを置きます。
トナー回収ボトルのくぼみからキャップを取り外し、トナー回収ボトルの穴に取り付けます。

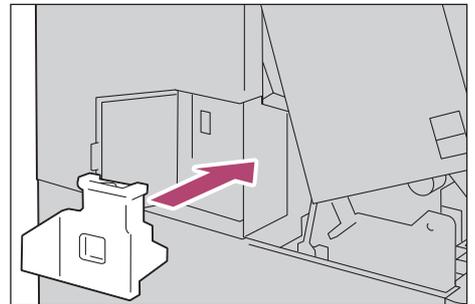
補足 使用済みのトナー回収ボトルは同梱の袋に入れ、弊社または販売店にお渡しください。



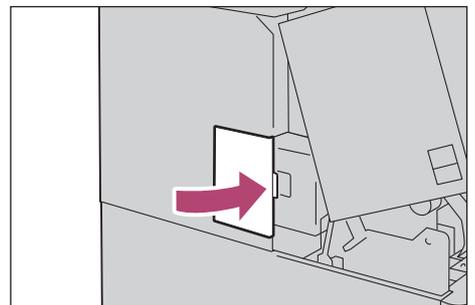
5. 新しいトナー回収ボトルのキャップを取り外し、トナー回収ボトルのくぼみに取り付けます。



6. 新しいトナー回収ボトルを取り付けます。

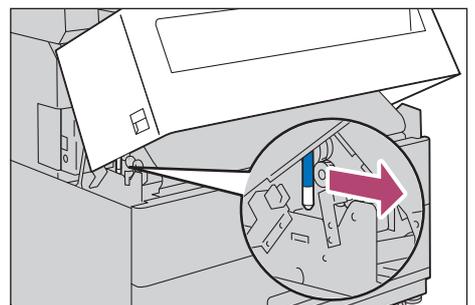


7. 本体左側のカバーを閉じます。



8. プリンター内部の左側にある青色のストッパーを手前に引きます。

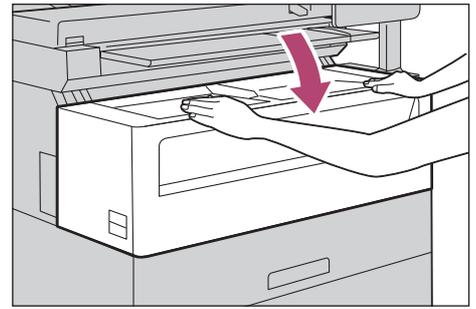
注記 指などははさまないように注意してください。



9. 上部ユニットの両端に両手を乗せて、上部ユニットを閉じます。

注記 トナー回収ボトルを正しく取り付けないと、上部ユニットを閉じてメッセージが消えず、機械が作動しません。

補足 「1.13.3 消耗品の確認」(P.54) で、トナー回収ボトルの状態を確認してください。



1.10 読み取りセンサーのつなぎ目を補正する (ApeosWide 3030)

温度や湿度などの環境の変化により、原稿の読み取りセンサーのつなぎ目の位置でズレが発生することがあります。このような場合、[読み取りセンサーつなぎ目補正] でつなぎ目を補正します。

補足 この機能は、ApeosWide 3030 でだけ使用できます。

1.10.1 補正チャートを出力する

次の手順で補正チャートを出力します。

1. ホーム画面で [読み取りセンサーつなぎ目補正] をタップします。

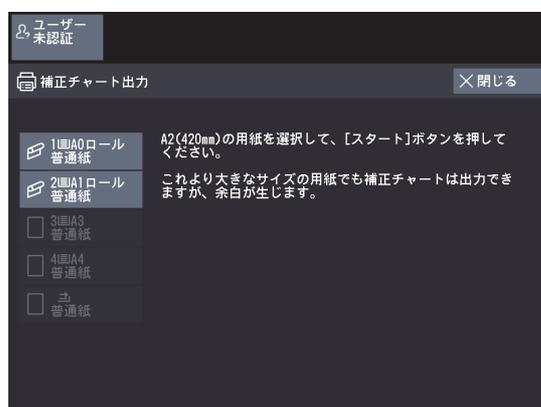
補足 工場出荷時の設定では、[読み取りセンサーつなぎ目補正] は表示されていません。表示させるには、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「ホーム画面の補助機能配列」(P.278) を参照してください。

2. [補正チャート出力] をタップします。



3. セットされている用紙が表示されるので、A2 (420 mm) の用紙を選択し、[スタート] をタップします。

補足 A2 より大きなサイズの用紙でも補正チャートは出力できますが、余白が生じます。補正チャートが出力されます。

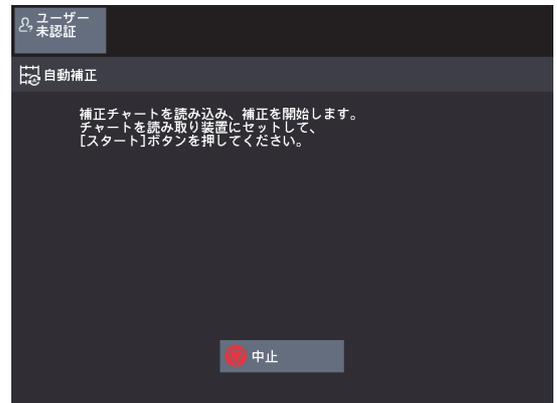


1.10.2 自動補正を行う

補正チャートを使用して、つなぎ目を自動補正します。

1. [読み取りセンサーつなぎ目補正] 画面で [自動補正] をタップします。
2. 補正チャートの印字面を下にして原稿テーブルにセットし、操作パネル台の〈スタート〉ボタンを押します。
つなぎ目が自動補正されます。

- 補足**
- ・自動補正が終了したあと、お客様の原稿にて補正を確認してください。
 - ・自動補正が異常終了する場合は、エラーコードに対する処置を実施し、再度自動補正を行ってください。エラーコードの詳細については、「1.10.5 エラーコード」(P.45)を参照してください。

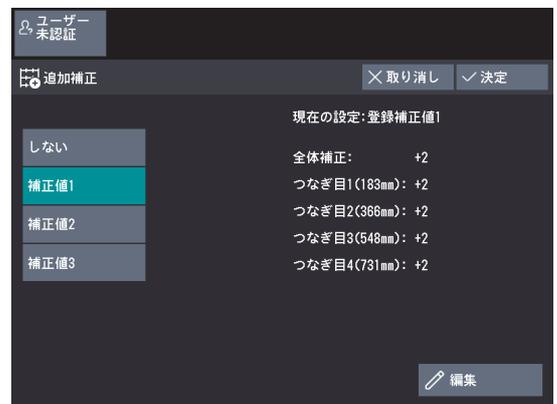


1.10.3 追加補正を行う

自動補正で調整しきれなかった場合、手動で調整します。
調整した補正值は3個まで登録できます。

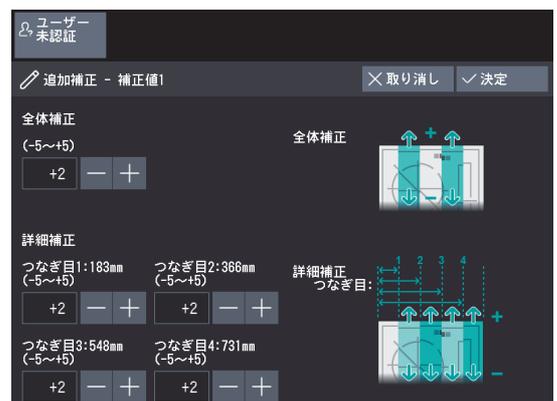
■ Step1 補正值を登録する

1. [読み取りセンサーつなぎ目補正] 画面で [追加補正] をタップします。
2. [補正值 1]、[補正值 2]、または[補正值 3] を選択します。
補足 補正值を登録しない場合は、[しない] を選択してください。
3. [編集] をタップします。



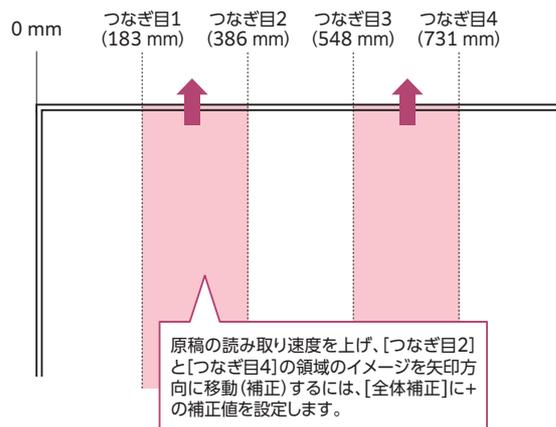
4. [+], [-] をタップし、- 5 ~ + 5 ステップの範囲で補正值を設定します。

- 補足** つなぎ目は、自動補正 + 全体補正 + 詳細補正の累積値で補正されます。



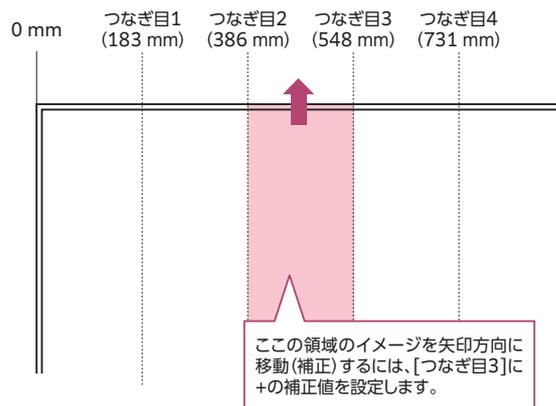
◆ **全体補正**

原稿の読み取り速度（モーターの搬送速度）を調整して、全体的につなぎ目を補正します。



◆ **詳細補正**

読み取りセンサーのつなぎ目を個別に補正（デジタル補正）します。



5. [決定] をタップします。

■ Step2 追加補正を行う

1. 登録した補正値を選択します。

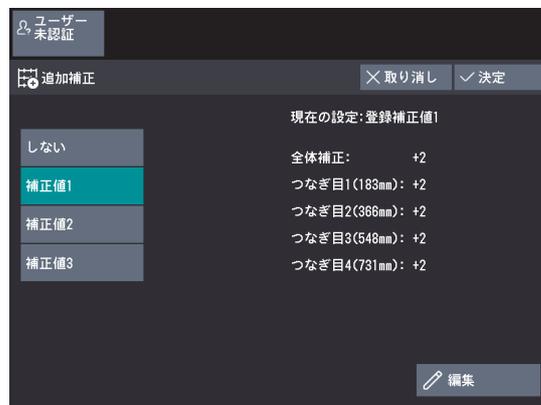
補足 登録した補正値を使用しない場合は、[しない] を選択し、「Step1 補正値を登録する」(P.43) で補正値を設定してください。

2. [決定] をタップします。

設定した補正値に従って、つなぎ目が補正されます。

補足

- 追加補正が終了したあと、お客様の原稿にて補正を確認してください。
- 追加補正が異常終了する場合は、エラーコードに対する処置を実施し、再度追加補正を行ってください。エラーコードの詳細については、「1.10.5 エラーコード」(P.45) を参照してください。

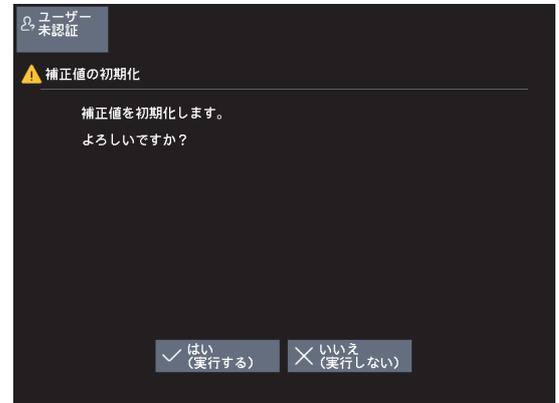


1.10.4 補正値を初期化する

すべての補正値を工場出荷時の値に戻します。

注記 自動補正の補正値も初期化されます。

1. [読み取りセンサーつなぎ目補正] 画面で [補正値の初期化] をタップします。
2. [はい (実行します)] を選択します。
補正値が工場出荷時の値に戻ります。



1.10.5 エラーコード

エラーが発生して補正が正常に終了しなかった場合は、エラーコードが表示されます。次の表でエラーコードを参照して、処置してください。

エラーコード	原因	処置
062-702	<ul style="list-style-type: none"> 補正チャート読み込み中に、〈ストップ〉ボタンが押された 紙づまりが発生した 	もう一度、補正チャートをセットしてください。
062-714	<ul style="list-style-type: none"> 補正チャートを裏返しにしてセットした 補正チャートのたて／よこを間違えてセットした 補正チャートが破れている 	補正チャートに汚れや破れがないことを確認し、印字面を下にしてセットしてください。
062-713 062-725	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガイドが右にずれている 補正チャートの右端が原稿ガイドに合っていない 補正チャート搬送時にゆがみが発生した 補正チャートの一部が印字されていない、または破れている 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガイドの位置を確認してください。 補正チャートに汚れや破れがないことを確認し、印字面を下にしてセットしてください。
062-735	補正チャートの搬送が一定でない	補正チャートの読み込み中に、補正チャートを上から押さえつけたり引っばったりしないでください。
その他*	自動補正に失敗した	<ul style="list-style-type: none"> 上記の処置をもう一度確認し、補正チャートをセットしてください。 何度実行しても正常に終了しない場合は、カスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

* 062-701 から 062-754 までのコードで上記以外のもの

1.11 定着器を設定する

手差し給紙時の定着器の温度の設定と、定着器の空運転を指示します。

1.11.1 定着器の温度を設定する

1. ホーム画面で [定着器の設定] をタップします。

補足 工場出荷時の設定では、[定着器の設定] は表示されていません。表示させるには、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「ホーム画面の補助機能配列」(P.278) を参照してください。

2. [定着器の温度設定] をタップします。



3. [自動] または [手動] を選択します。

補足 [手動] を選択しても手差し給紙以外はこの設定は反映されず、温度は自動制御されます。



4. [手動] を選択した場合、[高い] ~ [低い] の間で 8 段階の定着器の温度を選択します。

5. 電源を切/入したあとも温度の設定を保持する場合は、[電源オフ後も設定保持] にチェックマークを付けます。

補足 チェックマークを外すと、電源を切/入したあとは [自動] で動作します。

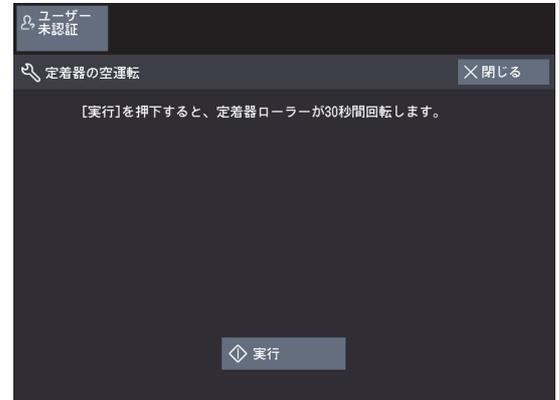
6. [決定] をタップします。



1.11.2 定着器を空運転する

厚手の用紙／トレーシングペーパーにコピー／プリントするときに、トナーの定着をより安定させるため、コピー／プリント操作の前に定着器を空運転します。

1. [定着器の設定] 画面で [定着器の空運転] をタップします。
2. [実行] をタップします。
定着器ローラーが 30 秒間回転します。



1.12 本機を清掃する

本機の清掃について説明します。

原稿カバーの裏の反射板や、原稿読み取り部のガラス面が汚れていると、コピーの全体に黒い線や帯などが発生する原因になります。

警告

本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

注意

本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

- 注記**
- ・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
 - ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に水、または薄めの中性洗剤を少量含ませ、固く絞って軽くふきます。そのあと、乾いた布でふきます。
 - ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
 - ・水でぬらしすぎると、機械が故障したりコピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

1.12.1 本機を清掃する (ApeosWide 6050)

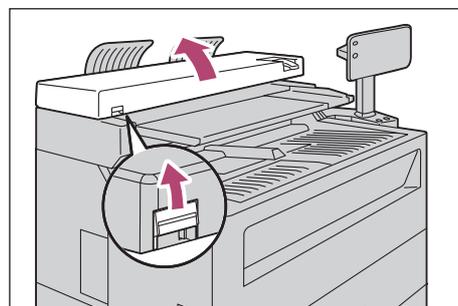
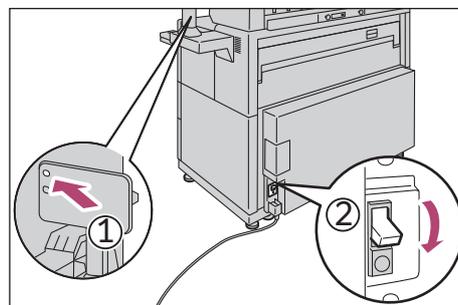
1. 電源/節電ボタン (①) を押し、[電源を切る] をタップして、電源を切ります。

2. 電源/節電ボタンが消灯したことを確認してから、電源ブレーカー (②) を切ります。

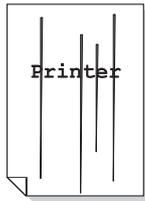
注記 電源、電源ブレーカーを切らないで機械を清掃すると、感電の原因になるおそれがあります。

3. 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

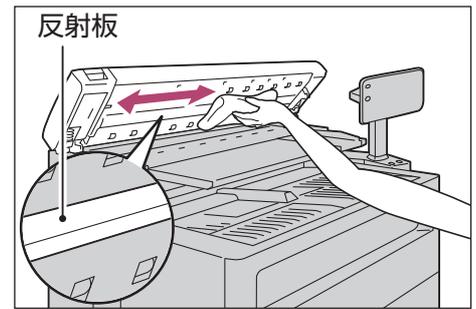
4. 原稿カバーの左端のレバーを上げて、原稿カバーを持ち上げます。



5. 化学ぞうきんで、原稿カバーの裏の白い反射板をふきます。



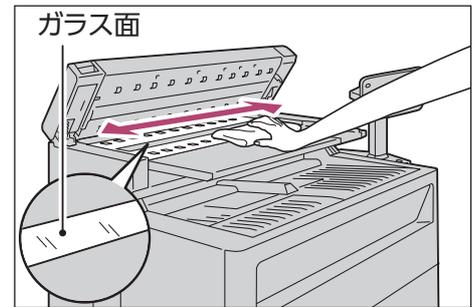
筋が発生したときは反射板をふきます。



6. 化学ぞうきんで、原稿読み取り部のガラス面をふきます。



黒点が発生したときはガラス面をふきます。

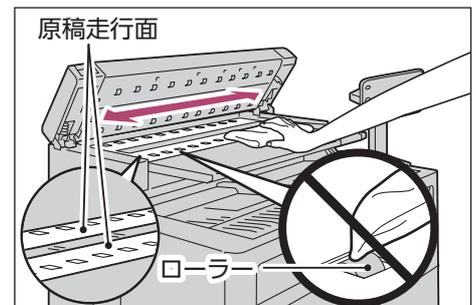


注記 ガラス面を強く押しすぎると故障やケガの原因になります。

7. 化学ぞうきんで、原稿走行面をふきます。



筋が発生したとき、原稿が詰まるときは、原稿走行面をふきます。



注記 ローラーはふかないでください。ローラーをふくと、化学ぞうきんに含まれる油分が付着して、原稿走行スリップの原因になります。

8. 原稿カバーを元に戻します。

9. コンセントに電源プラグを挿します。

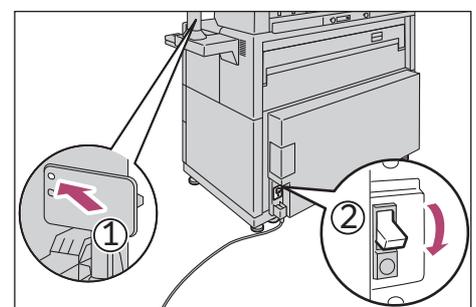
1.12.2 本機を清掃する (ApeosWide 3030)

1. 電源/節電ボタン (①) を押し、[電源を切る] をタップして、電源を切ります。

2. 電源/節電ボタンが消灯したことを確認してから、電源ブレーカー (②) を切ります。

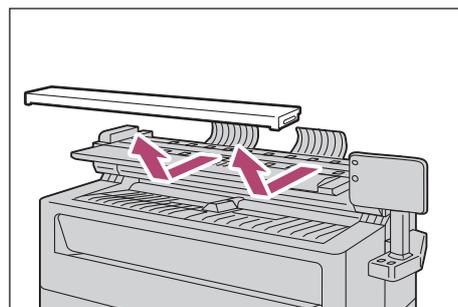
注記 電源、電源ブレーカーを切らないで機械を清掃すると、感電の原因になるおそれがあります。

3. 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

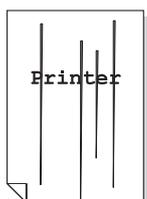


4. 原稿カバーを手前に止まるまで引き、持ち上げて外します。

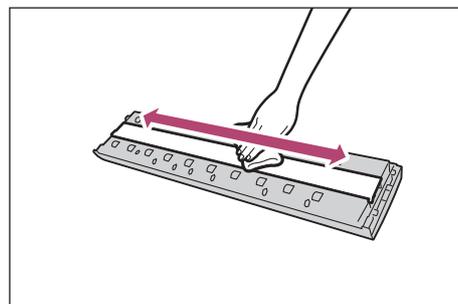
補足 外した原稿カバーは、平らなテーブルの上に置いてください。



5. 化学ぞうきんで、原稿カバーの裏の白い反射板をふきます。



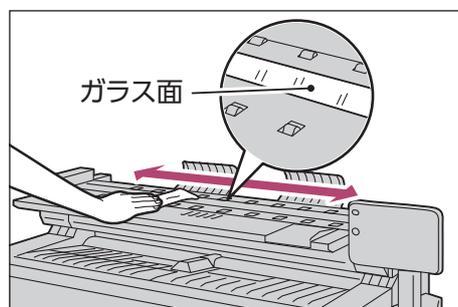
筋が発生したときは反射板をふきます。



6. 化学ぞうきんで、原稿読み取り部のガラス面をふきます。

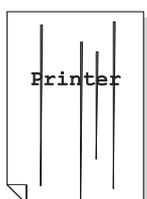


黒点が発生したときはガラス面をふきます。

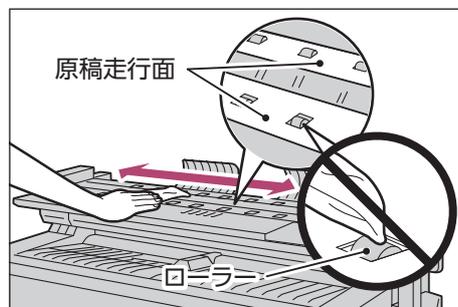


注記 ガラス面を強く押しすぎると故障やケガの原因になります。

7. 化学ぞうきんで、原稿走行面をふきます。



筋が発生したとき、原稿が詰まるときは、原稿走行面をふきます。



注記 ローラーはふかないでください。ローラーをふくと、化学ぞうきんに含まれる油分が付着して、原稿走行スリップの原因になります。

8. 原稿カバーを元に戻します。

9. コンセントに電源プラグを挿します。

1.13 機械確認

機械確認の機能について説明します。

1.13.1 機械確認の概要

機械の状態やプリントページ数を、画面で確認できます。また、登録されているスタンプの一覧をプリントできます。

1. [機械確認] をタップします。
[機械確認] 画面では、次のことができます。

◆ 機械状態の確認／レポート出力

本機の構成を確認できます。また、プリンターモードを切り替えたり、登録されているスタンプの一覧をプリントしたりできます。

参照 詳細については、「1.13.2 機械状態／レポート出力」(P.51) を参照してください。

◆ 消耗品の確認

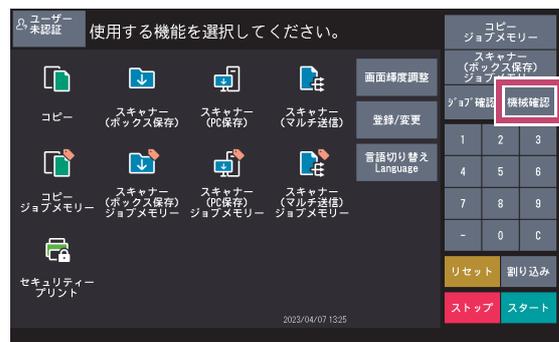
消耗品の状態を確認できます。

参照 詳細については、「1.13.3 消耗品の確認」(P.54) を参照してください。

◆ メーターの確認

メーター 1～3 のカウントを表示します。

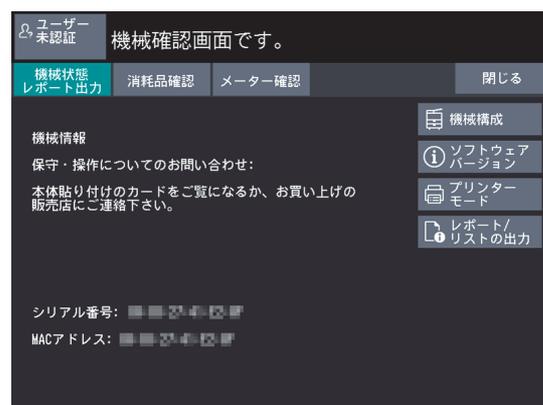
参照 詳細については、「1.8 メーターを確認する」(P.35) を参照してください。



1.13.2 機械状態／レポート出力

[機械状態 レポート出力] 画面では、本機の構成の確認、プリンターモードの切り替え、レポート／リストの出力ができます。

1. [機械確認] をタップします。
2. 機械情報を確認できます。



■ 機械情報

機械情報では、シリアル番号、機械構成、ソフトウェアバージョンを確認できます。

1. 機械情報を確認します。
 - ◆ 保守・操作についてのお問い合わせ
保守・操作についてのお問い合わせ方法が記載されています。
 - ◆ シリアル番号
本機のシリアル番号を確認します。

◆ **MAC アドレス**

本機の MAC アドレスを確認します。

◆ **機械構成**

[機械構成] をタップすると、[機械構成] 画面が表示されます。

次の項目を確認します。

- ・ 機械構成コード
- ・ メモリーサイズ



◆ **ソフトウェアバージョン**

[ソフトウェアバージョン] をタップすると、[ソフトウェアバージョン] 画面が表示されます。

次の項目を確認できます。

- ・ Controller ROM
- ・ Panel ROM
- ・ IOT ROM
- ・ IIT ROM

補足 オプションのシンプルフォルダーまたは標準フォルダー接続時は、フォルダーの ROM の項目も表示されます。



■ **プリンターモード**

プリンターのオンライン/オフラインを切り替える方法について説明します。

1. [機械状態レポート出力] 画面で [プリンターモード] をタップします。

2. プリンターモードを選択します。

◆ **オフライン**

コンピューターからのデータが受信できなくなります。受信中のデータまでプリントされ、その後のデータは受信されません。

補足 [オフライン] を選択すると、自動的に [オンライン] には復帰しません。オフライン中でもコピーはできますがプリントできませんので、必ずオンラインに戻してください。

◆ **オンライン**

コンピューターからのデータを受信します。



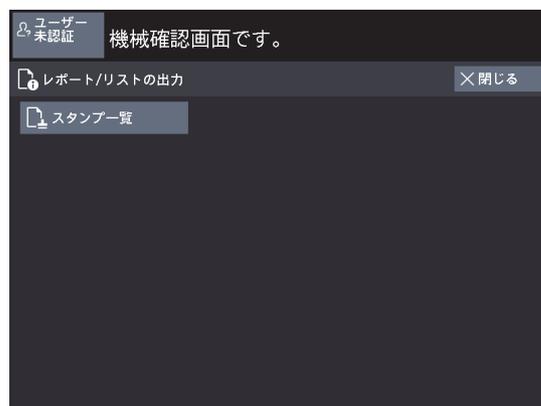
■ レポート／リストの出力

スタンプの一覧をプリントする

登録されているスタンプの一覧をプリントする方法について説明します。

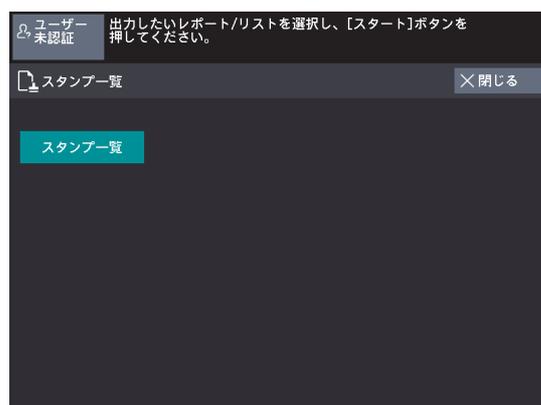
補足 この機能を使用するには、ApeosWide 6050 の場合は、オプションの AW6050 スタンプキット、また ApeosWide 3030 の場合は、AW3030 スタンプキットが必要です。

1. [機械状態レポート出力] 画面で [レポート／リストの出力] をタップします。
2. [スタンプ一覧] をタップします。



3. [スタンプ一覧] をタップします。
4. [スタート] をタップします。
スタンプの一覧がプリントされます。

補足 スタンプ一覧をプリントするときの給紙ロール／トレイと用紙のカット方法は、設定することができます。「9.3.10 詳細設定」(P.288) を参照してください。



1.13.3 消耗品の確認

消耗品の状態は、[消耗品確認] 画面で確認できます。消耗品の状態は、「良好」、「要交換」などで表示されます。ここでは、消耗品の状態を確認する手順について説明します。

補足 インターネットサービスからでも消耗品の状態を確認できます。詳細については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

参照 消耗品の交換方法については、「1.9 消耗品を交換する」(P.36) を参照してください。

1. [機械確認] をタップします。
2. [消耗品確認] をタップし、消耗品の状態を確認します。
[消耗品確認] 画面では、次の項目を確認します。
 - ・ トナーカートリッジ
 - ・ トナー回収ボトル



1.14 ジョブ確認

1.14.1 ジョブ確認の概要

ジョブ確認では、実行中や実行待ちのジョブや、完了したジョブなどを確認できます。

1. [ジョブ確認] をタップします。
[ジョブ確認] 画面では、次のことができます。

◆ ジョブの確認

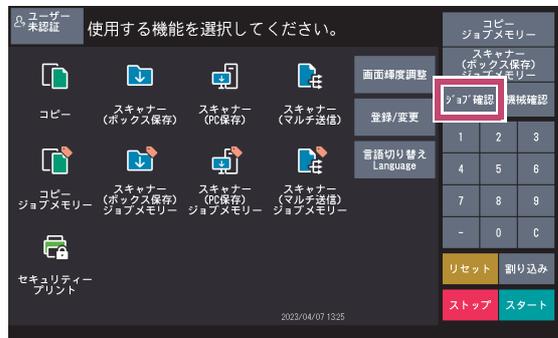
実行中や実行待ちのジョブをリストで確認できます。

参照 詳細については、「1.14.2 実行中／実行待ちのジョブを確認する」(P.55) を参照してください。

◆ 完了したジョブの状態確認

完了したジョブの状態を表示できます。

参照 詳細については、「1.14.3 完了したジョブを確認する」(P.56) を参照してください。



1.14.2 実行中／実行待ちのジョブを確認する

実行中や実行待ちのジョブを確認する方法について説明します。

1. [ジョブ確認] をタップします。
2. 表示された画面で、実行中や実行待ちのジョブを確認します。

ジョブ	状態	進捗
コピー	コピー中	出力済み枚数／総出力枚数
コピー	プリント待ち	0／出力待ち枚数
プリント	—	出力待ちスプール数

- 補足**
- ・ ArcEPS を使ってプリントしている場合、ジョブ確認画面の [実行中／待ち] の [相手／内容] に [占有モード] と表示されます。この間は、ArcEPS 以外のプリントは受信しますが、占有モードを解除するまでプリントされません。
 - ・ [↶] をタップして前画面、[↷] をタップして次画面を表示できます。
 - ・ [表示更新] をタップして、表示を更新できます。
 - ・ プリントジョブはリストの最後に表示されます。

3. 確認後、[閉じる] をタップします。



1.14.3 完了したジョブを確認する

完了したジョブを確認する方法について説明します。

ジョブが正常に完了したかどうかを確認できます。また、ジョブを選択すると、詳細を表示できます。

1. [ジョブ確認] をタップします。
2. [実行完了] をタップし、完了したジョブを確認します。
 - 補足** ・ [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
 - ・ [表示更新] をタップして、表示を更新できます。
3. ジョブの詳細を確認する場合は、該当するジョブを選択します。

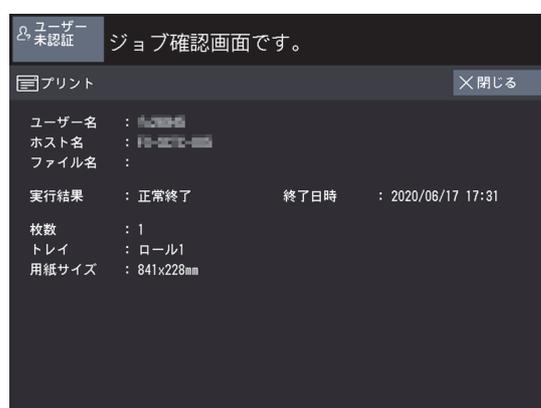


ユーザー未認証 ジョブ確認画面です。

実行中/待ち **実行完了** 表示更新 閉じる

文書番号-ジョブ	相手/内容	状態	ページ
00002-ボックス保存	ボックス004	強制終了	
- コピー	100.0%	正常終了	1
- コピー		強制終了	
00001-ボックス保存	ボックス002	強制終了	
- プリント	F:\202006	強制終了	
- プリント	F:\202006	強制終了	
- プリント	F:\202006	正常終了	1
- プリント	F:\202006	強制終了	

4. 確認後、[閉じる] をタップします。



ユーザー未認証 ジョブ確認画面です。

プリント 閉じる

ユーザー名 : ██████████
 ホスト名 : ██████████
 ファイル名 :

実行結果 : 正常終了 終了日時 : 2020/06/17 17:31

枚数 : 1
 トレイ : ロール1
 用紙サイズ : 841x228mm

1.15 ユーザー認証の操作

登録ユーザーを認証するには、本機の操作パネルを操作して認証する方法と、ICカードをICカードリーダーにタッチして認証する方法があります。

操作パネルで認証する場合は、User IDの入力が必要です。また、[認証/セキュリティ設定] の [認証の設定] で、[本体パネルのパスワード使用] を [する] に設定されている場合は、パスワードの入力も必要になります。

警告

埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部 (アンテナ部) から12 cm以上離れて携行および使用してください。電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

- 補足**
- ・ [仕様設定] > [共通設定] > [システム時計/タイマー設定] の [自動リセット] で、自動リセットが設定されている場合、設定した時間が経過すると、自動的に認証が解除されます。設定については、「自動リセット」(P.275) を参照してください。
 - ・ 自動リセットが設定されていない場合、認証解除の操作をしないと、誰でも本機を使用できる状態になります。本機を使用したあとは、必ず、認証を解除してください。
 - ・ 認証の設定で利用制限している機能がある場合、認証を解除しても実行中の処理は継続されます。すべてのコピー/スキャン/プリントの出力が完了すると、ホーム画面に戻ります。
 - ・ ICカードリーダーを利用するには、オプションが必要です。弊社の営業担当者にお尋ねください。
 - ・ ICカードリーダーは、本機の操作パネルでのコピー、スキャン、プリントを制限するための、ICカードを使った認証を行う装置です。利用時の管理/取り扱いについては、ICカードリーダーの取扱説明書を参照してください。
- 参照**
- ・ [本体パネルのパスワード使用] については、「本体パネルのパスワード使用」(P.325) を参照してください。
 - ・ タッチパネルディスプレイからのユーザー登録については、「7.5.3 ユーザーを登録する」(P.217) を参照してください。

1.15.1 操作パネルで User ID 認証/解除する

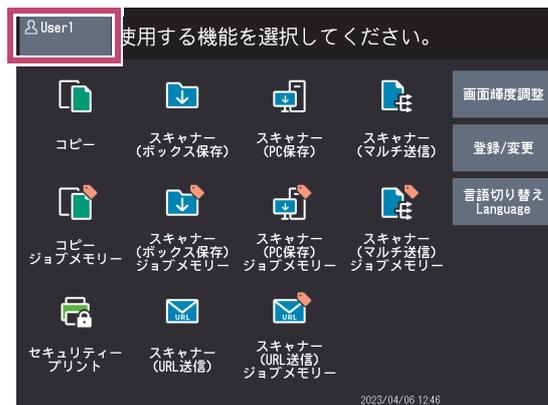
User ID 認証

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、User ID、必要に応じてパスワードを入力し、[確定] をタップします。

- 補足**
- ・ 割り込みとユーザー認証は、連動しません。割り込みを解除する前に必ずユーザー認証を終了してください。
 - ・ 利用が制限されているサービスを選択した場合には、[認証] 画面が表示されることがあります。User IDやパスワードを入力すると利用できます。



ユーザーが認証されると、ユーザー名が表示されます。



◆ 認証先（レルム名）の選択

外部認証で運用している場合、認証サーバーに ApeosWare Management Suite 2 を使用しているとき、次の手順で認証先（レルム名）を選択することができます。

補足 「レルム」とは、認証が適用される範囲です。

(1) [🔑] をタップします。

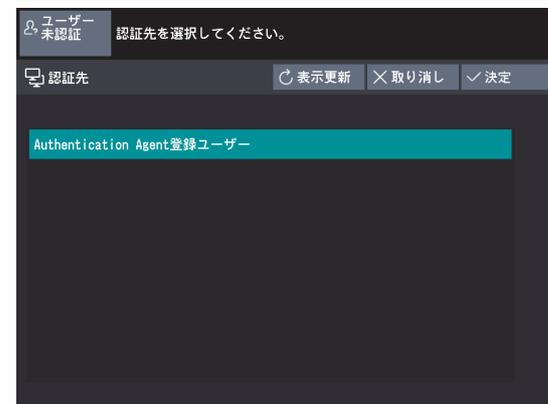
補足 外部認証で運用している場合に、[🔑] が表示されます。



(2) 認証先を選択します。

補足 ・ [表示更新] をタップすると、最新の情報が表示されます。
 ・ [⬆️] をタップして前画面、[⬇️] をタップして次画面が表示できます。

(3) [決定] をタップします。



■ 認証解除

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
 ユーザー認証が解除されます。

1.15.2 ICカードで認証／解除する

■ ICカード認証

1. ICカードリーダーにICカードをタッチします。

ユーザーが認証されます。

- 補足** ・ ICカードリーダーにICカードを確実にタッチしてください。
- ・ 本機の設定によっては、パスワードの入力が必要な場合があります。パスワードの入力を間違えた場合は、画面左上の認証情報の表示エリアをタップして、いったん認証状態を解除してから、再度 ICカードをICカードリーダーにタッチしてください。

■ 認証解除

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。

ユーザー認証が解除されます。

1.16 原稿について

1.16.1 使用できる原稿 (ApeosWide 6050)

次の原稿を使用できます。

原稿サイズ	厚さ
原稿の幅 176～914.4 mm (最大受け入れ幅945 mm)	前方排出時 0.05～0.2 mm
原稿の長さ 210～15,000 mm (最大長)	後方排出時 0.05～12.7 mm*

- * 厚さが 0.2 mm を超え、12.7 mm までの平面な硬い原稿 (スチレンボード、厚紙) を読み込みできます。ただし、原稿を手で支える必要があります。また、原稿を正確に読み込みできることを保証するものではありません。

1.16.2 使用できる原稿 (ApeosWide 3030)

次の原稿を使用できます。

原稿サイズ	厚さ
原稿の幅 182～914.4 mm (最大受け入れ幅945 mm)	前方排出時 0.05～0.2 mm
原稿の長さ 210～15,000 mm (最大長)	後方排出時 0.05～1.0 mm*

- * 厚さが 0.2 mm を超え、1.0 mm までの平面な硬い原稿 (スチレンボード、厚紙) を読み込みできます。ただし、原稿を手で支える必要があります。また、原稿を正確に読み込みできることを保証するものではありません。

1.16.3 ドキュメントキャリア (オプション) を使用する原稿

次の原稿は、ドキュメントキャリアに入れて使用してください。

- ・ 破れ、しわ、穴あき、激しいカールがある原稿
- ・ ホチキスで留めた原稿
- ・ のりや接着テープで貼り合わせた原稿

1.16.4 原稿取り扱い上の注意事項

原稿を取り扱うときは、次のことに注意してください。

- ・ のりや接着テープで貼り合わせた原稿、修正液を使った原稿を使うと、原稿の読み取り部に汚れが付くことがあります。特にスティック状ののりやスプレーのりを使用するときは、注意してください。原稿の読み取り部が汚れていると、コピーに黒線が出ることがあります。
- ・ 折りめ、しわ、破れめ、穴あきのない原稿を使用してください。原稿づまり、原稿破れなどの原因になります。折りめ、しわ、破れめ、穴あきがある原稿を使用する場合は、ドキュメントキャリア (オプション) を使用してください。
- ・ 丸めてある原稿の場合は、丸みの直径が 40 mm 以上のものを使用してください。40 mm 未満のときは、先端を平らに伸ばしてください。
- ・ 厚みのある原稿は、手で支えて読み込ませてください。

1.17 用紙について

本機で使用できる用紙について説明します。

適正でない用紙を使用した場合は、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に活用するために、弊社推奨の用紙をご利用いただくことをお勧めします。

なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告

電気を通しやすい紙（折り紙／カーボン紙／導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

注記 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳細については弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

1.17.1 用紙の種類

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）にコピーやプリントをする場合は、規格に合った用紙を使用してください。より鮮明にコピーやプリントをするためには、弊社推奨紙の使用をお勧めします。

種類	紙質/質量	推奨紙		
		用紙名	質量/厚さ	サイズ
ロール紙	普通紙 64～81.4 g/m ²	E紙	64 g/m ²	A0～A3
		G70	67 g/m ²	A0～A3
	トレーシングペーパー 55～85 g/m ²	GX75	75 g/m ²	A0～A3
	フィルム 75 μm	PF90フィルム	75 μm	A1～A3
カット紙	普通紙 64～81.4 g/m ²	V-Paper	64 g/m ²	A3/A4
手差し	普通紙 64～78 g/m ²	V-Paper	64 g/m ²	A3/A4
		E紙	64 g/m ²	A1/A2
	トレーシングペーパー 55～85 g/m ²	GX75	75 g/m ²	A1～A4
	フィルム 75 μm	PF90フィルム	75 μm	A1～A4

注記 プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙でプリントしたり、適応していない用紙をトレイにセットしてプリントしたりすると、紙づまりの原因になります。適正なプリントをするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

1.17.2 使用できない用紙

故障の原因になるので、次の用紙は使用しないでください。

- ・ 定着時の熱で変質するインクが使用されている用紙
- ・ 湿気を含んだ用紙、湿気で波打った用紙
- ・ インクジェット用紙
- ・ 12 mm 以上カールした用紙
- ・ 感熱紙、熱転写紙
- ・ しわや折りが付いている用紙
- ・ 窓付封筒

そのほかにも、使用できない用紙があります。詳しくは、弊社の営業担当者、またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

1.17.3 用紙の取り扱いと保管

■ 用紙の取り扱い

折りめ、しわのある用紙やカールした用紙は、使用しないでください。紙づまりの原因になります。

■ 用紙の保管

用紙を保管するときの環境は、湿度40～45 %が理想です。次のことに注意して保管してください。

- ・ 用紙は湿気を嫌います。保管するときは防湿の留意がしてある弊社用紙の包装紙に包み、湿気が少ない場所に保管してください。特にトレーシングペーパーは、ビニール袋や防湿加工袋などに入れ、除湿剤を入れることをお勧めします。
- ・ 機械を長時間お使いにならないときは、用紙を機械から出して保管してください。

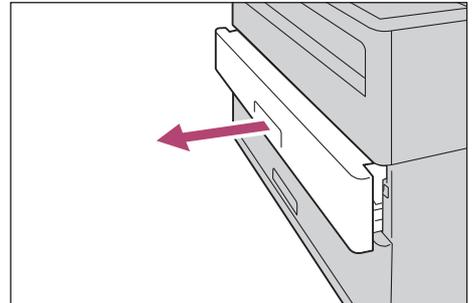
1.18 ペーパーヒーターについて

梅雨などの湿度が高いときは、ペーパーヒーターを使用します。
ペーパーヒーターは、ロール紙トレイにあります。

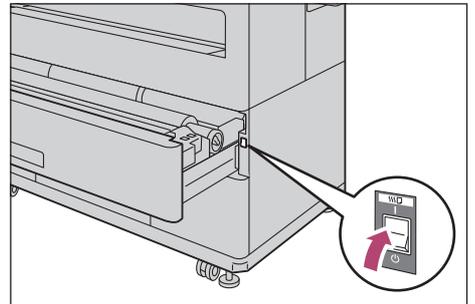
- 補足**
- ・ペーパーヒーターの効果は、用紙の種類や質量、プリンターの使用状態によって異なります。
 - ・ペーパーヒーターは、電源ブレーカーを入ると、使用できます。

1. ロール紙トレイを引き出します。

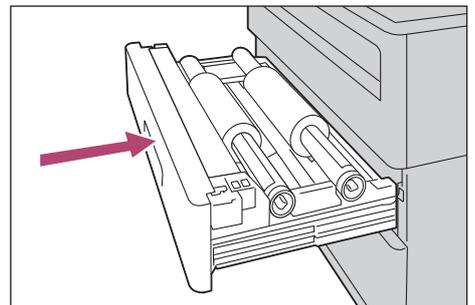
- 補足** オプションの前方用紙キャッチトレイを装着していて手前に引き出している場合は、前方用紙キャッチトレイを押し込んでからロール紙トレイを引き出してください。



2. ペーパーヒータースイッチの [] 側を押します。



3. ロール紙トレイを奥に突き当たるまで、ゆっくりと押し込みます。



2 コピー

コピーの基本的な操作方法と、機能について説明しています。

2.1	コピー操作の流れ	66
2.2	コピーを中止する	70
2.3	用紙サイズを指定してコピーする (オートモード)	71
2.4	原稿上の色を編集する	72
2.5	原稿を最大幅で読み取ってコピーする	74
2.6	手差しで給紙する (手差しコピー)	75
2.7	長尺原稿をコピーする	77
2.8	紙折りしてコピーする	78
2.9	複数枚の原稿をコピーする (1部ごとにソート)	79
2.10	スタンプを付けてコピーする	80
2.11	サンプルコピーをする	82
2.12	追加コピーをする	84
2.13	割り込んでコピーする	86
2.14	[コピー (オートモード)] 画面	87
2.15	[コピー (マニュアルモード)] 画面	89
2.16	コピー - [画質調整] 画面	94
2.17	コピー - [読み取り方法] 画面	99
2.18	コピー - [出力形式] 画面	105

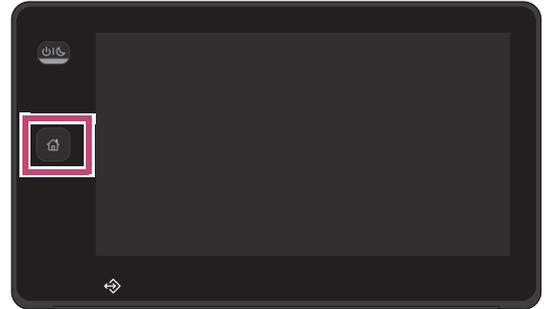
2.1 コピー操作の流れ

基本的なコピー操作の流れについて説明します。

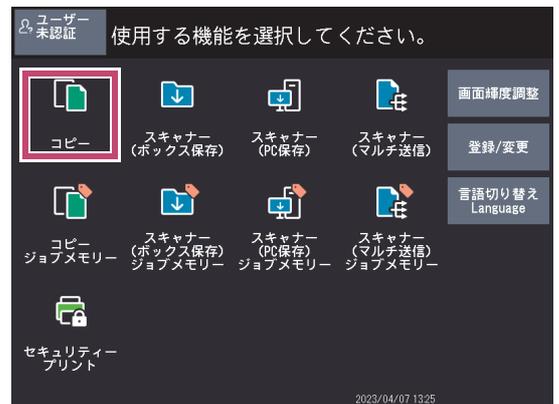
2.1.1 Step1 機能を選択する

[コピー] 画面で、設定する機能を選択します。

1. 操作パネルのホームボタンを押します。



2. ホーム画面で [コピー] をタップします。



3. オートモードでコピーする場合は [オートモード] チェックマークを付け、マニュアルモードでコピーする場合はチェックマークを外します

参照 ・ [2.14 [コピー (オートモード)] 画面] (P.87)
 ・ [2.15 [コピー(マニュアルモード)]画面] (P.89)

4. 必要に応じて、[画質調整] [読み取り方法] [出力形式] から設定する機能を選択します。

参照 ・ [2.16 コピー - [画質調整] 画面] (P.94)
 ・ [2.17 コピー - [読み取り方法] 画面] (P.99)
 ・ [2.18 コピー - [出力形式] 画面] (P.105)



2.1.2 Step2 部数を入力する

コピー部数を入力する手順について説明します。コピー部数は、99部まで入力できます。

1. テンキーでコピー部数を入力します。
入力した部数がタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。
2. 入力を間違えた場合は、クリアキーをタップし、入力し直します。

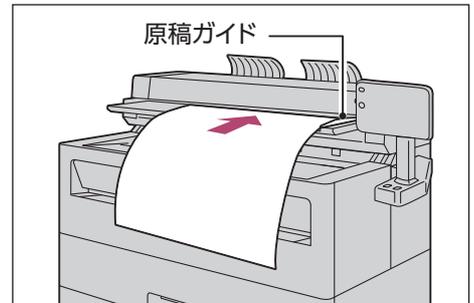


2.1.3 Step3 コピーを開始する

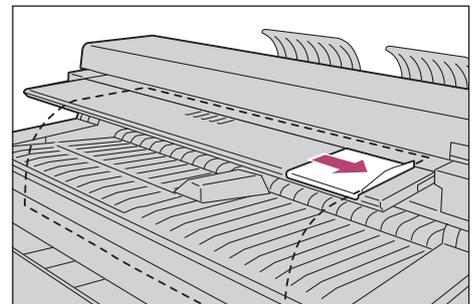
原稿をセットし、コピーを開始する手順について説明します。

- 注記**
- ・原稿を読み込み中に、原稿を上から押さえつけたり引っばったりすると、原稿づまりが発生することがあります。
 - ・穴あき原稿をセットするときは、穴あき部が後端になるように挿入してください。穴あき部を先端にすると、原稿づまりが発生することがあります。

- 1.** コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。



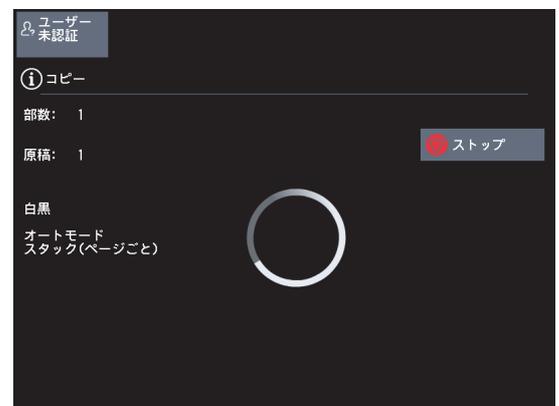
- 補足**
- ・原稿ガイドを右にずらすことによって、原稿の読み込み位置をずらすこともできます。
 - ・厚みのある原稿を読み込む場合は、「厚紙の原稿を読み込む場合 (ApeosWide 6050)」(P.69) を参照してください。



原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、自動的に原稿の読み込みがスタートします。

- 注記** 原稿が搬送されるまで、手を離さないでください。
原稿が長い場合、本機から落ちることがあります。

- 補足**
- ・仕様設定で原稿の読み込み開始方法を [マニュアルスタート] に設定している場合は、操作パネル台の〈スタート〉ボタンを押します。マニュアルスタートの設定方法については、「原稿読み込み開始方法」(P.285) を参照してください。
 - ・問題が発生すると、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。



- 2.** 排出された原稿を取ります。

■ 厚紙の原稿を読み込む場合（ApeosWide 6050）

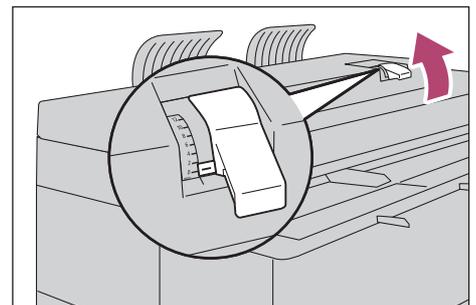
ApeosWide 6050では、厚さ12.7 mmまでの原稿を読み込めます。厚紙の原稿を読み込むときは、原稿力バーにある原稿厚調整レバーを調整します。

レバーの位置と対応する原稿の厚さの目安は、次のとおりです。

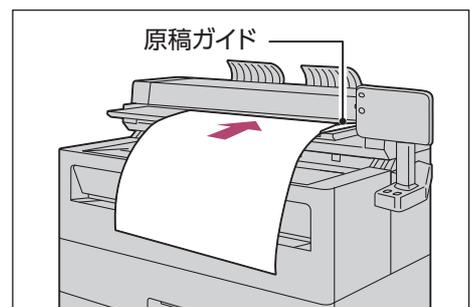
レバーの位置	原稿の厚さ
1 段目（目盛り 0 mm）	0～1 mm
2 段目（目盛り 2 mm）	2 mm±1 mm
3 段目（目盛り 4 mm）	4 mm±1 mm
4 段目（目盛り 6 mm）	6 mm±1 mm
5 段目（目盛り 8 mm）	8 mm±1 mm
6 段目（目盛り 10 mm）	10 mm±1 mm
7 段目（目盛り 12 mm）	12 mm±1 mm

注記 厚紙の原稿を読み込むときは、U ターンガイドを取り外してください。

1. 読み込む原稿の厚さを測ります。
2. 読み込む原稿の厚さに原稿厚調整レバーを動かします。

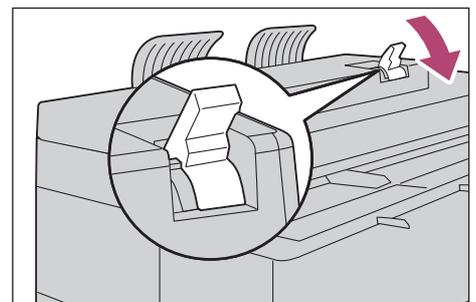


3. コピーする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。
原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、原稿の読み込みが自動的にスタートします。



4. 排出された原稿を取り除きます。

5. 読み込んだあとに、レバーを元の位置（1 段目：目盛り 0 mm）に戻します。



2.2 コピーを中止する

原稿の搬送を中止する、またはコピーを中止する手順について説明します。

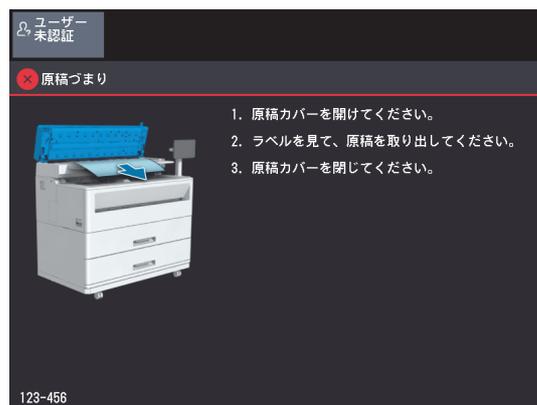
2.2.1 原稿の搬送を中止する

原稿が曲がったり、破れそうなときは、搬送を中止します。

1. 原稿の搬送中に、操作パネル台の〈ストップ〉ボタンを押します。
原稿の搬送が停止します。

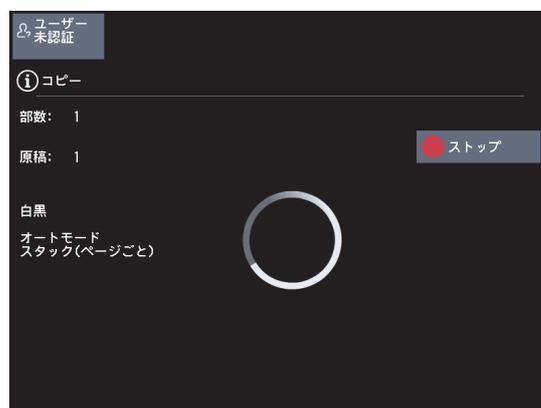
補足 [ストップ] をタップしても、原稿の搬送を中止できます。

2. タッチパネルディスプレイに表示されたメッセージに従って詰まっている原稿を取り除き、原稿をセットし直してください。

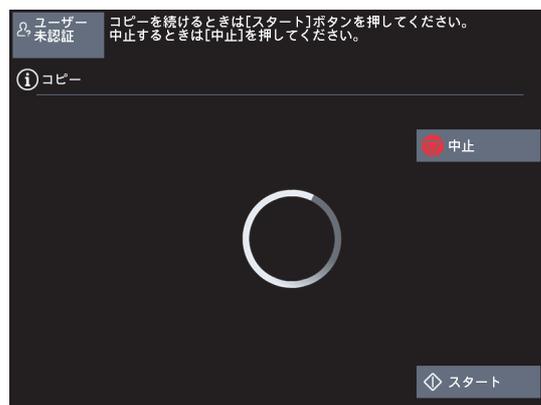


2.2.2 コピーを中止する

1. タッチパネルディスプレイの [ストップ] をタップします。



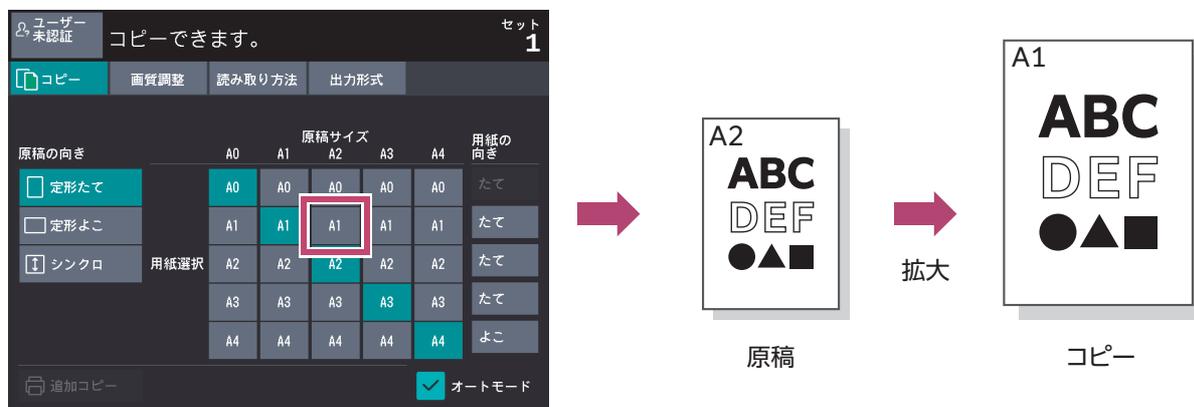
2. [中止] をタップします。



2.3 用紙サイズを指定してコピーする（オートモード）

オートモードは、原稿サイズごとに出力する用紙サイズを対応表（マトリックス）を使って、あらかじめ設定しておくことで、自動的に拡大／縮小してコピーする機能です。

ここでは、A2定形原稿をたて方向に挿入し、A1用紙（A1ロール紙たて向き）に拡大コピー（141.4%）する例を説明します（四角で囲った部分が設定値です）。



1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [オートモード] チェックマークが付いていることを確認します。
3. [原稿サイズ] の [A2] 列と、[用紙選択] の [A1] 行が交わる箇所をタップします。
4. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
5. テンキーでコピー部数を入力します。
6. 原稿をセットします。

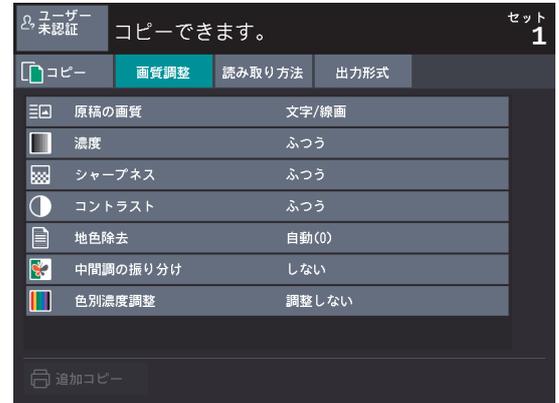


2.4 原稿上の色を編集する

2.4.1 原稿上の指定した色の濃度を変える（色別濃度調整）

カラー原稿をコピーするときに、画像の色別にコピーの濃度を変えることができます。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [画質調整] をタップします。
3. [色別濃度調整] をタップします。
4. [調整する] にチェックマークを付けます。
5. 各色を調整します。
6. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
7. テンキーでコピー部数を入力します。
8. 原稿をセットします。



2.4.2 原稿上の指定した色を削除する（色カット）

カラー原稿上の特定の色の画像を削除してコピーできます。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [画質調整] をタップします。
3. [色別濃度調整] をタップします。
4. [調整する] にチェックマークを付けます。
5. カットしたい色にチェックマークを付けます
6. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
7. テンキーでコピー部数を入力します。
8. 原稿をセットします。



2.5 原稿を最大幅で読み取ってコピーする

[最大幅] を設定すると、最大幅 (914.4 mm) で読み取ってコピーします。非定形サイズの前稿を、読み取り幅を気にせずコピーする場合に便利でず。

- 補足**
- ・この機能は、マニュアルモードのときに働く機能でず。オートモードでは働きません。
 - ・原稿を最大幅で読み取ると、次の機能は正しく機能しない場合があります。
 - コピー位置
 - わく消し
 - 鏡像
 - ネガポジ反転

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [オートモード] からチェックマークを外します



3. [読み取り方法] をタップします。
4. [原稿幅] をタップします。



5. [最大幅] をタップします。
6. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
7. テンキーでコピー部数を入力します。
8. 原稿をセットします。



2.6 手差しで給紙する (手差しコピー)

非定形サイズの内紙や、通常は使用しないサイズの用紙は、手差しテーブルからコピーできます。

- 補足**
- ・指定した用紙と異なるサイズの用紙をセットすると、イメージが欠けたり、余白が付いたりすることがあります。
 - ・手差しコピーをするときは、次の機能は設定できません。
 - コピー位置 (センター移動、コーナー移動)
 - 自動画像回転
 - 仕分け (ソート (1部ごと))
 - 先端後端余白
 - サンプルコピー

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [オートモード] からチェックマークを外します。
3. 手差しの用紙をタップします。



4. [用紙トレイの系列/種類設定] をタップします。

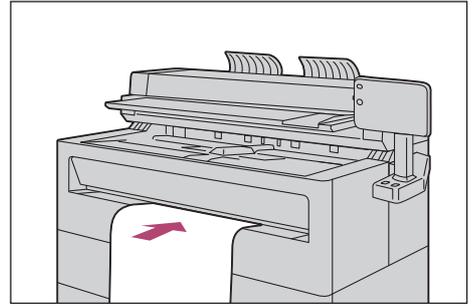


5. [用紙系列]、[用紙種類]、[厚さ] を選択し、[決定] をタップします。
6. 必要に応じて、機能を設定します。
7. 原稿をセットします。
原稿が読み込まれます。



8. 用紙の両端を手差しテーブルの目盛りに合わせ、挿入します。

- 注記**
- ・用紙は 1 枚ずつセットしてください。
 - ・用紙端部がカールしている場合は、両手で用紙のカールを押さえながら挿入してください。
 - ・用紙が搬送されるまで、手を離さないでください。音がしたところで手を離すと、用紙が詰まることがあります。



2.7 長尺原稿をコピーする

A1幅、長さ3,000 mmの原稿を、A1ロール紙に同じ幅と長さでコピーする例を説明します。

1. ホーム画面で【コピー】をタップします。
2. 【オートモード】にチェックマークが付いていることを確認します。
3. 【シンクロ】をタップします。
4. 【原稿サイズ】の【A1】列と、【用紙選択】の【A1】行が交わる箇所が、選択されていることを確認します。
5. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

補足 長尺原稿は原稿の読み込み速度を遅くすると、曲がりにくくすることができます。設定方法については、「2.17.7 原稿読み取り速度（読み取る速度を指定してコピーする）」(P.104)を参照してください。

6. テンキーでコピー部数を入力します。
7. 原稿をセットします。



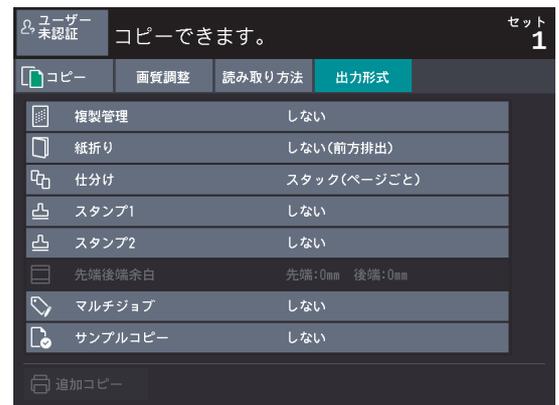
2.8 紙折りしてコピーする

コピーされた用紙をオプションのシンプルフォルダーでジャバラ折に、または標準フォルダーでA4サイズに折ることができます。

- 補足**
- ・この機能は、オプションのシンプルフォルダーまたは標準フォルダーが接続されているときに有効です。
 - ・原稿の入れ方によっては、意図した折り方にならないことがあるので注意してください。
 - ・A系列のサイズ以外の用紙は、紙折りできません。
 - ・手差し給紙の場合は、紙折りできません。
 - ・[用紙種類] が [トレペ] または [フィルム] の場合は、紙折りできません。

参照 紙折りについては、各オプション製品のマニュアルを参照してください。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [出力形式] をタップします。
3. [紙折り] をタップします。



4. 折り方法を選択し、必要に応じて、任意の項目を設定します。

- 参照**
- ・「2.18.3 紙折り（用紙を折って排出する：シンプルフォルダー）」(P.107)
 - ・「2.18.4 紙折り（用紙を折って排出する：標準フォルダー）」(P.109)

5. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
6. 原稿をセットします。

参照 「2.1.3 Step3 コピーを開始する」(P.68)



2.9 複数枚の原稿をコピーする（1部ごとにソート）

複数枚の原稿をコピーするときに、1部ごとにソートして出力できます。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [出力形式] をタップします。
3. [仕分け] をタップします。



4. [ソート (1部ごと)] をタップします。
5. [バナーシート]、[排出順] を選択し、[決定] をタップします。

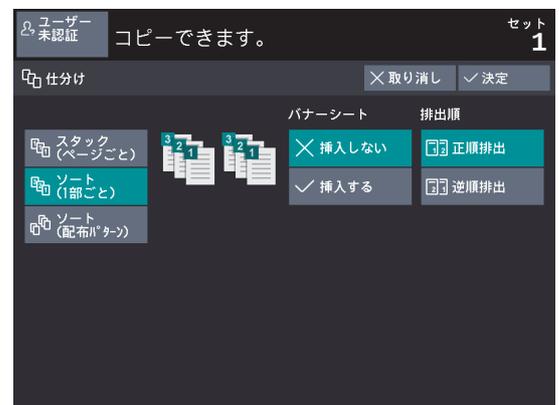
◆ バナーシート

バナーシートを挿入するときは、[挿入する] をタップします。バナーシートには、部数番号と時刻が印字されます。

◆ 排出順

コピー排出順を読み込んだ原稿の順番にするときは [正順排出]、読み込んだ原稿の最終原稿から排出するときは [逆順排出] を選択します。

参照 詳細については、「2.18.5 仕分け（仕分けを指定して排出する）」(P.110) を参照してください。



6. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
7. テンキーでコピー部数を入力します。

8. 1枚めの原稿をセットします。
読み込みがスタートします。

◆ ストップ

コピーを中止します。

◆ 次の原稿なし

すべての原稿を読み終わったらタップします。

◆ 次の原稿あり

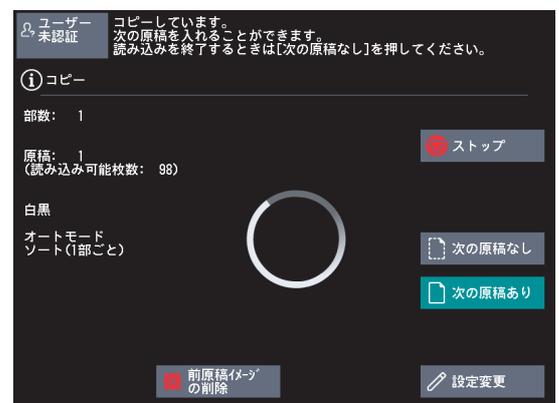
初期状態でこのボタンが選択されています。

◆ 前原稿イメージの削除

直前に読み込んだ原稿のイメージを削除できます。

◆ 設定変更

次の原稿の倍率、画質などの設定を変更できます。



9. 次の原稿をセットします。
さらに原稿が続くときは、この手順を繰り返します。

10. すべての原稿を読み取ったら、[次の原稿なし] をタップします。

2.10 スタンプを付けてコピーする

コピーする用紙に、原稿には記載されていないスタンプ、日付を付けてコピーできます。
スタンプは2つ付けることができます。

スタンプデータは、あらかじめスタンプツールで作成し、本機に転送しておきます。

- 補足**
- ・スタンプ機能を使用するには、ApeosWide 6050 の場合は、オプションの AW6050 スタンプキット、また ApeosWide 3030 の場合は、AW3030 スタンプキットが必要です。
 - ・原稿をセットする方向によっては、意図した位置にスタンプが押されないことがあるので、原稿のセット向きに注意して原稿を入れてください。
 - ・インターネットサービスでスタンプデータ一覧を確認できます。操作方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。
 - ・登録されているスタンプの一覧をプリントすることができます。操作方法については、「1.13.2 機械状態/レポート出力」(P.51) を参照してください。

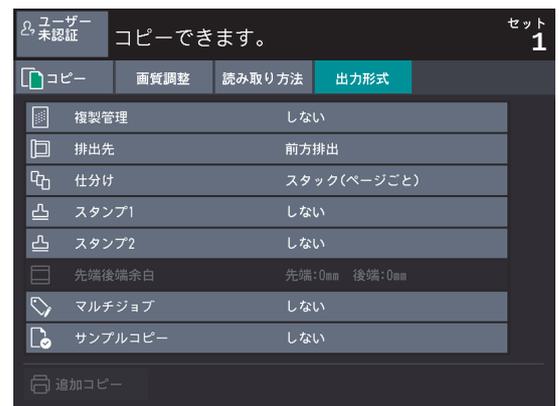
1. スタンプツールでスタンプデータを作成し、本機に転送します。

参照 スタンプデータの作成と、本機への転送方法については、『WideFormat Stamp Tools 操作説明書』を参照してください。

2. ホーム画面で [コピー] をタップします。

3. [出力形式] をタップします。

4. [スタンプ 1] または [スタンプ 2] をタップします。



5. [スタンプ 1] または [スタンプ 2] の [する] をタップします。

6. [登録番号] をタップします。



7. スタンプの番号を選択し、[決定] をタップします。

8. 必要に応じて、任意の項目を設定します。

参照 「2.18.7 スタンプ (スタンプ/日付を付けてコピーする)」 (P.112)



9. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

10. スタンプを2つ付ける場合は、手順5～9を繰り返します。

11. 原稿をセットします。

参照 「2.1.3 Step3 コピーを開始する」 (P.68)



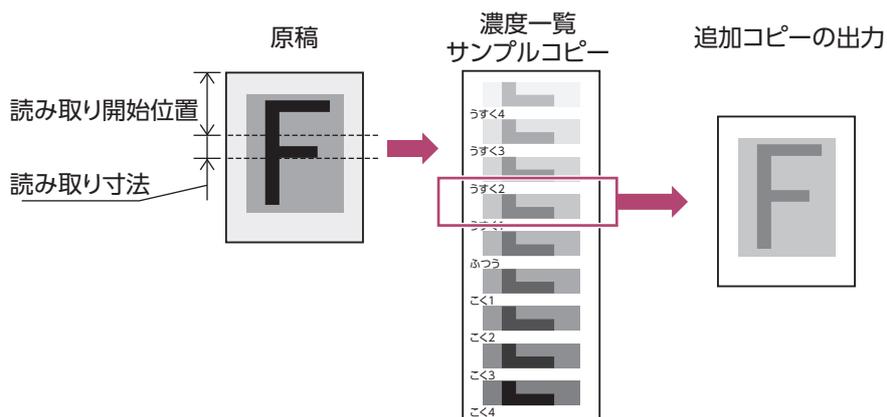
2.11 サンプルコピーをする

最適な状態でコピーするために、原稿の一部分を設定を変えてサンプルとして出力します。コピーする領域は任意に指定できます。指定した領域に対して、縮小／拡大、濃度、原稿の画質など、各種設定を変えて出力できます。濃度は9段階、原稿画質は7種類、地色除去の自動調整は7段階の設定で一覧を出力できます。

- 補足**
- ・ ApeosWide 3030 で、この機能を利用するには、オプションのカラー스キャンメモリーキットが必要です。
 - ・ [原稿の画質] が [印刷写真] または [印画紙写真] のとき、地色除去の地色除去自動一覧は出力できません。
 - ・ 次の場合は、サンプルコピーができません。

ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕分け機能で [ソート (1部ごと)]、または [ソート (配布パターン)] を設定し、次の原稿を [設定変更] しているとき ・ マルチジョブを設定しているとき ・ オートモードにしているとき ・ 手差し給紙しているとき ・ 追加コピーしているとき ・ 割り込みコピーしているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕分け機能で [ソート (1部ごと)] を設定し、次の原稿を [設定変更] しているとき ・ オートモードにしているとき ・ 手差し給紙しているとき ・ 追加コピーしているとき ・ 割り込みコピーしているとき

ここでは、サンプルコピーで濃度一覧を出力し、最適な濃度でコピーする例を説明します。



1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [出力形式] をタップします。
3. [サンプルコピー] をタップします。



4. [濃度一覧] をタップします。
5. 必要に応じて、[読み取り開始位置] と [読み取り寸法] を設定し、[決定] をタップします。

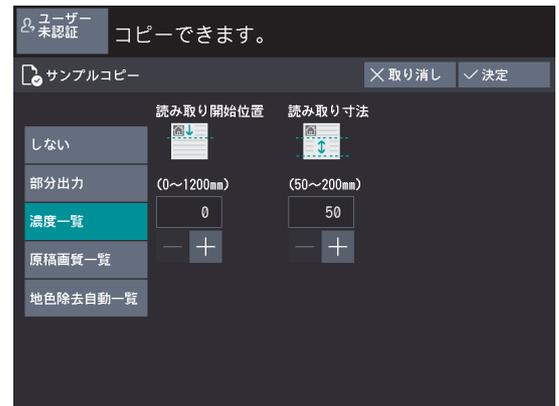
参照 「2.18.9 サンプルコピー（できあがり状態を確認してコピーする）」(P.115)

6. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
7. 原稿をセットします。
設定した内容でサンプルコピーが出力されます。

補足

- ・ サンプルコピーをやり直す場合は、手順 2 ～ 7 を繰り返します。
- ・ サンプルコピーは、1 回ごとに設定が解除されます。サンプルコピーをやり直す場合は、もう一度 [サンプルコピー] をタップします。

8. 最適なコピーが出力されたら、[濃度] の設定を変更します。
9. [追加コピー] をタップし、[スタート] をタップします。
設定した内容で、全体のイメージが出力されます。



2.12 追加コピーをする

追加コピー機能を使うと、もう一度原稿を読み込まなくても、直前にコピーした原稿をコピーすることができます。直前にソート（1部ごと）コピーをした場合は、ソート1セット分が追加コピーされます。

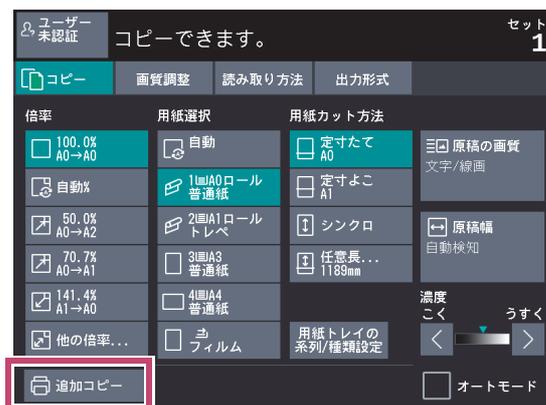
- 補足**
- ・ ApeosWide 6050 で、色別濃度調整の [調整する] にチェックマークを付けてコピーしていたときは、追加コピー中に色別濃度調整を行うことができます。
 - ・ ApeosWide 3030 で、この機能を利用するには、オプションのカラースキャンメモリーキットが必要です。
 - ・ 追加コピー中は、次の操作はできません。

ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録ボタン（登録されている機能の呼び出し） ・ 割り込みコピー ・ サンプルコピー ・ 原稿読み取り速度設定 ・ 仕分け ・ マルチジョブ ・ 複製管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録ボタン（登録されている機能の呼び出し） ・ 割り込みコピー ・ サンプルコピー ・ 色別濃度調整 ・ 原稿読み取り速度設定 ・ 仕分け ・ 複製管理

- ・ 次の操作や状態では、追加コピーは無効になります。
 - [リセット] をタップする、または自動リセット状態になる
 - 電源を切る、または節電状態に移行する
 - 次の原稿をセットする
 - ホーム画面に戻る
 - 割り込みコピーをする
 - 認証を解除する
- ・ 次の場合は、追加コピーができません。

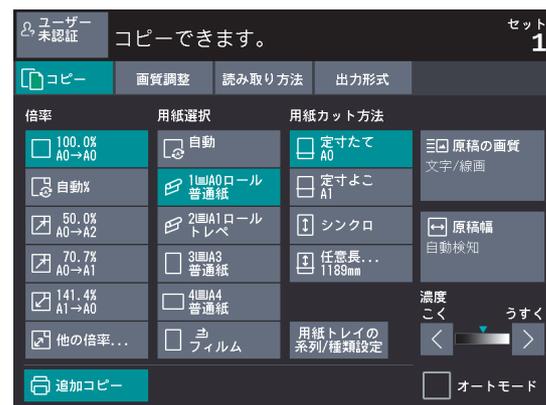
ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
<ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿づまりなどで直前の画像が残っていない場合 ・ 仕分け（配布パターン）をした場合 ・ マルチジョブコピーをした場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿づまりなどで直前の画像が残っていない場合

1. コピーしたあと、[追加コピー] をタップします。



2. 必要に応じて、機能を設定します。

補足 ・ [リセット] をタップすると、設定内容を直前のコピーの状態に戻します。



・ 直前のコピーでソートコピーをした場合は、部数だけが変更できます。



3. テンキーでコピー部数を入力します。

4. [スタート] をタップします。
追加コピーが出力されます。

5. すべての操作が終了したら、もう一度 [追加コピー] をタップします。
追加コピーモードが解除されます。

2.13 割り込んでコピーする

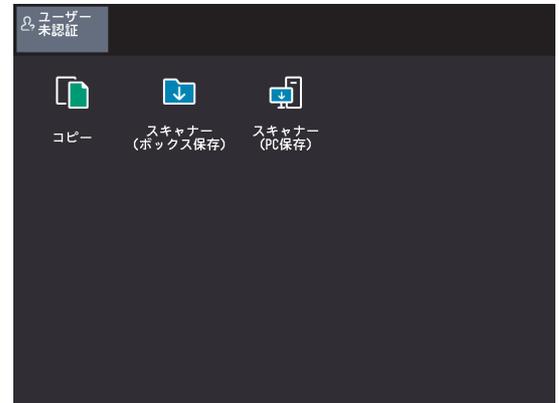
連続したコピーやプリントを一時中断して、急ぎのコピーを取ることができます。中断する前の設定はそのまま保持され、割り込みコピーを解除したときに復元されます。

補足 ・割り込み中は、次の操作はできません。

ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
<ul style="list-style-type: none"> ・ほかのコピーの割り込み ・サンプルコピー ・追加コピー ・仕分け ・マルチジョブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかのコピーの割り込み ・サンプルコピー ・追加コピー ・仕分け

・サンプルコピー中またはスキャン中には、割り込みコピーできません。

1. [割り込み] をタップします。
2. プリント中の場合は、機能選択画面が表示されるので、[コピー] をタップします。
[割り込み] ボタンの色が変わり、割り込み可能な状態になったことを示します。
3. 必要に応じて、機能を設定します。
4. テンキーでコピー部数を入力します。
5. 原稿をセットします。
6. 割り込みコピーが終了したら、[割り込み] をタップします。
割り込み状態が解除され、[割り込み] ボタンの色は元の状態に戻ります。
一時中断していたプリント、またはコピーを再開します。



2.14 [コピー (オートモード)] 画面

[コピー (オートモード)] 画面で設定できる機能について説明します。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [オートモード] にチェックマークが付いていることを確認します。
3. [コピー (オートモード)] 画面で、機能を選択します。



2.14.1 原稿の向き (原稿を挿入する向きを指定する)

原稿をセットする方向を選択します。

原稿の向き (定形たて、定形よこ、シンクロ) ごとに、それぞれの原稿サイズに対する用紙サイズの対応表 (マトリックス) を設定できます。

1. 原稿の向きを選択します。
 - ◆ **定形たて**
定形サイズの原稿をたて方向にセットするときに選択します。
 - ◆ **定形よこ**
定形サイズの原稿をよこ方向にセットするときに選択します。
 - ◆ **シンクロ**
非定形の原稿をセットするときに選択します。

補足 画像の回転はしません。



2.14.2 原稿サイズに対する用紙サイズの対応表 (マトリックス)

原稿サイズに対する用紙サイズを選択します。

オートモードでは、原稿サイズに対する用紙サイズの対応表 (マトリックス) の設定情報を元に、読み込んだ原稿から適切な倍率と用紙トレイを自動的に選択してコピーします。

1. 原稿サイズに対する用紙サイズを選択します。



2.14.3 用紙の向き（出力する用紙の向きを指定する）

出力する用紙の向きを選択します。

本機では、出力する用紙の向きを、用紙サイズごとに設定できます。このことにより、原稿はすべてたて方向に挿入し、折り姿を整えるために、A2サイズだけよこ向きに出力するという使い方が簡単にできます。

1. 各用紙サイズに対応した【用紙の向き】をタップします。

補足 A0用紙の【用紙の向き】は【たて】固定です。



2. 用紙の向きを【たて】、【よこ】、【向き指定なし】から選択します。

◆ たて

定形サイズの用紙をたて方向に出力するときに選択します。

◆ よこ

定形サイズの用紙をよこ方向に出力するときに選択します。



補足 原稿の向きと用紙の向きが異なる場合は、画像の回転方向が設定できます。
たとえば、原稿の向きが【定型たて】で、用紙の向きが【よこ】または【向き指定なし】を選択すると、画像の回転方向が設定できます。

◆ 向き指定なし

原稿と同じ向きを優先して用紙を出力するときに選択します。



2.15 [コピー (マニュアルモード)] 画面

[コピー (マニュアルモード)] 画面で設定できる機能について説明します。

補足 [コピー (マニュアルモード)] 画面の右側に表示される機能は変更できます。設定方法については、「9.4.1 基本コピー画面の表示機能」(P.292) を参照してください。
工場出荷時の値は、[原稿の画質] と [原稿幅] です。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [オートモード] からチェックマークを外します。
3. [コピー (マニュアルモード)] 画面で、機能を選択します。



2.15.1 倍率 (拡大／縮小してコピーする)

倍率を選択して、拡大や縮小コピーができます。

1. 倍率を選択します。
 - ◆ **100.0%**
原稿と同じ大きさをコピーします。
 - ◆ **自動 %**
原稿サイズと用紙サイズの倍率を自動的に計算し、選択した用紙に原稿がおさまる用にコピーします。
補足 [倍率] の [自動 %] と [用紙選択] の [自動] は、同時に設定できません。
 - ◆ **倍率 (3 ~ 5 段目)**
あらかじめ設定されている倍率から選択します。
補足 [コピー (マニュアルモード)] 画面に表示される倍率を変更できます。設定方法については、「9.4.2 プリセットボタンの設定」(P.292) を参照してください。
 - ◆ **他の倍率 ...**
[他の倍率 ...] を選択すると、[倍率] 画面が表示されます。[定形変倍／ズーム]、[たてよこ独立変倍]、[寸法指定変倍] の設定ができます。



■ [定形変倍／ズーム] を選択した場合

あらかじめ設定されている定形の倍率から選択したり、倍率を直接入力したりできます。

1. [倍率] を選択するか、数値を入力します。

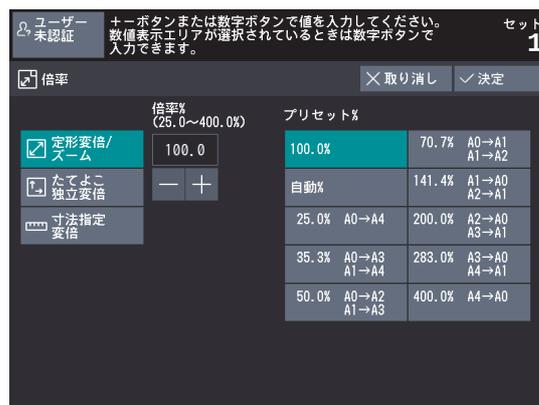
◆ 倍率 %

25.0 ~ 400.0 % の範囲で 0.1 % 単位に設定します。テンキーで数値を入力するか、[+] [-] をタップして数値を設定します。100.0 % に設定すると、原稿と同じ大きさで読み取ります。

◆ プリセット %

次の中から倍率を選択します。

- ・ 100.0%
原稿と同じ大きさでコピーします。
- ・ 定形変倍
あらかじめ設定されている倍率から選択します。



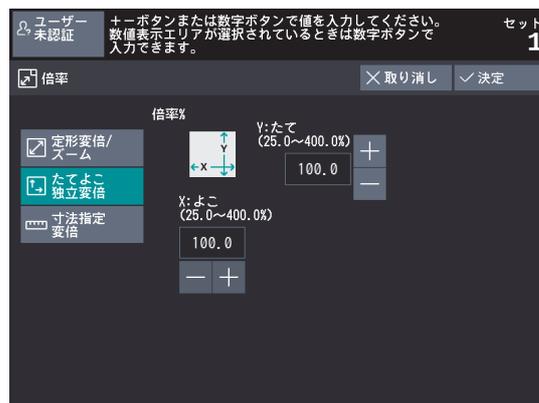
■ [たてよこ独立変倍] を選択した場合

たてとよこに、それぞれ異なる倍率を指定して、たて長やよこ長に変形できます。

1. 数値を入力します。

◆ X: よこ Y: たて

よことたての倍率を 25.0 ~ 400.0 % の範囲で 0.1 % 単位に設定します。数字ボタンで数値を入力するか、[+] [-] をタップして数値を設定します。



■ [寸法指定変倍] を選択した場合

たてとよこをそれぞれ異なる寸法で指定できます。

原稿のサイズとコピー後のサイズをそれぞれ指定すると、入力されたサイズによって、自動的にたてよこ各方向の倍率が計算されます。計算結果は、25.0~400.0 % の範囲内の倍率で計算されます。

1. [X: よこ] の [原稿の寸法] をタップし、テンキーで原稿のよこの値を入力します。

2. [X: よこ] の [コピー寸法] をタップし、テンキーでコピー後のよこの値を入力します。

3. 同様に、[Y: たて] の [原稿の寸法]、[コピー寸法] を入力します。

◆ X: よこ Y: たて

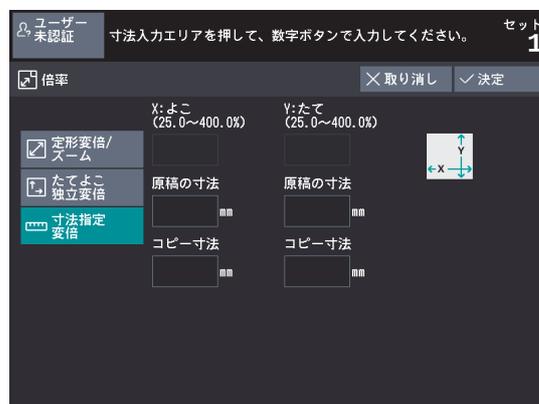
[原稿の寸法]、[コピー寸法] の設定によって自動的に計算された倍率結果が表示されます。

◆ 原稿の寸法

たてとよこの原稿サイズを 1 ~ 9999 mm の範囲で 1 mm 単位に指定します。

◆ コピー寸法

コピー後のたてとよこのサイズを 1 ~ 9999 mm の範囲で 1 mm 単位に指定します。



2.15.2 用紙選択 (コピーする用紙を選択する)

コピーする用紙のトレイを選択します。

1. 用紙のサイズや種類を確認し、トレイを選択します。

◆ 自動

原稿サイズと設定した倍率を基準に、適切な用紙トレイを自動的に選択してコピーします。

補足 [倍率] の [自動 %] と [用紙選択] の [自動] は、同時に設定できません。

◆ 用紙トレイ (2～5 段目)

あらかじめ設定されている用紙トレイから選択します。

◆ 手差し

非定形サイズの内紙や、あまり使わないサイズの内紙を手差しテーブルにセットするときを選択します。

補足 [手差し] を選択した場合は、フォルダー機能は使用できません。

参照 手差しの給紙方法については、「2.6 手差しで給紙する (手差しコピー)」(P.75) を参照してください。



■ 用紙の残量を確認する

用紙トレイの選択項目に表示されるアイコンで、用紙の残量を確認できます。

◆ ロール紙トレイ

- : 用紙が20～100%セットされていることを表します。
- : 用紙の残量が20%以下で、少なくなっていることを表します。
- : 用紙切れまたはセットされていないことを表します。

◆ カット紙トレイ

- : 用紙がセットされていることを表します。
- : 用紙切れまたはセットされていないことを表します。



2.15.3 用紙カット方法（コピーする用紙のカット方法を選択する）

ロール紙をカットする方法を選択します。

- 補足**
- ・ [用紙選択] でカット紙を選択した場合は、用紙カット方法は設定できません。
 - ・ 原稿の向きと用紙カット方法が異なる場合、コピー画像が欠ける場合があります。たとえば、A1 定形原稿をよこ方向に挿入し、用紙カット方法を [定寸たて] に設定して A1 ロール紙にコピーすると、用紙の下部に余白ができ、画像の左右が欠けます。

1. ロール紙のカット方法を選択します。

◆ 定寸たて

ロール紙を定寸たてサイズにカットします。

◆ 定寸よこ

ロール紙を定寸よこサイズにカットします。

◆ シンクロ

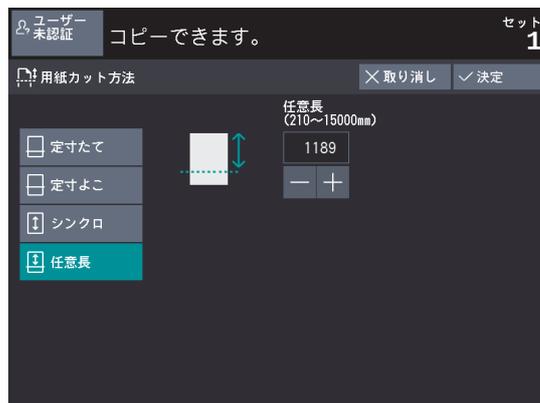
ロール紙を原稿の長さに合わせてカットします。

◆ 任意長

ロール紙を任意に指定した長さにカットします。

用紙の種類が普通紙の場合は 210 ~ 15,000 mm、トレーシングペーパーまたはフィルムの場合は 210 ~ 2,500 mm の範囲で変更できます。指定した長さが原稿長 × コピー倍率よりも小さい場合は、その長さを超える部分はカットされます。大きい場合は、画像の後ろに余白が付きます。

- 補足**
- ・ 用紙サイズごとの [任意長] の初期値を、仕様設定機能で設定できます。設定方法については、「9.4.5 任意長の設定」(P.295) を参照してください。
 - ・ ApeosWide 3030 で、色別濃度調整を行った場合、普通紙の範囲は 210 ~ 7,500 mm になります。



2.15.4 原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）

この機能は、[画質調整] 画面の [原稿の画質] と同じです。

- 参照** 詳細については、「2.16.1 原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）」(P.94) を参照してください。

2.15.5 原稿幅（原稿を最大幅で読み取ってコピーする）

この機能は、[読み取り方法] 画面の [原稿幅] と同じです。

- 参照** 詳細については、「2.17.1 原稿幅（原稿を最大幅で読み取ってコピーする）」(P.99) を参照してください。

2.15.6 濃度 (コピーの濃度を調整する)

コピーの濃度を、9段階で調整できます。[▼] が、左方向に近づくほど色を濃く、右方向に近づくほど色を薄くコピーします。

補足 [画質調整] 画面の [濃度] でも設定できます。

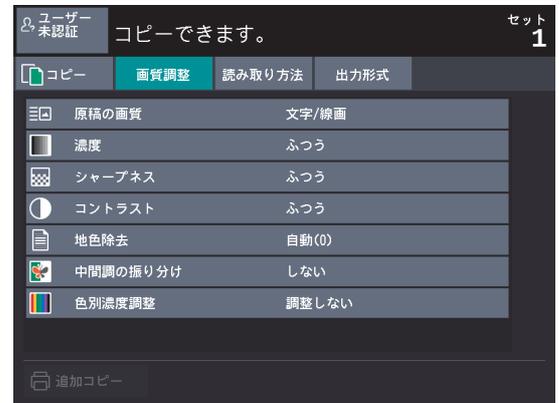
1. [◀] [▶] で、濃度を調整します。



2.16 コピー - [画質調整] 画面

[画質調整] 画面で設定できる機能について説明します。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [画質調整] 画面で、機能を選択します。



2.16.1 原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）

写真原稿、文字原稿などをコピーする場合は、それぞれの原稿に適した画質でコピーできます。図面などの文字線画で構成されている多くの原稿は、[文字/線画] を選択することで、最適の画質でコピーできます。より専門的にコピーしたいときに、ほかの画質を選択することをお勧めします。

補足 [地色除去] で [する (自動)] を選択した場合は、[印刷写真] または [印画紙写真] は設定できません。

1. [原稿の画質] をタップします。
2. 原稿の画質を選択します。

◆ 文字/線画

文字をはっきりコピーするときに選択します。
グラフ、イラストなどの場合も、はっきりとしたコピーになります。

◆ 文字/写真

文字と写真が混在した原稿をコピーするときに選択します。

◆ 印刷写真

原稿の写真部分が、パンフレットなど印刷物の場合に選択します。

◆ 印画紙写真

写真をコピーするときに選択します。

◆ 青焼き

比較的下地の色の濃い青焼き原稿をコピーするときに選択します。

◆ 透過

透過原稿をコピーするときに選択します。文字のまわりのにじみを抑えます。



◆ 濃淡むら原稿

切り貼りなどで下地の色の濃度に変化している原稿をコピーするときを選択します。

選択すると、[原稿の画質] 画面が表示されます。濃淡むら原稿のむらの大きさを 80 段階で調整できます。

- 補足**
- ・濃淡むら原稿は、文字線画の原稿を対象にしています。ポスターなどの写真原稿には使用しないでください。
 - ・むらの大きさの設定によって効果が変わるため、必ず仕上がり結果を確認してください。
 - ・むらの大きさの初期値を、仕様設定機能で設定できます。設定方法については、「9.4.12 詳細設定」(P.301) を参照してください。



2.16.2 濃度

コピーの濃度を調整してコピーできます。

1. [濃度] をタップします。
2. [濃度] を調整します。
[うすく] ~ [こく] の間で、9 段階の濃度を選択できます。
[こく] に近づくほど色を濃く、[うすく] に近づくほど色を薄くコピーします。

- 補足** [コピー (マニュアルモード)] 画面の [濃度] でも設定できます。



2.16.3 シャープネス

画像のシャープさを調整してコピーできます。

1. [シャープネス] をタップします。
2. [シャープネス] を調整します。
[つよく] ~ [よわく] の間で、5 段階のシャープさを選択できます。
[つよく] に近づくほど画像の輪郭が強調されます。[よわく] に近づくほど画像の輪郭をぼかしたようになります。



2.16.4 コントラスト

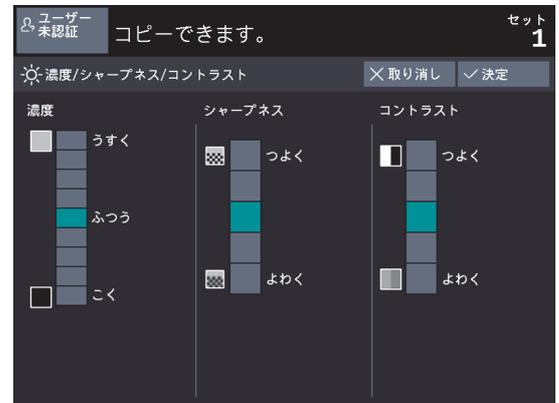
コントラストを調整してコピーできます。

1. [コントラスト] をタップします。

2. [コントラスト] を調整します。

[つよく] ~ [よわく] の間で、5段階のコントラストを選択できます。

[つよく] に近づくほど明るい部分がより明るくなり、暗い部分がより暗くなり、明暗の差が広がります。[よわく] に近づくほど明るい部分と暗い部分の差がなくなります。



2.16.5 地色除去（原稿の背景にある色を除去する）

青焼き原稿などの下地の色を除去してコピーします。

補足 [原稿の画質] で [印刷写真] または [印画紙写真] を選択した場合は、[する（自動）] は設定できません。

1. [地色除去] をタップします。
2. [しない]、[する（自動）]、[する（手動）] のどれかを選択します。

◆ しない

原稿の下地の色はそのままコピーします。



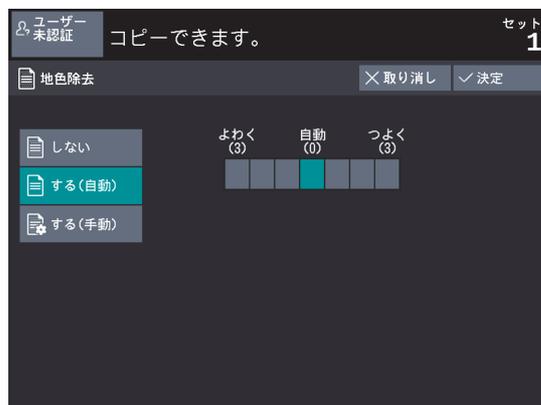
◆ する（自動）

原稿の下地の色を自動的に除いてコピーします。

[よわく] ~ [つよく] の間で7段階で調整できます。

[つよく] に近づくほど下地の色を消す度合いが多くなり、[よわく] に近づくほど下地の色をそのまま残します。

補足 [する（自動）] にして、画像が欠けたり、下地の色が残ったりする場合は、[する（手動）] にしてマニュアル調整をするか、[濃度] を調整してください。



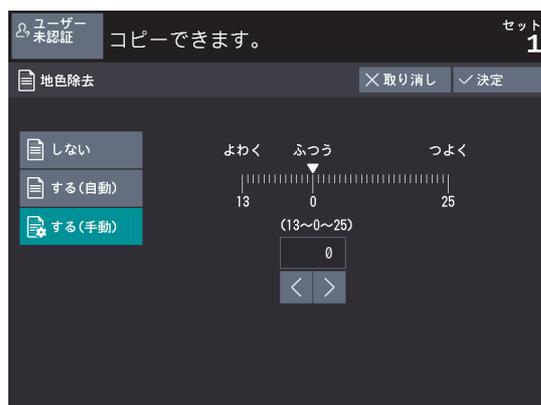
◆ する（手動）

原稿の下地の色を一律に除いてコピーします。

[よわく] ~ [つよく] の間で39段階で調整できます。

補足 次の原稿は、[しない] か [する（手動）] にしてマニュアル調整をしてください。

- 写真/ポスター原稿/カラー原稿
- 複雑に入り組んだような原稿
- ドキュメントキャリアにはさんだ原稿
- 部分的に下地の色より文字/線の像の方が
- 多いような密度の高い原稿



2.16.6 中間調の振り分け（原稿の中間調を振り分ける）

階調のある原稿に対して、擬似階調で表現するか、2値化に振り分けて表現するかを選択します。

通常は、階調のある原稿を擬似階調で表現しますが、中間調の振り分けで「する」を選択すると、階調を2値化に振り分けて表現します。

1. 「中間調の振り分け」をタップします。
2. 「しない」または「する」を選択します。

- ◆ **しない**
擬似階調で表現してコピーします。
- ◆ **する**
階調を2値化に振り分けてコピーします。
黒か白に振り分けるときのしきい値を設定します。



2.16.7 色別濃度調整（色別に濃度を調整する）

カラー原稿の色別に濃度を調整して、強調や消しこみができます。

- 補足**
- ・ ApeosWide 3030 で、この機能を利用するには、オプションのカラースキャンメモリーキットが必要です。
 - ・ ApeosWide 3030 で、色別濃度調整を行った場合、原稿読み取り速度は設定できません（超低速（33.8 mm/秒）固定となります）。

1. 「色別濃度調整」をタップします。
2. 各色の濃度を調整します。

- ◆ **調整する**
色別濃度調整を設定するときに、チェックマークを付けます。
赤、黄、緑、水色、青、紫、黒の色別に9段階の濃度を設定できます。
- ◆ **色をカットする**
各色にチェックマークを付けると、その色をカットできます。



2.17 コピー - [読み取り方法] 画面

[読み取り方法] 画面で設定できる機能について説明します。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [読み取り方法] 画面で、機能を選択します。



2.17.1 原稿幅（原稿を最大幅で読み取ってコピーする）

原稿を最大幅（914.4 mm）で読み取ります。

- 補足**
- ・この機能は、マニュアルモードのときに働く機能です。オートモードでは働きません。
 - ・原稿を最大幅で読み取ると、次の機能は正しく機能しない場合があります。
 - コピー位置
 - わく消し
 - 鏡像
 - ネガポジ反転

1. [原稿幅] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。

◆ 自動検知

原稿サイズを自動で認識します。ApeosWide 3030 の場合、検知するサイズ系列を選択します。

- 補足**
- ・ApeosWide 6050 で、[自動検知] のときに検知するサイズ系列は、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「原稿サイズ検知切り換え (ApeosWide 6050)」(P.286) を参照してください。

- ・ApeosWide 3030 の場合、特 A 系列のサイズは、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「特 A 系列のサイズ設定」(P.286) を参照してください。

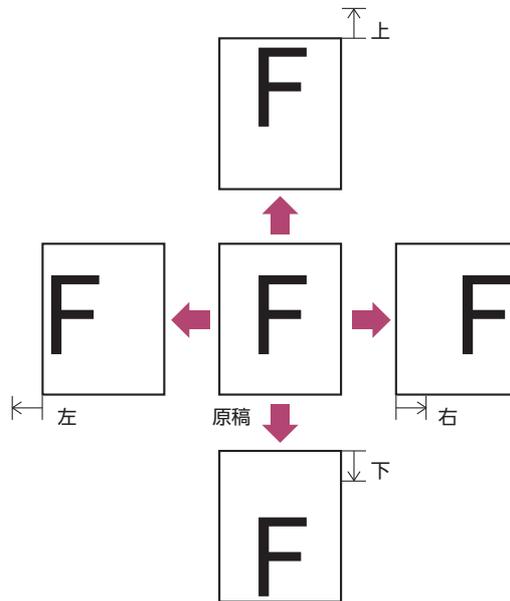


◆ 最大幅

原稿を最大幅（914.4 mm）で読み取ります。

2.17.2 コピー位置（画像の位置を移動してコピーする）

原稿イメージの位置を上下左右へ移動したり、原稿の中心を用紙の中心へ移動したりしてコピーできます。また、上下左右に余白（とじしろ）を付けて、コピーすることもできます。



- 補足**
- ・イメージの移動量は、用紙に対して設定されます。[倍率] で拡大／縮小を設定していても、コピー位置で設定したとおりに出力されます。
 - ・[用紙カット方法] の設定によっては、コピー位置の移動によってはみ出した画像部分はカットされます。
 - ・[先端／後端余白] を設定した場合は、[コピー位置] は設定できません。

1. [コピー位置] をタップします。
2. 任意の項目を設定します。

◆ **移動しない**

原稿イメージの位置を移動しません。



◆ **センター移動**

原稿の中心が用紙の中心に合うように移動します。



◆ コーナー移動

原稿イメージを用紙の端または各コーナーに移動します。移動する方向は、8種類から選択できます。



◆ 移動量調整

移動量を設定できます。最大で上下0～999 mm、左右0～500 mmの範囲で1 mm単位で移動できます。

補足 テンキーで数値を入力するか、[<] [>] をタップして数値を設定してください。



2.17.3 読み取り開始位置 (原稿を読み取りはじめる位置を設定する)

原稿を読み取りはじめる位置を設定します。

補足 [倍率] を設定している場合は、倍率に比例して、読み取り開始位置も拡大／縮小されます。

1. [読み取り開始位置] をタップします。
2. 原稿の先端から 999 mm の範囲で 1 mm 単位で設定します。



2.17.4 わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してコピーする）

縁取りのある原稿をコピーするときに、用紙の周りに黒い影ができることがあります。このような場合に、影を消してコピーできます。

- 補足**
- ・ [倍率] を設定している場合は、倍率に比例して、わく消し量も拡大／縮小されます。
 - ・ わく消しの幅を [0mm] に設定しても全面コピーできません。実際にコピーできる領域については、「画像欠け幅*⁵」(P.333) を参照してください。

1. [わく消し] をタップします。

2. 任意の項目を選択します。

◆ **標準**

上下／左右のわく消し量は 0 mm に設定されます。



◆ **4 辺同一**

原稿の上下左右の影を消します。わく消しの幅は、0 ～ 50 mm の範囲で 1 mm 単位に指定します。



◆ **4 辺独立**

原稿の上下左右の影を消します。上消し、下消し、左消し、右消しの 4 種類を、個別に必要な量だけ消すことができます。わく消しの幅は、0 ～ 50 mm の範囲で 1 mm 単位に指定します。



2.17.5 鏡像（画像を反転してコピーする）

原稿イメージの左右を反転してコピーします。

補足 原稿サイズが出力する用紙サイズよりも小さい場合には余白ができます。

1. [鏡像] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。
原稿イメージの左右を反転します。

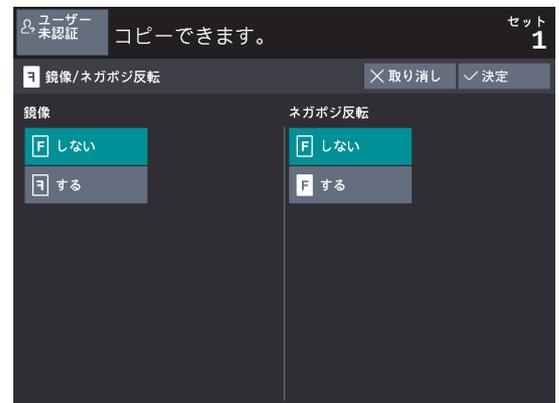


2.17.6 ネガポジ反転（画像を反転してコピーする）

原稿イメージの濃度（明度）を黑白反転してコピーします。

補足 ・ [ネガポジ反転] と [わく消し] を同時に設定したとき、わく消し領域は「白」になります。
・ 原稿サイズが出力する用紙サイズよりも小さい場合には余白ができます。

1. [ネガポジ反転] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。
原稿イメージの濃度（明度）を黑白反転します。



2.17.7 原稿読み取り速度（読み取る速度を指定してコピーする）

ゆっくり確実に操作するときには、原稿を読み込む速度を調整します。

◆ ApeosWide 6050 の場合

1. [原稿読み取り速度] をタップします。
2. 原稿読み取り速度を選択します。
 - ◆ **高速**
通常速度（152.4 mm/ 秒）で読み込みます。
 - ◆ **中速**
原稿の読み込み速度が、高速の 1/2 になります。
 - ◆ **超低速**
原稿の読み込み速度が、高速の 1/6 になります。



◆ ApeosWide 3030 の場合

1. [原稿読み取り速度] をタップします。
2. 原稿読み取り速度を選択します。
 - 補足** 色別濃度調整を行った場合、原稿読み取り速度は設定できません（超低速（33.8 mm/ 秒）固定となります）。
 - ◆ **高速**
通常速度（101.6 mm/ 秒）で読み込みます。
 - ◆ **低速**
原稿の読み込み速度が、高速の 1/2 になります。



2.17.8 自動画像回転（画像の回転方向を設定する）

自動的に原稿の画像が回転する場合の回転方向を選択します。

補足 この機能は、[用紙選択] が [自動] のときに有効です。

1. [自動画像回転] をタップします。
2. 画像の回転方向を選択します。
 - ◆ **時計回り**
時計回りに画像を回転させます。
 - ◆ **反時計回り**
反時計回りに画像を回転させます。



2.18 コピー - [出力形式] 画面

[出力形式] 画面で設定できる機能について説明します。

1. ホーム画面で [コピー] をタップします。
2. [出力形式] 画面で、機能を選択します。

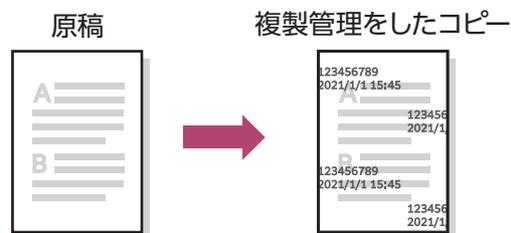


2.18.1 複製管理 (背景に文字列を印字してコピーする)

コピー全体の背景に、文字列を印字できます。

たとえば、[管理番号] で開始番号を「1」に設定すると、1部めのすべてのページには「1」、2部めのすべてのページには「2」が印字されます。

会議で配布する機密文書などの複写を防止するため、配布するコピーと配布した人を関連づけるための通し番号として利用できます。



1. [複製管理] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。

◆ 向き

設定した複製管理の文字列の向きを、時計回りに回転させる角度を設定します。

[自動] を選択すると、仕様設定機能で設定した用紙サイズ別の印字する文字列の向きが採用されます。

参照 設定方法については、「9.4.10 複製管理向き自動時の設定」(P.300)を参照してください。



◆ 管理番号

管理番号を印字するかしないかを設定します。
 [付ける] を選択した場合、開始番号を 1 ~ 999 の間で入力します。



◆ 文字列

文字列を印字するかしないかを設定します。
 [付ける] を選択した場合、複製管理に使用する文字を選択できます。あらかじめ設定されている 9 種類の文字列から指定できます。
 指定できる文字列は、「禁複写」、「コピー」、「複写」、「取扱注意」、「機密」、「重要」、「持出厳禁」、「社外秘」、または「CONFIDENTIAL」です。



◆ 日時

コピーした日時を印字するかしないかを設定します。



◆ シリアル番号

本機のシリアル番号を印字するかしないかを設定します。



◆ ユーザー登録 No.

ユーザー登録番号を印字するかしないかを設定します。ユーザー登録番号は、認証機能を使用しているときに設定できます。



2.18.2 排出先 (用紙の排出先を指定する)

オプションのシンプルフォルダー、標準フォルダーが接続されていないときに、用紙の排出先を設定します。

1. [排出先] をタップします。

- 補足**
- ・ ApeosWide 6050 に、オプションのシンプルフォルダーまたは標準フォルダーが接続されていない場合に、[排出先] が表示されます。
 - ・ ApeosWide 3030 に、オプションのシンプルフォルダーまたは標準フォルダーが接続されておらず、後方排出切り替えキット (オプション) が装着されている場合に、[排出先] が表示されます。

2. 任意の項目を選択します。

◆ 前方排出

前方の排出口から用紙を排出します。

◆ 後方排出

後方の排出口から用紙を排出します。



2.18.3 紙折り (用紙を折って排出する：シンプルフォルダー)

オプションのシンプルフォルダーが接続されているときの、紙折り方法を設定します。

- 補足**
- ・ A 系列のサイズ以外の用紙は、紙折りできません。
 - ・ 手差し給紙の場合は、紙折りできません。
 - ・ [用紙種類] が [トレペ] または [フィルム] の場合は、紙折りできません。

1. [紙折り] をタップします。

- 補足** オプションのシンプルフォルダーが接続されている場合に、[紙折り] が表示されます。

2. 任意の項目を選択します。

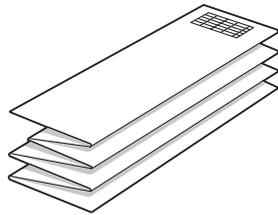
◆ **しない**

紙折りしないでコピーします。
 排出先として、[前方排出] または [後方排出] のどちらかを選択します。



◆ **ファン**

仕上がりサイズが A4 (用紙方向がたてのとき: 210 mm、用紙方向がよこのとき: 297 mm) で紙折りされます。



◆ **クロス**

210 mm 幅または 297 mm 幅で均等に紙折りされ、A4 サイズ (210 mm×297 mm) の大きさに仕上がります。



◆ **170mm**

折り幅が 170 mm に仕上がるように紙折りされます。



ファン折りの場合、次の仕上がりサイズ、とじしろが設定できます。

◆ **仕上がりサイズ**

紙折りしたプリントは A4 サイズですが、±5 mm で調整できます。[205mm]、[210mm]、[215mm] から選択します。

◆ **とじしろ量**

ファン折りのときにプリントの左側にとじしろを設定できます。
 とじしろ量を [しない]、[20mm]、[25mm]、[30mm]、[50mm] から選択します。とじしろを設定しない場合は、[しない] を選択してください。

2.18.4 紙折り（用紙を折って排出する：標準フォルダー）

オプションの標準フォルダーが接続されているときの、紙折り方法を設定します。

- 補足**
- ・ A 系列のサイズ以外の用紙は、紙折りできません。
 - ・ 手差し給紙の場合は、紙折りできません。
 - ・ [用紙種類] が [トレペ] または [フィルム] の場合は、紙折りできません。

1. [紙折り] をタップします。

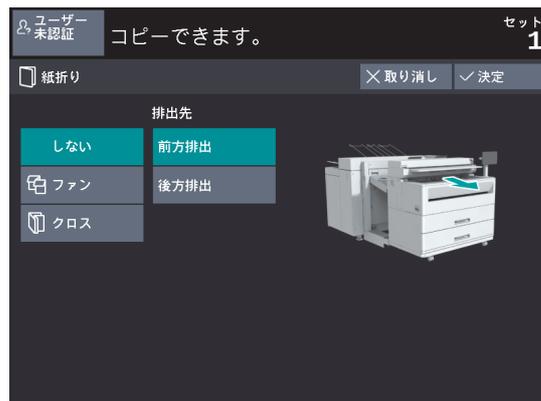
補足 オプションの標準フォルダーが接続されている場合に、[紙折り] が表示されます。

2. 任意の項目を選択します。

◆ しない

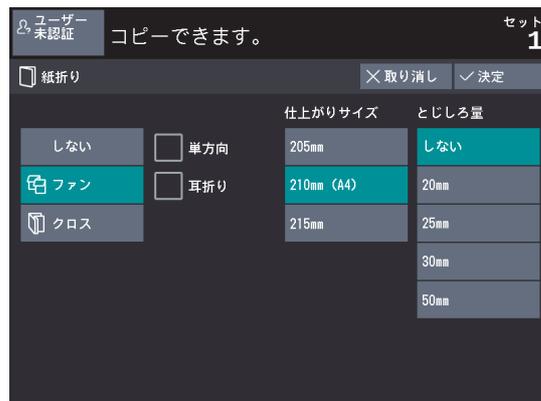
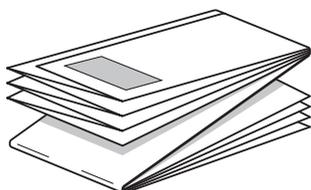
紙折りしないでコピーします。

排出先として、[前方排出] または [後方排出] のどちらかを選択します。



◆ ファン

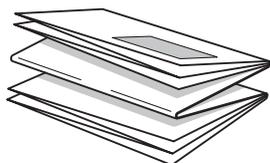
仕上がりサイズが A4（用紙方向がたてのとき：210 mm、用紙方向がよこのとき：297 mm）で、ファイルに綴じたまま、開くことができるように紙折りされます。



補足 長尺コピーの場合は、単方向（ジャバラ折り（第1折り））だけを行います。

◆ クロス

210 mm 幅または 297 mm 幅で均等に紙折りされ、A4 サイズ（210 mm×297 mm）の大きさに仕上がります。[単方向] をするかしないかを指定できます。



それぞれの折り方によって、次の追加折り、仕上がりサイズ、とじしろが設定できます。

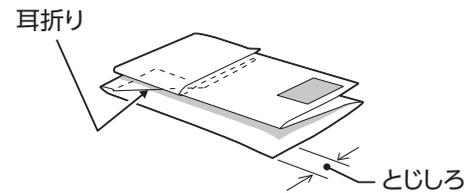
補足 クロス折りの場合は、[耳折り]、[仕上がりサイズ]、[とじしろ量] は選択できません。

- ◆ **単方向**
ジャバラ折り（第1折り）だけをするときに指定します。
- ◆ **耳折り**
A2 の場合に、とじしろ側（耳側）の上から 115×115 mm を折り返します。
- ◆ **仕上がりサイズ**
紙折りしたプリントは A4 サイズですが、±5 mm で調整できます。
[205mm]、[210mm]、[215mm] から選択します。

補足 クロスの仕上がりサイズは 210 mm 固定です。

- ◆ **とじしろ量**
ファン折りのときにプリントの左側にとじしろを設定できます。
とじしろ量を [しない]、[20mm]、[25mm]、[30mm]、[50mm] から選択します。
とじしろを設定しない場合は、[しない] を選択してください。

補足 ファン折りのときにとじしろ量を [しない] に設定すると、折り位置ととじしろとが重なります。



2.18.5 仕分け（仕分けを指定して排出する）

コピーの排出方法を設定します。

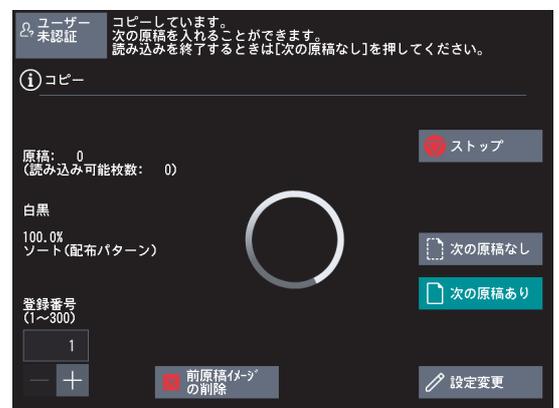
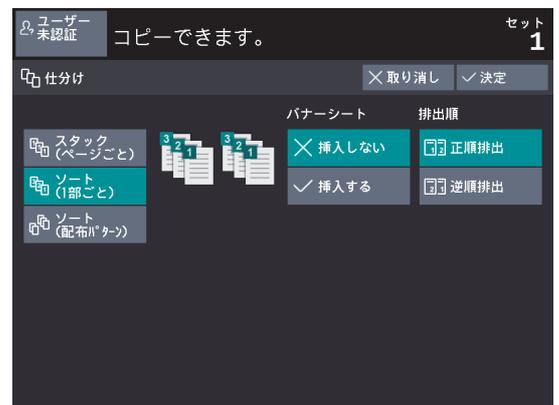
1. [仕分け] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。

- ◆ **スタック（ページごと）**
コピーした用紙をページごとにまとめて、指定した部数を排出できます。
- ◆ **ソート（1部ごと）**
コピーした用紙を 1 部ごとにまとめて、ページ順に並べて排出できます。

- ◆ **ソート（配布パターン）（ApeosWide 6050）**
あらかじめ登録された配布パターンに応じて、仮定の配布先（ビン）ごとにまとめて、ページ順に並べて排出できます。
コピー時には、この配布パターン番号を原稿をセットするごとに指定します。

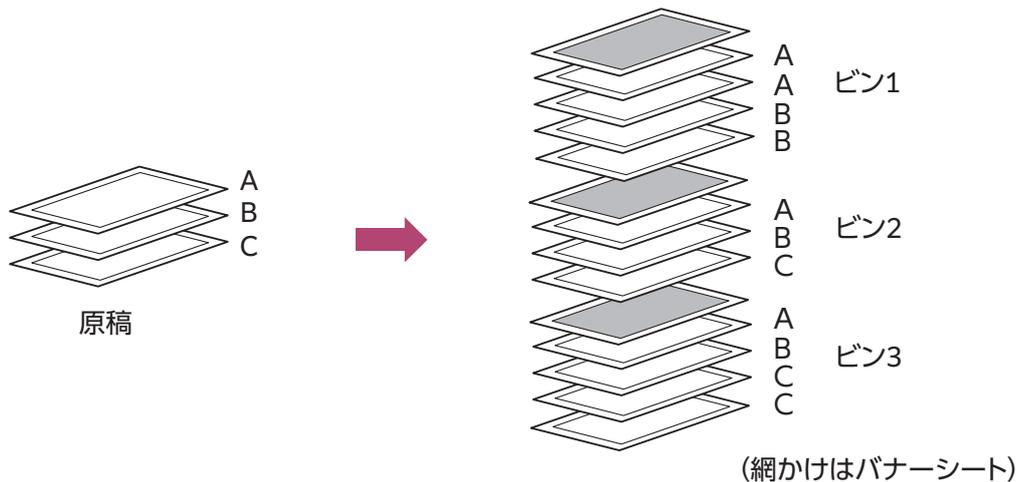
仮想配布数（ビン番号）は最大 40、パターン数は最大 300 登録できます。仕分け出力できる原稿枚数は最大 800 です。

参照 配布パターンの登録については、「6.1.1 配布パターン（ApeosWide 6050）」（P.191）を参照してください。



たとえば、原稿 ABC に対して、それぞれ次の表の配布パターン 001、002、003 を適用すると、次のように排出されます。

配布パターン番号	仮定の配布先 (ビン番号)		
	ビン1	ビン2	ビン3
001	2	1	1
002	2	1	1
003	0	1	2



◆ バナーシート

[ソート (1 部ごと)] または [ソート (配布パターン)] (ApeosWide 3030 の場合は、[ソート (1 部ごと)]) を選択したときに、バナーシートを挿入できます。バナーシートには、部数番号と時刻が印字されます。

補足 バナーシートのトレイと用紙の長さは、設定することができます。「9.4.12 詳細設定」(P.301) を参照してください。

◆ 排出順

[ソート (1 部ごと)] または [ソート (配布パターン)] (ApeosWide 3030 の場合は、[ソート (1 部ごと)]) を選択したときに、コピー排出順を読み込んだ原稿の順番 (正順排出) にするか、読み込んだ原稿の最終原稿から排出 (逆順排出) するかを選択します。

2.18.6 先端後端余白（原稿の前後に余白を付けてコピーする）

原稿の前後に余白を付けてコピーします。

補足 この機能は、[用紙カット方法] が [シンクロ] のときに有効です。

1. [先端後端余白] をタップします。
2. 任意の項目を設定します。

◆ 先端余白／後端余白

先端、後端の余白は、0～999 mm の範囲で 1 mm 単位で設定します。



2.18.7 スタンプ（スタンプ／日付を付けてコピーする）

用紙に、スタンプ、日付を付けてコピーできます。

補足 ・スタンプ機能を使用するには、ApeosWide 6050 の場合はオプションの AW6050 スタンプキット、また ApeosWide 3030 の場合は AW3030 スタンプキットが必要です。
・拡大／縮小の設定をしても、スタンプや文字の大きさは変更されません。

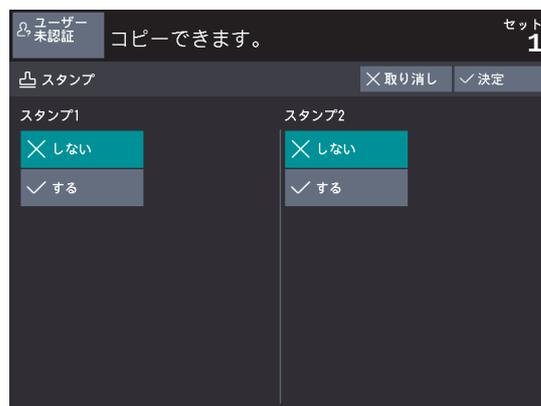
1. [スタンプ 1] または [スタンプ 2] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。

◆ しない

スタンプを付けません。

◆ する

スタンプを付けます。



◆ 登録番号

[スタンプ 1- 登録番号] / [スタンプ 2- 登録番号] 画面が表示されます。

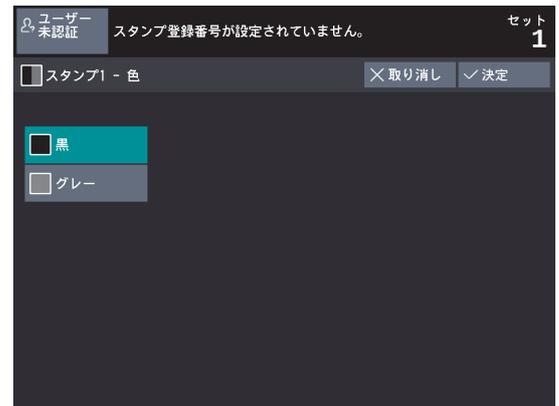
スタンプの番号を選択します。



◆ 色

[スタンプ1-色] / [スタンプ2-色] 画面が表示されます。
黒またはグレーを選択します。

補足 グレーの濃度を設定できます。詳細については、
「9.3.10 詳細設定」(P.288) を参照してください。



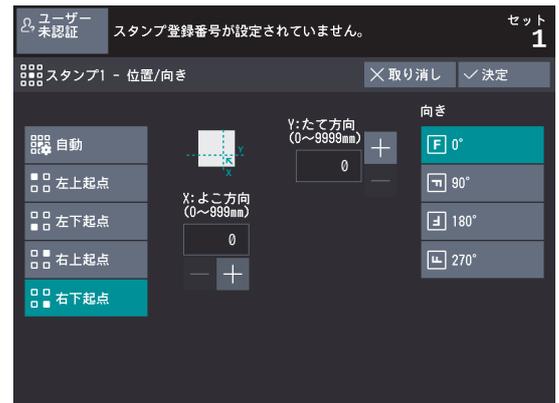
◆ 位置/向き

[スタンプ1-位置/向き] / [スタンプ2-位置/向き] 画面が表示されます。

[自動] を選択すると、仕様設定機能で設定したスタンプの向きと位置が採用されます。

参照 設定方法については、「9.4.9 スタンプ位置自動時の設定」(P.298) を参照してください。

[左上起点]、[左下起点]、[右上起点]、[右下起点] を選択すると、[向き] (0°、90°、180°、270°)、[スタンプの位置] (たて方向：0 ~ 9,999 mm、よこ方向：0 ~ 999 mm) を設定できます。

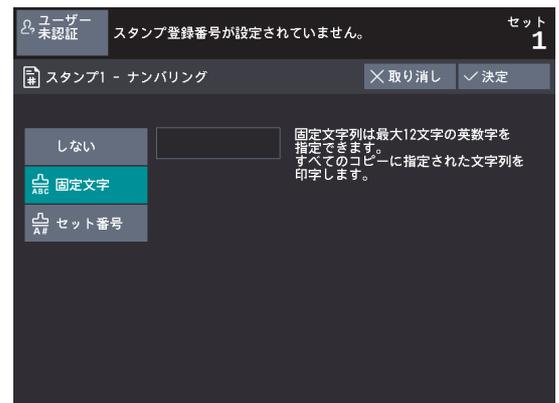


◆ ナンバリング

[スタンプ1-ナンバリング] / [スタンプ2-ナンバリング] 画面が表示されます。

[固定文字] を選択すると、すべてのコピーに同じ英数文字 (12桁の任意文字) が印字されます。

[セット番号] を選択すると、固定文字と自動連番を印字します (上位8桁が固定文字、下位4桁が自動連番)。この設定は、仕分けを選択したときにだけ有効です。



◆ 日付

[スタンプ1-日付] / [スタンプ2-日付] 画面が表示されます。

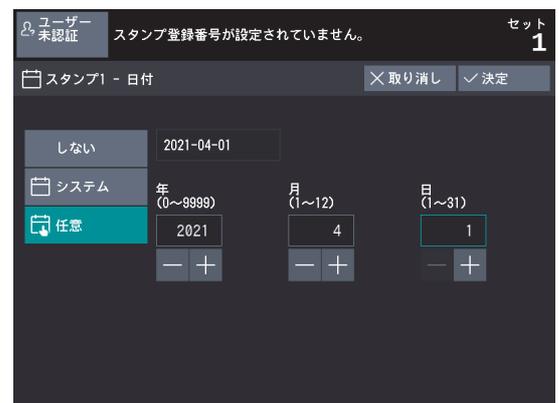
日付を付けて、コピーできます。

[システム] を選択すると、機械に内蔵されているカレンダーに合わせて日付が設定されます。

[任意] を選択すると、仕様設定機能で設定したスタンプの日付書式で日時を設定できます。

補足 ナンバリング、日付は、14ポイント、ゴシック体固定で印字されます。

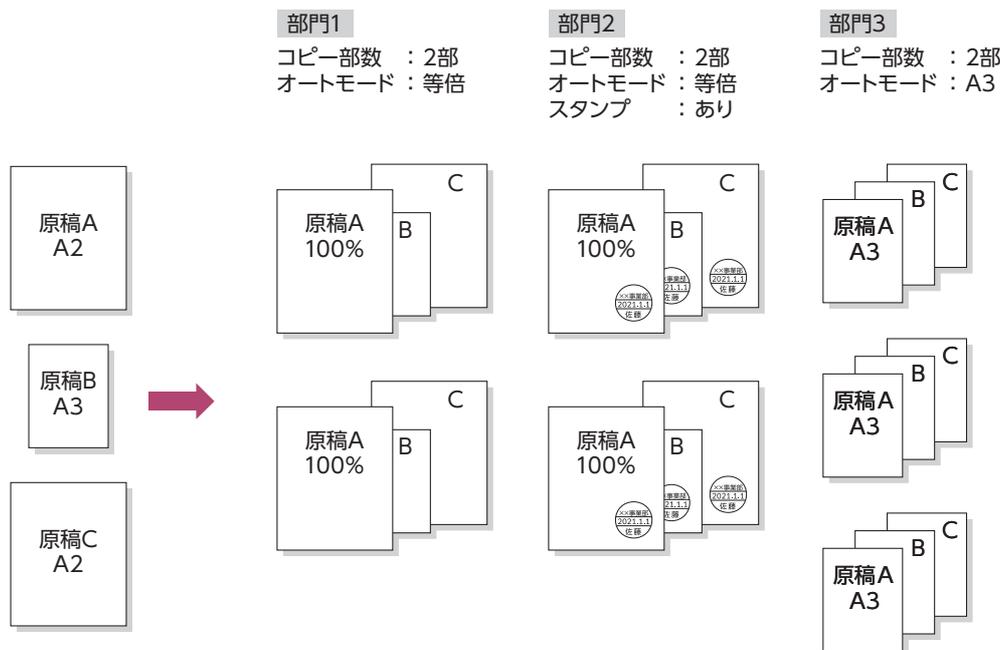
参照 スタンプの日付書式の設定については、「9.4.8 スタンプ日付書式の設定」(P.298) を参照してください。



2.18.8 マルチジョブ（マルチジョブメモリーを適用して仕分け排出する）（ApeosWide 6050）

複数部数をコピーするときに、仮定の配布先（ビン）ごとにジョブメモリーを適用して仕分け出力します。マルチジョブメモリーには、[コピー部数]、[倍率]、[用紙選択]、[スタンプ]、[紙折り]（紙折りがある場合）、[排出先]（紙折りが無い場合）が設定できます。仮想配布数（ビン番号）は20まで登録できます。原稿枚数×選択マルチジョブ数は、最大800です。

マルチジョブには、バナーシートを挿入できます。バナーシートには、部数番号と時刻が印字されます。



- 補足**
- ・この機能は、ApeosWide 6050 でだけ使用できます。
 - ・バナーシートのサイズは、仕様設定機能で設定できます。設定方法については、「9.4.12 詳細設定」(P.301)を参照してください。

参照 ジョブメモリーについては、「4 ジョブメモリー」(P.155)を参照してください。

1. [マルチジョブ] をタップします。

2. 任意の項目を選択します。

◆ マルチジョブ

あらかじめ登録されたマルチジョブメモリーが表示されます。

◆ バナーシート

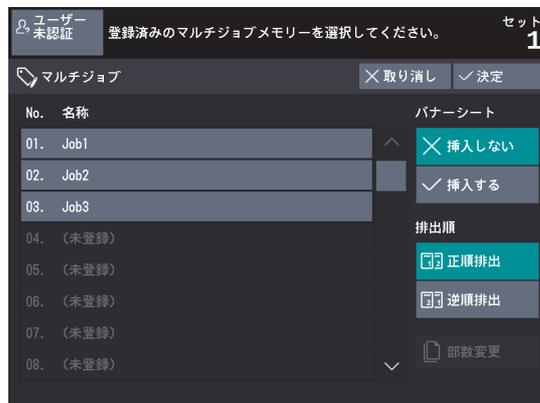
バナーシートには、部数番号と日付が印刷されます。

- ・ [挿入しない]
バナーシートを挿入しません。
- ・ [挿入する]
バナーシートを挿入します。

◆ 排出順

コピーの排出順を選択します。

- ・ [正順排出]
読み込んだ原稿の順番に排出します。
- ・ [逆順排出]
読み込んだ原稿の最終原稿から排出します。



◆ 部数変更

[マルチジョブ - 部数変更] 画面が表示されます。

登録されたマルチジョブ番号ごとに、コピーする部数を変更/設定します。



2.18.9 サンプルコピー (できあがり状態を確認してコピーする)

最適な状態でコピーするために、原稿の一部分を設定を変えてサンプルとして出力します。コピーする領域は任意に指定できます。指定した領域に対して、縮小/拡大、コピーの濃度、原稿の画質など、各種設定を変えて出力できます。

濃度は9段階、原稿画質は7種類、地色除去の自動調整は7段階の設定で一覧を出力できます。

- 補足**
- ・ [原稿の画質] が [印刷写真] または [印画紙写真] のとき、地色除去の地色除去自動一覧は出力できません。
 - ・ ApeosWide 3030 で、この機能を利用するには、オプションのカラーキャンメモリキットが必要です。
 - ・ 次の場合は、サンプルコピーができません。

ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕分け機能で [ソート (1部ごと)]、または [ソート (配布パターン)] を設定し、次の原稿を [設定変更] しているとき ・ マルチジョブを設定しているとき ・ オートモードでコピーしているとき ・ 手差し給紙でコピーしているとき ・ 追加コピーしているとき ・ 割り込みコピーしているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕分け機能で [ソート (1部ごと)] を設定し、次の原稿を [設定変更] しているとき ・ オートモードでコピーしているとき ・ 手差し給紙でコピーしているとき ・ 追加コピーしているとき ・ 割り込みコピーしているとき

1. [サンプルコピー] をタップします。

2. 任意の項目を設定します。

◆ しない

サンプルコピーをしません。

◆ 部分出力

倍率、原稿の画質などの各種設定を変えてサンプルコピーできます。

◆ 濃度一覧

9段階の濃度一覧が出力されます。

◆ 原稿画質一覧

7種類の原稿画質一覧が出力されます。

◆ 地色除去自動一覧

7段階の地色除去調整レベル一覧が出力されます。

◆ 読み取り開始位置

原稿の読み取りを開始する位置を、0 ~ 1,200 mm の範囲で設定します。



◆ **読み取り寸法**

原稿の読み取る領域を、50 ～ 200 mm の範囲で設定します。

補足 [読み取り開始位置] と [読み取り寸法] の初期値を、仕様設定機能で設定できます。設定方法については、「9.4.12 詳細設定」(P.301) を参照してください

3 スキャン

スキャンの基本的な操作方法と、機能について説明しています。

3.1 スキャン操作の流れ	118
3.2 スキャンを中止する	124
3.3 フルカラーでスキャンする	125
3.4 原稿上の指定した色を赤色でスキャンする（赤黒スキャン）（ApeosWide 6050）	126
3.5 プレビューを表示する	127
3.6 スキャンデータを暗号化する	128
3.7 複数枚の原稿を1つのファイルとしてスキャンする	129
3.8 [スキャナー（ボックス保存）] 画面	130
3.9 [スキャナー（PC保存）] 画面	139
3.10 [スキャナー（マルチ送信）] 画面	141
3.11 [スキャナー（URL送信）] 画面 ★	143
3.12 スキャナー - [画質調整] 画面	144
3.13 スキャナー - [読み取り方法] 画面	149
3.14 スキャナー - [出力形式] 画面	154

3.1 スキャン操作の流れ

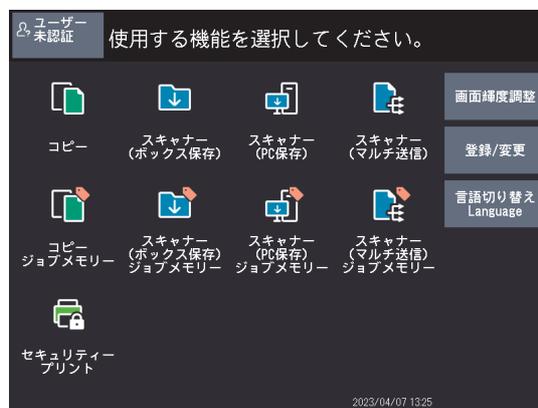
基本的なスキャン操作の流れについて説明します。

3.1.1 Step1 機能を選択する

次のスキャン機能を利用できます。

- ・ スキャナー（ボックス保存）
- ・ スキャナー（PC保存）
- ・ スキャナー（マルチ送信）
- ・ スキャナー（URL送信）

ホーム画面では、[スキャナー（ボックス保存）]、[スキャナー（PC保存）]、[スキャナー（マルチ送信）]、[スキャナー（URL送信）] のスキャン機能ボタンが用意されています。それぞれの画面で機能を選択できます。



■ スキャナー（ボックス保存）

データとして取り込みたい原稿を本機で読み込んで（スキャンして）、本機のボックスに蓄積します。蓄積された文書は、ネットワークに接続しているコンピューターから取り込むことができます。

- 参照**
- ・ スキャナー（ボックス保存）機能を使用するには、あらかじめネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定については、「6.3.1 スキャナー（ボックス保存）の設定」（P.202）を参照してください。
 - ・ ボックスは、あらかじめ作成しておきます。ボックスの作成方法については、「6.1.2 ボックス登録」（P.192）を参照してください。

■ スキャナー（PC保存）

データとして取り込みたい原稿を本機で読み込んで（スキャンして）、ネットワークに接続しているコンピューター（サーバー）に保存します。

- 参照**
- ・ スキャナー（PC保存）機能を使用するには、あらかじめネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定については、「6.3.2 スキャナー（PC保存）の設定」（P.203）を参照してください。
 - ・ サーバー（PC保存宛先）は、あらかじめ登録しておきます。サーバーの登録方法については、「6.1.3 サーバー（PC保存宛先）」（P.194）を参照してください。

■ スキャナー（マルチ送信）

スキャンしたスキャンデータを、登録したグループ宛先のコンピューター（サーバー）に保存し、プリンターから印刷します。

- 参照**
- ・スキャナー（マルチ送信）機能を使用するには、あらかじめネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定については「6.3.2 スキャナー（PC 保存）の設定」（P.203）を参照してください。
 - ・グループ宛先は、あらかじめ登録しておきます。グループ宛先の登録方法については、「6.1.5 マルチ送信宛先（グループ宛先）」（P.197）を参照してください。

■ スキャナー（URL 送信）★

スキャンしたデータを本機に一時的に保存し、取り出し用と削除用のURLをメール本文に記載して送信できます。ユーザーはコンピューターでメールを受信し、Webブラウザを起動して、スキャン文書を取り出せます。送信できる宛先は、本機で認証されたユーザーだけです。

- 参照** スキャナー（URL 送信）機能を使用するには、あらかじめメールサーバーの設定と本体認証または外部認証の設定と認証ユーザーにメールアドレスが登録されていることが必要です。事前設定は、「6.3.3 スキャナー（URL 送信）の設定」（P.204）を参照してください。

◆ スキャン機能とファイル形式について

スキャン機能	取り込み方法	ファイル形式			
		TIFF	PDF	DocuWorks* ¹	JPEG
ボックス保存	TWAIN対応アプリケーション	○* ²			
	親展ボックスビューワー 3	○	×	×	○
	インターネットサービス	○	○	○	○
	DocuWorks Desk* ¹	○			
PC 保存	—	○	○	○	○
マルチ送信	—	○	○	○	○
URL 送信	メール	○	○	○	○

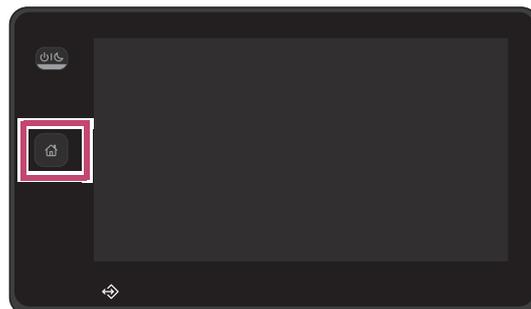
* 1 DocuWorks は、弊社製 TWAIN 対応アプリケーションです。

* 2 ボックスから TWAIN 対応アプリケーションを使用してスキャンデータを取り込む場合、ファイル形式は使用するアプリケーションに依存します。

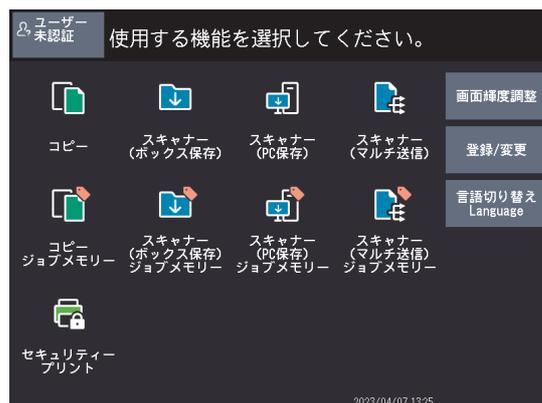
- 補足** 任意でファイル名を指定しない場合、フォルダー名やファイル名は決められたルールに従って自動で付けられます。

ここでは、[スキャナー（ボックス保存）] を例に説明します。

1. 操作パネルのホームボタンを押します。



2. ホーム画面で [スキャナー（ボックス保存）] をタップします。



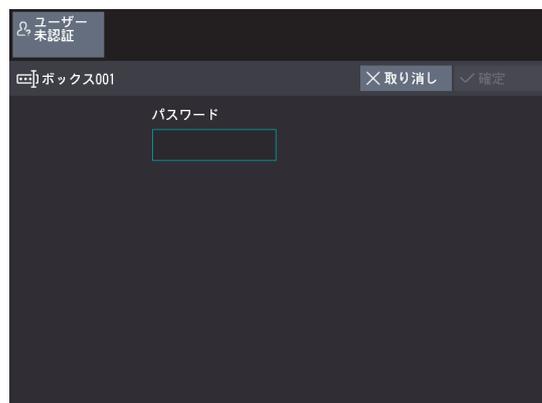
3. 保存するボックスを指定します。

- 補足**
- 登録されている番号だけを選択できます。
 - [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
 - 任意のボックスを先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にボックスの番号を入力してください。



4. パスワードを入力し、[確定] をタップします。

5. [決定] をタップします。

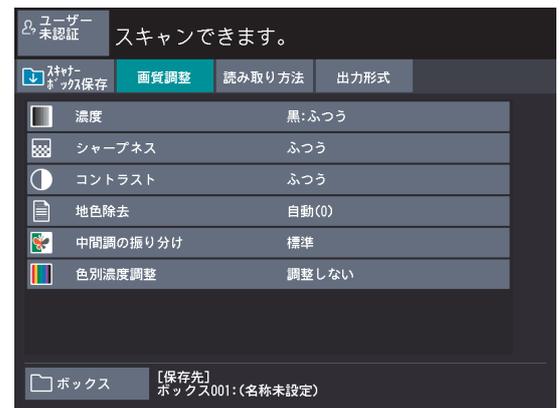


6. 必要に応じて、[画質調整] [読み取り方法] [出力形式] から設定する機能を選択します。

- 参照**
- ・ [3.8 [スキャナー(ボックス保存)]画面] (P.130)
 - ・ [3.12 スキャナー - [画質調整] 画面] (P.144)
 - ・ [3.13 スキャナー- [読み取り方法] 画面] (P.149)
 - ・ [3.14 スキャナー - [出力形式] 画面] (P.154)

ほかのスキャン機能を選択したときは、[スキャナーボックス保存] が [スキャナーPC 保存]、[スキャナーマルチ送信]、[スキャナー (URL 送信)] に変わります。

- 参照**
- ・ [3.9 [スキャナー (PC 保存)] 画面] (P.139)
 - ・ [3.10 [スキャナー (マルチ送信)] 画面] (P.141)
 - ・ [3.11 [スキャナー (URL 送信)]画面 ★] (P.143)



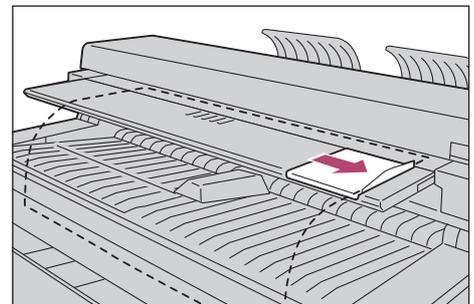
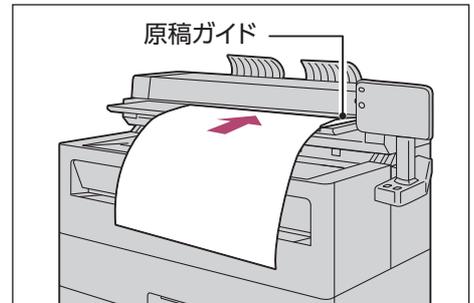
3.1.2 Step2 スキャンを開始する

原稿をセットし、スキャンを開始する手順について説明します。

- 注記**
- ・原稿を読み込み中に、原稿を上から押さえつけたり引っばったりすると、原稿づまりが発生することがあります。
 - ・穴あき原稿をセットするときは、穴あき部が後端になるように挿入してください。穴あき部を先端にすると、原稿づまりが発生することがあります。

1. スキャンする面を下に向け、原稿ガイドに合わせて奥に突き当たるまで挿入します。

- 補足**
- ・原稿ガイドを右にずらすことによって、原稿の読み込み位置をずらすこともできます。
 - ・厚みのある原稿を読み込む場合は、「厚紙の原稿を読み込む場合 (ApeosWide 6050)」(P.69) を参照してください。



原稿が自動的に引き込まれ、いったん停止します。
その後、自動的に原稿の読み込みがスタートします。

- 注記** 原稿が搬送されるまで、手を離さないでください。
原稿が長い場合、本機から落ちることがあります。

- 補足**
- ・仕様設定で原稿の読み込み開始方法を [マニュアルスタート] に設定している場合は、操作パネル台の〈スタート〉ボタンを押します。マニュアルスタートの設定方法については、「原稿読み込み開始方法」(P.285) を参照してください。
 - ・問題が発生すると、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。



2. 排出された原稿を取ります。

3.1.3 Step3 スキャンデータを取り込む

本機のボックスに保存されている文書をコンピューターに取り込みます。取り込むには次の方法があります。

■ アプリケーションを使用して取り込む

ネットワークスキャナーユーティリティ 3のスキナードライバーを使用します。

参照 詳細については、「5.5.1 TWAIN 対応アプリケーションから取り込む」(P.180) を参照してください。

■ 親展ボックスビューワー 3 を使用して取り込む

ネットワークスキャナーユーティリティ 3の親展ボックスビューワーを使用します。

参照 詳細については、「5.5.2 親展ボックスビューワー 3 から取り込む」(P.183) を参照してください。

■ インターネットサービスを使用して取り込む

インターネットサービスを使用します。

参照 詳細については、「5.5.3 インターネットサービスを利用して取り込む」(P.185) を参照してください。

■ DocuWorks Desk を使用して取り込む

DocuWorks Deskのリンクフォルダを使用します。

スキナードライバーがなくても、ボックスをDocuWorks Deskのリンクフォルダに登録し、格納された文書を直接取り出すことができます。

補足 DocuWorks 8 以上をインストールしている必要があります。

参照 DocuWorks Desk については、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

■ メールに記載されている URL にアクセスして取り込む

Webブラウザを使用します。

参照 詳細については、「5.5.4 メールに送信された URL にアクセスして取り込む★」(P.187) を参照してください。

3.2 スキャンを中止する

原稿の搬送を中止する、またはスキャンを中止する手順について説明します。

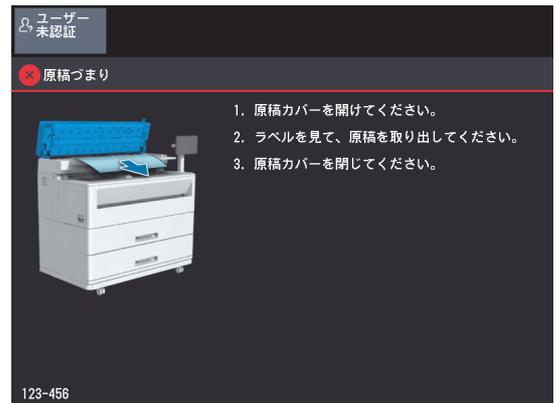
3.2.1 原稿の搬送を中止する

原稿が曲がったり、破れそうなときは、搬送を中止します。

1. 原稿の搬送中に、操作パネル台の〈ストップ〉ボタンを押します。
原稿の搬送が停止します。

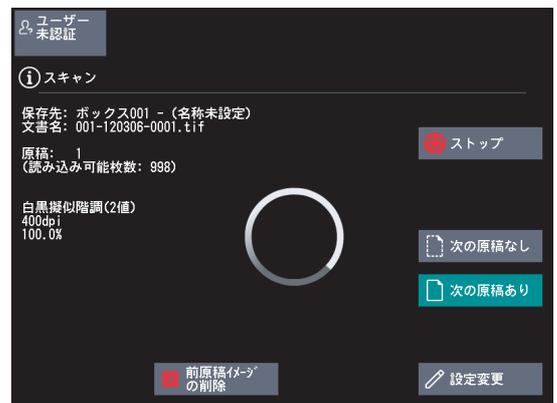
補足 [ストップ] をタップしても、原稿の搬送を中止できます。

2. タッチパネルディスプレイに表示されたメッセージに従って詰まっている原稿を取り除き、原稿をセットし直してください。



3.2.2 スキャンを中止する

1. タッチパネルディスプレイの [ストップ] をタップします。



2. [中止] をタップします。



3.3 フルカラーでスキャンする

フルカラーでスキャンします。

補足 ApeosWide 3030 で、この機能を利用するには、オプションのカラースキャンメモリーキットが必要です。

1. ホーム画面で [スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC 保存)]、[スキャナー (マルチ送信)]、[スキャナー (URL 送信)] のどれかをタップし、保存先または宛先を指定します。

参照

- ・ [3.8 [スキャナー (ボックス保存)] 画面] (P.130)
- ・ [3.9 [スキャナー (PC 保存)] 画面] (P.139)
- ・ [3.10 [スキャナー (マルチ送信)] 画面] (P.141)
- ・ [3.11 [スキャナー (URL 送信)] 画面★] (P.143)

2. [フルカラー] をタップします。

3. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

補足

- ・ ApeosWide 6050 で、[解像度] が 400 dpi 以上の場合、[原稿読み取り速度] の [高速] は設定できません。
- ・ ApeosWide 3030 で、[解像度] が 400 dpi 以上の場合、[原稿読み取り速度] の [中速] は設定できません。
- ・ [原稿の画質] の [青焼き]、[透過]、[濃淡むら原稿] は設定できません。
- ・ [中間調の振り分け] は設定できません。



4. 原稿をセットし、スキャンを開始します。

3.4 原稿上の指定した色を赤色でスキャンする（赤黒スキャン）（ApeosWide 6050）

指定した色を赤色に置き換えてスキャンします。スキャンしたデータのファイルサイズは、フルカラーでスキャンしたときよりも小さくなります。

補足 この機能は、ApeosWide 6050 でだけ使用できます。

1. ホーム画面で [スキャナー（ボックス保存）]、[スキャナー（PC 保存）]、[スキャナー（マルチ送信）]、[スキャナー（URL 送信）] のどれかをタップし、保存先または宛先を指定します。

参照

- ・ [3.8 [スキャナー（ボックス保存）] 画面] (P.130)
- ・ [3.9 [スキャナー（PC 保存）] 画面] (P.139)
- ・ [3.10 [スキャナー（マルチ送信）] 画面] (P.141)
- ・ [3.11 [スキャナー（URL 送信）] 画面★] (P.143)

2. [赤黒（2 値）] または [赤黒擬似階調（2 値）] を選択します。



3. 赤色でスキャンする原稿の色を選択します。

補足 各色の認識範囲を設定できます。設定方法については、「9.3.5 読み取り色範囲指定」(P.281) を参照してください。

4. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

5. 原稿をセットし、スキャンを開始します。



3.5 プレビューを表示する

スキャンデータを保存する前に、プレビューを表示します。

補足 2,772 mm を超える長さの原稿では、プレビューが表示されません。プレビューが表示されなくても、スキャンデータは保存されます。

1. ホーム画面で [スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC 保存)]、[スキャナー (マルチ送信)]、[スキャナー (URL 送信)] のどれかをタップし、保存先または宛先を指定します。

参照

- ・ [3.8 [スキャナー (ボックス保存)] 画面] (P.130)
- ・ [3.9 [スキャナー (PC 保存)] 画面] (P.139)
- ・ [3.10 [スキャナー (マルチ送信)] 画面] (P.141)
- ・ [3.11 [スキャナー (URL 送信)] 画面★] (P.143)

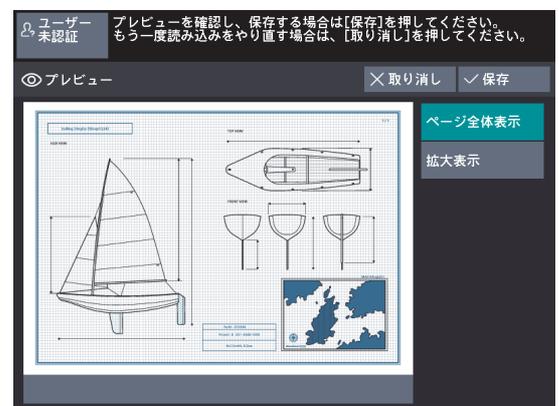
2. [プレビュー] にチェックマークを付けます。
3. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。
4. 原稿をセットし、スキャンを開始します。



5. プレビューを確認します。

◆ ページ全体表示

スキャンしたページ全体を表示します。



◆ 拡大表示

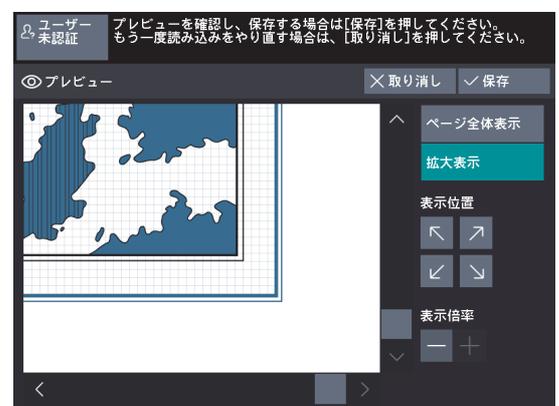
スキャンしたページを拡大表示します。左右または上下のツールバーをドラッグして表示位置を変更します。

[表示位置] の矢印で四隅に移動します。

[表示倍率] の [-] [+] で拡大/縮小します。

6. 保存する場合は [保存] をタップします。
もう一度読み込みをやり直す場合は、[取り消し] をタップします。

補足 [原稿読み込み開始方法] が [自動スタート] に設定されている場合、次の原稿をセットすると、データの保存を行ったあと、セットした原稿の読み込みが開始されます。★



3.6 スキャンデータを暗号化する

PDFファイル形式またはDocuWorksファイル形式で保存したデータにセキュリティーを設定して、不正なアクセスを防ぎます。

- 補足**
- ・スキャナー（ボックス保存）では、セキュリティーは設定できません。
 - ・スキャナー（マルチ送信）では、同じ設定値によるパスワード暗号化ファイルが複数の宛先（サーバーのみ）へ転送されます。

1. ホーム画面で [スキャナー（PC 保存）]、[スキャナー（マルチ送信）]、[スキャナー（URL 送信）] のどれかをタップし、保存先または宛先を指定します。

- 参照**
- ・ [3.9 [スキャナー（PC 保存）] 画面] (P.139)
 - ・ [3.10 [スキャナー（マルチ送信）] 画面] (P.141)
 - ・ [3.11 [スキャナー（URL 送信）] 画面★] (P.143)

2. [他の設定] をタップします。



3. [シングルページ PDF]、[マルチページ PDF]、[シングルページ DocuWorks]、[マルチページ DocuWorks] のどれかを選択します。

4. [PDF セキュリティー]または[DocuWorks セキュリティー] をタップします。

◆ PDF セキュリティー

[出力ファイル形式 -PDF セキュリティー] 画面が表示されます。PDF ファイルに、パスワードによる暗号化や、ファイル操作へのアクセス権を設定します。

- 参照** 「[出力ファイル形式 -PDF セキュリティー] 画面」 (P.136) を参照してください。

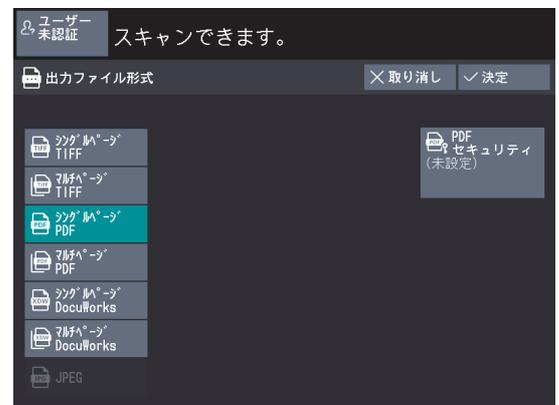
◆ DocuWorks セキュリティー

[出力ファイル形式 -DocuWorks セキュリティー] 画面が表示されます。DocuWorks ファイルに、パスワードによる暗号化や、ファイル操作へのアクセス権を設定します。

- 参照** 「[出力ファイル形式 -DocuWorks セキュリティー] 画面」 (P.138) を参照してください。

5. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

6. 原稿をセットし、スキャンを開始します。



3.7 複数枚の原稿を1つのファイルとしてスキャンする

[出力ファイル形式] で [マルチページTIFF]、[マルチページPDF]、[マルチページDocuWorks] を選択すると、複数枚の原稿をまとめて1つのファイルとしてスキャンできます。

補足 スキャンデータ生成時に一定のファイルサイズを超えた場合は、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。ファイルサイズの制限については、「作成されるスキャンデータのファイルサイズについて」(P.344) を参照してください。

1. ホーム画面で、[スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC 保存)]、[スキャナー (マルチ送信)]、[スキャナー (URL 送信)] のどれかをタップし、保存先または宛先を指定します。

参照

- ・ [3.8 [スキャナー (ボックス保存)] 画面] (P.130)
- ・ [3.9 [スキャナー (PC 保存)] 画面] (P.139)
- ・ [3.10 [スキャナー (マルチ送信)] 画面] (P.141)
- ・ [3.11 [スキャナー (URL 送信)] 画面★] (P.143)

2. [マルチページ TIFF]、[マルチページ PDF]、[マルチページ DocuWorks] のどれかを選択します。

3. 必要に応じて、そのほかの機能を設定します。



4. 1枚めの原稿をセットします。
読み込みがスタートします。

◆ ストップ

スキャンを中止します。

◆ 次の原稿なし

すべての原稿を読み終わったらタップします。

◆ 次の原稿あり

初期状態でこのボタンが選択されています。

◆ 前原稿イメージの削除

直前に読み込んだ原稿のイメージを削除できます。

◆ 設定変更

次の原稿のカラーモード、解像度、画質などの設定を変更できます。

補足 [カラーモード] の変更は、[白黒 (2 値)] ⇄ [白黒擬似階調 (2 値)] だけ可能です。



5. 次の原稿をセットします。

さらに原稿が続くときは、この手順を繰り返します。

6. すべての原稿を読み取ったら、[次の原稿なし] をタップします。

3.8 [スキャナー (ボックス保存)] 画面

[スキャナー (ボックス保存)] 画面で、機能を選択する手順について説明します。スキャンした原稿を、本機のボックスに保存できます。

- 参照**
- ・スキャナー (ボックス保存) 機能を使用するには、あらかじめネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定については、「6.3.1 スキャナー (ボックス保存) の設定」(P.202)を参照してください。
 - ・ボックスは、あらかじめ作成しておきます。ボックスの作成方法については、「6.1.2 ボックス登録」(P.192)を参照してください。

ここでは、[スキャナー (ボックス保存)] 画面について説明します。

1. ホーム画面で [スキャナー (ボックス保存)] をタップします。
2. 保存するボックスを指定します。

- 補足**
- ・登録されている番号だけを選択できます。
 - ・ をタップして前画面、 をタップして次画面を表示できます。
 - ・任意のボックスを先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にボックスの番号を入力してください。



3. パスワードを入力し、[確定] をタップします。
4. [決定] をタップします。



5. [スキャナーボックス保存] 画面で、機能を選択します。

- 補足**
- 保存するボックスを指定し直す場合は、[ボックス] をタップします。



3.8.1 ボックスの文書を確認／削除する

選択したボックスに保存されている文書の内容を確認したり、削除したりできます。

1. [ボックス] を選択し、[文書確認／削除] をタップします。



2. 文書を選択します。

補足 をタップして前画面、 をタップして次画面を表示できます。

3. 任意の項目を選択します。

◆ 全文書選択

ボックス内のすべての文書を選択できます。全文書選択した状態で再度選択すると、選択が解除されます。

◆ 削除

選択した文書を削除します。

◆ 文書確認

選択した文書の内容を確認できます。



3.8.2 カラーモード（スキャンの色を選択する）

原稿を読み取るときのカラーモードを設定します。

1. カラーモードを選択します。

- 補足**
- ・工場出荷時の値は、[白黒擬似階調（2 値）] です。
 - ・ApeosWide 3030 で、フルカラーとグレースケール（256 階調）を利用するには、オプションのカラースキャンメモリーキットが必要です。

◆ フルカラー

フルカラーモードで読み取るときに指定します。

- 補足**
- ・[原稿の画質] の [青焼き]、[透過]、[濃淡むら原稿] は設定できません。
 - ・[中間調の振り分け] は設定できません。

◆ グレースケール（256 階調）

256 階調のモノクロの画像モードでスキャンするときに指定します。スキャンしたデータのファイルサイズは、白黒（2 値）、白黒擬似階調（2 値）より大きくなります。

- 補足** [中間調の振り分け] は設定できません。

◆ 白黒（2 値）

一般の文書や図面原稿などをスキャンするときに指定します。スキャンしたデータのファイルサイズは、白黒擬似階調（2 値）、グレースケール（256 階調）より小さくなります。

- 補足** [原稿の画質] の [印刷写真]、[印画紙写真] は設定できません。

◆ 白黒擬似階調（2 値）

ハーフトーンの原稿をスキャンするときに指定します。

- 補足** [中間調の振り分け] は設定できません。

◆ 赤黒（2 値）（ApeosWide 6050）

一般の文書や図面原稿などを赤黒スキャンするときに指定します。

◆ 赤黒擬似階調（2 値）（ApeosWide 6050）

ハーフトーンの原稿を赤黒スキャンするときに指定します。

- 補足** [中間調の振り分け] は設定できません。



3.8.3 解像度 (読み取る解像度を指定してスキャンする)

原稿を読み取るときの解像度を設定できます。

数値が大きくなるほど、細かく読み取られますが、データ量は大きくなります。データ量が大きいと、読み込みおよび送信に時間がかかります。

1. 解像度を選択します。



3.8.4 プレビュー (プレビュー表示を選択する)

原稿を読み取る前に、プレビューを表示するかしないかを選択できます。

1. プレビューを表示する場合は、[プレビュー] にチェックマークを付けます。



3.8.5 原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）

写真原稿、文字原稿などをスキャンする場合は、それぞれの原稿に応じた画質でスキャンできます。図面などの文字線画で構成されている多くの原稿は、[文字／線画] を選択することで、最適の画質でスキャンできます。より専門的にスキャンしたいときに、ほかの画質を選択することをお勧めします。

- 補足**
- ・ [カラーモード] の [白黒 (2 値)] が設定されている場合は、[印刷写真]、[印画紙写真] は設定できません。また、[フルカラー] が設定されている場合は、[青焼き]、[透過]、[濃淡むら原稿] は設定できません。
 - ・ [地色除去] で [する (自動)] を選択した場合は、[印刷写真] または [印画紙写真] は設定できません。

1. 原稿の画質を選択します。

補足 [スキャナー] 画面に表示される原稿の画質を変更できます。設定方法については、「9.6.1 プリセットボタンの設定」(P.310) を参照してください。

◆ 文字／線画

文字をはっきりとスキャンしたいときに選択します。グラフ、イラストなどの場合も、はっきりとスキャンします。

◆ 文字／写真

文字と写真が混在した原稿をスキャンするときに選択します。

◆ 印刷写真

原稿の写真部分が、パンフレットなど印刷物の場合に選択します。

◆ 印画紙写真

写真の切り貼り原稿の場合に選択します。スキャンが青みがるのを防ぎます。

◆ 青焼き

比較的下地の色の濃い青焼き原稿をスキャンするときに選択します。

◆ 他の設定 ...

[原稿の画質] 画面が表示されます。

参照 「[原稿の画質] 画面」(P.134) を参照してください。



■ [原稿の画質] 画面

そのほかの画質を選択できます。

1. 原稿の画質を選択します。

◆ 文字／線画

文字をはっきりとスキャンしたいときに選択します。グラフ、イラストなどの場合も、はっきりとスキャンします。

◆ 文字／写真

文字と写真が混在した原稿をスキャンするときに選択します。

◆ 印刷写真

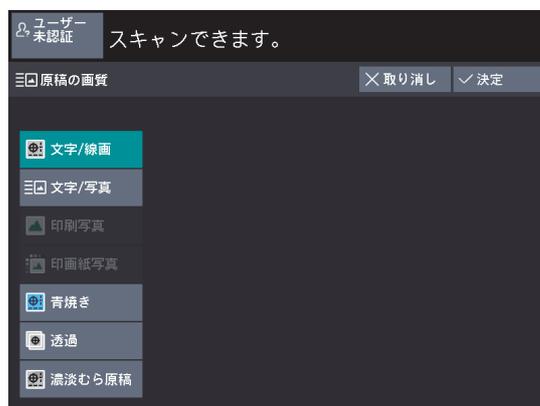
原稿の写真部分が、パンフレットなど印刷物の場合に選択します。

◆ 印画紙写真

写真の切り貼り原稿の場合に選択します。スキャンが青みがるのを防ぎます。

◆ 青焼き

比較的下地の色の濃い青焼き原稿をスキャンするときに選択します。



◆ 透過

透過原稿をスキャンするときに選択します。文字のまわりのにじみを抑えます。

◆ 濃淡むら原稿

切り貼りなどで下地の色の濃度に変化している原稿をスキャンするときに選択します。

選択すると、[原稿の画質] 画面が表示されます。濃淡むら原稿のむらの大きさを 80 段階で調整できます。

- 補足**
- ・濃淡むら原稿は、文字線画の原稿を対象にしています。ポスターなどの写真原稿には使用しないでください。
 - ・むらの大きさの設定によって効果が変わるため、必ず仕上がりが結果を確認してください。



3.8.6 出力ファイル形式 (スキャンしたデータの種類を選択する)

スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を設定します。

参照 ファイルサイズやマルチページのページ数制限については、「10.4.3 スキャン機能での注意/制限」(P.344)を参照してください。

1. 出力ファイル形式を選択します。

補足 [スキャナー] 画面に表示される出力ファイル形式を変更できます。設定方法については、「9.6.1 プリセットボタンの設定」(P.310)を参照してください。

◆ シングルページ TIFF

1 ページずつ 1 ファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。

◆ マルチページ TIFF

複数ページを 1 ファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。

◆ シングルページ PDF

1 ページずつ 1 ファイルにして、PDF ファイル形式で保存します。

◆ マルチページ PDF

複数ページを 1 ファイルにして、PDF ファイル形式で保存します。

◆ シングルページ DocuWorks

1 ページずつ 1 ファイルにして、XDW ファイル形式で保存します。

◆ 他の設定 ...

[出力ファイル形式] 画面が表示されます。

参照 「[出力ファイル形式] 画面」(P.135)を参照してください。



■ [出力ファイル形式] 画面

そのほかの出力ファイル形式を選択できます。

- 補足**
- ・スキャナー (ボックス保存) では、セキュリティは設定できません。
 - ・スキャナー (マルチ送信) では、同じ設定値によるパスワード暗号化ファイルが複数の宛先へ転送されます。

1. 出力ファイル形式を選択します。

◆ シングルページ TIFF

1 ページずつ 1 ファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。

◆ マルチページ TIFF

複数ページを 1 ファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。

◆ シングルページ PDF

1 ページずつ 1 ファイルにして、PDF ファイル形式で保存します。

◆ マルチページ PDF

複数ページを 1 ファイルにして、PDF ファイル形式で保存します。

◆ シングルページ DocuWorks

1 ページずつ 1 ファイルにして、XDW ファイル形式で保存します。

◆ マルチページ DocuWorks

複数ページを 1 ファイルにして、XDW ファイル形式で保存します。

◆ JPEG

JPEG ファイル形式で保存します。

- 補足**
- ・ [カラーモード] が [フルカラー] または [グレースケール (256 階調)] の場合に、[JPEG] を指定できます。
 - ・ ApeosWide 3030 で、[JPEG] を選択するには、オプションのカラースキャンメモリーキットが必要です。

◆ PDF セキュリティ

[出力ファイル形式 -PDF セキュリティ] 画面が表示されます。

- 補足** [シングルページ PDF] または [マルチページ PDF] を選択すると、[PDF セキュリティ] を指定できます。

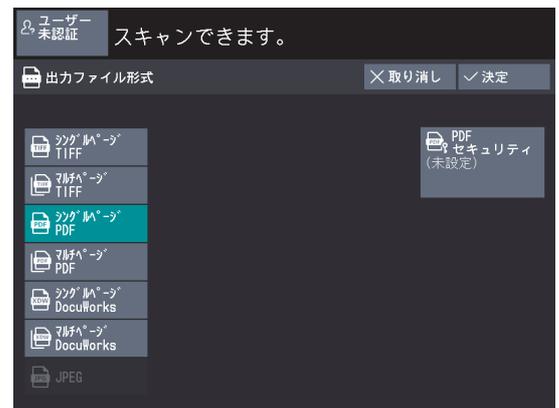
- 参照** [[出力ファイル形式 -PDF セキュリティ] 画面] (P.136) を参照してください。

◆ DocuWorks セキュリティ

[出力ファイル形式 -DocuWorks セキュリティ] 画面が表示されます。

- 補足** [シングルページ DocuWorks] または [マルチページ DocuWorks] を選択すると、[DocuWorks セキュリティ] を指定できます。

- 参照** [[出力ファイル形式 -DocuWorks セキュリティ] 画面] (P.138) を参照してください。



■ [出力ファイル形式 -PDF セキュリティ] 画面

PDFファイルに、パスワードによる暗号化や、ファイル操作へのアクセス権を設定できます。

1. 任意の項目を選択します。

◆ 設定しない

ファイルの暗号化およびファイルへのアクセス権を設定しません。

◆ パスワード

パスワードを設定することによって、128-bit AES 方式でファイルを暗号化します。

◆ 暗号化アルゴリズム

暗号化方式 (128-bit AES) が表示されます。この方式で暗号化した場合は、Adobe Acrobat 7.0 以降のソフトウェアで開けます。



◆ 互換のあるバージョン

暗号化するにあたって、互換性のある Adobe Acrobat のバージョンが表示されます。

◆ 文書を開くパスワード

[PDF セキュリティ - 文書を開くパスワード] 画面が表示されます。

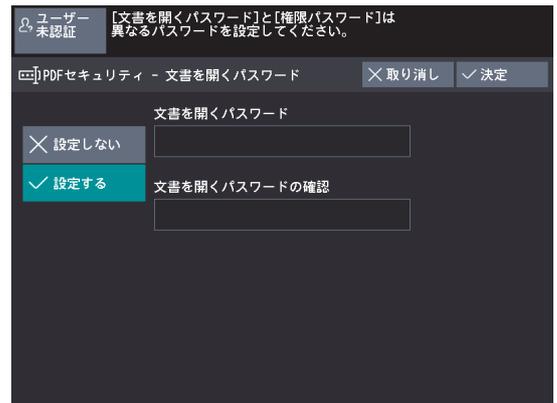
[設定する] を選択してパスワードを設定すると、ファイルを開くときにパスワードが必要になります。

パスワードは、32 文字以内で入力します。

◆ 権限

[PDF セキュリティ - 権限] 画面が表示されます。

参照 [[PDF セキュリティ - 権限] 画面] (P.137) を参照してください。



■ [PDF セキュリティ - 権限] 画面

ファイルにアクセス権を設定します。

1. [権限パスワード] をタップします。

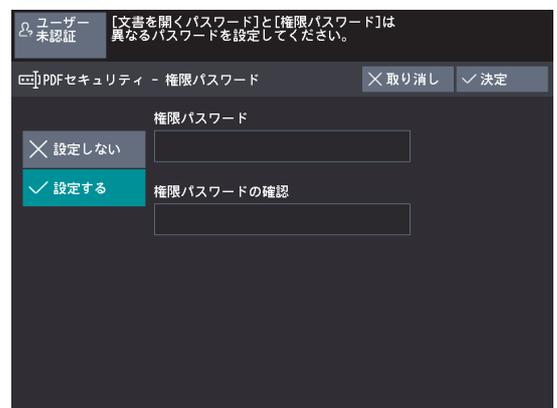


2. [設定する] をタップします。

3. [権限パスワード] を入力し、[決定] をタップします。

4. 同様に [権限パスワードの確認] に権限パスワードを入力し、[決定] をタップします。

5. 任意の項目を選択します。



◆ 権限パスワード

[PDF セキュリティ - 権限パスワード] 画面が表示されます。パスワードを設定すると、ファイルにアクセス権を設定でき、アクセス権のない操作やアクセス権の変更に、パスワードの入力が必要になります。パスワードは、32 文字以内で入力します。

◆ 印刷を許可

[権限 - 印刷を許可] 画面が表示されます。

ファイルの印刷を許可するか、許可する場合はどのような解像度で印刷できるのかを設定します。

◆ 変更を許可

[権限 - 変更を許可] 画面が表示されます。

ページ挿入や注釈の追加など、ファイルの内容を変更できるかどうかを設定します。

◆ テキスト、画像、その他のコピーを許可

[テキスト、画像、その他のコピーを許可] 画面が表示されます。

ファイル内のテキストや画像など、ファイルの内容をコピーできるかどうかを設定します。

■ [出力ファイル形式 - DocuWorks セキュリティ] 画面

DocuWorksファイルに、パスワードによる暗号化や、ファイル操作へのアクセス権を設定できます。

1. 任意の項目を選択します。

◆ 設定しない

ファイルの暗号化およびファイルへのアクセス権を設定しません。

◆ パスワード (V4 非互換)

パスワードを設定することによって、128-bit AES 方式でファイルを暗号化します。

[開くパスワード] をタップしてパスワードを設定します。

この方式で暗号化した場合は、DocuWorks 6.0 以降のソフトウェアで開くことができます。

◆ 暗号化アルゴリズム

暗号化方式 (128-bit AES) が表示されます。

◆ 操作の制限

ファイルに対して、アクセス権を付けたい操作を設定します。

補足 アクセス権を付ける場合は、[フルアクセスパスワード] も設定してください。

◆ 開くパスワード

[DocuWorks セキュリティ - 開くパスワード] 画面が表示されます。

[設定する] を選択してパスワードを設定すると、ファイルが暗号化され、ファイルを開くときにパスワードが必要になります。また、[操作の制限] で設定したアクセス権が付きます。

パスワードは、32 文字以内で入力します。

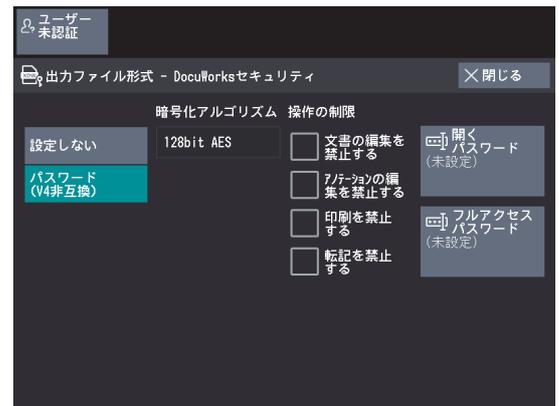
補足 [開くパスワード] を設定する場合は、[フルアクセスパスワード] も設定してください。

◆ フルアクセスパスワード

[DocuWorks セキュリティ - フルアクセスパスワード] 画面が表示されます。

パスワードを設定すると、[操作の制限] で設定したアクセス権を変更する場合に、パスワードが必要になります。

パスワードは、32 文字以内で入力します。



3.9 [スキャナー (PC 保存)] 画面

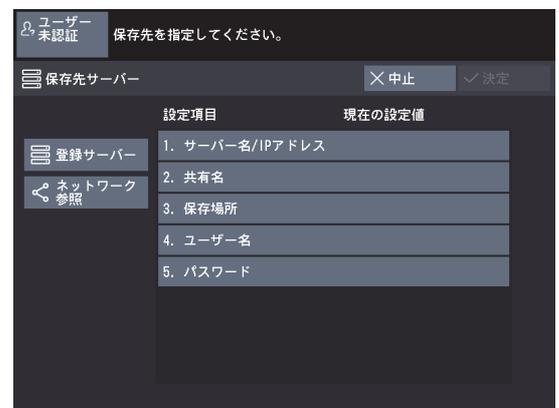
[スキャナー (PC保存)] 画面で、機能を選択する手順について説明します。ネットワークに接続しているコンピューター (サーバー) に保存します。

- 参照**
- ・スキャナー (PC 保存) 機能を使用するには、あらかじめネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定については、「6.3.2 スキャナー (PC 保存) の設定」(P.203) を参照してください。
 - ・サーバー (PC 保存宛先) は、あらかじめ登録しておきます。サーバーの登録方法については、「6.1.3 サーバー (PC 保存宛先)」(P.194) を参照してください。

1. ホーム画面で [スキャナー (PC 保存)] をタップします。
2. スキャンしたファイルの保存先を指定します。

◆ 登録されている保存先 PC を指定する場合

- (1) [登録サーバー] をタップします。



- (2) 保存先サーバー番号を選択します。

- 補足**
- ・登録されている番号だけを選択できます。
 - ・[▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
 - ・任意の保存先サーバーを先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にサーバー番号を入力してください。

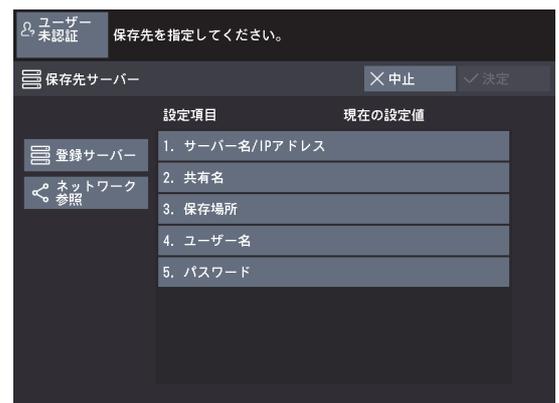
- (3) [決定] をタップします。

- 補足**
- ・送信先との接続が確認されます。
 - ・送信先と接続できない場合はエラーメッセージがされます。[確認] をタップし、設定内容を確認してください。



◆ ネットワークを参照して保存先 PC を指定する場合

- (1) [ネットワーク参照] をタップします。



(2) 保存先となる宛先を選択します。

[上の階層へ]、[下の階層へ] をタップして階層を変更できます。

◆ 保存先

現在の階層構造を確認できます。

◆ 上の階層へ

現在の階層の1つ上の階層に移動します。

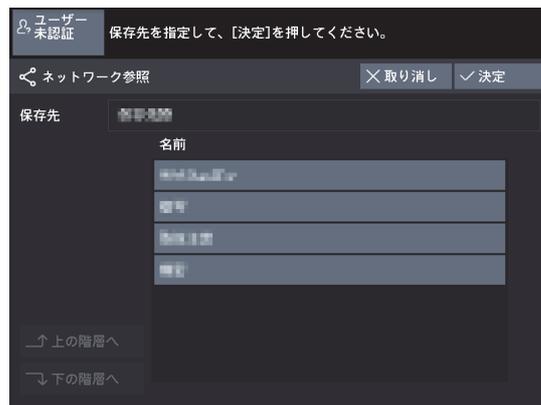
補足 このボタンは、上に階層がない場合は選択できません。

◆ 下の階層へ

現在の階層の1つ下の階層に移動します。

補足 このボタンは、フォルダーを選択している場合に使用できます。

(3) [決定] をタップします。



3. [スキャナー (PC 保存)] 画面で、機能を選択します。

補足 ・次の機能は、[スキャナー (ボックス保存)] 画面での機能と同じです。操作方法については、「3.8 [スキャナー (ボックス保存)] 画面」(P.130) を参照してください。
 - カラーモード
 - 解像度
 - 原稿の画質
 - 出力ファイル形式
 ・保存する PC を指定し直す場合は、[保存先サーバー] をタップします。



3.10 [スキャナー (マルチ送信)] 画面

[スキャナー (マルチ送信)] 画面で、機能を選択する手順について説明します。スキャンした原稿を、登録したグループ宛先のコンピューター (サーバー) に保存し、プリンターから印刷します。

補足 宛先にプリンターを指定した場合、設定した出力ファイル形式に関係なく、TIFF ファイルまたは JPEG ファイルをプリンターに転送します。TIFF ファイルまたは JPEG ファイルを選択する方法については、「マルチ送信プリンター転送フォーマット」(P.312) を参照してください。

参照

- ・スキャナー (マルチ送信) 機能を使用するには、あらかじめネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定については「6.3.2 スキャナー (PC 保存) の設定」(P.203) を参照してください。
- ・グループ宛先は、あらかじめ登録しておきます。グループ宛先の登録方法については、「6.1.5 マルチ送信宛先 (グループ宛先)」(P.197) を参照してください。

1. ホーム画面で [スキャナー (マルチ送信)] をタップします。

2. マルチ送信宛先のグループを選択し、[確認/変更] をタップします。

補足

- ・登録されている番号だけを選択できます。
- ・[▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
- ・任意のグループを先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にグループ番号を入力してください。



3. 任意の項目を選択します。

◆ 送信先

グループの宛先一覧が表示されるので、出力をキャンセルする場合は、該当する宛先をタップします。

補足 送信先には、サーバー 2 か所、プリンター 5 か所、ローカルプリンター (本機) を 5 か所、URL 送信先 1 か所まで指定できます。



◆ 1部目先行出力

送信先にプリンターがある場合、複数枚の原稿をスキャンするときに、1枚の原稿の読み込みが終了するごとに印刷するかどうかを設定します。

補足 1部目のプリントに対してだけ有効です。2部目以降は、[次の原稿なし] がタップされた時点でプリントされます。

- ・しない
先行出力しません。
- ・する
先行出力します。プリンターは 1 箇所だけ選択できます。



◆ プリント部数変更

送信先にプリンターがある場合、プリンターごとにプリントする部数を指定できます。

部数を変更するには、数値の入力領域をタップし、テンキーで数値を入力するか、[+] [-] をタップし、プリント部数を入力します。

補足 プリント部数は、99部まで入力できます。

4. [決定] をタップします。

5. [決定] をタップします。

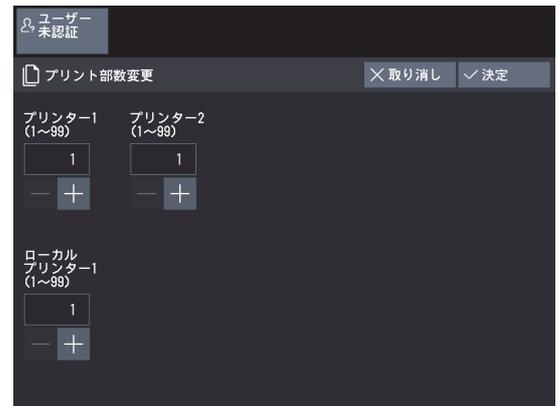
補足

- ・送信先との接続が確認されます。
- ・送信先と接続できない場合はエラーメッセージが表示されるので、[確認] をタップし、設定内容を確認してください。

6. [スキャナー (マルチ送信)] 画面で、機能を選択します。

補足

- ・次の機能は、[スキャナー (ボックス保存)] 画面での機能と同じです。操作方法については、「3.8 [スキャナー (ボックス保存)] 画面」(P.130) を参照してください。
 - カラーモード
 - 解像度
 - 原稿の画質
 - 出力ファイル形式
- ・マルチ送信宛先を指定し直す場合は、[マルチ送信宛先] をタップします。



3.11 [スキャナー (URL 送信)] 画面 ★

[スキャナー (URL送信)] 画面で、機能を選択する手順について説明します。スキャンした原稿を本機に一時的に保存し、取り出し用と削除用のURLをメール本文に記載して送信します。ユーザーはコンピューターでメールを受信し、Webブラウザを起動して、スキャン文書を取り出します。

- 補足**
- ・スキャンした文書は、一定の時間が経過すると自動的に削除されます。自動削除までの時間は、機械管理者モードで [仕様設定/登録] > [仕様設定] > [スキャナー設定] > [その他の設定] > [URL 送信の文書保存期間] をタップして変更できます。
 - ・セキュリティ強化のため、スキャン文書を取り出したあとは、削除用の URL にアクセスしてスキャン文書を削除してください。

- 参照**
- ・スキャナー (URL 送信) 機能を使用するには、あらかじめ本体認証または外部認証の設定と認証ユーザーにメールアドレスが登録されていることが必要です。本体認証または外部認証の設定については「7.5.1 認証方式を「本体認証」に設定する」(P.215) または「7.6.1 認証方式を「外部認証」に設定する」(P.225) を、認証ユーザーについては「7.5.3 ユーザーを登録する」(P.217) を参照してください。

1. ホーム画面で [スキャナー (URL 送信)] をタップします。

2. [スキャナー (URL 送信)] 画面で、機能を選択します。

- 補足** 操作方法については、「3.8 [スキャナー (ボックス保存)] 画面」(P.130) を参照してください。
- カラーモード
 - 解像度
 - 原稿の画質
 - 出力ファイル形式



3.12 スキャナー - [画質調整] 画面

[画質調整] 画面で設定できる機能について説明します。

1. ホーム画面で [スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC 保存)]、[スキャナー (マルチ送信)]、[スキャナー (URL 送信)] のどれかをタップし、保存先または宛先を指定します。
2. [画質調整] 画面で、機能を選択します。



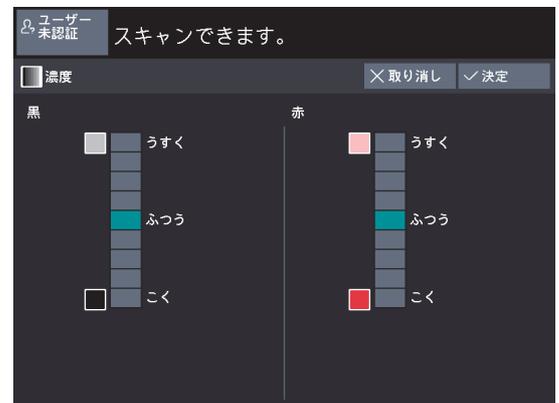
3.12.1 濃度

原稿を読み込む濃度を調整してスキャンできます。

◆ ApeosWide 6050 の場合

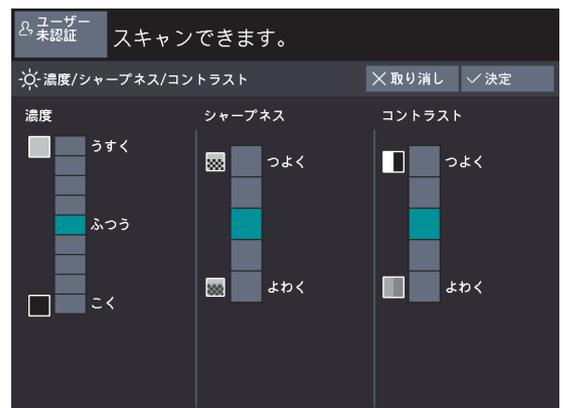
1. [濃度] をタップします。
2. [濃度] を調整します。
[うすく] ~ [こく] の間で、9 段階の濃度を、黒と赤それぞれに選択できます。
[こく] に近づくほど色を濃く、[うすく] に近づくほど色を薄くスキャンします。

補足 [カラーモード] で設定した色ごとに、濃度を調整します。



◆ ApeosWide 3030 の場合

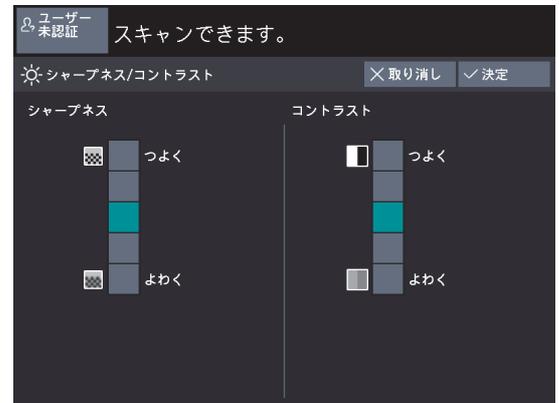
1. [濃度] をタップします。
2. [濃度] を調整します。
[うすく] ~ [こく] の間で、9 段階の濃度を選択できます。
[こく] に近づくほど色を濃く、[うすく] に近づくほど色を薄くスキャンします。



3.12.2 シャープネス

原稿の画像のシャープネスを調整してスキャンできます。

1. [シャープネス] をタップします。
2. [シャープネス] を調整します。
[つよく] ~ [よわく] の間で、5段階のシャープネスを選択できます。
[つよく] に近づくほど画像の輪郭が強調されます。[よわく] に近づくほど画像の輪郭をぼかしたようになります。



3.12.3 コントラスト

原稿の画像のコントラストを調整してスキャンできます。

1. [コントラスト] をタップします。
2. [コントラスト] を調整します。
[つよく] ~ [よわく] の間で、5段階のコントラストを選択できます。
[つよく] に近づくほど明るい部分がより明るくなり、暗い部分がより暗くなり、明暗の差が広がります。
[よわく] に近づくほど明るい部分と暗い部分の差がなくなります。



3.12.4 地色除去（原稿の背景にある色を除去する）

青焼き原稿などの下地の色を除去してスキャンします。

補足 [原稿の画質] で [印刷写真] または [印画紙写真] を選択した場合は、[する（自動）] は設定できません。

1. [地色除去] をタップします。
2. [しない]、[する（自動）]、[する（手動）] のどれかを選択します。

◆ **しない**

原稿の下地の色はそのままスキャンします。

◆ **する（自動）**

原稿の下地の色を自動的に除いてスキャンします。
 [よわく] ~ [つよく] の間で7段階で調整できます。
 [つよく] に近づくほど下地の色を消す度合いが多くなり、
 [よわく] に近づくほど下地の色をそのまま残します。

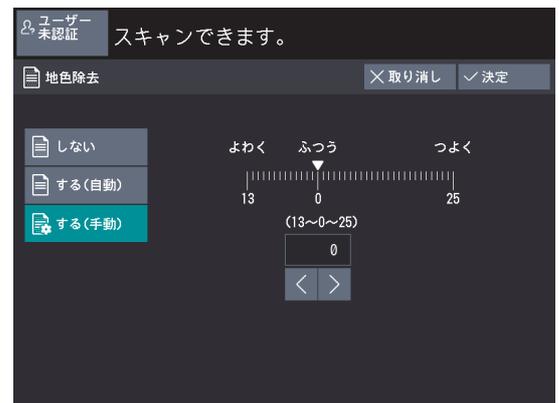
補足 [する（自動）] にして、画像が欠けたり、下地の色が残る場合は、
 [する（手動）] にしてマニュアル調整をするか、
 [濃度] を調整してください。

◆ **する（手動）**

原稿の下地の色を一律に除いてスキャンします。
 [よわく] ~ [つよく] の間で39段階で調整できます。

補足 次の原稿は、[しない] か [する（手動）] にして
 マニュアル調整をしてください。

- 写真／ポスター原稿／カラー原稿
- 複雑に入り組んだような原稿
- ドキュメントキャリアにはさんだ原稿
- 部分的に下地の色より文字／線の像の方が
 多いような密度の高い原稿



3.12.5 中間調の振り分け（原稿の中間調を振り分ける）

階調のある原稿に対して、擬似階調で表現するか、2値化に振り分けて表現するかを選択します。

通常は、階調のある原稿を擬似階調で表現しますが、中間調の振り分けで [する] を選択すると、階調を2値化に振り分けて表現します。

- 補足**
- ・ ApeosWide 6050 で、[カラーモード] が [白黒 (2 値)] または [赤黒 (2 値)] の場合に、[中間調の振り分け] が設定できます。
 - ・ ApeosWide 3030 で、[カラーモード] が [白黒 (2 値)] の場合に、[中間調の振り分け] が設定できます。

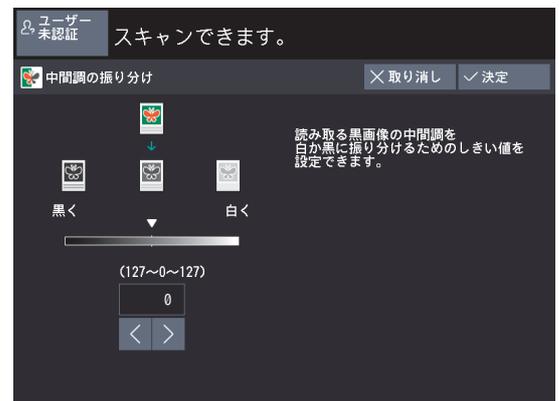
◆ ApeosWide 6050 の場合

1. [中間調の振り分け] をタップします。
2. 黒か白、または赤か白に振り分けるときのしきい値を設定します。



◆ ApeosWide 3030 の場合

1. [中間調の振り分け] をタップします。
2. 黒か白に振り分けるときのしきい値を設定します。



3.12.6 色別濃度調整（色別に濃度を調整する）

カラー原稿の色別に濃度を調整して、強調や消しこみができます。

補足 ApeosWide 3030 で、この機能を利用するには、オプションのカラースキャンメモリーキットが必要です。

1. [色別濃度調整] をタップします。

2. 各色の濃度を調整します。

◆ **調整する**

色別濃度調整を設定するとき、チェックマークを付けます。

赤、黄、緑、水色、青、紫、黒の色別に 9 段階の濃度を設定できます。

◆ **色をカットする**

各色にチェックマークを付けると、その色をカットできます。

補足 色別濃度調整を行った場合、選択できる原稿読み取り速度は解像度により異なります。



解像度 読み込み速度	150 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
[中速] (67.6 mm/ 秒)	○	○	○	—	—
[超低速] (33.8 mm/ 秒)	○	○	○	○	○

○：選択可 —：選択不可

3.13 スキャナー - [読み取り方法] 画面

[読み取り方法] 画面で設定できる機能について説明します。

1. ホーム画面で [スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC 保存)]、[スキャナー (マルチ送信)]、[スキャナー (URL 送信)] のどれかをタップし、保存先または宛先を指定します。
2. [読み取り方法] 画面で、機能を選択します。



3.13.1 倍率 (原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする)

読み取った原稿を指定した倍率に拡大／縮小してスキャンします。

補足 原稿全体を正常に読み取りできる最大の倍率は、「 $((原稿幅 (mm) / 25.4) \times 解像度の値) \times (倍率の値 / 100) \leq 21600$ (914.4 mm 幅)」です。

たとえば、原稿サイズが A0 で解像度が 600 dpi の場合、倍率を 141.4 % 以上に設定すると、画像が欠けます。上限値を超える設定をした場合、上限値を超えた部分の画像が欠けます。

また、設定できる最小の倍率は、「 $解像度の値 \times (倍率の値 / 100) \geq 150$ (%)」です。

たとえば、原稿サイズが A0 で解像度が 150 dpi の場合、倍率を 70 % 以下 (A1 以下) に設定できません。設定できない最小の倍率を指定した場合、画面にエラーメッセージが表示されるので、設定を変更してください。

1. [倍率] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。

◆ 倍率 %

倍率を数値で入力します。倍率は、25.0 ~ 400.0 % の範囲で 0.1 % 単位に指定します。100 % に設定すると、原稿と同じ大きさで読み取ります。

◆ プリセット %

あらかじめ設定されている倍率から選択します。



3.13.2 読み取りサイズ (原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする)

原稿の読み取りサイズを指定できます。

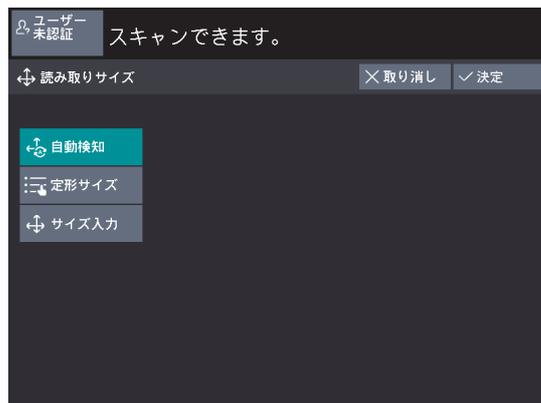
セットしている原稿とは異なるサイズで読み取りたい場合に、原稿サイズを指定します。余白を付けたり、余分な部分を削除したりしてスキャンできます。

1. [読み取りサイズ] をタップします。

2. 任意の項目を選択します。

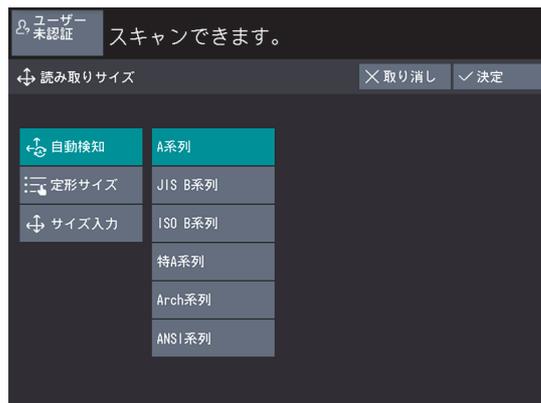
◆ 自動検知

原稿サイズを自動で認識します。



ApeosWide 3030 では、検知するサイズ系列を選択します。

- 補足**
- ・ [自動検知] のときに検知するサイズ系列は、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「原稿サイズ検知切り換え (ApeosWide 6050)」(P.286) を参照してください。
 - ・ 特 A 系列のサイズは、仕様設定機能で設定します。設定方法については、「特 A 系列のサイズ設定」(P.286) を参照してください。



◆ 定形サイズ

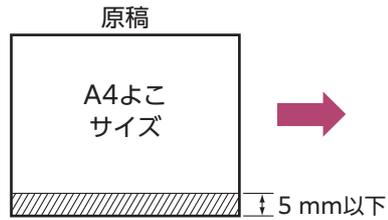
定形サイズを指定します。

- 補足**
- [出力ファイル形式] に PDF または DocuWorks を選択した場合は、倍率、解像度の組み合わせによっては、読み取りサイズが変わるか、またはエラーになることがあります。詳細については、「注意/制限事項について」の「10.4.3 スキャン機能での注意/制限」(P.344) を参照してください。



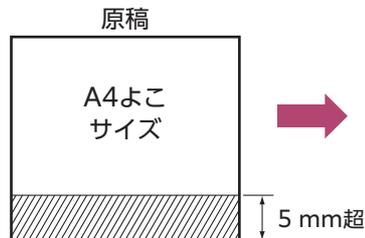
[自動検知] で、定形サイズよりも長い原稿がセットされたときは、次のように処理されます。

- 原稿の長さが、定形よこの短辺の長さ+5 mm以下の場合
「定形よこ」と検知され、はみ出した部分は無視されます。



例
左図の原稿では、「A4よこ」と検知され、はみ出した部分（斜線部）は無視されます。

- 原稿の長さが、定形よこの短辺の長さ+5 mmを超える場合
1サイズ大きい「定形たて」と検知されます。



例
左図の原稿では、「A3たて」と検知されます。

- 原稿の長さが、定形たての長辺の長さを超える場合
「定形たて」と検知され、はみ出した部分は無視されます。



例
左図の原稿では、「A4たて」と検知され、はみ出した部分（斜線部）は無視されます。

◆ サイズ入力

セットしている原稿とは異なるサイズでスキャンする場合に、読み取りたいサイズを入力します。サイズは、よこ 100～914 mm、たて 100～15,000 mm の範囲で 1 mm 単位に指定します。



3.13.3 わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してスキャンする）

縁取りのある原稿をスキャンするときに、スキャン画像のまわりに黒い影ができることがあります。このような場合に、影を消してスキャンできます。

補足 [倍率] を設定している場合は、倍率に比例して、わく消し量も拡大／縮小されます。

1. [わく消し] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。

◆ **標準**

上下／左右のわく消し量は 0 mm に設定されます。



◆ **4 辺同一**

原稿の上下左右の影を消します。わく消しの幅は、0 ～ 50 mm の範囲で 1 mm 単位に指定します。



◆ **4 辺独立**

原稿の上下左右の影を消します。上消し、下消し、左消し、右消しの 4 種類を、個別に必要な量だけ消すことができます。わく消しの幅は、0 ～ 50 mm の範囲で 1 mm 単位に指定します。



3.13.4 読み取り開始位置（原稿の読み取りはじめる位置を設定する）

原稿を読み取りはじめる位置を設定します。

1. [読み取り開始位置] をタップします。
2. 原稿の先端から 999 mm の範囲で 1 mm 単位で設定します。



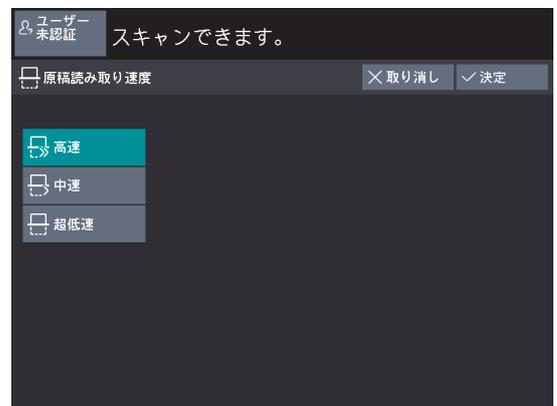
3.13.5 原稿読み取り速度（読み取る速度を指定してスキャンする）

ゆっくり確実に操作するときは、原稿を読み込む速度を調整します。

◆ ApeosWide 6050 の場合

1. [原稿読み取り速度] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。
 - ◆ [カラーモード] が [フルカラー] の場合
[高速]、[低速]、[超低速] のどれかを選択します。
 - ◆ [カラーモード] が [フルカラー] 以外の場合
[高速]、[中速]、[超低速] のどれかを選択します。

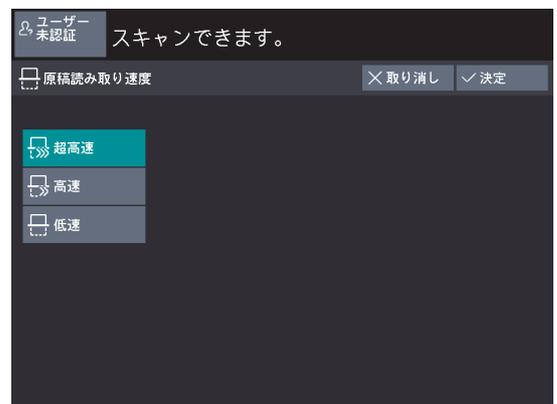
補足 解像度により、選択できない速度があります。



◆ ApeosWide 3030 の場合

1. [原稿読み取り速度] をタップします。
2. 任意の項目を選択します。
 - ◆ [カラーモード] が [フルカラー] の場合
[中速] または [超低速] を選択します。
 - ◆ [カラーモード] が [フルカラー] 以外の場合
[超高速]、[高速]、[低速] のいずれかを選択します。

補足 解像度により、選択できない速度があります。



3.14 スキャナー - [出力形式] 画面

[出力形式] 画面で設定できる機能について説明します。

1. ホーム画面で [スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC 保存)]、[スキャナー (マルチ送信)]、[スキャナー (URL 送信)] のどれかをタップし、保存先または宛先を指定します。
2. [出力形式] 画面で、機能を選択します。



■ 画像 / ファイルサイズ

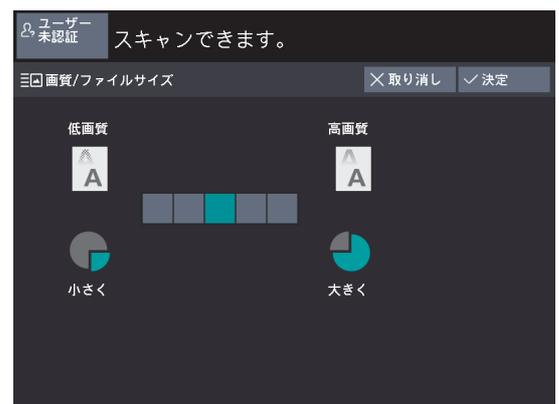
[カラーモード] が [フルカラー] または [グレースケール (256階調)] の場合に、画像の圧縮率を選択します。

◆ 低画質

高い圧縮率で保存されます。画質は悪くなりますが、ファイルサイズは小さくなります。

◆ 高画質

低い圧縮率で保存されます。画質は良くなりますが、ファイルサイズは大きくなります。



■ ファイル名★

ファイル名のヘッダー文字を設定します。

■ 件名 (URL 送信) ★

メールの件名を設定します。

■ 本文 (URL 送信) ★

メールの本文を設定します。

4 ジョブメモリー

設定項目を登録させる、ジョブメモリーについて説明しています。

4.1	ジョブメモリーの概要.....	156
4.2	ジョブメモリーの登録／削除／変更	157
4.3	ジョブメモリーの呼び出し.....	160

4.1 ジョブメモリーの概要

よく使うコピーやスキャン機能の設定をジョブメモリーに登録しておくことで、ボタン1つで呼び出すことができます。ジョブメモリーには、次の2種類があります。

■ ジョブメモリー

それぞれ次の個数を登録できます。

- | | |
|------------------------|------|
| ・ コピージョブメモリー | 80 個 |
| ・ スキャナー（ボックス保存）ジョブメモリー | 80 個 |
| ・ スキャナー（PC 保存）ジョブメモリー | 80 個 |
| ・ スキャナー（マルチ送信）ジョブメモリー | 80 個 |
| ・ スキャナー（URL 送信）ジョブメモリー | 80 個 |

コピージョブメモリーには、コピーの各機能ボタンの各項目、およびコピー部数を登録できます。スキャナーのジョブメモリーには、スキャンの各機能ボタンの各項目を登録できます。

■ マルチジョブメモリー

複数部数コピーするときに、仮定の配布先ごとにジョブメモリーを適用して仕分け出力できます。この機能をマルチジョブといいます。

マルチジョブメモリーは、コピー専用機能です。20個まで登録できます。

[コピー部数]、[倍率]、[用紙選択]、[自動画像回転]、[紙折り]（紙折りがある場合）、[排出先]（紙折りがない場合）、[スタンプ] を登録できます。

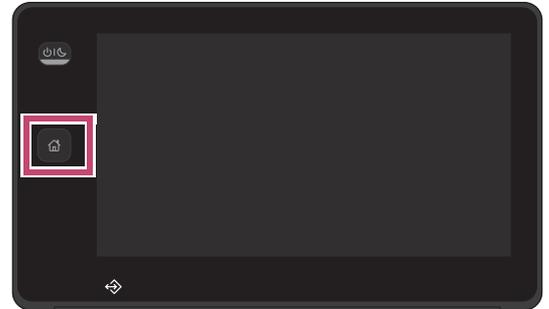
補足 マルチジョブメモリーは、ApeosWide 6050 でだけ表示、登録できます。

4.2 ジョブメモリーの登録/削除/変更

4.2.1 ジョブメモリーを登録する

ジョブメモリーを登録します。ここでは、スキャナー（ボックス保存）でジョブメモリーを登録する方法を例に説明します。

1. 操作パネルのホームボタンを押します。



2. ホーム画面で [登録/変更] をタップします。



3. [スキャナー（ボックス保存）ジョブメモリー] をタップします。



4. 登録する番号を選択します。

- 補足**
- ・ [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
 - ・ 任意のジョブメモリー番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にジョブメモリー番号を入力してください。

5. [登録/再登録] をタップします。



6. ボックスを選択します。
7. パスワードを入力、[確定] をタップします。
8. [決定] をタップします。



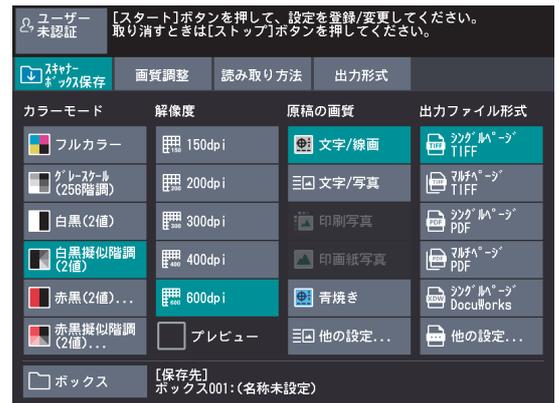
9. 登録する機能を設定します。

補足 登録を中止する場合は、[ストップ] をタップしてください。

10. [スタート] をタップします。

補足 登録したジョブメモリーに名前を付けないと、「名称未設定」と表示されます。

参照 登録したジョブメモリーに名前を付ける方法については、「4.2.3 ジョブメモリーの名称を登録/変更する」(P.159) を参照してください。



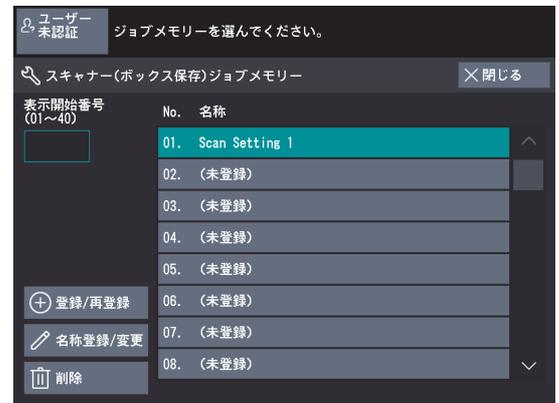
4.2.2 ジョブメモリーを削除する

登録されているジョブメモリーを削除する方法について説明します。

1. 削除する番号を選択します。

補足 ・ [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
・ 任意のジョブメモリー番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にジョブメモリー番号を入力してください。

2. [削除] をタップします。



3. [はい (削除する)] をタップします。

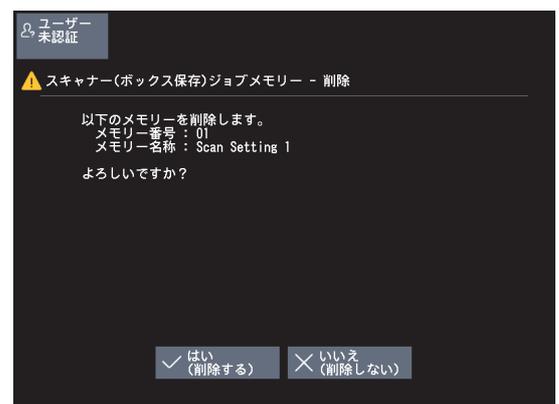
◆ はい (削除する)

ジョブメモリーを削除します。

補足 削除したジョブメモリーは、元に戻すことはできません。

◆ いいえ (削除しない)

ジョブメモリーの削除を取り消します。



4.2.3 ジョブメモリの名称を登録/変更する

登録したジョブメモリの名前を登録/変更する方法について説明します。

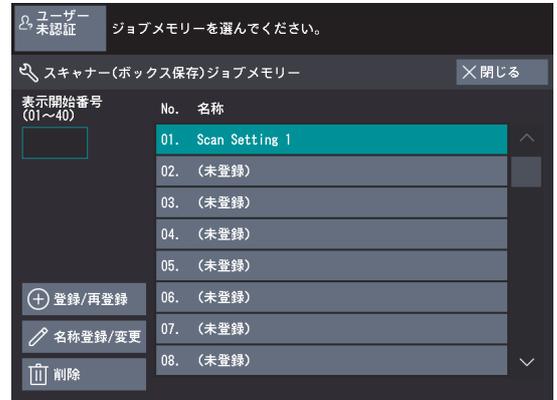
ジョブメモリの名前は、全角で10文字（半角で20文字）以内で入力できます。

参照 文字の入力方法については、「1.6 文字の入力方法について」(P.28) を参照してください。

1. 名前を登録または変更する番号を選択します。

補足 [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。

2. [名称登録/変更] をタップします。



3. 名前を入力し、[決定] をタップします。



4.3 ジョブメモリーの呼び出し

登録されたジョブメモリーを選択する手順について説明します。

補足 マルチジョブメモリーは、コピー - [出力形式] 画面の [マルチジョブ] で呼び出します。

1. 操作パネルのホームボタンを押します。
2. ホーム画面で [コピージョブメモリー]、[スキャナー (ボックス保存) ジョブメモリー]、[スキャナー (PC 保存) ジョブメモリー]、[スキャナー (マルチ送信) ジョブメモリー]、[スキャナー (URL 送信) ジョブメモリー] のどれかをタップします。
3. 呼び出したい機能が登録されている、ジョブメモリーの番号を選択します。

補足

- ・登録されている番号だけを選択できます。
- ・[▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
- ・任意のジョブメモリー番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にジョブメモリー番号を入力してください。

4. ジョブメモリーが呼び出されたら、必要に応じて、そのほかの機能を設定します。

補足 ジョブメモリーが呼び出されたら、メッセージエリアに7秒間ジョブメモリー番号が表示されます。

5. 原稿をセットし、コピーまたはスキャンします。



5 コンピューターからの操作

インターネットサービスの操作、プリント、スキャンデータの取り込みなど、コンピューターから行う操作について説明しています。

補足 各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。

5.1	機能の紹介.....	162
5.2	インターネットサービス	163
5.3	プリント	168
5.4	親展プリントについて.....	171
5.5	スキャンデータの取り込み.....	180

5.1 機能の紹介

コンピューターから操作する機能の概要について説明します。

■ インターネットサービス

インターネットサービスを使って、本機の状態やジョブ状態の表示、設定を変更できます。また、ボックスに保存されている文書の取り込みもできます。

- **参照** ・操作方法については、「5.2 インターネットサービス」(P.163)を参照してください。
- ・ボックスに保存されているスキャンデータの取り込みについては、「5.5.3 インターネットサービスを利用して取り込む」(P.185)を参照してください。

■ プリント

コンピューターから本機にプリントします。

- **参照** 操作方法については、「5.3 プリント」(P.168)を参照してください。

■ スキャンデータの取り込み

本機のボックスに保存されている文書をコンピューターに取り込みます。

- **参照** 操作方法については、「5.5 スキャンデータの取り込み」(P.180)を参照してください。

5.1.1 最新ソフトウェアの入手方法について

最新のソフトウェアを入手する方法について説明します。

ソフトウェアを入手するためのホームページアドレス (URL) は、次のとおりです。

<https://www.fujifilm.com/fb/download/>

なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

5.2 インターネットサービス

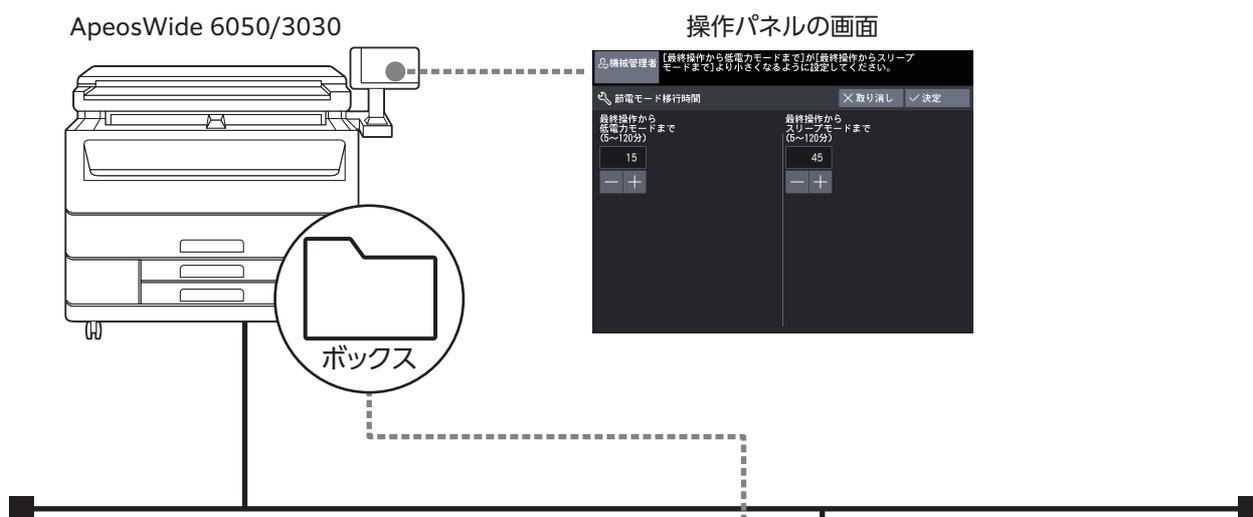
5.2.1 インターネットサービスについて

インターネットサービスは、TCP/IPネットワーク環境が利用できる場合、お使いのコンピューターからWebブラウザを介して本機にリモートでアクセスして利用できる機能です。

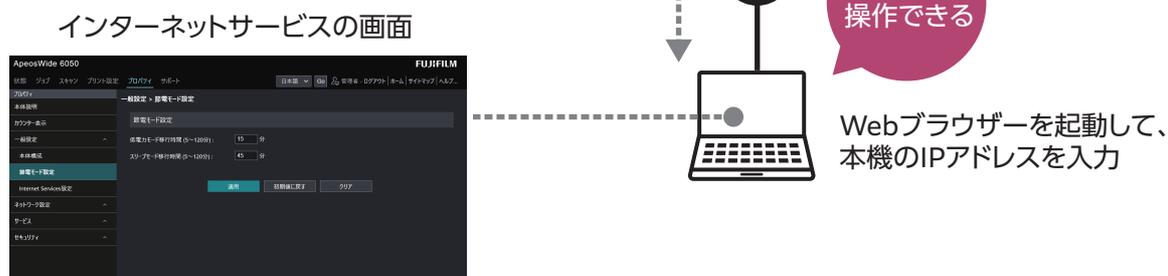
インターネットサービスを利用すると、本機の操作パネルの前まで行かなくても、使用状況を把握したり、本機の機能の設定値をコンピューターから変更したりできます。

また、ボックスに保存されている文書の取り込みもできます。

操作パネルで操作する場合



インターネットサービスで操作する場合



5.2.2 インターネットサービスを使うための設定

■ 事前準備

インターネットサービスを利用するためには、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPが利用できるコンピューターが必要です。

参照 設定中にトラブルが発生した場合は、「8.8 インターネットサービスのトラブル」(P.248)を参照してください。

■ Web ブラウザーの設定

本サービスを使用する前に、使用するWebブラウザで次の設定を確認してください。

Microsoft Edgeでの設定手順は、次のとおりです。

1. Windows の [スタート] メニューから、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [ネットワークとインターネット] > [インターネットオプション] の順に選択します。
[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。
2. [全般] タブにある、[閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。
[Web サイトデータの設定] 画面が表示されます。
3. [インターネット一時ファイル] タブの [保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] で、[Web サイトを表示するたびに確認する] または [Internet Explorer を開始するたびに確認する] を選択します。
4. [OK] をクリックします。

■ プロキシサーバーとポート番号

本サービスを使用する場合の、プロキシサーバーの設定とポート番号について説明します。

◆ プロキシサーバー

本サービスを使用する場合には、プロキシサーバーを経由しないで直接接続することをお勧めします。

補足 プロキシサーバーを経由する場合は、Web ブラウザーで本機の IP アドレスを指定すると応答が遅くなり、画面が表示されないことがあります。そのときは、Web ブラウザー側で本機の IP アドレスを、プロキシサーバーを経由しない設定にする必要があります。設定方法については、使用している Web ブラウザーのマニュアルを参照してください。

◆ ポート番号

本サービスのポート番号は、工場出荷時は「80」に設定されています。ポート番号は [プロパティ] > [プロトコル設定] > [HTTP] で変更できます。設定できるポート番号は「1」から「65535」です。

なお、ポート番号を変更した場合には、Webブラウザに入力するときに、IPアドレスまたはインターネットアドレスのあとに、「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。

たとえば、ポート番号を「8080」にした場合には、次のように指定します。

http:// [本機のIP アドレス] :8080/

または

http:// [本機のインターネットアドレス] :8080/

補足 通信を暗号化している場合、インターネットサービスにアクセスするには、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。

■ 本機側の設定

インターネットサービスを使用するための、IPアドレスを設定します。

補足 すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。

参照 IP アドレスの設定については、「6.2 IP アドレスの設定」(P.201)を参照してください。

5.2.3 インターネットサービスを起動する

コンピューターからインターネットサービスに接続します。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - ・ IP アドレスの入力例
例) http://192.168.0.101
 - ・ インターネットアドレスの入力例 (本機のインターネットアドレスが、myhost.example.com の場合)
例) http://myhost.example.com

- 補足**
- ・ お使いのネットワークが DNS (Domain Name System) を使用していて、DNS のネームサーバーに本機のホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせたインターネットアドレスを使って本機にアクセスできます。ホスト名が「myhost」、ドメイン名が「example.com」の場合、インターネットアドレスは「myhost.example.com」となります。
 - ・ 入力する IP アドレス、インターネットアドレスについては、機械管理者に確認してください。
 - ・ ポート番号を指定する場合は、IP アドレスまたはインターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
 - ・ [プロパティ] タブにある [セキュリティ] > [SSL / TLS 設定] > [HTTP-SSL / TLS 通信] の [有効] にチェックマークを付け、通信を暗号化している場合、インターネットサービスにアクセスするには、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
IP アドレスの入力例
例) https://192.168.1.1/
インターネットアドレスの入力例
例) https://myhost.example.com/
 - ・ 機械管理者の認証に失敗すると、Web ブラウザーの右側フレームに、次のメッセージが表示されます。
「認証に失敗しました。」
 - ・ 機械管理者の認証に設定回数を超えて失敗すると、Web ブラウザーの右側フレームに、次のメッセージが表示されます。
「管理者認証するには、本機の電源を入/切してください。」

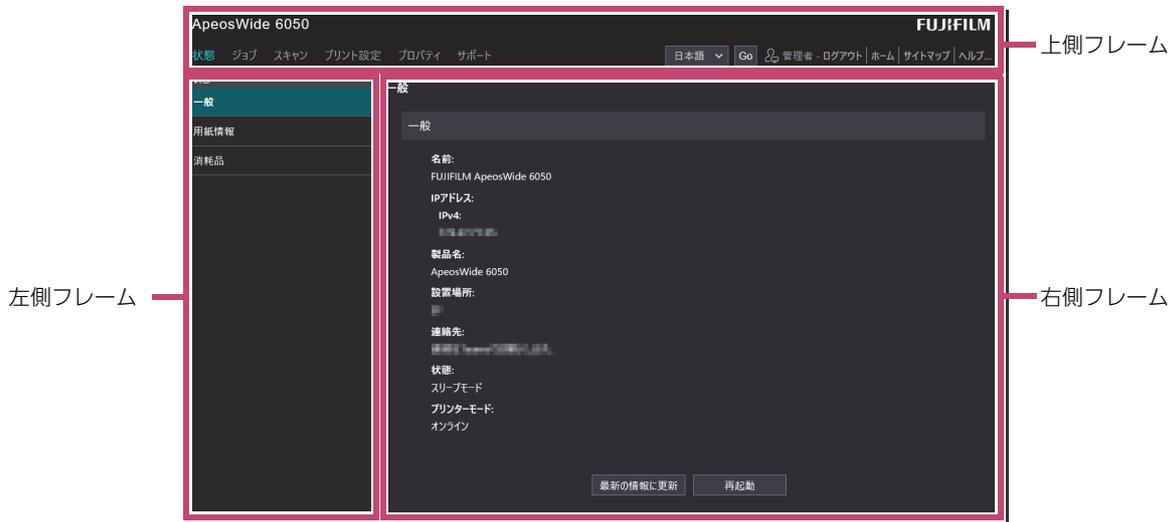
- 参照** 設定中にトラブルが発生した場合は、「8.8 インターネットサービスのトラブル」(P.248) を参照してください。

5.2.4 インターネットサービスの画面構成

インターネットサービスの画面は、3つのフレーム（分割された画面）から構成されています。

使う機能（状態、ジョブ、スキャン、プリント設定、プロパティ、サポート）に合わせて、各フレームの表示情報が切り替わります。

補足 上部フレームの「ヘルプ」をクリックすると、ヘルプが表示され、インターネットサービスについての説明を見ることができます。



◆ 上部フレーム

ウィンドウの上部に表示されるフレームです。ロゴマーク、本機の機種名、ヘルプへのリンク、ユーザー情報、各機能に移動するためのタブ（リンク）が表示されます。

参照 インターネットサービスの各機能については、このフレームの「ヘルプ」をクリックして表示されるヘルプを参照してください。

◆ 左側フレーム

左側フレームの表示内容は、各機能を選択するたびに変わります。各機能を選択したときに、左側フレームには、設定できる機能および情報が表示されます。

◆ 右側フレーム

本機の情報および状態、「最新の情報に更新」が表示されます。「最新の情報に更新」をクリックすると、表示情報を更新できます。

インターネットサービスで使用できる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	主な機能
状態	本機の状態の表示 用紙トレイおよびトナーなど消耗品の状態を表示します。
ジョブ	ジョブ一覧およびジョブの削除、ジョブ履歴およびエラー履歴の表示
スキャン	ボックス ボックスを登録または設定します。 ボックスに保存された文書をコンピューターに取り込みます。
プリント設定	論理プリンターの設定
プロパティ	各種設定内容の確認と変更 本機のシステム、インターフェイス、エミュレーションに関する項目などについて、設定内容の確認と変更を行います。
サポート	サポート情報の表示

補足

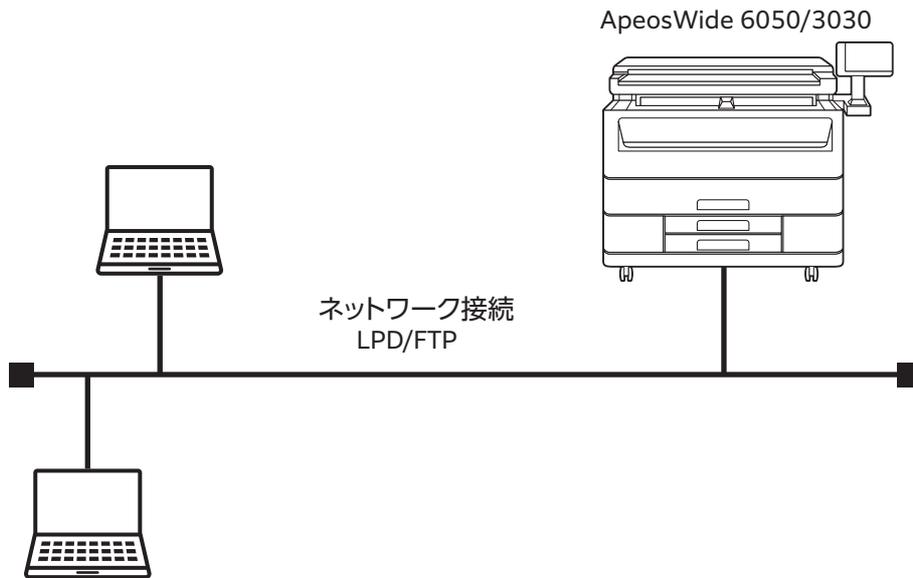
- ・インターネットサービスで設定する項目については、インターネットサービス画面の右上にある【ヘルプ】をクリックして表示される、ヘルプを参照してください。
- ・操作パネルを操作中にインターネットサービスから設定を変更した場合は、タッチパネルディスプレイに変更した設定内容が表示されません。この場合には、本機の電源を切って入れ直したときに、変更した設定内容が表示されます。
- ・設定項目の変更時にユーザー ID とパスワードを要求されるものがあります。ユーザー ID は、本機に設定してある、機械管理者の User ID です。
機械管理者の User ID およびパスワードの変更方法については、「9.9.1 機械管理者情報の設定」(P.319)を参照してください。

5.3 プリント

コンピューターから操作して、本機でプリントする方法について説明します。

5.3.1 主なプリント機能について

本機は、ネットワークを経由するとネットワークプリンターとして使用できます。
使用するポートは、操作パネルやインターネットサービスで [起動] に設定します。



■ プリンタードライバーを使用したプリント

プリンタードライバーを使ってプリントします。

参照 プリント機能については、プリンタードライバー画面の [ヘルプ] をクリックして表示されるプリンタードライバーのヘルプを参照してください。プリント方法については、「5.3.4 プリンタードライバーを使用してプリントする」(P.170) を参照してください。

■ BT-PlotAssistant (オプション) を使用したプリント

BT-PlotAssistantを使うと、本機にプリントできるデータフォーマットであれば、ファイル形式の異なる複数のファイルを一度にプリントできます。

■ リプロサーバ BT-X (オプション) を使用したプリント

リプロサーバBT-Xは、アプリケーションで設定情報を付加したプリントデータを送ることによって、配布先ごとに部数、拡大／縮小、紙折りなどを設定したプリントを行うことができます。

5.3.2 プリントできるデータフォーマット

コンピューターから本機にプリント指示できるデータフォーマットは、次のとおりです。

データの種類	プリントできるデータフォーマット
HP-GL 系	HP-GL、HP-GL/2、HP RTL
TIFF/JFIF 系	TIFF Version 6.0準拠、JFIF Version 1.02準拠
CALS 系	CALS Type1
PS/PDF 系	Adobe PostScript 3 Version 3017、PDF Version 1.7

補足 PS/PDF 系データを出力する場合は、本体側に AW6050 PS/PDF キット または AW3030 PS/PDF キット (オプション) が必要です。

5.3.3 プリントするための準備をする

TCP/IPでプリントするための準備について説明します。

■ Step1 事前準備

本機をTCP/IP (LPD) で使用する場合は、次のものがが必要です。

- ・TCP/IPが使用できるネットワーク環境
- ・メディア (ソフトウェア/製品マニュアル)

■ Step2 本機側の設定

本機でTCP/IP (LPD) を使用するための、本機側の設定手順について説明します。

補足 インターネットサービスを使用して、設定することもできます。インターネットサービス画面の右上にある [ヘルプ] をクリックして表示される、ヘルプを参照してください。

1. [仕様設定/登録] 画面を表示します。

(1) 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。

(2) テンキー、または表示されるキーボードを使って、機械管理者のUser IDを入力し、[確定] をタップします。

参照 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。

(3) ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。

2. LPD ポートが、[起動] に設定されていることを確認します。

参照 LPD ポートの設定については、「9.5.1 ポート設定」(P.302) を参照してください。

3. IP アドレスを設定します。

この手順は、すでに IP アドレスが設定されている場合は必要ありません。

参照 IP アドレスの設定については、「9.5.2 プロトコル設定」(P.303) を参照してください。

4. [仕様設定/登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] をタップします。

5. [閉じる] をタップします。

補足 設定内容によっては、再起動が必要です。画面が表示されたら再起動してください。

6. 必要に応じてそのほかの LPD の設定を行ってください。

■ Step3 コンピューター側の設定

コンピューターからプリントするために、コンピューターにプリンタードライバーやアプリケーションをインストールします。

- 参照**
- ・プリンタードライバーのインストール方法については、メディア（ソフトウェア／製品マニュアル）のヘルプを参照してください。
 - ・BT-PlotAssistant（オプション）のインストール方法については、『BT-PlotAssistant ユーザーズガイド』を参照してください。
 - ・リプロサーバ BT-X（オプション）のインストール方法については、『リプロサーバ BT-X 操作説明書』を参照してください。

5.3.4 プリンタードライバーを使用してプリントする

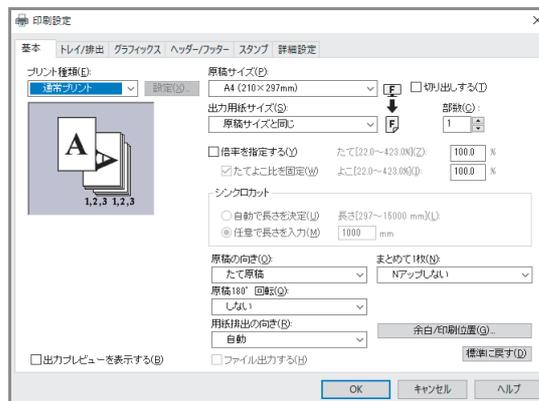
プリンタードライバーを使用したプリントの手順について説明します。

プリントの手順はお使いのアプリケーションによって異なります。詳細は各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

ここでは、Windowsのワードパッドからプリントする例を説明します。

- 参照** プリント機能については、プリンタードライバー画面の【ヘルプ】をクリックして表示されるプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. アプリケーションの【ファイル】メニューから、【印刷】を選択します。
2. [FF ApeosWide 6050] または [FF ApeosWide 3030] を選択し、必要に応じて【詳細設定】をクリックします。
3. 必要に応じて、各項目を設定します。
4. [OK] をクリックします。
5. [印刷] ダイアログボックスで、【印刷】をクリックします。



5.3.5 プリントを中止する

プリントを中止する手順について説明します。

1. タッチパネルの【ストップ】をタップします。
2. 【全削除】または【はい（削除する）】をタップします。

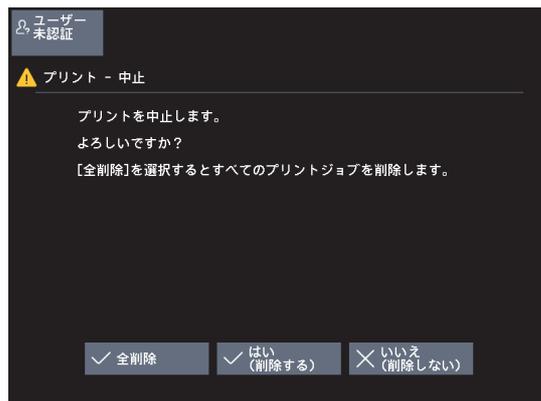
補足 操作パネル台の〈ストップ〉ボタンを押してもプリントを中止できます。

◆ 全削除

すべてのプリントジョブを削除します。

◆ はい（削除する）

現在のプリントジョブを削除します。



5.4 親展プリントについて

プリントを指示したデータを一時的に本機内に保存し、プリントしたいときに本機側の指示でプリントできます。これを「親展プリント」と呼びます。

ユーザー IDや暗証番号を設定できるので、他人に見られたくない文書や機密文書をプリントするときに便利です。親展プリントには、認証機能の使用条件によって次の2種類があります。

■ セキュリティープリント

ユーザー IDと暗証番号を設定してプリントを指示したデータを、一時的に本機内に保存し、本機の操作パネルからの指示でプリントする機能です。

データは、本機にセキュリティープリント文書として保存されます。

補足 認証機能を使用している場合でも、[プライベートプリントの設定] > [認証成功のジョブ] で [プリント] に設定しているときは、セキュリティープリントを使用できます。
設定方法については、「[プライベートプリントの設定] (P.326) を参照してください。

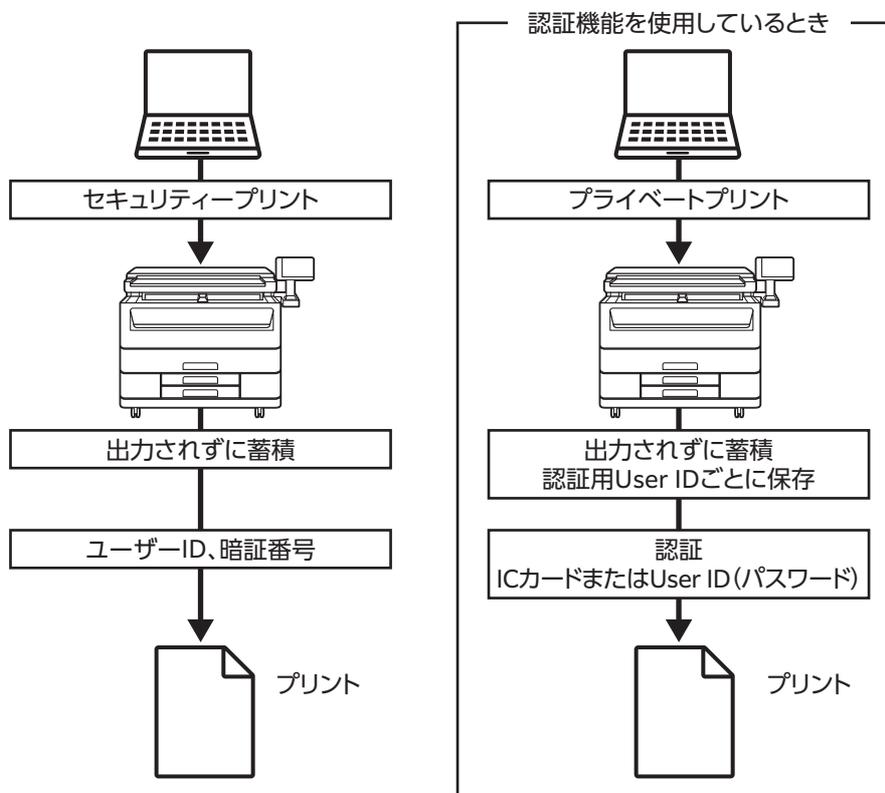
■ プライベートプリント

認証機能を使用している場合だけ、使用できます。

認証の設定でプリントが許可されたユーザーのデータだけを一時的に本機内に保存し、本機の操作パネルからの指示でプリントする機能です。操作パネルからプリント指示するときに、認証が必要です。

データは、本機に、認証用User IDごとにプライベートプリント文書として保存されます。

補足 [プライベートプリントの設定] > [認証成功のジョブ] で [プリント] に設定しているときは、保存されずに通常にプリントされます。
設定方法については、「[プライベートプリントの設定] (P.326) を参照してください。



親展プリントは、プリンタードライバー、またはBT-PlotAssistant (オプション) を使って指示します。

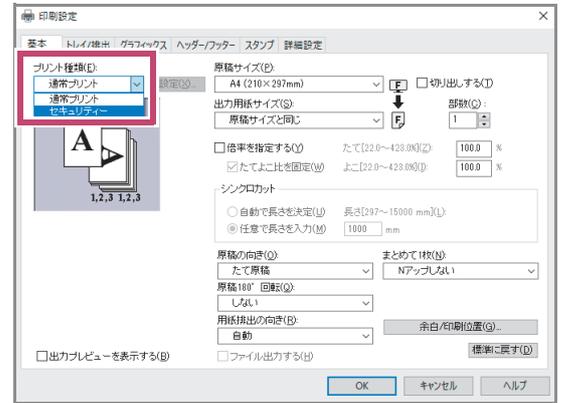
ここでは、Windowsのワードパッドから、セキュリティープリントおよびプライベートプリントを指示する方法を例に説明します。

参照 プリントの手順は、お使いのソフトウェアによって異なります。詳細は、各ソフトウェアの説明書を参照してください。

5.4.1 セキュリティープリント

■ Step1 プリンタードライバーでセキュリティープリントを指示する

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. [FF ApeosWide 6050] または [FF ApeosWide 3030] を選択し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブを選択します。
4. [プリント種類] から [セキュリティー] を選択します。
[セキュリティープリント] 画面が表示されます。



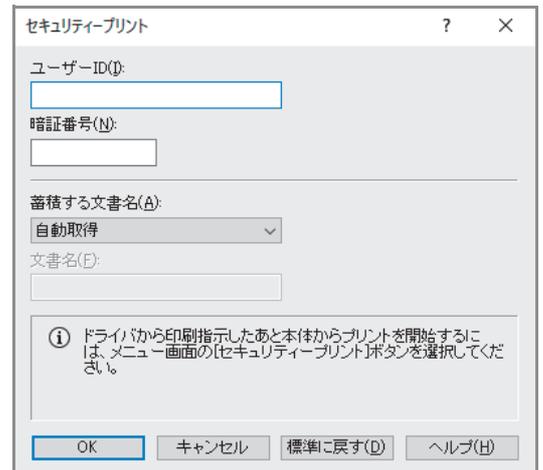
5. [ユーザー ID] と [暗証番号] を入力します。

補足 [ユーザー ID] は半角英数字 24 文字以内、[暗証番号] は半角数字 4 ~ 12 文字で入力します。

6. [蓄積する文書名] から [文書名を入力する] または [自動取得] を選択します。

補足 [文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を半角 24 文字 (全角 12 文字) 以内で入力します。

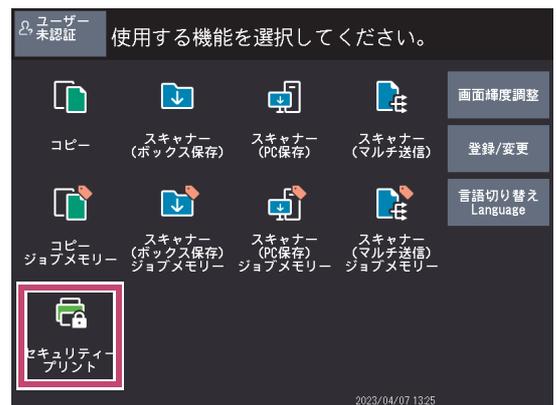
7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、各項目を設定し、[基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで、[印刷] をクリックします。



■ Step2 本機でプリントする

本機に保存された文書を、本機の操作パネルを使ってプリントします。

1. ホーム画面で [セキュリティープリント] をタップします。



2. セキュリティープリントを指示したときのユーザーIDを選択します。

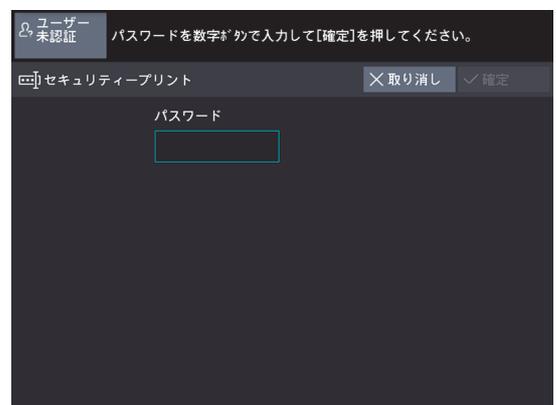
- 補足**
- ・ [表示更新] をタップすると、最新の情報が表示されます。
 - ・ [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面が表示できます。



3. [文書確認/プリント] をタップします。

4. パスワードを入力し、[確定] をタップします。

- 補足**
- パスワードが設定されていない場合、機械管理者モードに入っている場合は、[パスワード] 画面は表示されません。



5. プリントする文書を選択します。

- 補足**
- ・ [表示更新] をタップすると、最新の情報が表示されます。
 - ・ [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面が表示できます。

◆ 全文書選択

すべての文書を選択できます。全文書選択した状態で再度選択すると、選択が解除されます。

◆ 削除

選択した文書を削除します。



6. [プリント実行] をタップします。

7. プリント実行の確認画面で、[プリント後削除する] または [プリント後削除しない] をタップします。

- 補足**
- ・ [取り消し] をタップすると、文書のプリントが中止されます（データは消去されません）。
 - ・ [仕様設定/登録] > [仕様設定] > [保存文書設定] > [プリント時の確認画面表示] を [しない] に設定している場合は、この画面は表示されません。

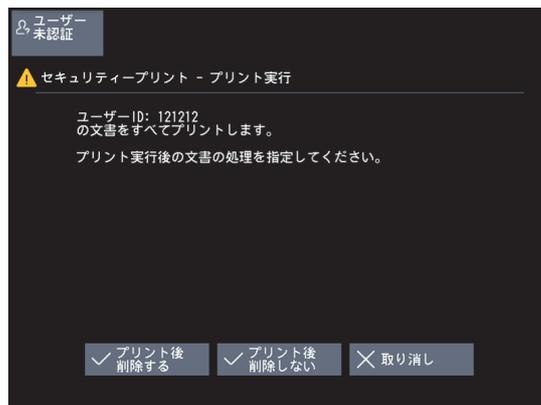
◆ プリント後削除する

プリントしたあと、本機に保存されているセキュリティープリント文書が削除されます。

◆ プリント後削除しない

本機に保存されているセキュリティープリント文書は削除されません。

- 補足** [仕様設定/登録] > [仕様設定] > [保存文書設定] で、本機に保存されているプリント文書を自動的に削除できます。（[9.7.1 保存文書設定] (P.314)）



5.4.2 プライベートプリント

本機にプリント指示したプリントジョブを一時的に本機内に保存し、認証後、本機の操作パネルからプリントジョブを選択して出力する「プライベートプリント」を設定します。

[プライベートプリントに保存] を選択すると、User IDありのジョブはプライベートプリントに保存されます。User IDなしのジョブは、[User IDなしのジョブ] で [プリント] を選択するとプリントされ、[User IDなしのジョブ] で [ジョブを中止] を選択すると削除されます。

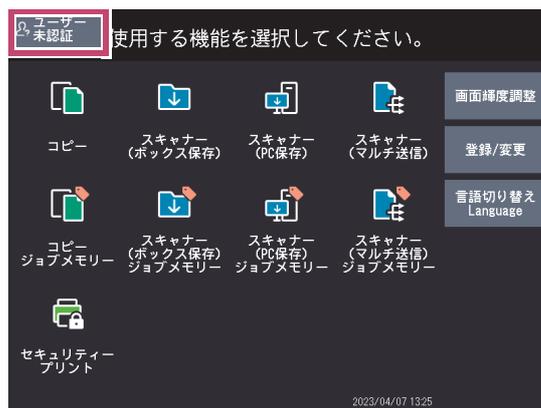
User IDありのジョブ	User IDなしのジョブ
プライベートプリントに保存	プリント*1
	削除*2

* 1 [User IDなしのジョブ] で [プリント] 選択時

* 2 [User IDなしのジョブ] で [ジョブを中止] 選択時

■ Step1 本機でプライベートプリントを設定する

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。



2. テンキー、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

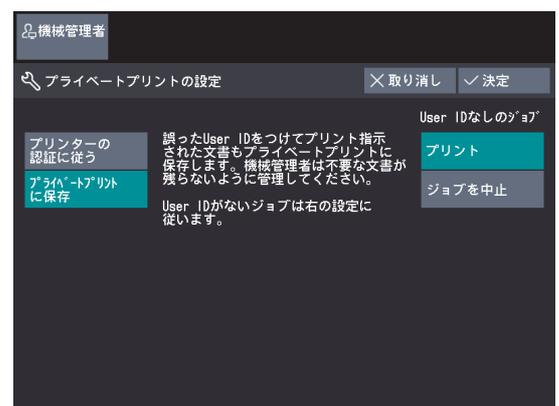
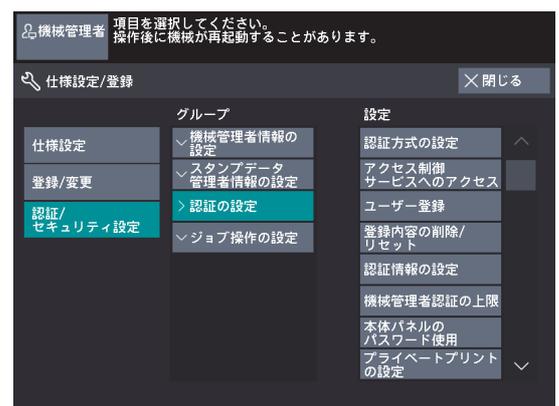
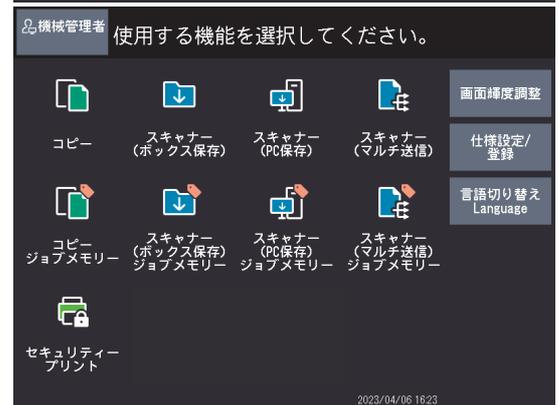
補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。

3. ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。

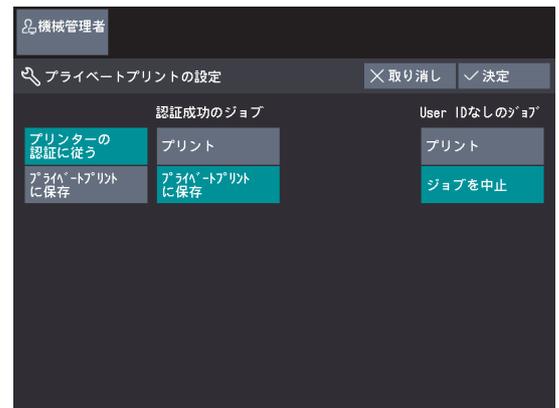
補足 ホーム画面が表示されていないときは、ホームボタンを押して、表示させてください。

4. [認証/セキュリティ設定] > [認証の設定] > [プライベートプリントの設定] をタップします。

5. [プライベートプリントに保存] をタップします。



補足 外部認証時、[プリンターの認証に従う] を選択した場合は、[認証成功のジョブ]、[User ID なしのジョブ] の設定は無視され、すべてのプリントジョブがプリントされます。



6. [User ID なしのジョブ] は、[プリント] または [ジョブを中止] を選択します。
7. [決定] をタップします。

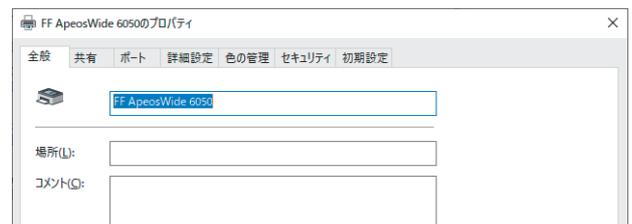
■ Step2 コンピューターで認証情報を設定する

本機でプライベートプリントを利用するには、コンピューターでプライベートプリントの認証情報を設定します。

1. プリンターアイコンを右クリックします。
2. 表示されたショートカットメニューの [プリンターのプロパティ] を選択します。



3. [初期設定] タブを選択します。



4. [認証管理する] にチェックマークを付けます。

5. [認証情報の設定] をクリックします。

6. User ID を指定します。

補足 コンピューターのWindowsログイン名と、認証サーバー（外部認証時）または本機（本体認証時）に登録されている User ID が異なる場合と一致する場合で、設定が異なります。

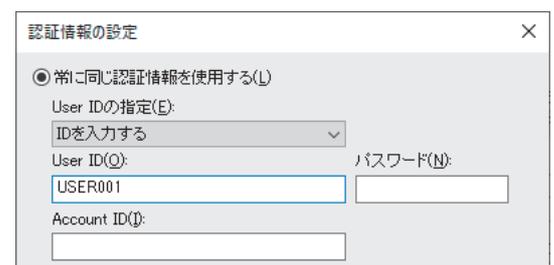


◆ Windows ログイン名と User ID が異なる場合

コンピューターの Windows ログイン名と、認証サーバー（外部認証時）または本機（本体認証時）に登録されている User ID が異なる場合、プリンタードライバーの [User ID の指定] に User ID を入力します。たとえば、Windows ログイン名が「PCUser001」、登録されている User ID が「USER001」の場合、[User ID の指定] に「USER001」と入力します。

- (1) [User ID の指定] の [▼] をクリックし、[ID を入力する] を選択します。
- (2) [User ID] に、に登録されている User ID を入力します。

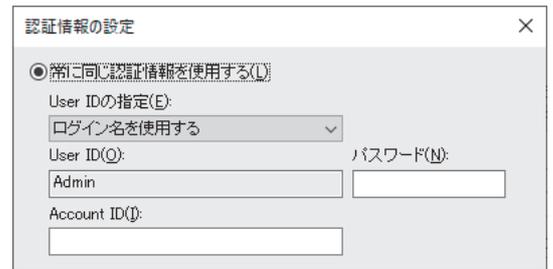
補足 IC カードリーダーが接続されている場合、本体認証のときは「カード ID」を入力しますが、外部認証のときは「カード ID」ではなく「User ID」を入力しますのでご注意ください。



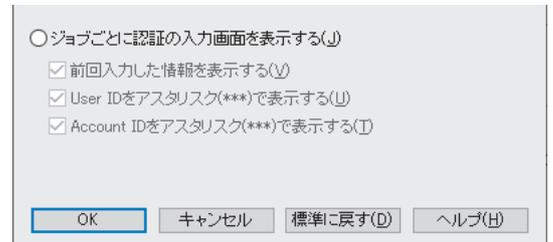
◆ Windows ログイン名と User ID が一致する場合

コンピューターの Windows ログイン名と、認証サーバーに登録されている User ID（外部認証時）、または本機に登録されている User ID（本体認証時）が一致する場合、プリンタードライバーの [User ID の指定] に [ログイン名を使用する] を指定します。たとえば、Windows ログイン名が「USER001」、登録されている User ID が「USER001」の場合、[User ID の指定] に [ログイン名を使用する] を指定します。

- (1) [User ID の指定] の [▼] をクリックし、[ログイン名を使用する] を選択します。



7. [OK] をクリックします。



8. プロパティ画面の [OK] をクリックします。

Step3 プリンタードライバーでプライベートプリントを指示する

プライベートプリントは、認証情報を設定したあとにプリンタードライバーを使ってプリントします。

参照 「5.3.4 プリンタードライバーを使用してプリントする」(P.170)

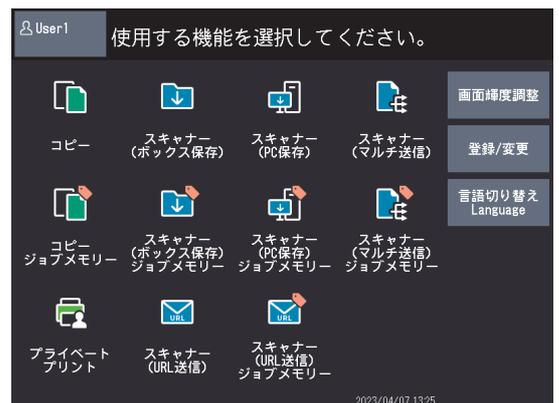
Step4 本機でプリントする

- 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
- テンキーまたは表示されるキーボードを使って、ユーザー ID、必要に応じてパスワードを入力し、[確定] をタップします。

補足 ・ 認証する場合、パスワードを設定することで、機密性が向上します。
パスワードの設定：「本体パネルのパスワード使用」(P.325)
・ User ID、パスワードについては、機械管理者に確認してください。



- ホーム画面で [プライベートプリント] をタップします。



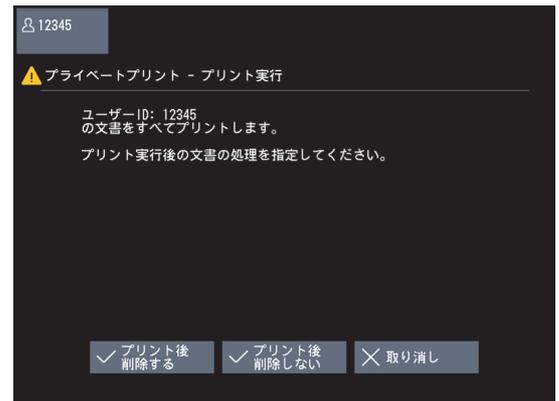
4. プリントする文書を選択し、[プリント実行] をタップします。

- 補足**
- ・ [表示更新] をタップすると、最新の情報が表示されます。
 - ・ [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面が表示できます。
 - ・ [全文書選択] をタップすると、すべての文書を選択できます。全文書選択した状態で再度選択すると、選択が解除されます。
 - ・ [削除] をタップすると、選択した文書を削除します。



5. プリント実行の確認画面で、[プリント後削除する] または [プリント後削除しない] をタップします。

- 補足**
- ・ [取り消し] をタップすると、文書のプリントを取り消します。
 - ・ [仕様設定/登録] > [仕様設定] > [保存文書設定] > [プリント時の確認画面表示] を [しない] に設定している場合は、この画面は表示されません。



◆ プリント後削除する

プリントしたあと、本機に保存されているプライベートプリント文書が削除されます。

◆ プリント後削除しない

本機に保存されているプライベートプリント文書は削除されません。

- 補足** [仕様設定/登録] > [仕様設定] > [保存文書設定] で、本機に保存されているプリント文書を自動的に削除できます。(「9.7.1 保存文書設定」(P.314))

5.5 スキャンデータの取り込み

本機のボックスに保存されている文書をコンピューターに取り込む手順について説明します。

5.5.1 TWAIN 対応アプリケーションから取り込む

本機のボックスに蓄積されている文書を、アプリケーションに取り込む方法について説明します。

蓄積文書の取り込みには、ネットワークスキャナユーティリティ 3を使用します。

ネットワークスキャナユーティリティ 3は、ネットワークを介して、本機のボックスに蓄積されている文書（スキャンデータ）をコンピューターのアプリケーションに取り込むためのソフトウェアです。

ネットワークスキャナユーティリティ 3を使用するためには、ネットワークスキャナユーティリティ 3をコンピューターにインストールします。

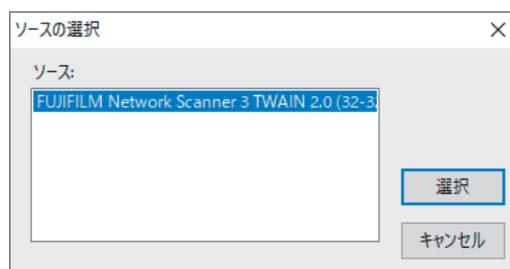
- 補足** ・メディア（ソフトウェア／製品マニュアル）を使って、ネットワークスキャナユーティリティ 3 をインストールします。
- ・ボックスの文書を取り込むには、ポートの起動など、あらかじめ設定しておく項目があります。設定方法については、「6.3.1 スキャナー（ボックス保存）の設定」(P.202)を参照してください。また、アプリケーション側の操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
- 参照** ・ネットワークスキャナユーティリティ 3 のインストール方法については、メディア（ソフトウェア／製品マニュアル）のヘルプを参照してください。
- ・表示されるダイアログボックスの項目については、[ヘルプ] をクリックして表示されるネットワークスキャナユーティリティ 3 のヘルプを参照してください。

1. 文書を取り込むアプリケーションを起動します。

- 補足** アプリケーションは、TWAIN に対応している必要があります。TWAIN とは、スキャナーなどの入力装置向けの規格です。
- 参照** アプリケーションを使用するときの注意制限事項については、ネットワークスキャナユーティリティ 3 の「Readme」ファイルを参照してください。

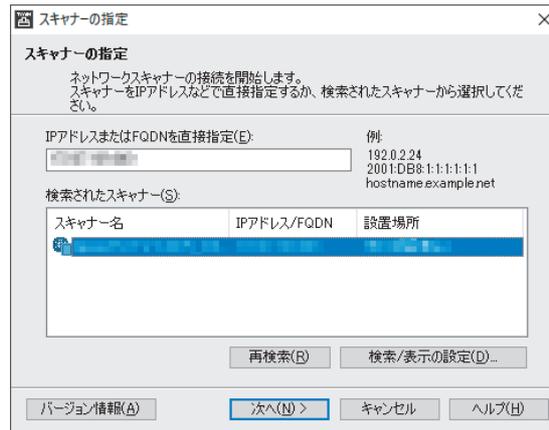
2. [ファイル] メニューから、スキャナー（ソース）を選択するコマンドを選択します。

3. [FUJIFILM Network Scanner 3 TWAIN] を選択し、[選択] をクリックします。

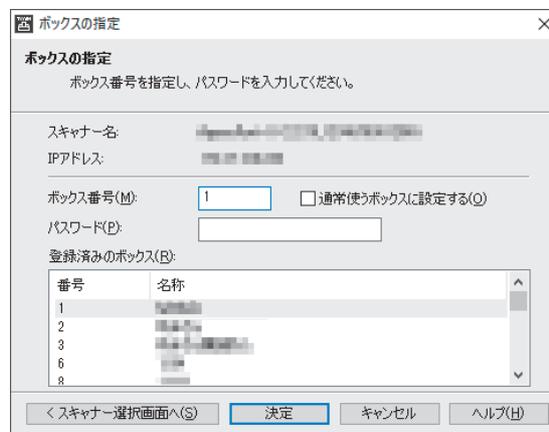


4. [ファイル] メニューから、スキャナーから画像を取り込むコマンドを選択します。

5. 表示されているリストの中から、接続する本機のスキャナー名をクリックし、[次へ] をクリックします。



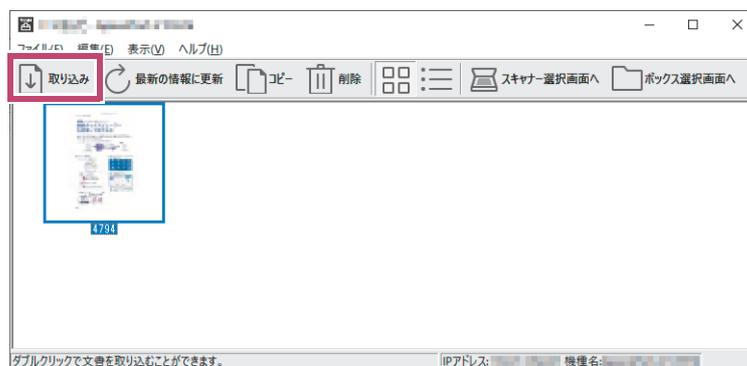
6. [ボックス番号] に取り込む文書が蓄積されているボックス番号 (001 ~ 100 の半角数字) と、[パスワード] にパスワード (4 桁以内の半角数字) を入力します。



- 補足**
- ・ [登録済みのボックス] に表示されたボックス番号を選択できます。
 - ・ [スキャナー選択画面へ] をクリックすると、手順 5 の画面に戻り、スキャナーの再選択ができます。

7. [決定] をクリックします。

8. リストから取り込む文書を選択し、[取り込み] をクリックします。



- 補足**
- ・ 複数の文書を選択して取り込むことができます。
 - ・ [取り込み]、[最新の情報に更新]、[削除] は、リストで右クリックして表示されるショートカットメニューからも選択できます。

文書の取り込みが開始すると、ボックスからスキャンデータがコンピューターに転送されます。転送が終了すると、文書がアプリケーションに取り込まれ、ボックス内の文書が削除されます。

- 補足**
- ・ ページ単位で取り込みした場合で取り込まれていないページのある文書は、リスト内のその文書の先頭に、取り込み途中を示すアイコンが表示されます。
 - ・ アプリケーションによっては、圧縮データの伸長処理を行うので、データの転送に時間がかかることがあります。
 - ・ 転送後、ボックス内の文書を削除しないように設定できます。設定方法は、「6.1.2 ボックス登録」(P.192) を参照してください。

■ ネットワークスキャナユーティリティ 3 の設定変更

参照 表示されるダイアログボックスの項目については、[ヘルプ] をクリックして表示されるネットワークスキャナユーティリティ 3 のヘルプを参照してください。

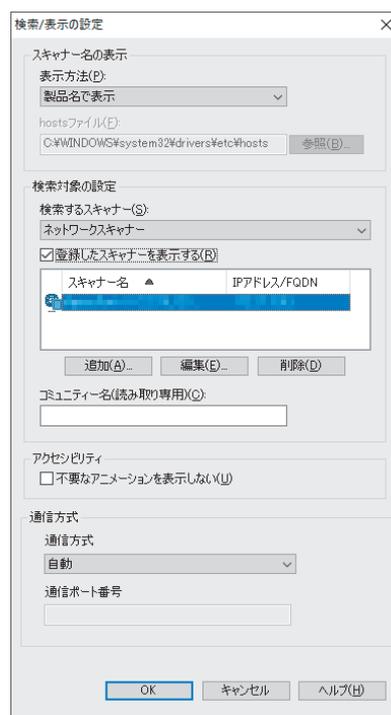
◆ スキャナー名の表示方法を設定する

スキャナーを選択するとき、リストに表示されるスキャナー名の表示方法を変更できます。

スキャナー名の表示方法は、スキャナーを選択する画面で、[検索/表示の設定] をクリックして表示されるダイアログボックスで設定します。

[スキャナー名の表示] で [検索するスキャナー] に表示するスキャナー名の表示方法を変更できます。

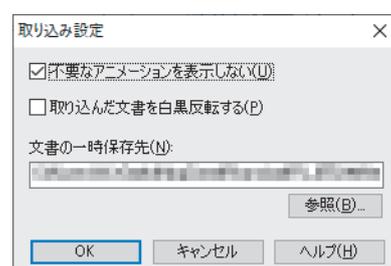
- 補足** [検索対象の設定] で検索対象とするスキャナーを指定します。
[追加] をクリックしてスキャナーを登録すると、異なるサブネットワークにあるスキャナーを表示できます。



◆ スキャンした文書の取り込み方法を設定する

ボックスの文書を取り込むときの文書の表示方法や取り込み方法を変更できます。

取り込み方法は、取り込む文書を選択する画面で、[ファイル] メニューから [取り込み設定] を選択して表示される画面で設定します。



5.5.2 親展ボックスビューワー 3 から取り込む

本機のボックスに蓄積されている文書を、親展ボックスビューワー 3 からコンピューターに取り込む方法について説明します。

親展ボックスビューワー 3 を使用すると、アプリケーションを介さずに、本機のボックスに蓄積されている文書を、コンピューターに取り込みます。

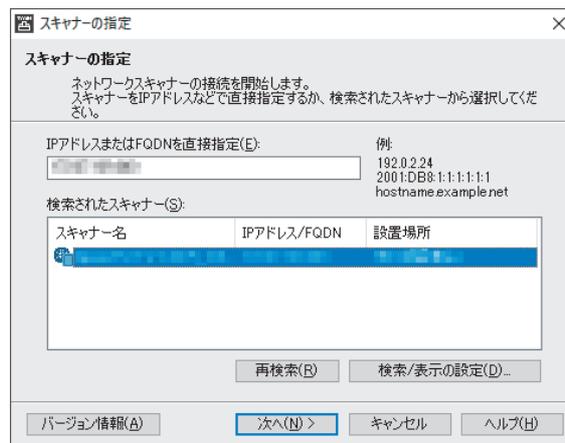
親展ボックスビューワー 3 を使用するためには、ネットワークスキャナユーティリティ 3 をコンピューターにインストールします。

- 補足**
 - ・メディア（ソフトウェア／製品マニュアル）を使って、ネットワークスキャナユーティリティ 3 をインストールします。
 - ・ボックスの文書を取り込むには、ポートの起動など、あらかじめ設定しておく項目があります。設定方法については、「6.3.1 スキャナー（ボックス保存）の設定」（P.202）を参照してください。また、アプリケーション側の操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
- 参照**
 - ・ネットワークスキャナユーティリティ 3 のインストール方法については、メディア（ソフトウェア／製品マニュアル）のヘルプを参照してください。
 - ・表示されるダイアログボックスの項目については、[ヘルプ] をクリックして表示される親展ボックスビューワー 3 のヘルプを参照してください。

1. Windows の [スタート] メニューから、[FUJIFILM ネットワークスキャナユーティリティ 3] > [親展ボックスビューワー 3] の順にクリックします。

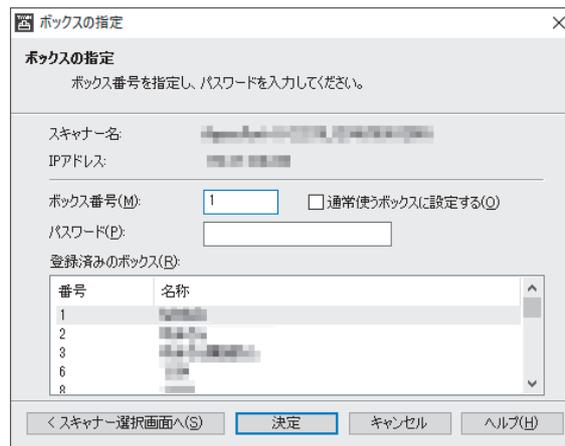
補足 インストール時にディレクトリーを変更した場合は、そのディレクトリーを指定してください。

2. 表示されているリストの中から、接続する本機のスキャナー名を選択し、[次へ] をクリックします。



- 補足**
 - ・何も表示されない場合は、[再検索] をクリックしてください。スキャナーの再検索を行います。
 - ・スキャナー名の表示方法は、[検索／表示の設定] をクリックして表示されるダイアログボックスで変更できます。表示方法の変更については、「スキャナー名の表示方法を設定する」（P.182）を参照してください。
 - ・自動的にスキャナー名が表示されるのは、同一ネットワーク内に本機が接続されている場合だけです。ほかのネットワークにある本機を表示するには、[検索／表示の設定] をクリックして、IP アドレスとスキャナー名を登録してください。スキャナーの登録方法については、「スキャナー名の表示方法を設定する」（P.182）を参照してください。

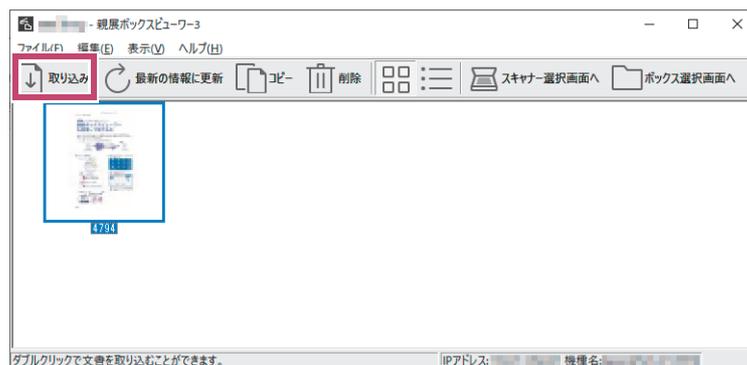
3. [ボックス番号] に取り込む文書が蓄積されているボックス番号 (001 ~ 100 の半角数字) と、[パスワード] にパスワード (4 桁以内の半角数字) を入力します。



- 補足**
- ・ [登録済みのボックス] で表示されたボックス番号を選択することもできます。
 - ・ [スキャナー選択画面へ] をクリックすると、手順 2 の画面に戻り、スキャナーの再選択ができます。

4. [決定] をクリックします。

5. リストから取り込む文書を選択し、[取り込み] をクリックします。



- 補足**
- ・ 複数の文書を選択して取り込むことができます。
 - ・ 取り込み方法の設定で、[文書の保存] が [毎回保存先を指定する] に設定されていると、保存先を設定する画面が表示されます。文書の保存先を設定して [OK] をクリックします。取り込み方法の設定については、「スキャンした文書の取り込み方法を設定する」(P.185) を参照してください。

6. 文書が取り出され、指定した保存先に保存されます。

- 補足**
- 取り込み方法の設定で、[文書の保存] が [保存先を固定する] に設定されていると、[文書の保存先] で指定されている場所に保存されます。取り込み方法の設定については、「スキャンした文書の取り込み方法を設定する」(P.185) を参照してください。

■ 親展ボックスビューワー 3 の設定変更

参照 表示されるダイアログボックスの項目については、[ヘルプ] をクリックして表示される親展ボックスビューワー 3 のヘルプを参照してください。

◆ スキャナー名の表示方法を設定する

スキャナーを選択するとき、リストに表示されるスキャナー名の表示方法を変更できます。スキャナー名の表示方法は、スキャナーを選択する画面で、[検索/表示の設定] をクリックして表示される画面で設定します。
[スキャナー名の表示] で [検索するスキャナー] に表示するスキャナー名の表示方法を変更できます。
[検索対象の設定] で検索対象とするスキャナーを指定します。

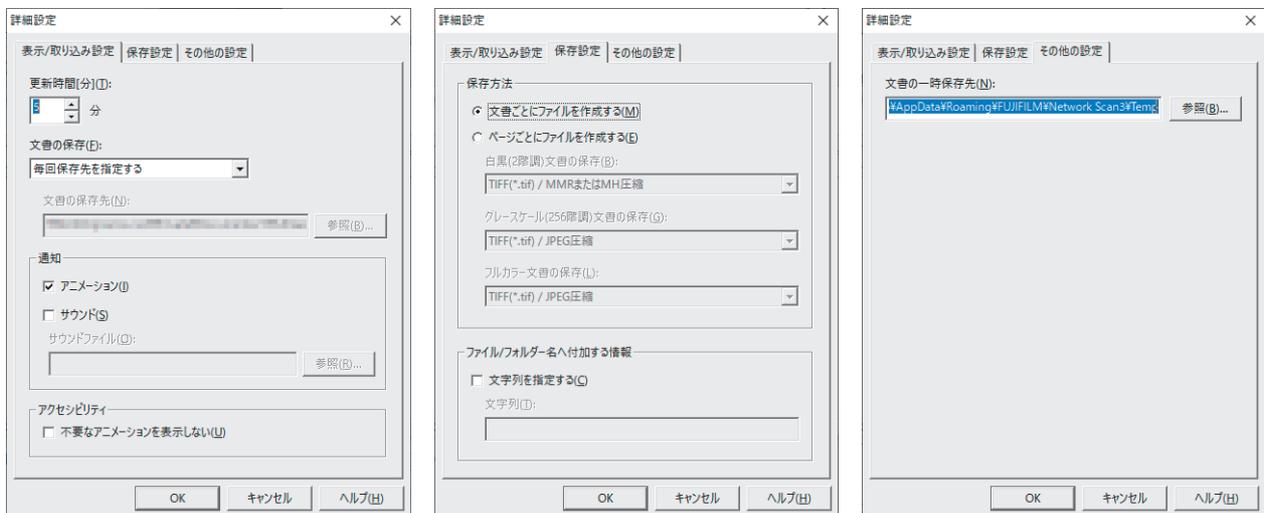
補足 [追加] をクリックしてスキャナーを登録すると、異なるサブネットワークにあるスキャナーを表示できます。



◆ スキャンした文書の取り込み方法を設定する

ボックスの文書を取り込むときの文書の表示方法や取り込んだ文書の保存先を変更できます。

取り込み方法は、取り込む文書を選択する画面で、[ファイル] メニューから [詳細設定] を選択して表示される画面で設定します。



5.5.3 インターネットサービスを利用して取り込む

本機のボックスに蓄積されている文書を、インターネットサービスを利用して取り込む方法について説明します。

インターネットサービスは、TCP/IP環境が利用できる場合、お使いのコンピューターからWebブラウザを介して本機にアクセスし、本機のボックスに蓄積されている文書を、コンピューターに取り込むことができます。

補足 ボックスの設定で、[文書取り出し後の削除] を [削除する] に設定した場合でも、インターネットサービスから取り出したときは、文書は削除されません。

参照 ・インターネットサービスの概要については、[5.2 インターネットサービス] (P.163) を参照してください。
 ・操作については、上部フレームの [ヘルプ] をクリックして表示される、ヘルプを参照してください。

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

補足

- ・お使いのネットワークが DNS (Domain Name System) を使用していて、DNS のネームサーバーに本機のホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせたインターネットアドレスを使って本機にアクセスできます。ホスト名が「myhost」、ドメイン名が「example.com」の場合、インターネットアドレスは「myhost.example.com」となります。
- ・入力する IP アドレス、インターネットアドレスについては、機械管理者に確認してください。
- ・ポート番号を指定する場合には、アドレスのあとに「:」に続けて「8080」のように指定してください。
- ・通信を暗号化している場合、インターネットサービスにアクセスするには、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。

3. [スキャン] タブの [ボックス一覧] を選択します。



4. 取り込む文書が蓄積されているボックスの [ボックスを開く] をクリックします。

補足 パスワードを設定している場合は、[パスワード] にパスワード (4 桁以内の半角数字) を入力します。

5. 取り込む文書の [取り出し] をクリックします。

補足 複数の文書を一括で取り出すこともできます。複数の文書を選択し、[一括取り出し] をクリックしてください。



6. 保存場所を選択し、保存します。

5.5.4 メールに送信された URL にアクセスして取り込む★

1. メールに記載されている URL からアクセスし、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーに表示されたスキャンデータを選択します。

補足 スキャンデータがコンピューターにダウンロードされます。

6 登録／変更

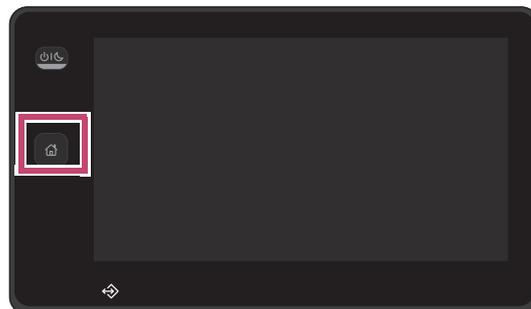
ボックス、IPアドレス、宛先などの登録や変更方法について説明しています。

6.1	登録／変更.....	190
6.2	IPアドレスの設定.....	201
6.3	スキャン機能の設定.....	202
6.4	セカンダリーイーサネットの設定.....	206

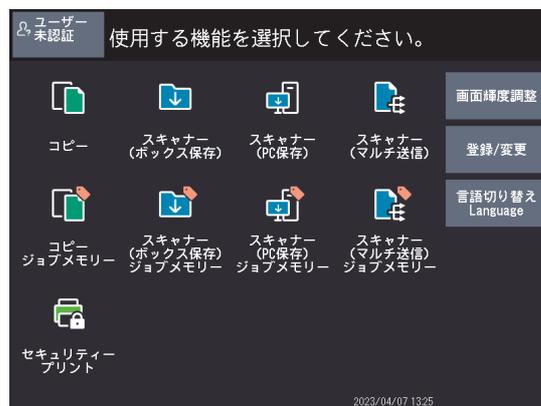
6.1 登録/変更

[登録/変更] では、ジョブメモリー、ボックス、宛先などの登録や変更ができます。

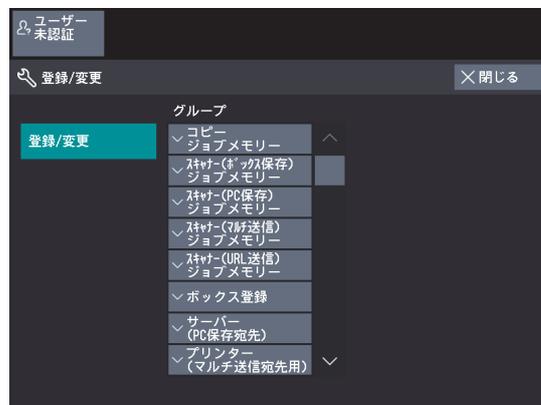
1. 操作パネルのホームボタンを押します。



2. ホーム画面で [登録/変更] をタップします。



3. 登録/変更する項目を選択します。



6.1.1 配布パターン (ApeosWide 6050)

あらかじめ登録された配布パターンに応じて、仮想の配布先（ピン）ごとにまとめて、ページ順に並べて排出する機能を、ソート（配布パターン）といいます。

ソート（配布パターン）で複数枚の原稿をコピーするときは、あらかじめ配布パターンを登録し、配布パターン（番号）を原稿をセットするごとに指定します。

配布パターンは300パターンまで登録できます。

補足 この機能は、ApeosWide 6050 でだけ表示、設定できます。

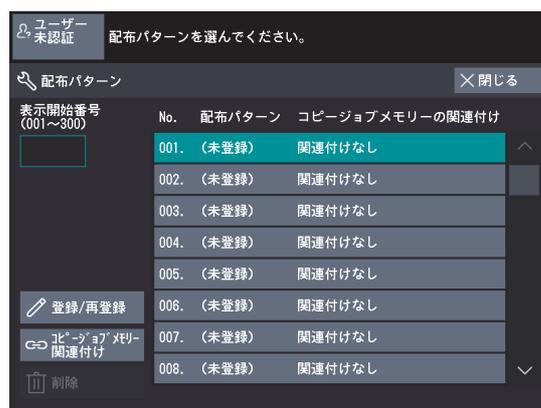
参照 ソート（配布パターン）でコピーする方法については、「2.18.5 仕分け（仕分けを指定して排出する）」(P.110)を参照してください。

1. [配布パターン] をタップします。
2. 登録する配布パターン番号を選択します。

補足

- ・ [▲] をタップして前画面、 [▼] をタップして次画面が表示できます。
- ・ 任意の配布パターン番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] に配布パターン番号を入力してください。

3. 項目を選択し、設定します。
4. 設定が終わったら、[閉じる] をタップします。



◆ 登録/再登録

仮想配布先を選択して、テンキーでコピー枚数を入力します。

補足

- ・ [▲] をタップして前画面、 [▼] をタップして次画面が表示できます。
- ・ 最大仮想配布先は、40 ピンです。
- ・ 配布パターンで設定する最大部数は、99部です。



◆ コピージョブメモリ関連付け

登録済みのコピージョブメモリと関連付けます。

補足

- ・ [▲] をタップして前画面、 [▼] をタップして次画面が表示できます。
- ・ 任意のコピージョブメモリ番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にコピージョブメモリ番号を入力してください。

◆ 削除

選択した配布パターンを削除します。



6.1.2 ボックス登録

ボックスとは、本機から読み込んだスキャンデータを本機内に保存することができる機能です。保存したスキャン文書は、ネットワーク上のコンピューターから取り出すことができます。ボックスは200個まで登録できます。

1. [ボックス登録] をタップします。
2. 登録するボックス番号を選択します。

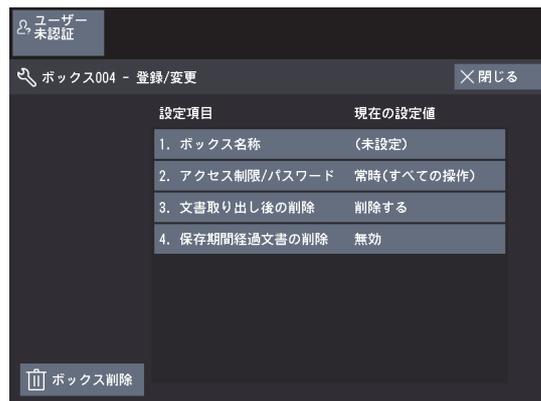
補足 ・ [↖] をタップして前画面、 [↘] をタップして次画面を表示できます。
 ・ 任意のボックス番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にボックス番号を入力してください。

3. 新規にボックスを登録するときは、[アクセス制限/パスワード] 画面が表示されます。項目を設定して [決定] をタップします。

補足 登録済みのボックスを選択するとパスワードを入力する画面が表示されます。その場合は、パスワードを入力し、[確定] をタップしてください。

参照 アクセス制限については、「アクセス制限/パスワード」(P.193) を参照してください。

4. 項目を選択し、設定します。



■ ボックス名称

ボックスの名前を設定します。

タッチパネルディスプレイに表示されるキーボードとテンキーを使って、全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。

参照 文字の入力方法については、「1.6 文字の入力方法について」(P.28) を参照してください。



■ アクセス制限/パスワード

特定のユーザーだけに操作を許可するために、アクセスの制限を設定できます。

アクセス制限

アクセス制限を設定するかどうかを設定します。

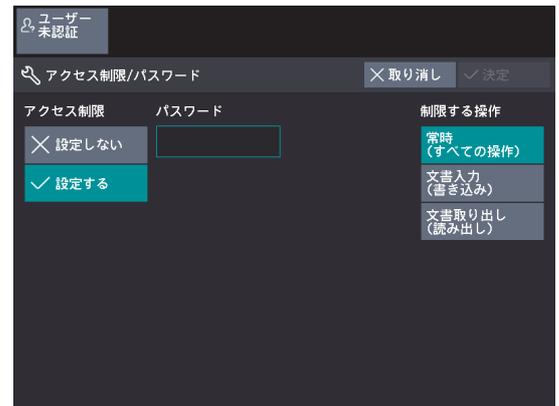
パスワード

アクセス制限を設定する場合は、0～9の数字で4桁のパスワードを設定します。

制限する操作

制限する操作を設定します。

- ・ 常時（すべての操作）
ボックスを選択したり、ボックスの文書を取り出すときに、パスワードの入力が必要になります。
- ・ 文書入力（書き込み）
ボックスを選択するときに、パスワードの入力が必要になります。
- ・ 文書取り出し（読み出し）
ボックスの文書を取り出すときに、パスワードの入力が必要になります。



■ 文書取り出し後の削除

ボックスに保存されている文書を外部から取り出したあと、文書を削除するかどうかを設定します。

◆ 削除しない

文書を保存しておきます。

◆ 削除する

文書を取り出したあと、自動的に文書を削除します。

補足 [削除する] に設定した場合でも、インターネットサービスから取り出したときは、文書は削除されません。



■ 保存期間経過文書の削除

選択しているボックス内に蓄積されている文書を、保存期間経過後の指定された時刻に削除する動作を有効にするかどうかを設定します。

◆ 無効

指定されている保存期間を経過しても文書は削除されません。

◆ 有効

保存期間経過後の指定された時刻を過ぎると文書を削除します。ただし、保存期間が指定されていない場合は、[有効] を設定しても文書は削除されません。文書の保存期間を指定してください。

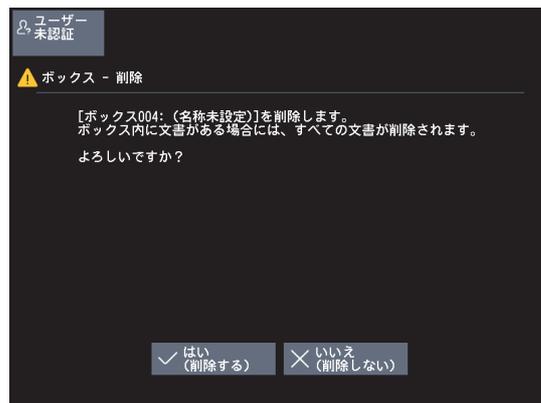
参照 文書の保存期間の設定方法については、「9.7.1 保存文書設定」(P.314) を参照してください。



■ [ボックス削除] ボタンを選択した場合

選択されているボックスを削除します。
ボックス内に文書がある場合は、すべての文書が削除されます。

注記 削除した文書は、元に戻せません。



5. 設定が終わったら、[閉じる] をタップします。

6.1.3 サーバー (PC 保存宛先)

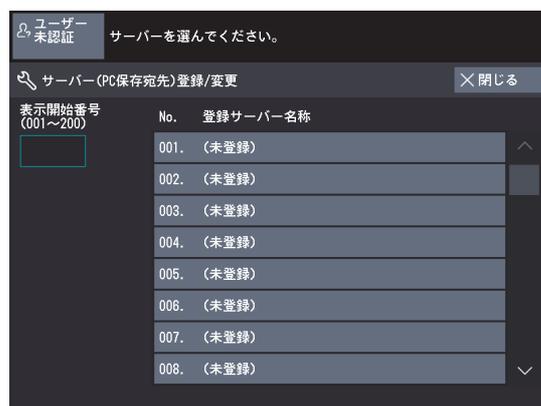
よく使用するコンピューターを宛先として登録できます。登録できる宛先の種類は、サーバー (SMB) です。宛先は、200か所まで登録できます。

1. [サーバー (PC 保存宛先)] をタップします。

2. 登録するサーバー番号を選択します。

補足

- ・ [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
- ・ 任意のサーバー番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にサーバー番号を入力してください。



3. 各項目を選択し、設定します。

◆ 登録名称

宛先名を、全角で 18 文字 (半角で 36 文字) 以内で入力します。

参照 文字の入力方法については、「1.6 文字の入力方法について」(P.28) を参照してください。

◆ サーバー名/ IP アドレス

転送先のサーバー名または IP アドレスを入力します。

◆ 共有名

SMB フォルダーに設定されている共有名を入力します。

◆ 保存場所

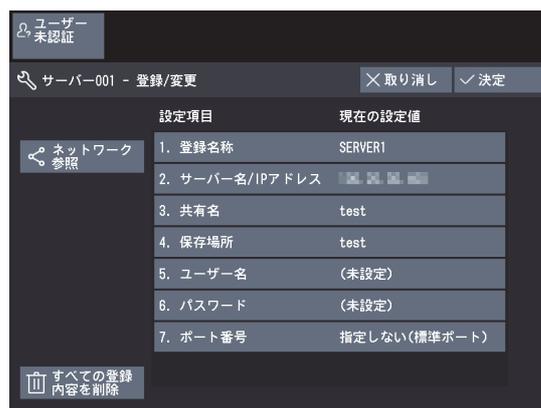
文書を保存するためのディレクトリーを UNC 形式で入力します。

・ 例) 指定したボリュームの aaa ディレクトリーにある、bbb ディレクトリーに保存する場合
aaa¥bbb

◆ ユーザー名

転送先のサーバーからユーザー名の入力を求められる場合は、ユーザー名を設定します。

・ アクティブディレクトリーの場合
ユーザー名 @ ドメイン名 (ユーザー名: 32 文字まで、ドメイン名: 64 文字まで)
入力例: user1@example.com (user1: ユーザー名、example.com: ドメイン名)



- ・ Windows NT ドメインの場合
ドメイン名¥ユーザー名（ドメイン名：64 文字まで、ユーザー名：32 文字まで）
入力例：example¥user1（example：ドメイン名、user1：ユーザー名）
- ・ ワークグループの場合
ローカルユーザー（32 文字まで）
入力例：Test-User

◆ パスワード

転送先のサーバーからパスワードの入力を求められる場合は、パスワードを設定します。
パスワードは、32 文字まで入力できます。

◆ ポート番号

転送先のポート番号を指定します。1～65,535 の範囲で入力します。
指定しない場合は、[指定しない] を選択します。

◆ [登録サーバー] をタップした場合

表示された登録されているサーバーから保存先を指定します。

◆ [ネットワーク参照] をタップした場合

保存先のサーバー名やフォルダーなどの階層構造が表示され、階層を順番にたどりながら保存先を指定します。

参照 保存先の指定方法については、「ネットワークを参照して保存先 PC を指定する場合」(P.139) を参照してください。

◆ [すべての登録内容を削除] をタップした場合

選択されている宛先の登録内容を削除します。宛先の登録内容を削除する場合は、[はい（削除する）] を選択してください。

注記 削除した設定内容は、元に戻すことはできません。

4. 設定が終わったら、[決定] をタップします。

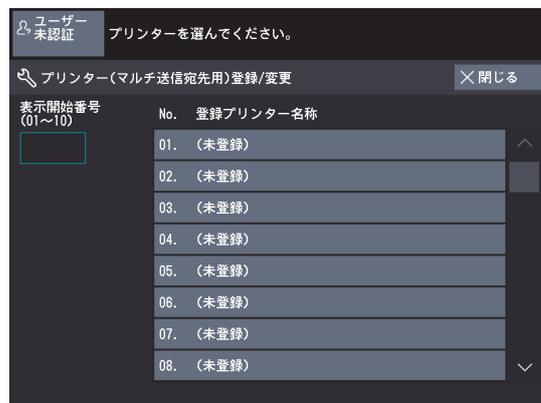
6.1.4 プリンター（マルチ送信宛先用）

よく使用する相手の宛先を、宛先に登録できます。登録できる宛先の種類は、プリンターです。
宛先は、10か所まで登録できます。

1. [プリンター（マルチ送信宛先用）] をタップします。

2. 登録するプリンター番号を選択します。

補足 ・ [▲] をタップして前画面、[▼] をタップして次画面を表示できます。
・ 任意のプリンター番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にプリンター番号を入力してください。



3. 項目を選択し、設定します。

◆ 登録名称

宛先名を、全角で 18 文字（半角で 36 文字）以内で入力します。

参照 文字の入力方法については、「1.6 文字の入力方法について」（P.28）を参照してください。

◆ サーバー名/ IP アドレス

転送先のホスト名、ドメイン名、または IP アドレスを入力します。

◆ 論理プリンター名称

論理プリンター名を入力します。

- ・ ApeosWide/DocuWide シリーズの場合
plt ** t (** : 00 ~ 99 の数字)
入力例 : plt03t
- ・ ApeosPort/DocuCentre/DocuPrint シリーズの場合
TIFF ** (** : 01 ~ 20 の数字)
入力例 : TIFF03

◆ 出力サイズ

ApeosWide/DocuWide シリーズ以外のプリンターに出力する場合に、出力可能サイズを設定します。

- ・ 等倍
等倍で出力します。
- ・ A3 サイズ以下で出力
A3 サイズ以上は A3 サイズに縮小して出力します。
- ・ A4 サイズ以下で出力
A4 サイズ以上は A4 サイズに縮小して出力します。

補足 出力可能サイズが A3 のプリンターは、[A3 サイズ以下で出力] を選択してください。

◆ 複数部指定時の高速出力

複数部数を指定したときに高速に出力するかどうかを設定します。

- ・ しない
部数分プリントデータを転送するので、出力部数に応じてプリントに時間がかかります。
- ・ する
部数コマンドによって処理するので、出力部数が増えても高速にプリントできます。

補足 ・ [する] の場合、部数コマンドを受け付けることができないプリンターでは、正常にプリントできません。対象のプリンターについては、弊社営業担当者にお尋ねください。
・ ApeosWide/DocuWide シリーズ以外のプリンターで、排出先や、紙折り、パンチ、ステープルのフィニッシャーの機能を設定した論理プリンターを指定される場合は、[しない] に設定してください。[する] の場合、設定が正しく機能しないことがあります。

◆ ジョブに User ID を付加

ジョブにユーザー ID を付与するかどうかを設定します。

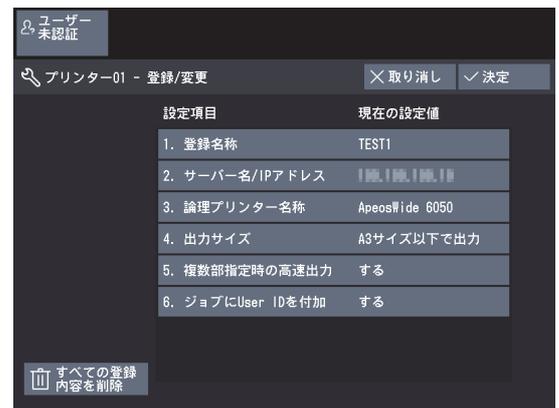
- ・ しない
ユーザー ID を付与しません。
- ・ する
ユーザー ID を付与します。

◆ [すべての登録内容を削除] ボタンを選択した場合

選択されている宛先の登録内容を削除します。宛先の登録内容を削除する場合は、[[はい (削除する)]] を選択してください。

注記 削除した設定内容は、元に戻すことはできません。

4. 設定が終わったら、[決定] をタップします。



6.1.5 マルチ送信宛先（グループ宛先）

同報送信する宛先をまとめてグループ宛先として登録できます。1グループに、グループ名、サーバー 2か所、プリンター 5か所、ローカルプリンター（本機）5か所を登録できます。登録できるグループ数は、20です。なお、グループ宛先に登録する宛先は、あらかじめ登録しておく必要があります。

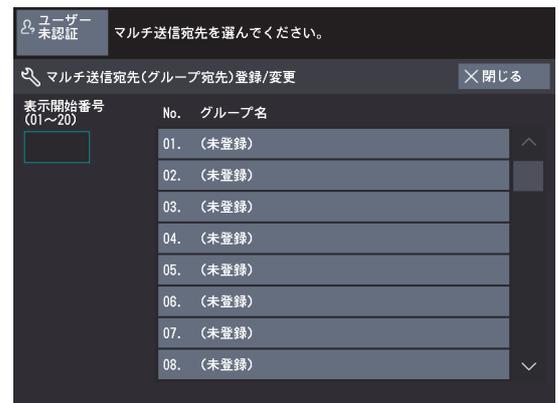
補足 ・宛先に、グループ宛先は登録できません。

- ・スキャナー（PC 保存）機能を使用するには、あらかじめネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定については、「6.3.2 スキャナー（PC 保存）の設定」（P.203）を参照してください。
- ・サーバーとプリンターは、あらかじめ登録しておきます。サーバー、プリンターの登録方法については、「6.1.3 サーバー（PC 保存宛先）」（P.194）、「6.1.4 プリンター（マルチ送信宛先用）」（P.195）を参照してください。

1. [マルチ送信宛先（グループ宛先）] をタップします。

2. 登録するグループ番号を選択します。

- 補足** ・ をタップして前画面、 をタップして次画面を表示できます。
- ・任意のグループ番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にグループ番号を入力してください。



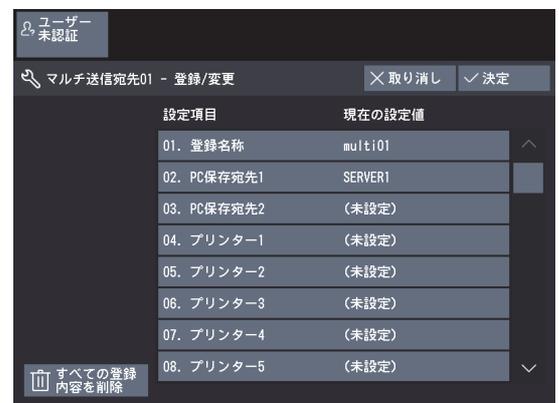
3. 項目を選択し、設定します。

- 補足** 1グループに、グループ名（登録名称）、サーバー（PC 保存宛先）2か所、プリンター 5か所、ローカルプリンター（本機）5か所を登録できます。

◆ 登録名称

グループ名を、全角で 18 文字（半角で 36 文字）以内で入力します。

- 参照** 文字の入力方法については、「1.6 文字の入力方法について」（P.28）を参照してください。



◆ PC 保存宛先 1,2

サーバーを選択します。

- 補足** ・ をタップして前画面、 をタップして次画面を表示できます。
- ・任意のサーバー番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にサーバー番号を入力してください。
 - ・サーバーの登録内容を確認するには、確認するサーバーを選択して、[内容確認] をタップします。
 - ・同じグループ内でサーバーの重複登録はできません。



◆ プリンター 1～5

プリンターを選択します。

- 補足**
- ・ [↑] をタップして前画面、[↓] をタップして次画面を表示できます。
 - ・ 任意のプリンター番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にプリンター番号を入力してください。
 - ・ プリンターの登録内容を確認するには、確認するプリンターを選択して、[内容確認] をタップします。
 - ・ 同じグループ内でプリンターの重複登録はできません。

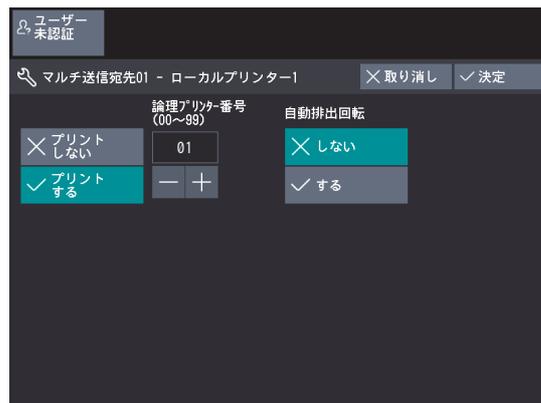


◆ ローカルプリンター 1～5

ローカルプリンター（本機）から文書をプリントするかどうかを設定します。

- ・ プリントしない
プリントしません。
- ・ プリントする
プリントします。
論理プリンター番号を指定し、[自動排出回転] で部毎に回転するかしないかを選択します。

- 補足** [自動排出回転] は、標準フォルダーを接続している場合にのみ表示されます。



◆ URL 送信先

宛先に URL 送信するかどうかを設定します。

◆ PC 保存宛先内容確認

PC の保存先の設定を確認します。

◆ プリンター内容確認

プリンターの設定を確認します。

◆ [すべての登録内容を削除] ボタンを選択した場合

選択されているグループの登録内容を削除します。グループの登録内容を削除する場合は、[はい（削除する）] を選択してください。

- 注記** 削除した設定内容は、元に戻すことはできません。

4. 設定が終わったら、[決定] をタップします。

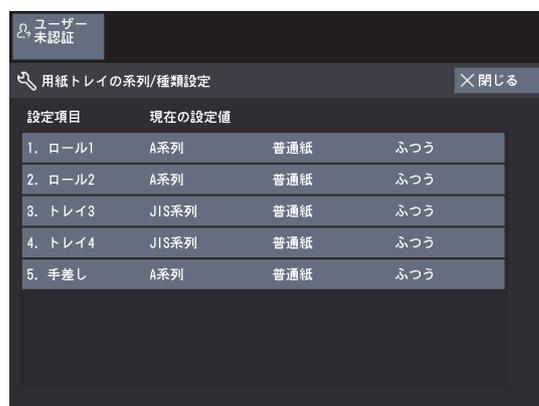
6.1.6 用紙トレイの系列/種類設定

用紙の系列、種類、厚さを設定します。
用紙系列とセットできる用紙サイズは次のとおりです。

用紙トレイ	用紙系列	用紙サイズ
ロール紙/手差し	A系列	A0、A1、A2、A3幅
	JIS B系列	B1、B2、B3幅
	ISO B系列	B1、B2、B3幅
	特A系列	特A0 (880/860mm)、特A1 (625/620mm)、特A2 (440/435 mm)、特A3 (310 mm) 幅
	Arch系列-1	36"、24"、18"、12"幅
	Arch系列-2	30"、24"、15"、12"幅
	ANSI系列	34"、22"、17"、11"幅
カット紙トレイ (通常状態)	JIS系列	A4 (タテ/ヨコ)
	ISO系列	
	Arch系列	8.5×11" (ヨコ)、9×12" (タテ)
	ANSI系列	8.5×11" (タテ/ヨコ)
カット紙トレイ (引き伸ばした状態)	JIS系列	A3 (タテ)、JIS B4 (タテ)
	ISO系列	A3 (タテ)、ISO B4 (タテ)
	Arch系列	11×17" (タテ)
	ANSI系列	

補足 ロール紙トレイとカット紙トレイを設定する場合は、[登録/変更画面からのトレイ設定変更] (P.280) で [許可] が選択されている必要があります。

1. [用紙トレイの系列/種類設定] をタップします。
2. 設定したい項目をタップします。



3. 項目を選択し、設定します。

◆ ロール紙/手差し

- ・ 用紙系列
[A 系列]、[JIS B 系列]、[ISO B 系列]、[特 A 系列]、
[Arch 系列 -1]、[Arch 系列 -2]、[ANSI 系列] から
選択します。
- ・ 用紙種類
[普通紙]、[トレペ]、[フィルム] から選択します。
- ・ 厚さ
[ふつう]、[やや厚め]、[厚め] から選択します。



◆ カット紙トレイ

- ・ 用紙系列
[JIS 系列]、[ISO 系列]、[Arch 系列]、[ANSI 系列]
から選択します。
- ・ 用紙種類
[普通紙] 固定です。
- ・ 厚さ
[ふつう]、[やや厚め]、[厚め] から選択します。



補足 用紙の質量/厚さに対する厚さの設定の目安は、次のとおりです。

用紙種類	質量/厚さ	厚さ設定
普通紙 トレーシングペーパー	70 g/m ² 未満	ふつう
	70 g/m ² 以上 82 g/m ² 未満	やや厚め
	82 g/m ² 以上	厚め
フィルム	70 μm 未満	ふつう
	70 μm 以上 81 μm 未満	やや厚め
	81 μm 以上	厚め

4. 設定が終わったら、[決定] をタップします。

6.2 IP アドレスの設定

ネットワークサービスを使用するための、IPアドレスの設定手順について説明します。

1. [仕様設定／登録] 画面を表示します。

(1) 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。

(2) テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

補足 機械管理者モードに入る方法については、を参照してください。

(3) ホーム画面で [仕様設定／登録] をタップします。

2. [プロトコル設定] の [TCP/IP-IP アドレス] を設定します。

(1) [仕様設定／登録] 画面で、[ネットワーク設定] をタップします。

(2) [プロトコル設定] をタップします。

(3) [IPv4 - IP アドレス] をタップします。

(4) テンキーで IP アドレスを指定します。

(5) [仕様設定／登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] をタップします。

参照 IPv6 の IP アドレスの設定については、「9.5.2 プロトコル設定」(P.303) を参照してください。

3. [仕様設定／登録] 画面の [閉じる] をタップします。

6.3 スキャン機能の設定

本機でスキャンを使ったサービスを利用するための設定方法について説明します。

6.3.1 スキャナー（ボックス保存）の設定

スキャナー（ボックス保存）の設定について説明します。

■ Step1 TCP/IP の設定

ネットワークスキャナユーティリティ 3を使用する場合、IPアドレスを設定します。

補足 すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。

参照 IP アドレスの設定については、「6.2 IP アドレスの設定」(P.201) を参照してください。

■ Step2 ボックスの登録

スキャンデータを保存するボックスを登録します。

参照 ボックスを登録する手順については、「6.1.2 ボックス登録」(P.192) を参照してください。

■ Step3 コンピューター側の設定

ネットワークスキャナユーティリティ 3を使用する場合は、ネットワークスキャナユーティリティ 3をコンピューターにインストールします。

参照

- ・ネットワークスキャナユーティリティ 3 は、メディア（ソフトウェア/製品マニュアル）に入っています。インストール手順については、メディア（ソフトウェア/製品マニュアル）のヘルプを参照してください。
- ・ネットワークスキャナユーティリティ 3を使用する場合は、「5 コンピューターからの操作」(P.161) を参照してください。

6.3.2 スキャナー（PC保存）の設定

スキャナー（PC保存）の設定について説明します。

■ Step1 事前準備

本機でスキャナー（PC保存）機能を使用するには、共有フォルダー機能が利用できるOSを搭載したコンピューターが必要です。対応OSについては、「スキャン機能」（P.335）を参照してください。

■ Step2 TCP/IP の設定

スキャナー（PC保存）を使用するために、IPアドレスを設定します。

補足 すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。

参照 IP アドレスの設定については、「6.2 IP アドレスの設定」（P.201）を参照してください。

■ Step3 コンピューター側の設定

コンピューターに転送先のフォルダーを作成し、共有フォルダーとして設定します。設定した共有フォルダーには、書き込み権限を設定します。

◆ 共有フォルダーの設定

1. コンピューターの任意の場所に、共有したいフォルダーを作成します。

補足 作成したフォルダーは、スキャンしたファイルを格納するために利用します。
名前は半角英数字（「scan001」など）で付けてください。

2. フォルダーを右クリックし、ショートカットメニューから【プロパティ】を選択します。

3. 【共有】 タブを選択します。

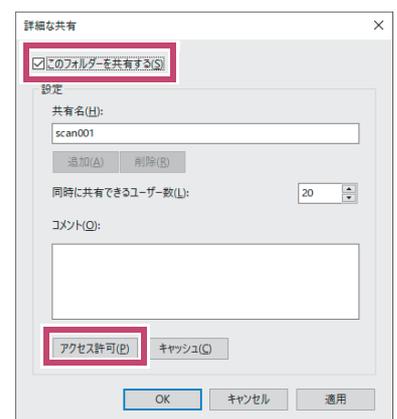
4. 【詳細な共有】 をクリックします。



5. 【このフォルダーを共有する】 にチェックマークを付けます。

補足 【共有名】に表示されるフォルダー名が、手順 1 で作成したフォルダー名と同じであることを確認してください。

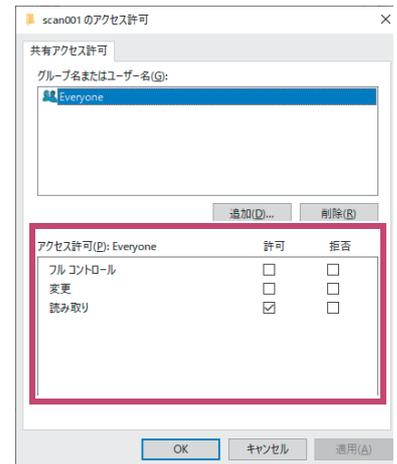
6. 【アクセス許可】 をクリックします。



7. 適切なアクセス許可を設定します。

補足 お客様が運用しているセキュリティのルールに従って設定してください。

8. [OK] をクリックします。

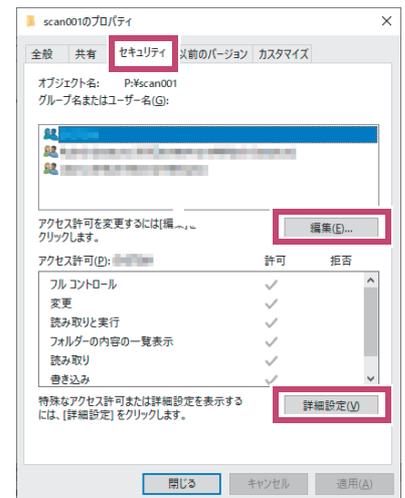


9. [セキュリティ] タブを選択します。

10. [編集] または [詳細設定] をクリックし、適切なアクセス許可を設定します。

補足 お客様が運用しているセキュリティのルールに従って設定してください。

11. [閉じる] をクリックします。



6.3.3 スキャナー（URL 送信）の設定

■ Step1

SMTPメールサーバーを設定します。

参照 SMTPメールサーバーの設定については、「9.5.4 SMTPサーバー設定★」（P.306）を参照してください。

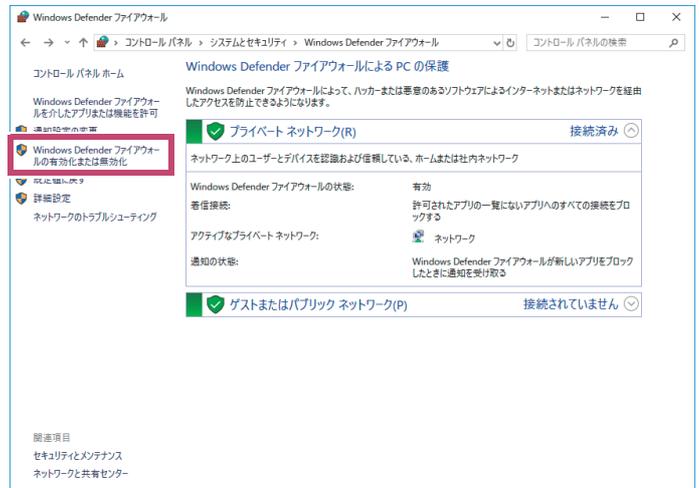
■ Step2

本体認証または外部認証の設定と認証ユーザーにメールアドレスを登録します。

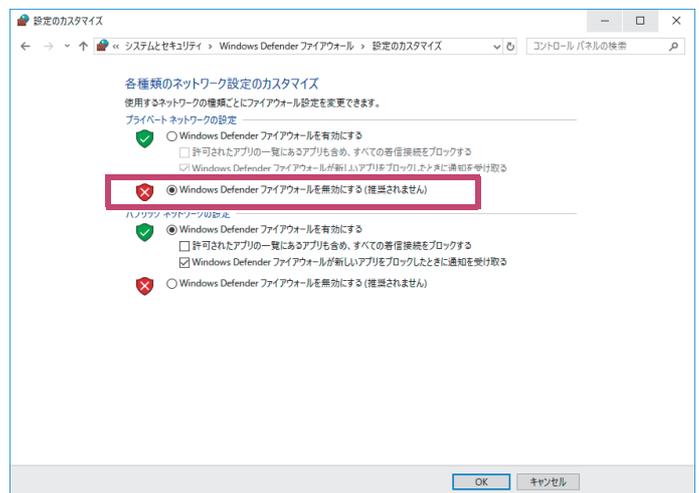
参照 本体認証または外部認証の設定については「7.5.1 認証方式を「本体認証」に設定する」（P.215）または「7.6.1 認証方式を「外部認証」に設定する」（P.225）を、認証ユーザーについては「7.5.3 ユーザーを登録する」（P.217）を参照してください。

◆ Windows Defender ファイアウォールの設定

1. Windows の [スタート] メニューから、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windows Defender ファイアウォール] の順に選択します。
2. [Windows Defender ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックします。

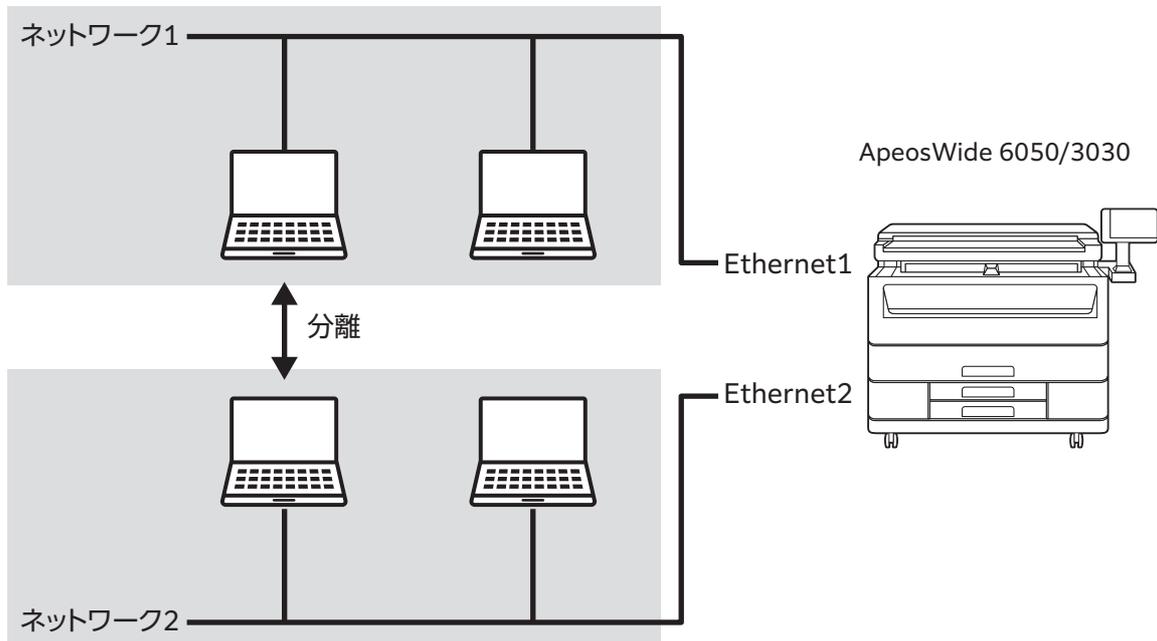


3. [プライベートネットワークの設定] にある [Windows Defender ファイアウォールを無効にする (推奨されません)] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。



6.4 セカンダリーイーサネットの設定

セカンダリーイーサネット機能を使用すると、分離した2系統のネットワーク環境においてプリントすることができます。Ethernet1とEthernet2との間にはコネクションがないので、セキュリティーを保てます。



セカンダリーイーサネット機能では、次のクライアントソフトウェアが使用できます。

- ・ ApeosWide Plot ドライバー
- ・ MacPPD
- ・ BT-PlotAssistant

- 補足**
- ・ セカンダリーイーサネット機能は、プリント用途だけになります。
 - ・ セカンダリーイーサネットの設定は、インターネットサービスから行います。ただし、セカンダリーイーサネット側からインターネットサービスには接続できません。

■ セカンダリーイーサネット機能での注意/制限

- ・ セカンダリーイーサネット側からのプリントジョブでは、節電状態から復帰しません。
- ・ 次のクライアントソフトウェアは使用できません。
 - リプロサーバ BT-X
 - ネットワークスキャナユーティリティ 3
 - ApeosWide Plot ドライバーのインストーラー
 - Wide Format Stamp Tools
 - ApeosWare Management Suite 2
 - ArcEPS

7 認証

認証機能について説明しています。

補足 ICカード認証機能はオプションです。

7.1	認証機能の概要	208
7.2	認証機能	209
7.3	認証機能を使ったサービスの利用制限	211
7.4	ボックスの認証について	212
7.5	本体認証で運用する	215
7.6	外部認証で運用する	225

7.1 認証機能の概要

認証機能の概要について説明します。

■ ユーザーの種類

ユーザーの種類には、機械管理者、認証ユーザー、認証未登録ユーザー、一般ユーザーなどがあります。

参照 詳細については、「7.2.1 認証で管理するユーザーについて」(P.209) を参照してください。

■ 認証の種類

認証の種類には、本機に登録されたユーザー情報を使用する「本体認証」、外部のサーバーに登録されたユーザー情報を使用する「外部認証」があります。

補足 使用できる外部のサーバーには、LDAP または ApeosWare Management Suite 2 があります。

参照 詳細については、「7.2.2 認証の種類について」(P.210) を参照してください。

■ サービスごとの利用制限

コピー、スキャナー、プリンターなどの機能ごとに、利用を制限するかどうかを設定できます。

参照 詳細については、「アクセス制御 サービスへのアクセス」(P.321) を参照してください。

■ ユーザーごとの利用制限

ユーザーごとに、サービスの利用制限が設定できます。

参照 詳細については、「7.3 認証機能を使ったサービスの利用制限」(P.211) を参照してください。

ユーザーごとに、ボックスの作成、編集、利用を制限できます。

参照 詳細については、「7.4 ボックスの認証について」(P.212) を参照してください。

7.2 認証機能

本機で使用できる認証機能について説明します。

7.2.1 認証で管理するユーザーについて

本機の認証機能で管理するユーザーについて説明します。

本機では、ユーザーを次の4種類で、本機に対する操作を制限できます。

- 機械管理者
使用環境に合わせてシステムの設定値を登録/変更できるユーザーです。
機械管理者は、機械管理者 ID という特殊な定義の User ID を使用します。
機械管理者モードへ入るには、認証画面に表示される User ID 欄に、登録されている機械管理者 ID を入力します。
- 認証ユーザー
本機または外部のサーバーに、ユーザー登録されているユーザーです。
認証ユーザーは、利用が制限されているサービスを利用する場合には、認証画面で User ID やパスワードを入力します。
また、認証ユーザーの User ID に、使用目的に応じてサブユーザーを関連づけできます。ひとつの User ID には、最大 10 個の Sub User ID を関連づけできます。
補足 サブユーザー機能を利用するには、別途アプリケーションが必要です。詳細については、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- 認証未登録ユーザー
登録されていないユーザーです。
認証未登録ユーザーは、利用が制限されているサービスを利用できません。
- 一般ユーザー
本機の認証機能を使用しないときの一般的なユーザーです。

7.2.2 認証の種類について

本機で利用できる認証の種類について説明します。
本機では、次の3つの認証方法があります。

■ User ID 認証

User ID認証では、本機の操作パネルからUser ID、パスワードなどを入力して認証します。
本機または外部のサーバーに登録されているユーザー情報を利用して、認証を行います。
ユーザー情報の登録方法によって、次の2種類があります。

- 本体認証
本体認証は、本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理を行います。
コンピューターから直接送信されたプリントデータは、あらかじめクライアント側のドライバーで設定した認証情報と、本機側に登録されている認証情報を照合することによって認証され、本機で受信できます。
プリンタードライバーの設定については、ヘルプを参照してください。
- 外部認証
外部の認証サーバーに対して認証を行います。本機にユーザー情報は登録しません。
外部認証は、外部の認証サーバー（Active Directory (LDAP 接続) または Authentication Management サーバーが使用できます）で管理されているユーザー情報を使用して、認証をします。

注記 本体認証から外部認証に変更する場合、または外部認証から本体認証に変更する場合、本機に登録されたユーザー情報および個人のボックスは削除されます。

- 補足**
- 外部認証サーバーに登録する User ID は半角 32 文字以内、パスワードは半角 128 文字以内で設定してください。
 - Active Directory は、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019 に対応しています。
 - 外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。設定方法については、「7.6.3 外部認証情報の本体保存機能を設定する」(P.227) を参照してください。

- 認証しない
すべてのサービスが利用制限されます。
IC カードリーダーで読み込み可能な IC カードをかざす事で認証できます。(カード ID の登録の必要はありません)

■ IC カード認証

オプションのICカードリーダーを利用して認証を行います。

ICカードに登録されているカードIDを、本機または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、該当するICカードを使用することで、認証を行います。

- 補足**
- オプションの IC カードリーダーを接続する場合、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。また、利用時の管理/取り扱いについては、IC カードリーダーのマニュアルを参照してください。
 - IC カード認証と User ID 認証は併用できます。
 - IC カードリーダーで使用するカードには、あらかじめカード ID が登録されています。
 - 外部認証の場合は、カード ID を本機に登録する必要はありません。
 - 本体認証の場合は、(User ID と照合の場合) カード ID と User ID を、(カード ID と照合の場合) カード ID を照合します。

7.3 認証機能を使ったサービスの利用制限

認証機能を利用し、本機で利用が制限できる機能について説明します。
制限できる機能は、本機の利用形態によって異なります。

補足 認証機能利用時のボックスの制限は、「7.4 ボックスの認証について」(P.212)を参照してください。

参照 「認証方式の設定」については、「認証方式の設定」(P.321)を参照してください。

■ 「認証方式の設定」が「本体認証」のとき

○：できる

対象サービス	ユーザーごとの利用制限*1
コピー	○
プリント	○
スキャン	○

* 1 ユーザーごとに、利用できる機能を制限できます。詳細については、「ユーザー登録」(P.322)を参照してください。

■ 「認証方式の設定」が「外部認証」のとき

○：できる

対象サービス	ユーザーごとの利用制限*1
コピー	○
プリント*2	○
スキャン	○

* 1 認証システムとして ApeosWare Management Suite 2 を利用している場合は、機能別に利用を制限できます。
ApeosWare Management Suite 2 については、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

* 2 プリントは認証が不要です。

7.4 ボックスの認証について

認証機能を利用した場合の、ボックスの制限について説明します。

7.4.1 概要

本機で利用できるボックスは、次の3種類です。

- 一般共有ボックス
認証機能を利用していないときに、一般ユーザーが作成したボックスです。
- 管理者共有ボックス
機械管理者が作成したボックスです。
管理者共有ボックスを作成するには、画面左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者として本機を操作する必要があります。
- 個人ボックス
認証機能を利用しているときに、認証ユーザーが作成したボックスです。

認証機能を利用するかどうかで、次の表のとおり、作成または利用できるボックスの種類が異なります。

○：できる ×：できない △：機械管理者ができる

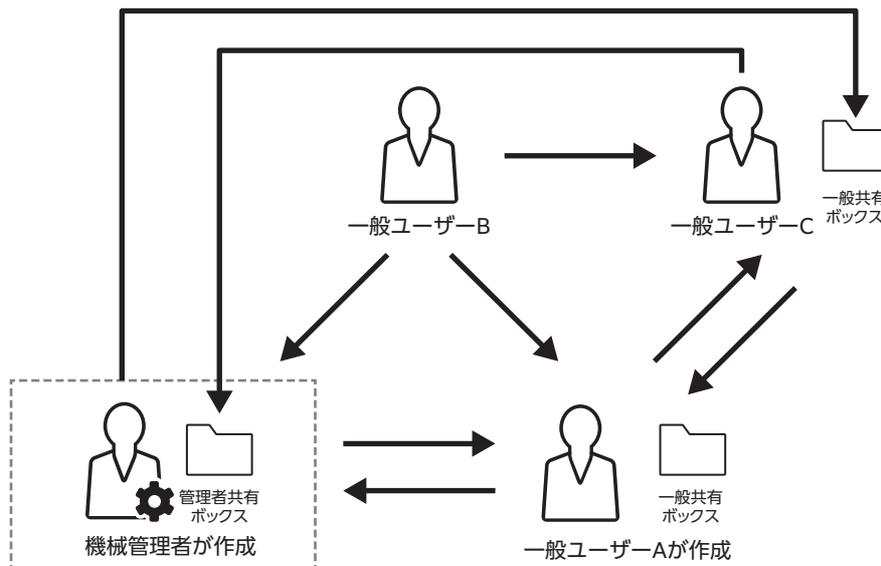
ボックスの種類	認証機能を利用していない場合			認証機能を利用している場合		
	作成	編集・削除	利用*1	作成	編集・削除	利用*1
一般共有ボックス	○	○	○	×	△	△
管理者共有ボックス	△	△	○	△	△	○
個人ボックス	×	×	△	○	○	○

* 1 表示、文書表示、文書の削除、文書登録、文書出力

7.4.2 認証機能を利用していない場合

認証機能を利用していない場合、ボックスの扱いは次のようになります。

- 一般共有ボックス
本機を利用するすべてのユーザーが、このボックスを共有利用および設定変更できます。
- 管理者共有ボックス
本機を利用するすべてのユーザーが、このボックスを共有利用できます。
設定変更できるのは、機械管理者だけです。
- 個人ボックス
機械管理者だけが操作できます。



認証機能を利用していない場合の、利用ユーザーごとのボックスとの関係は、次のとおりです。

○：できる ×：できない

ボックスの操作	一般ユーザー			機械管理者		
	一般共有ボックス	管理者共有ボックス	個人ボックス	一般共有ボックス	管理者共有ボックス	個人ボックス
作成・登録	○	×	×	×	○	×
表示	○	○	×	○	○	○
削除	○	×	×	○	○	○
設定変更	○	×	×	○	○	○
文書の表示	○	○	×	○	○	○
文書の削除	○	○	×	○	○	○
文書の登録	○	○	×	○	○	○
文書の取り出し	○	○	×	○	○	○

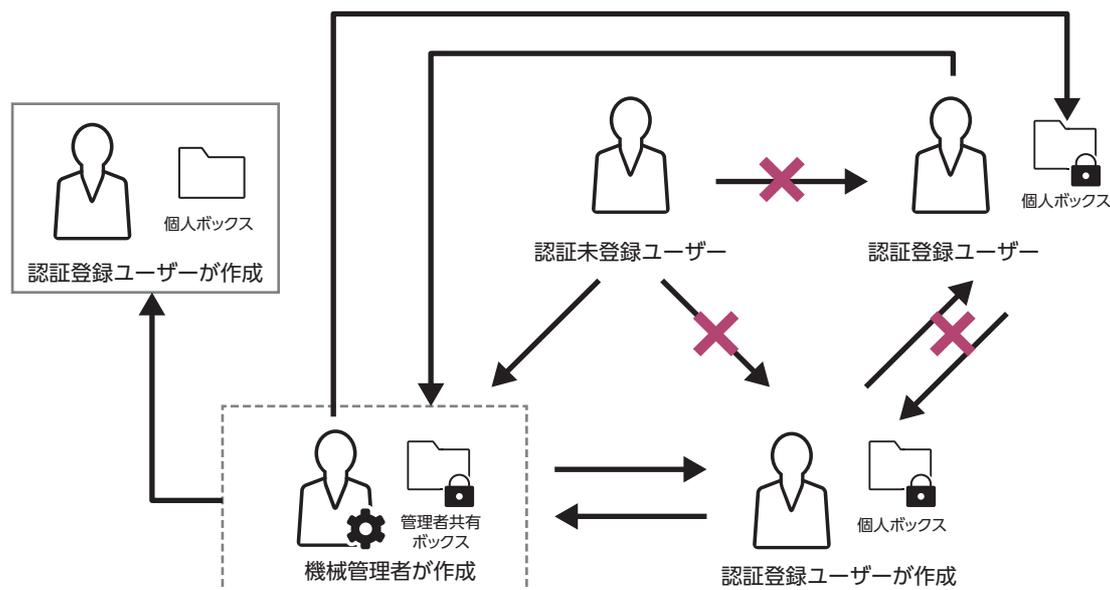
補足 認証機能を利用する設定から、認証機能を利用しない設定に変更した場合、一般ユーザーは認証ユーザーが作成した個人ボックスを利用できません。

個人ボックスはすべて削除し、新しく一般共有ボックスを作成して利用してください。

7.4.3 認証機能を利用している場合

認証機能を利用している場合、ボックスの扱いは次のようになります。

- 一般共有ボックス
機械管理者だけが操作できます。
- 管理者共有ボックス
本機を利用するすべての認証ユーザーが、このボックスを共有利用できます。
設定変更できるのは、機械管理者だけです。
- 個人ボックス
このボックスを作成した認証ユーザーと機械管理者だけが利用できます。



認証機能を利用している場合の、利用ユーザーごとのボックスとの関係は、次のとおりです。

○：できる ×：できない

ボックスの操作	認証未登録ユーザー (一般ユーザー)			認証ユーザー			機械管理者		
	一般共有ボックス	管理者共有ボックス	個人ボックス	一般共有ボックス	管理者共有ボックス	個人ボックス (作成者/非作成者)	一般共有ボックス	管理者共有ボックス	個人ボックス
作成・登録	×	×	×	×	×	○/×	×	○	×
表示	×	○	×	×	○	○/×	○	○	○
削除	×	×	×	×	×	○/×	○	○	○
設定変更	×	×	×	×	×	○/×	○	○	○
文書の表示	×	○	×	×	○	○/×	○	○	○
文書の削除	×	○	×	×	○	○/×	○	○	○
文書の登録	×	○	×	×	○	○/×	○	○	○
文書の取り出し	×	○	×	×	○	○/×	○	○	○

補足 認証機能を利用しない設定から、認証機能を利用する設定に変更した場合、認証未登録ユーザーと認証ユーザーは一般共有ボックスを利用できません。

一般共有ボックスはすべて削除し、新しく個人ボックスを作成して利用してください。

7.5 本体認証で運用する

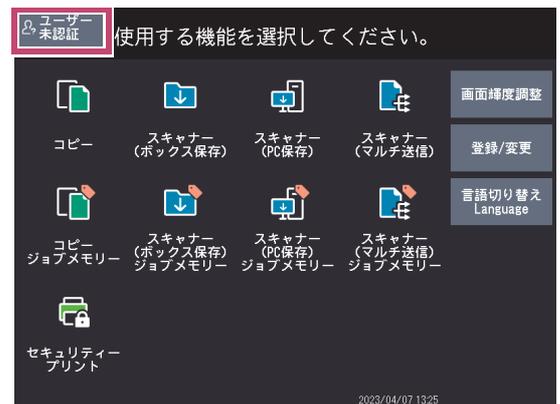
本機を本体認証で運用するための設定について説明します。

7.5.1 認証方式を「本体認証」に設定する

本機を本体認証で運用するには、認証方式を「本体認証」に設定します。

注記 外部認証から本体認証に変更する場合、本機に登録されたユーザー情報および個人のボックスが削除されます。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。



2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。

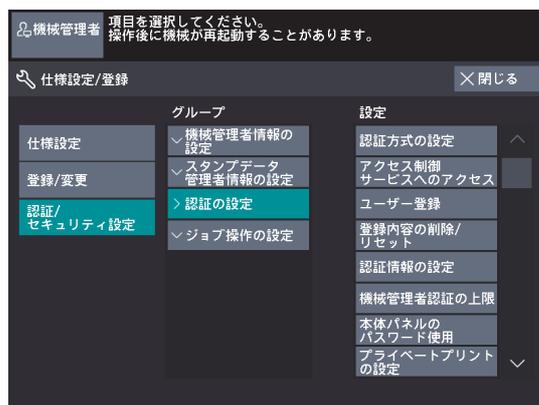


3. ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。

補足 ホーム画面が表示されていないときは、ホームボタンを押して、表示させてください。



4. [認証／セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] をタップします。



5. [本体認証] をタップします。

参照 詳細については、「認証方式の設定」(P.321) を参照してください。

6. [決定] をタップします。



7.5.2 アクセス制限を設定する

利用を制限する操作を設定します。

1. [認証／セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御 サービスへのアクセス] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

参照 詳細については、「アクセス制御 サービスへのアクセス」(P.321) を参照してください。



7.5.3 ユーザーを登録する

ユーザーを登録します。

ユーザーデータは、999件まで登録できます。

1. [認証/セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録] をタップします。
2. 登録するユーザー番号を選択します。

- 補足**
- ・ [▲] をタップして前画面、 [▼] をタップして次画面を表示できます。
 - ・ 任意のユーザー番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にユーザー番号を入力してください。

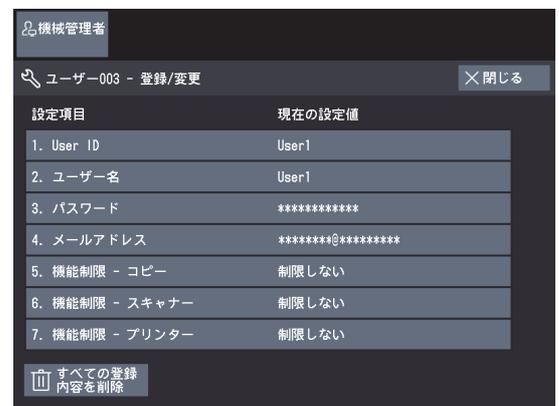


3. 項目を選択し、設定します。

- 参照** 詳細については、「ユーザー登録」(P.322) を参照してください。

4. 設定が終わったら、[閉じる] をタップします。

- 補足** 本機に IC カードリーダーが接続され、カスタマーエンジニアにより必要な設定が行われている場合、[IC カードの ID] が表示されます。



7.5.4 ユーザーを一括登録する

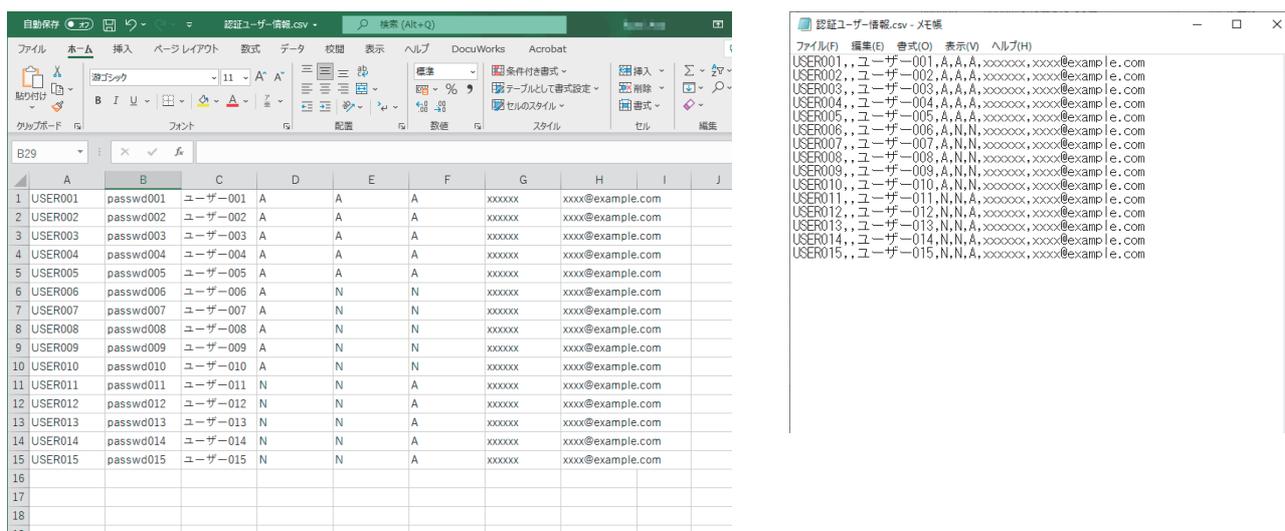
インターネットサービスを使って、本機に登録されている認証ユーザー情報をCSV（カンマ区切り）形式のファイルとして取り出します。取り出したCSVファイルを編集して認証ユーザーの追加/変更/削除を行い、インターネットサービスを使って本機に一括で登録します。

注記 CSV ファイルによる認証ユーザーの一括登録を行うと、すでに本機に登録されている全認証ユーザー情報が削除されたあと、CSV ファイルの認証ユーザー情報が登録されますので、ご注意ください。

■ CSV ファイルの書式

CSVファイルの書式は、次のとおりです。

補足 CSV ファイルで使える区切り文字は「,（カンマ）」だけです。「Tab（タブ）」は使えません。



カラム	項目	説明
1	User ID	本機を利用するためのUser IDです。 ICカード認証時は、このUser IDと、ICカードリーダーから読み取ったカードIDとが照合されます。 半角で32文字まで入力できます。 補足 User IDには次の文字は使えません。 " + ; < > ? [] ' { } ただし、「,（カンマ）」を使う場合は、カンマの前後を「（ダブルクォーテーション）」で囲ってください。
2	パスワード	パスワードを設定します。 半角で4～12文字まで入力できます。
3	ユーザー名	User IDを設定します。 半角で32文字（全角で16文字）まで入力できます。
4	コピー利用制限	[制限しない] または [コピー禁止] を選択します。 制限しない：「A」または「a」を半角で入力します。 コピー禁止：「N」または「n」を半角で入力します。
5	プリンター利用制限	[制限しない] または [プリンター禁止] を選択します。 制限しない：「A」または「a」を半角で入力します。 プリンター禁止：「N」または「n」を半角で入力します。
6	スキャナー利用制限	[制限しない] または [スキャナー禁止] を選択します。 制限しない：「A」または「a」を半角で入力します。 スキャナー禁止：「N」または「n」を半角で入力します。

カラム	項目	説明
7	ICカードID	ICカード番号を設定します。 半角で32文字まで入力できます。 カード番号読み替えが有効の場合にだけ設定できます。
8	メールアドレス	メールアドレスを設定します。 半角で128文字まで入力できます。

■ Step1 認証ユーザー情報を取り出す

インターネットサービスを使って、本機に登録されている認証ユーザー情報をCSVファイルとして取り出します。

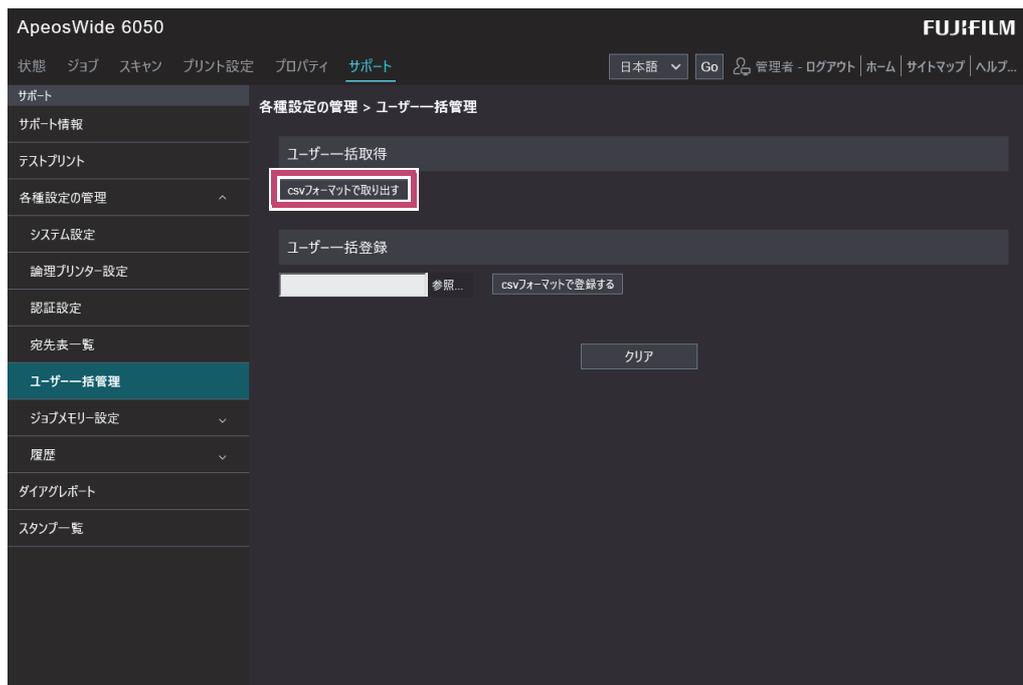
補足 認証ユーザー情報のうち、パスワードは取り出すことができません。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - ・ IP アドレスの入力例
例) http://192.168.0.101
 - ・ インターネットアドレスの入力例 (本機のインターネットアドレスが、myhost.example.com の場合)
例) http://myhost.example.com
3. [ユーザー ID] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

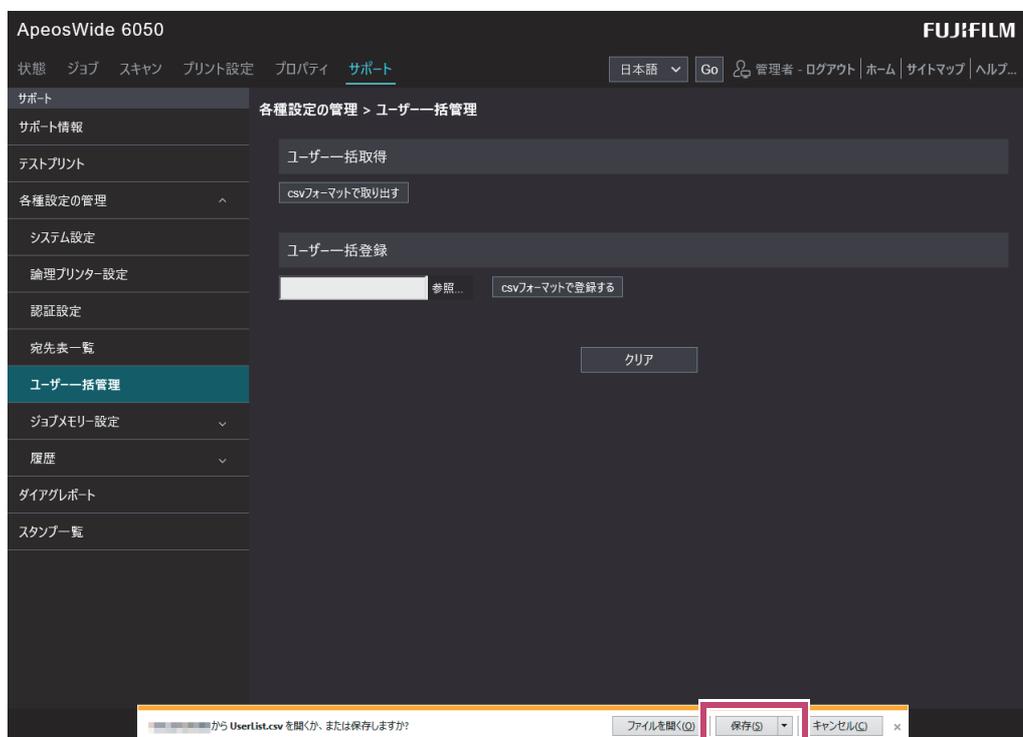


4. [サポート] > [各種設定の管理] > [ユーザー一括管理] の順に選択します。

5. [CSV フォーマットで取り出す] をクリックします。



6. [保存] をクリックします。



認証ユーザー情報の CSV ファイルが保存されます。

Step2 認証ユーザー情報を編集する

Microsoft Excelやテキストエディターを使って、本機から取り出した認証ユーザー情報のCSVファイルを編集し、認証ユーザーを追加/変更/削除します。

1. Microsoft Excel やテキストエディターを使って、取り出した認証ユーザー情報の CSV ファイルを開きます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	USER001	passwd001	ユーザー-001	A	A	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
2	USER002	passwd002	ユーザー-002	A	A	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
3	USER003	passwd003	ユーザー-003	A	A	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
4	USER004	passwd004	ユーザー-004	A	A	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
5	USER005	passwd005	ユーザー-005	A	A	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
6	USER006	passwd006	ユーザー-006	A	N	N	xxxxxx	xxxx@example.com		
7	USER007	passwd007	ユーザー-007	A	N	N	xxxxxx	xxxx@example.com		
8	USER008	passwd008	ユーザー-008	A	N	N	xxxxxx	xxxx@example.com		
9	USER009	passwd009	ユーザー-009	A	N	N	xxxxxx	xxxx@example.com		
10	USER010	passwd010	ユーザー-010	A	N	N	xxxxxx	xxxx@example.com		
11	USER011	passwd011	ユーザー-011	N	N	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
12	USER012	passwd012	ユーザー-012	N	N	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
13	USER013	passwd013	ユーザー-013	N	N	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
14	USER014	passwd014	ユーザー-014	N	N	A	xxxxxx	xxxx@example.com		
15	USER015	passwd015	ユーザー-015	N	N	A	xxxxxx	xxxx@example.com		

- 補足**
- ・ 認証ユーザー情報のうちパスワードは取り出すことができないので、Microsoft Excel で CSV ファイルを開くと第 2 カラム「パスワード」は空欄になります。(テキストエディターで開いた場合は、第 2 カラムには区切り文字の「, (カンマ)」が 2 つ連続します。)
 - ・ IC カード番号の照合方式 (弊社カスタマーエンジニアによる作業) が User ID と照合の場合は、設定の必要はありませんが、カラムは省略できないので、「, (カンマ)」が 2 つ連続します。

```

USER 1, ユーザー-001, A, A, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 2, ユーザー-002, A, A, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 3, ユーザー-003, A, A, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 4, ユーザー-004, A, A, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 5, ユーザー-005, A, A, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 6, ユーザー-006, A, N, N, xxxxxx, xxx@example.com
USER 7, ユーザー-007, A, N, N, xxxxxx, xxx@example.com
USER 8, ユーザー-008, A, N, N, xxxxxx, xxx@example.com
USER 9, ユーザー-009, A, N, N, xxxxxx, xxx@example.com
USER 0, ユーザー-010, A, N, N, xxxxxx, xxx@example.com
USER 1, ユーザー-011, N, N, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 2, ユーザー-012, N, N, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 3, ユーザー-013, N, N, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 4, ユーザー-014, N, N, A, xxxxxx, xxx@example.com
USER 5, ユーザー-015, N, N, A, xxxxxx, xxx@example.com

```

- ・ パスワードが空欄の認証ユーザーは、次のように登録されます。
 - 既存の認証ユーザー
 - 現在のパスワードがそのまま登録されます。(パスワードは変更されません)
 - 追加した認証ユーザー
 - パスワードなしの認証ユーザーが登録されます。

編集

ApeosWide 6050/3030内
認証ユーザー情報 (編集前)
User IDパスワード
USER001passwd001
USER002passwd002
USER003passwd003

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	USER001	passwd001	ユーザー-001	A	A	A	xxxx	xxxx@example.com		
2	USER002	passwd002	ユーザー-002	A	A	A	xxxx	xxxx@example.com		
3	USER003	passwd003	ユーザー-003	A	A	A	xxxx	xxxx@example.com		
4	USER004	passwd004	ユーザー-004	A	A	A	xxxx	xxxx@example.com		
5	USER005	passwd005	ユーザー-005	A	A	A	xxxx	xxxx@example.com		

既存の認証ユーザー

取り出し

登録

ApeosWide 6050/3030内
認証ユーザー情報 (編集後)
User IDパスワード
USER001passwd001
USER002passwd002
USER003passwd003
USER004なし

追加した認証ユーザー

2. 認証ユーザー情報を編集します。

◆ 認証ユーザーの追加

(1) 登録済み認証ユーザー情報の下に、新しい認証ユーザー情報を追加します。

The left table shows the initial state with 15 users. The right table shows the result after adding two new users (USER016 and USER017) at the bottom. The new users are highlighted with a red box and labeled '追加'.

	A	B	C	D	E	F	
1	USER001		ユーザー-001	A	A	A	xxxxxxx
2	USER002		ユーザー-002	A	A	A	xxxxxxx
3	USER003		ユーザー-003	A	A	A	xxxxxxx
4	USER004		ユーザー-004	A	A	A	xxxxxxx
5	USER005		ユーザー-005	A	A	A	xxxxxxx
6	USER006		ユーザー-006	A	N	N	xxxxxxx
7	USER007		ユーザー-007	A	N	N	xxxxxxx
8	USER008		ユーザー-008	A	N	N	xxxxxxx
9	USER009		ユーザー-009	A	N	N	xxxxxxx
10	USER010		ユーザー-010	A	N	N	xxxxxxx
11	USER011		ユーザー-011	N	N	A	xxxxxxx
12	USER012		ユーザー-012	N	N	A	xxxxxxx
13	USER013		ユーザー-013	N	N	A	xxxxxxx
14	USER014		ユーザー-014	N	N	A	xxxxxxx
15	USER015		ユーザー-015	N	N	A	xxxxxxx
16	USER016	password16	ユーザー-016	N	N	A	xxxxxxx
17	USER017	password17	ユーザー-017	N	N	A	xxxxxxx

◆ 認証ユーザーの変更

(1) 変更箇所を修正して上書きします。

The left table shows the initial state. The right table shows the result after modifying the passwords for USER010 and USER012. The modified cells are highlighted with red boxes and labeled '変更'.

	A	B	C	D	F	F	
1	USER001		ユーザー-001	A	A	A	xxxxxxx
2	USER002		ユーザー-002	A	A	A	xxxxxxx
3	USER003		ユーザー-003	A	A	A	xxxxxxx
4	USER004		ユーザー-004	A	A	A	xxxxxxx
5	USER005		ユーザー-005	A	A	A	xxxxxxx
6	USER006		ユーザー-006	A	N	N	xxxxxxx
7	USER007		ユーザー-007	A	N	N	xxxxxxx
8	USER008		ユーザー-008	A	N	N	xxxxxxx
9	USER009		ユーザー-009	A	N	N	xxxxxxx
10	USER010		ユーザー-010	A	N	N	xxxxxxx
11	USER011		ユーザー-011	N	N	A	xxxxxxx
12	USER012		ユーザー-012	N	N	A	xxxxxxx
13	USER013		ユーザー-013	N	N	A	xxxxxxx
14	USER014		ユーザー-014	N	N	A	xxxxxxx
15	USER015		ユーザー-015	N	N	A	xxxxxxx

◆ 認証ユーザーの削除

(1) 削除する認証ユーザー情報の行を削除します。

The left table shows the initial state. The right table shows the result after deleting users 008 through 012. The deleted rows are highlighted with a red dashed box and labeled '削除'.

	A	B	C	D	E	F	
1	USER001		ユーザー-001	N	N	N	xxxxxxx
2	USER002		ユーザー-002	N	N	N	xxxxxxx
3	USER003		ユーザー-003	N	N	N	xxxxxxx
4	USER004		ユーザー-004	A	A	A	xxxxxxx
5	USER005		ユーザー-005	A	A	A	xxxxxxx
6	USER006		ユーザー-006	A	N	N	xxxxxxx
7	USER007		ユーザー-007	A	N	N	xxxxxxx
8	USER008		ユーザー-008	A	N	N	xxxxxxx
9	USER009		ユーザー-009	A	N	N	xxxxxxx
10	USER010		ユーザー-010	A	N	N	xxxxxxx
11	USER011		ユーザー-011	N	N	A	xxxxxxx
12	USER012		ユーザー-012	N	N	A	xxxxxxx
13	USER013		ユーザー-013	N	N	A	xxxxxxx
14	USER014		ユーザー-014	N	N	A	xxxxxxx
15	USER015		ユーザー-015	N	N	A	xxxxxxx

3. 編集した CSV ファイルを上書き保存します。
ユーザー登録用 CSV ファイルが保存されます。

Step3 認証ユーザー情報を登録する

インターネットサービスを使って、認証ユーザー情報を編集したCSVファイルを本機に登録します。

- 補足**
- ・本機で作業していないときに CSV ファイルの登録を行ってください。
 - ・認証ユーザー情報を登録したあと、本機を再起動する必要があります。

1. インターネットサービスにログインします。

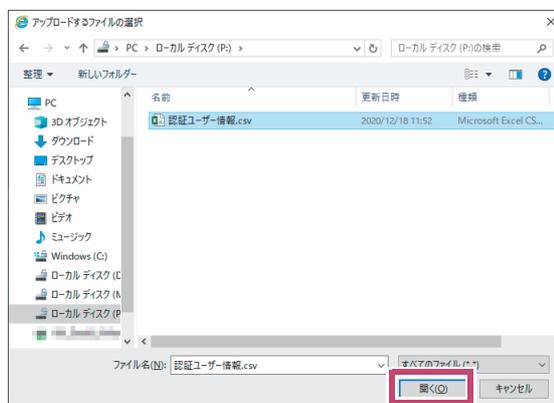
参照 ログイン方法については、「Step1 認証ユーザー情報を取り出す」(P.219)の手順1～3を参照してください。

2. [サポート] > [各種設定の管理] > [ユーザー一括管理] の順に選択します。

3. [参照] をクリックします。



4. 認証ユーザー情報を編集した CSV ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



5. [CSV フォーマットで登録する] をクリックします。



認証ユーザー登録が完了すると、「設定を更新しました。」のメッセージが表示されます。

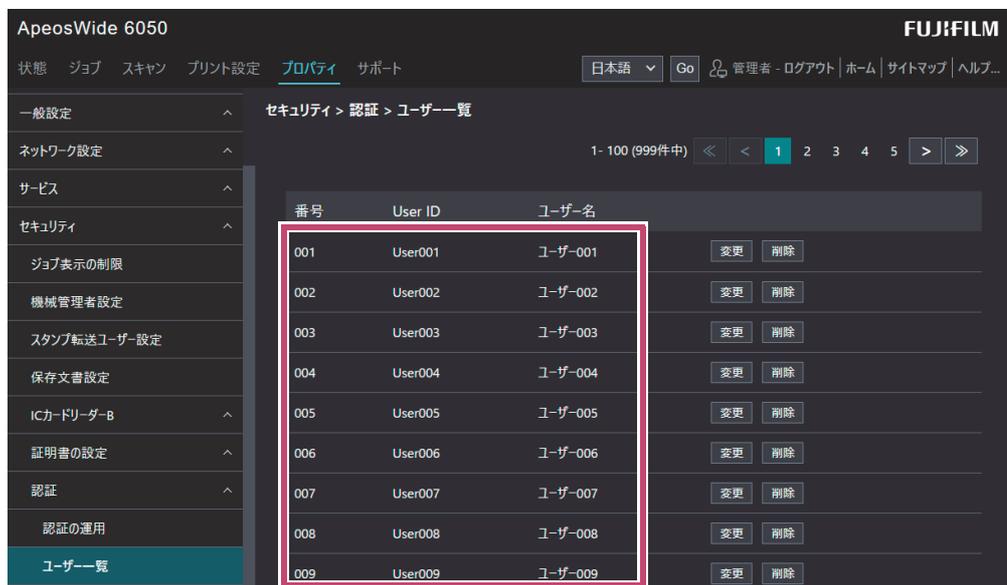
6. [再起動] をクリックし、本機を再起動します。



7. 登録した認証ユーザー情報を確認するには、インターネットサービスにログインし、[プロパティ] > [セキュリティ] > [認証] > [ユーザー一覧] の順に選択します。

8. ユーザー一覧に、編集した認証ユーザー情報が表示されていることを確認します。

補足 インターネットサービスを使って、本機に登録した認証ユーザー情報を変更することができます。操作方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。



7.6 外部認証で運用する

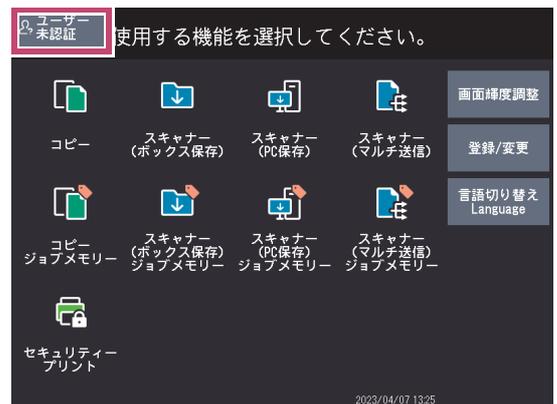
本機を外部認証で運用するための設定について説明します。

7.6.1 認証方式を「外部認証」に設定する

本機を外部認証で運用するには、認証方式を「外部認証」に設定します。

注記 本体認証から外部認証に変更する場合、本機に登録されたユーザー情報および個人のボックスは削除されます。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。



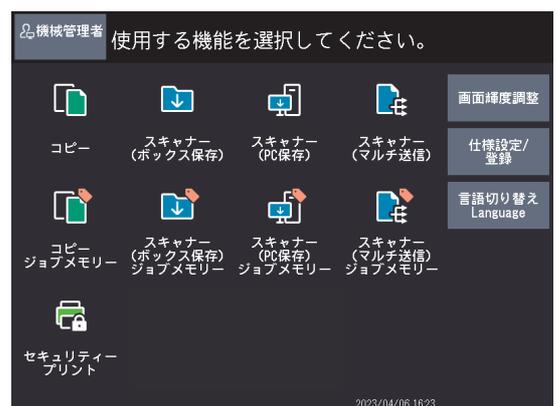
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268)を参照してください。

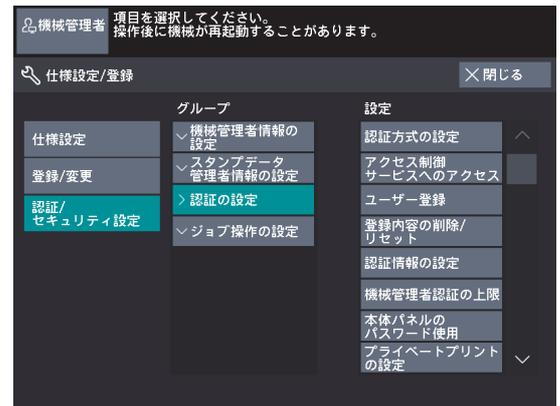


3. ホーム画面で「仕様設定/登録」をタップします。

補足 ホーム画面が表示されていないときは、ホームボタンを押して、表示させてください。



4. [認証／セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] をタップします。



5. [外部認証] をタップします。

参照 詳細については、「認証方式の設定」(P.321) を参照してください。

6. [決定] をタップします。



7.6.2 アクセス制限を設定する

利用を制限する操作を設定します。

1. [認証／セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御 サービスへのアクセス] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

参照 詳細については、「アクセス制御 サービスへのアクセス」(P.321) を参照してください。



7.6.3 外部認証情報の本体保存機能を設定する

外部認証に使用したユーザー情報を本体に保存できます。

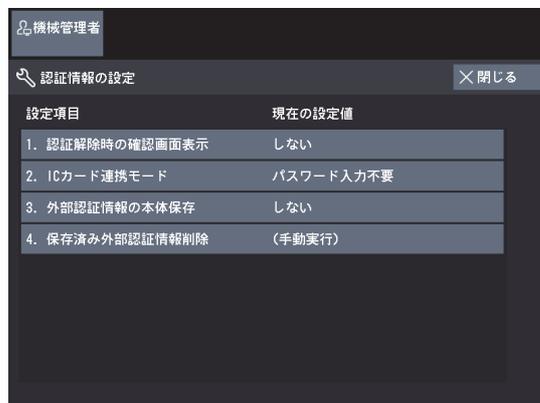
1. [認証／セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [外部認証情報の本体保存] をタップします。

2. 外部認証情報の本体保存機能を無効にする場合は [しない]、有効にする場合は [する] を選択します。

補足 外部認証に使用したユーザー情報を本体に保存させたくない場合は、[しない] を選択してください。

参照 詳細については、「外部認証情報の本体保存」(P.324) を参照してください。

3. [決定] をタップします。



■ 本体に保存されている外部認証情報を削除する

本体に保存されている外部認証のユーザー情報を削除できます。

1. [認証／セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [保存済み外部認証情報削除] をタップします。
2. [はい (削除する)] を選択します。

7.6.4 認証サーバーを設定する

インターネットサービスを使って、認証サーバーを設定します。

補足 認証サーバーを設定したあと、本機を再起動する必要があります。

利用する認証サーバーによって、設定項目が異なります。

■ Active Directory の設定

認証サーバー (Active Directory) の設定項目について説明します。

補足 Active Directory を認証サーバーとするときの認証方式は、LDAP 認証を使用します。

参照 インターネットサービスの設定項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - ・ IP アドレスの入力例
例) http://192.168.0.101
 - ・ インターネットアドレスの入力例 (本機のインターネットアドレスが、myhost.example.com の場合)
例) http://myhost.example.com

3. [ユーザー ID] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。



4. 認証サーバーを設定します。

◆ 認証の運用

- (1) [プロパティ] > [セキュリティ] > [認証] > [認証の運用] の順に選択します。
- (2) [認証方式の設定] で [外部認証] を設定します。
- (3) 枠内のその他の各項目を設定します。

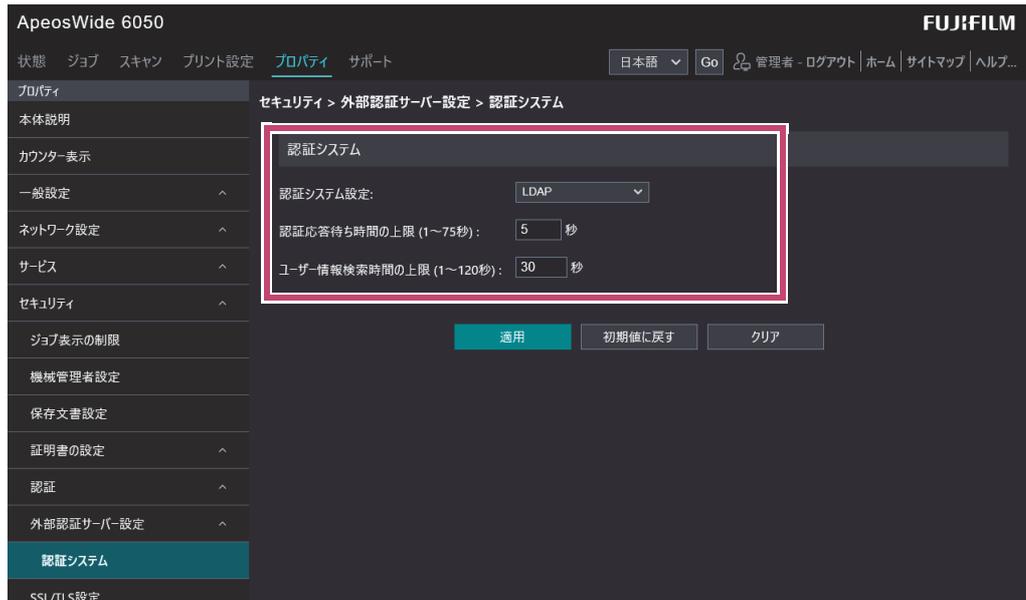


(4) [適用] をクリックします。

◆ 認証システム

- (1) [プロパティ] > [セキュリティ] > [外部認証サーバー設定] > [認証システム] の順に選択します。
- (2) [認証システム設定] で [LDAP] を設定します。

(3) 枠内のその他の各項目を設定します。

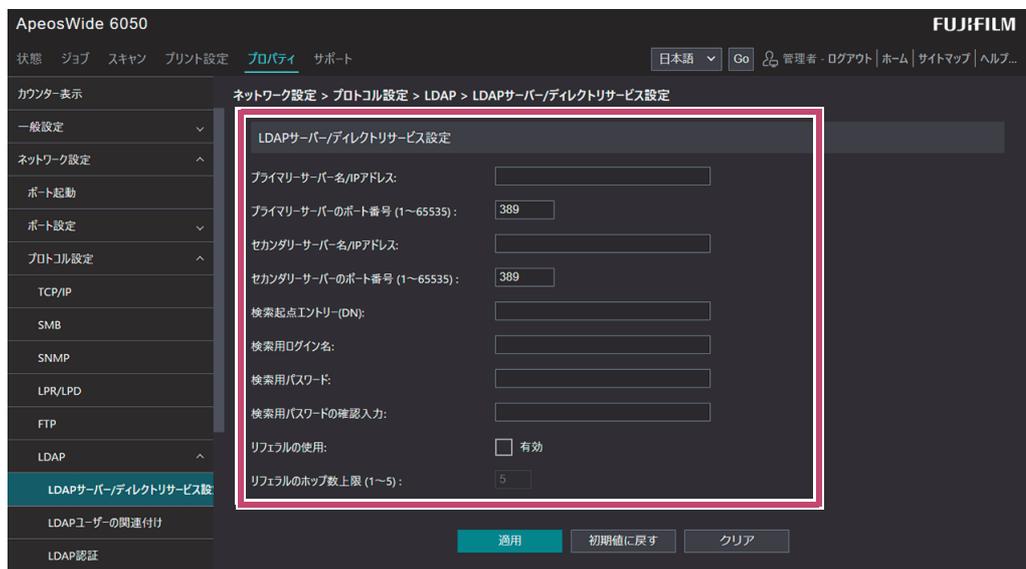


(4) [適用] をクリックします。

◆ LDAP サーバー／ディレクトリサービス設定

(1) [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [LDAP] > [LDAP サーバー／ディレクトリサービス設定] の順に選択します。

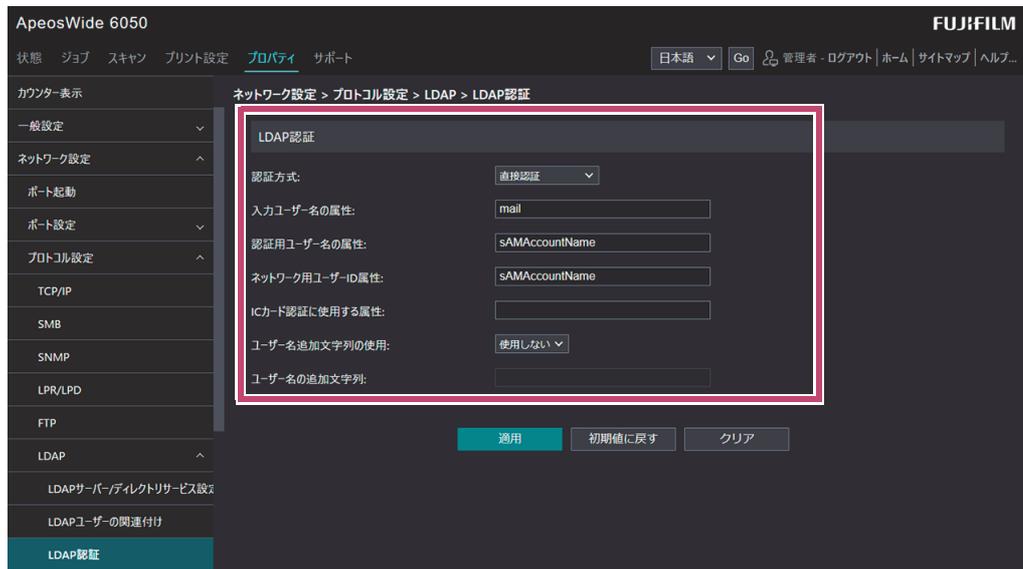
(2) 枠内の各項目を設定します。



(3) [適用] をクリックします。

◆ LDAP 認証

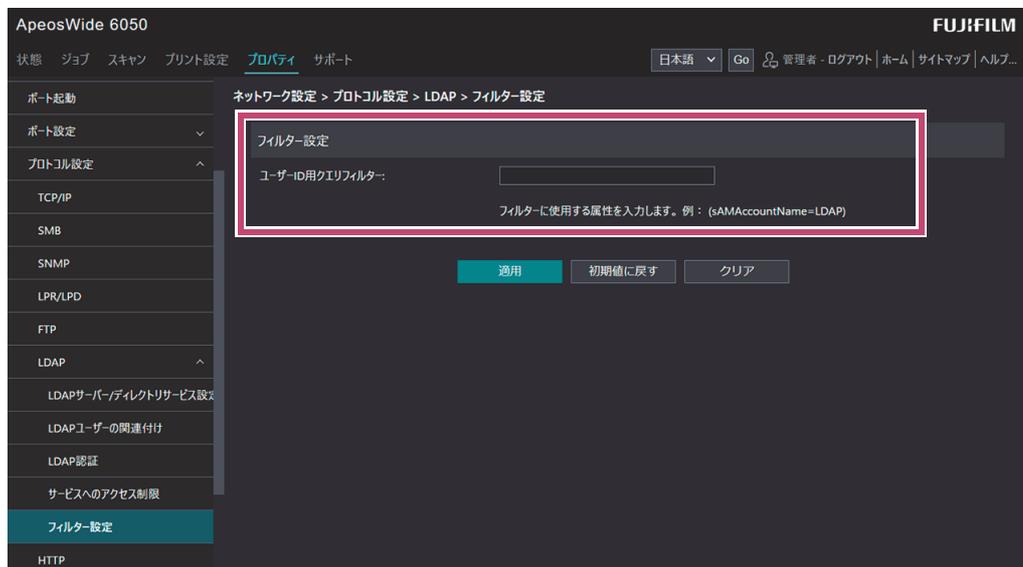
- (1) [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [LDAP] > [LDAP 認証] の順に選択します。
- (2) 各項目を設定します。



- (3) [適用] をクリックします。

◆ フィルター設定

- (1) [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [LDAP] > [フィルター設定] の順に選択します。
- (2) [ユーザー ID 用クエリフィルター] を設定します。



- (3) [適用] をクリックします。

◆ SSL/TLS 設定

- (1) [プロパティ] > [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] の順に選択します。
- (2) [LDAP-SSL/TLS 通信] を設定します。



- (3) [適用] をクリックします。

5. 本機を再起動します。

■ ApeosWare Management Suite 2 の設定

認証サーバー（ApeosWare Management Suite 2）の設定項目について説明します。
本機での設定以外に、ApeosWare Management Suite 2での設定も必要です。

◆ ApeosWare Management Suite 2 側の設定

参照 ApeosWare Management Suite 2 への、ApeosWide 6050/3030 の登録やユーザーの追加、および ApeosWide 6050/3030 への情報の反映などの操作手順については、ApeosWare Management Suite 2 に付属のマニュアルを参照してください。

◆ 本機側の設定

参照 インターネットサービスの設定項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. インターネットサービスにログインします。

参照 ログイン方法については、「Active Directory の設定」(P.227) の手順 1～3 参照してください。

2. 認証サーバーを設定します。

◆ 認証の運用

(1) [プロパティ] > [セキュリティ] > [認証] > [認証の運用] の順に選択します。

(2) [外部認証情報の本体保存] を設定します。



(3) [適用] をクリックします。

◆ 認証システム

- (1) [プロパティ] > [セキュリティ] > [外部認証サーバー設定] > [認証システム] の順に選択します。
- (2) 枠内の各項目を設定します。



- (3) [適用] をクリックします。

3. 本機を再起動します。

8 トラブル対処／こんなときには

本機にトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

8.1	トラブルと思ったら	236
8.2	機械本体のトラブル	237
8.3	紙詰まりのトラブル	238
8.4	画質のトラブル	239
8.5	コピーのトラブル	243
8.6	スキャンのトラブル	244
8.7	プリントのトラブル	247
8.8	インターネットサービスのトラブル	248
8.9	エラーメッセージ	249
8.10	用紙が詰まった場合	252
8.11	原稿が詰まった場合	257
8.12	こんなときには	259

8.1 トラブルと思ったら

本機にトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。
 トラブルが発生した場合は、次の流れに従って、対処してください。



なお、上記のトラブル対処に従って対処しても正常に作動しないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

8.2 機械本体のトラブル

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電源が切れていませんか？	電源を入れてください。 参照 「1.3 電源について」(P.20) を参照してください。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源、電源ブレーカーをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源ブレーカー、電源を入れてください。
	本機から電源コードが抜けていませんか？	参照 「1.3 電源について」(P.20) を参照してください。
タッチパネルディスプレイが暗い	操作パネルの電源／節電ボタンが点滅していませんか？	節電状態に移行しています。操作パネルの電源／節電ボタンを押して、節電状態から復帰してください。 参照 「1.4 節電機能について」(P.22) を参照してください。
メッセージが表示されている	機械内部に異常が発生しています。	参照 「8.9 エラーメッセージ」(P.249) を参照してください。
	紙づまりが発生していませんか？	参照 「8.10 用紙が詰まった場合」(P.252) を参照してください。
	原稿づまりが発生していませんか？	参照 「8.11 原稿が詰まった場合」(P.257) を参照してください。
起動時に画面が止まる	「5/6」などの番号が表示されていますか？	電源を切／入して、本機を再起動してください。再起動しても、「5/6」などの番号が表示されて画面が止まった場合は、表示されている番号を控えて弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

8.3 紙づまりのトラブル

紙づまりの原因と対処方法について説明します。

詰まった原稿を取り除く方法については、「8.11 原稿が詰まった場合」(P.257)、詰まった用紙を取り除く方法については、「8.10 用紙が詰まった場合」(P.252)を参照してください。

症 状	原 因	処 置
原稿がたびたび詰まる	適切な原稿を使用していますか？	適切な原稿を正しくセットしてください。 参照 ・コピーの場合 「2.1.3 Step3 コピーを開始する」(P.68) ・スキャンの場合 「3.1.2 Step2 スキャンを開始する」(P.122)
	原稿が小さくありませんか？	セットできる原稿の最小サイズは幅176 mm、長さ210 mmです。 参照 「1.16 原稿について」(P.60)を参照してください。
紙づまり、紙しわがたびたび発生する	セットしている用紙と用紙設定の設定内容は正しいですか？	セットしている用紙に合わせて、正しく用紙のサイズ系列と用紙種類／厚さを設定してください。 参照 「6.1.6 用紙トレイの系列／種類設定」(P.199)を参照してください。
	適切な用紙を使用していますか？	適切な用紙を正しくセットしてください。 参照 「1.17 用紙について」(P.61)を参照してください。
	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 参照 「1.7 用紙を補給／交換する」(P.29)を参照してください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙と交換してください。 参照 「1.7 用紙を補給／交換する」(P.29)を参照してください。
		ペーパーヒーターを使用してください。 参照 「1.18 ペーパーヒーターについて」(P.63)を参照してください。
機械の内部に詰まった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っていませんか？	機械を開けるか、ロール紙トレイを引き出して、紙片や異物を取り除いてください。 参照 「8.10 用紙が詰まった場合」(P.252)、 「1.7 用紙を補給／交換する」(P.29)を参照してください。	

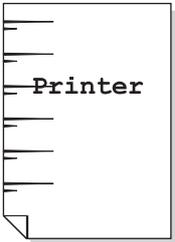
8.4 画質のトラブル

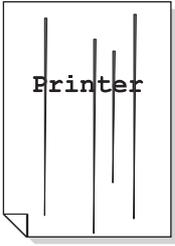
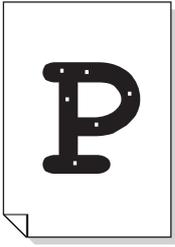
コピー／スキャン／プリント結果の画質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。

該当する処置をしても画質が改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

補足 紙質「1.17 用紙について」(P.61) や、用紙設定「6.1.6 用紙トレイの系列／種類設定」(P.199)を確認してください。

症 状	原 因	処 置
コピー／スキャン画像が汚れている	原稿の読み取り部が汚れていませんか？	原稿の読み取り部を清掃してください。 参照 「1.12 本機を清掃する」(P.48)を参照してください。
	原稿がカラーペーパー、ザラ紙、青焼きなどではありませんか？	濃度、原稿の画質、または地色除去を調整してください。 参照 ・コピーの場合 「2.16 コピー - [画質調整] 画面」(P.94) ・スキャンの場合 「3.8.5 原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)」(P.134) 「3.12 スキャナー - [画質調整] 画面」(P.144)
コピー／スキャン画像に黒ずじが入る	原稿の読み取り部が汚れていませんか？	原稿の読み取り部を清掃してください。 参照 「1.12 本機を清掃する」(P.48)を参照してください。
コピー／スキャン画像が濃すぎる	濃度が [こく] に設定されていませんか？	濃度を調整してください。 参照 ・コピーの場合 「2.16.2 濃度」(P.95) ・スキャンの場合 「3.12.1 濃度」(P.144)
コピー／スキャン画像にズレが発生する	原稿の読み取りセンサー単位でズレが発生している可能性があります	読み取りセンサーのつなぎ目を補正してください。 補足 この機能は、ApeosWide 3030でだけ使用できません。 参照 「1.10 読み取りセンサーのつなぎ目を補正する (ApeosWide 3030)」(P.42)を参照してください。
コピー／スキャン画像／プリントが薄すぎる	原稿の濃度が薄くありませんか？	濃度を調整してください。 参照 ・コピーの場合 「2.16.2 濃度」(P.95) ・スキャンの場合 「3.12.1 濃度」(P.144)
	濃度が [うすく] に設定されていませんか？	
	原稿の画質設定は適切ですか？	原稿の画質を設定し直してください。 参照 ・コピーの場合 「2.16.1 原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)」(P.94) ・スキャンの場合 「3.8.5 原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)」(P.134)

症 状	原 因	処 置
コピー／スキャン画像／プリントがずれたり、曲がって写る	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。 参照 ・コピーの場合 [2.1.3 Step3 コピーを開始する] (P.68) ・スキャンの場合 [3.1.2 Step2 スキャンを開始する] (P.122)
	原稿ガイドがずれていませんか？	原稿ガイドを正しくセットしてください。 参照 ・コピーの場合 [2.1.3 Step3 コピーを開始する] (P.68) ・スキャンの場合 [3.1.2 Step2 スキャンを開始する] (P.122)
コピー／プリントが部分的に写らない (かすれる、不鮮明) 	用紙が湿気を含んでいませんか？	用紙が湿気を含んでいると、コピーが部分的に写らなかったり、不鮮明になります。新しい用紙と交換してください。 参照 [1.7 用紙を補給／交換する] (P.29) を参照してください。
	折りめやしわが入った用紙がトレイに入っていないですか？	不良用紙を取り除くか、新しい用紙と交換してください。 参照 [1.7 用紙を補給／交換する] (P.29) を参照してください。
	本機の印字可能領域を超えていませんか？	ドキュメントの印字可能領域を小さくしてください。 参照 [10.1 主な仕様] (P.332) の「画像欠け幅」を参照してください。
等間隔に汚れが起きる 	用紙搬送路に汚れが付着していませんか？	数枚コピーしてください。 改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
	本機内部が汚れている可能性があります	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
黒点がコピー／プリントされる 	本機内部が汚れている可能性があります	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
黒線がコピー／ プリントされる 	原稿の読み取り部が汚れていませんか？	原稿の読み取り部を清掃してください。 参照 「1.12 本機を清掃する」 (P.48) を参照してください。
	本機内部が汚れている可能性があります	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
黒くぬりつぶされた部分に白点 が現れる 	適切な用紙を使用していますか？	適切な用紙をセットしてください。 参照 「1.17 用紙について」 (P.61) を参照してください。
	本機内部が汚れている可能性があります	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
指でこするとか すれる トナーが定着し ない 用紙がトナーで 汚れる 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙と交換してください。 参照 「1.7 用紙を補給／交換する」 (P.29) を参照してください。
	適切な用紙を使用していますか？	適切な用紙をセットしてください。 参照 「1.17 用紙について」 (P.61) を参照してください。
	用紙の設定は適切ですか？	適切な用紙を設定してください。 参照 「1.7 用紙を補給／交換する」 (P.29) を参照してください。
用紙全体が黒く コピー／プリン トされる	高圧電源の故障が考えられます。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
何もコピー／プ リントされない	コピーの場合は、原稿をセットする面が逆になっていませんか？	コピーする面を下に向けて、原稿をセットしてください。
	高圧電源の故障が考えられます。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
コピー／プリン トが薄すぎる	トナー濃度が適切ですか？	トナー濃度を調整してください。 参照 「トナー濃度」 (P.285) を参照してください。
コピー／プリン トがずれたり、曲 がって写る	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 参照 「1.7 用紙を補給／交換する」 (P.29) を参照してください。

症 状	原 因	処 置
コピー／スキャン画像が欠ける	原稿がずれていませんか？	原稿を正しくセットしてください。 参照 ・ コピーの場合 [2.1.3 Step3 コピーを開始する] (P.68) ・ スキャンの場合 [3.1.2 Step2 スキャンを開始する] (P.122)
	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 参照 [1.7 用紙を補給／交換する] (P.29) を参照してください。
	倍率、用紙選択、コピー位置、わく消し、読み取り開始位置調整などのコピー機能の設定は正しいですか？	正しく設定し直してください。 参照 ・ [2.15 [コピー (マニュアルモード)] 画面] (P.89) を参照してください。 ・ [2.17 コピー - [読み取り方法] 画面] (P.99) を参照してください。
	倍率、読み取りサイズ、わく消し、読み取り開始位置調整などのスキャン機能の設定は正しいですか？	正しく設定し直してください。 参照 [3.13 スキャナー-[読み取り方法]画面] (P.149) を参照してください。
コピー／スキャン画像に影が出る	原稿が貼り合わせ原稿や折り込みの原稿ではありませんか？	濃度／原稿の画質を調整してください。 参照 ・ コピーの場合 [2.16 コピー - [画質調整] 画面] (P.94) ・ スキャンの場合 [3.12.1 濃度] (P.144) [3.8.5 原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)] (P.134)
	透過度の高い原稿ではありませんか？	
用紙の端にあるイメージが欠ける	本機の印字可能領域を超えていませんか？	ドキュメントの印字可能領域を小さくしてください。 参照 [10.1 主な仕様] (P.332) の「画像欠け幅」を参照してください。
スキャナーで取り込んだ画像イメージが粗い	解像度の設定が低くありませんか？	解像度を高く設定してください。 参照 [3.8.3 解像度 (読み取る解像度を指定してスキャンする)] (P.133) を参照してください。
	カラーモードの設定は正しいですか？	適切なカラーモードを設定してください。 参照 [3.8.2 カラーモード (スキャンの色を選択する)] (P.132) を参照してください。

8.5 コピーのトラブル

コピー機能利用時のトラブル対処方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
原稿が送り込まれない	原稿が小さくありませんか？	セットできる原稿の最小サイズは幅176 mm、長さ210 mmです。 参照 「1.16 原稿について」 (P.60) を参照してください。
手差しテーブルにセットした用紙にずれてコピーされる	手差しテーブルにセットする用紙の位置がずれていませんか？	用紙を正しい位置にセットしてください。 参照 「1.7.3 手差しで給紙する」 (P.33) を参照してください。
コピーした原稿の端が折れる	原稿がカールしていませんか？	原稿のカールを直してから、セットしてください。
希望のサイズにコピーされない	原稿サイズ系列の設定は正しいですか？ (ApeosWide 6050)	原稿サイズに合った原稿サイズ系列に設定してください。 参照 「原稿サイズ検知切り換え (ApeosWide 6050)」 (P.286) を参照してください。
	用紙サイズ系列の設定は正しいですか？	用紙サイズに合った用紙サイズ系列に設定してください。 参照 「1.7 用紙を補給／交換する」 (P.29) を参照してください。
	原稿がずれていませんか？	原稿を正しくセットしてください。 参照 「2.1.3 Step3 コピーを開始する」 (P.68) を参照してください。
	原稿ガイドがずれていませんか？	原稿ガイドを正しくセットしてください。 参照 「2.1.3 Step3 コピーを開始する」 (P.68) を参照してください。
	原稿が折れ曲がっていませんか？	原稿を伸ばして正しくセットし直してください。 参照 「2.1.3 Step3 コピーを開始する」 (P.68) を参照してください。

8.6 スキャンのトラブル

スキャン機能利用時のトラブル対処方法について説明します。

8.6.1 本機でスキャンできない

本機でスキャンできない場合の処置方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
原稿が送り込まれない	原稿が小さくありませんか？	セットできる原稿の最小サイズは幅176 mm、長さ210 mmです。 参照 「1.16 原稿について」 (P.60) を参照してください。
スキャンした原稿の端が折れる	原稿がカールしていませんか？	原稿のカールを直してから、セットしてください。
希望のサイズにスキャンされない	原稿サイズ系列の設定は正しいですか？ (ApeosWide 6050)	原稿サイズに合った原稿サイズ系列に設定してください。 参照 「原稿サイズ検知切り換え (ApeosWide 6050)」 (P.286) を参照してください。
	原稿がずれていませんか？	原稿を正しくセットしてください。 参照 「3.1.2 Step2 スキャンを開始する」 (P.122) を参照してください。
	原稿ガイドがずれていませんか？	原稿ガイドを正しくセットしてください。 参照 「3.1.2 Step2 スキャンを開始する」 (P.122) を参照してください。
	原稿が折れ曲がっていませんか？	原稿を伸ばして正しくセットし直してください。 参照 「3.1.2 Step2 スキャンを開始する」 (P.122) を参照してください。
スキャンデータを保存できない	本機のストレージがいっぱいになっていませんか？	スキャンデータの保存中に、本機のストレージがいっぱいになった場合は、メッセージが表示されて処理が中止されます。 参照 「8.9 エラーメッセージ」 (P.249) を参照してください。
再スキャンできない	ファイルサイズが大きすぎませんか？	解像度／倍率／読み取りサイズを調整してください。 参照 ・「3.8.3 解像度 (読み取る解像度を指定してスキャンする)」 (P.133) を参照してください。 ・「3.13 スキャナー-[読み取り方法]画面」 (P.149) を参照してください。
	読み取りサイズが大きすぎませんか？	

8.6.2 スキャンデータをコンピューターに取り込めない

スキャンデータを、コンピューターに取り込めない場合の処置方法について説明します。

症状	原因	処置	
スキャナーが見 つからない	本機の電源が切れていませんか？	本機の電源を入れてください。	
	コンピューターのネットワークケーブルが外れていませんか？	コンピューターのネットワークケーブルをつなげてください。	
	コンピューターと本機の間ネットワークが正常ですか？	ネットワーク管理者に相談してください。	
	SNMPポートが起動していますか？		SNMPポートを起動してください。 参照 「9.5.1 ポート設定」 (P.302) を参照してください。
			スキャナーのIPアドレスを直接指定して検索してください。
	スリープモードに移行していませんか？		節電状態から復帰してください。 参照 「1.4.2 節電状態から復帰する」 (P.22) を参照してください。
スキャナーのIPアドレスを直接指定して検索してください。			
PC からボックスのデータにアクセスできない	ネットワークの設定は正しいですか？	IPアドレスが正しく設定されているかどうかを確認してください。 参照 「9.5.2 プロトコル設定」 (P.303) を参照してください。	
	DNSサーバーの電源が切れていませんか？	DNSサーバーの電源を確認してください。	
ボックスが開かない	ボックスを登録していますか？	ボックスを登録してください。 参照 「6.1.2 ボックス登録」 (P.192) を参照してください。	
	ボックスのパスワードを忘れていませんか？	パスワードを再設定してください。 参照 「アクセス制限/パスワード」 (P.193) を参照してください。	

8.6.3 スキャンデータをネットワーク転送（SMB/LPR）できない

スキャンデータを、ネットワーク転送できない場合の処置方法について説明します。

症状	原因	処置
ネットワーク転送できない	サーバーは正しく入力されていますか？	サーバーの入力を確認してください。 保存先にサーバー名を使用する（IPアドレスを使用しない）場合、DNSサーバーのアドレスやドメイン名をお使いの環境に合わせて設定してください。
	保存場所は正しく入力されていますか？	保存場所の入力を確認してください。 保存場所の大文字／小文字を正しく設定してください。
	共有名は正しく入力されていますか？	共有名の入力を確認してください。 共有名の大文字／小文字を正しく設定してください。
	ログイン名は正しく入力されていますか？	ログイン名の入力を確認してください。 アクティブディレクトリー環境の場合、ユーザー名はUPN表記（例：user1@example.com）で設定してください。
	パスワードは正しく入力されていますか？	パスワードの入力を確認してください。
	パスワードを設定しないユーザーで、SMB転送しようとしていますか？	次の方法でネットワークへのアクセス設定を変更します。 1. Windowsの [スタート] メニューから、[Windows 管理ツール] > [ローカルセキュリティポリシー] を選択する。 2. [セキュリティの設定] > [ローカルポリシー] から [セキュリティオプション] を選択する。 3. [アカウント：ローカルアカウントの空のパスワードをコンソールログオンだけに制限する] を [無効] に設定する。
	ファイアウォールの設定で通信を遮断していませんか？	ファイアウォールの設定を確認してください。 参照 [Windows Defender ファイアウォールの設定] (P.205) を参照してください。
	SMB 転送先の共有フォルダーに正しいアクセス権が設定されていますか？	共有フォルダーの設定を確認してください。 参照 [共有フォルダーの設定] (P.203) を参照してください。

8.7 プリントのトラブル

プリント機能利用時のトラブル対処方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
プリントできない	ネットワークケーブルが外れていませんか？	ネットワークケーブルをつなげてください。
	プリンターモードがオフラインになっていませんか？	[プリンターモード]を確認してください。[オフライン]になっていたら、[オンライン]を選択してください。 参照 「プリンターモード」(P.52)を参照してください。
	本機でエラーが発生していませんか？	エラーの内容を確認して対処してください。
	IPアドレス/サブネットマスクが正しく設定されていますか？	正しいIPアドレス/サブネットマスクを設定してください。 参照 「9.8 プリンター設定」(P.316)を参照してください。
	コンピューターと本機間のネットワークは正常ですか？	ネットワーク管理者に相談してください。
	ポートが起動していますか？	利用しているポートを起動してください。 参照 「9.5.1 ポート設定」(P.302)を参照してください。
	指定した用紙サイズ用の用紙はありますか？	指定した用紙サイズ用の用紙をセットしてください。 参照 「1.7 用紙を補給/交換する」(P.29)を参照してください。
		用紙トレイを切り替えてプリントしてください。 参照 「1.7.4 用紙トレイを切り替えてプリントする」(P.33)を参照してください。
	割り込みが行われていませんか？	割り込み操作を解除してください。
	コピーまたはスキャナー（マルチ送信）が行われていませんか？	コピーまたはスキャナー（マルチ送信）中は、プリントできません。
Arc占有モードになっていませんか？	占有モードの間は、ArcEPS以外のプリントは受信しますが、占有モードを解除するまでプリントされません。占有モードはジョブ確認画面で確認できます。 参照 「1.14 ジョブ確認」(P.55)を参照してください。	

8.8 インターネットサービスのトラブル

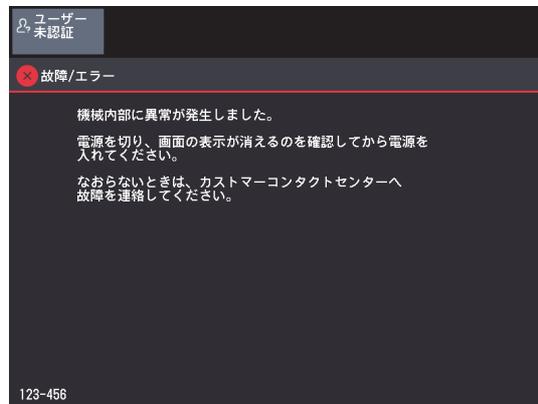
インターネットサービス使用時にトラブルが発生した場合の、症状と処置は次のとおりです。

症 状	原 因	処 置
インターネットサービスに接続できない	本機は、正常に作動していますか？	本機の電源が入っているかを確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか？	インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IPアドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使っていますか？	プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバーを使わないで、Webブラウザの設定を「プロキシサーバーを使用しない」にするか、使用するアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
[更新] が機能しない 左側フレームのメニューを選択しても、右側フレームが更新できない	指定されているWebブラウザを使っていますか？	使っているWebブラウザが対象となっているかどうかを確認してください。 参照 「5.2.2 インターネットサービスを使うための設定」(P.164) を参照してください。
画面の表示が崩れる	Webブラウザのウィンドウサイズが小さくないですか？	Webブラウザのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない	表示を更新していますか？	[更新] をクリックしてください。
文字が正しく表示されない	Webブラウザのエンコード設定は正しいですか？	WebブラウザのエンコードをUTF-8に設定してください。
[新しい設定を適用する] をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？	入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
	本機の操作パネルで操作中、または操作後ではありませんか？	自動リセット機能が設定されている場合、設定時間が経過するまで、インターネットサービスでの設定は適用されません。しばらくお待ちください。
[新しい設定を適用する] をクリックすると、Webブラウザに【無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました】や【データがありません】などのメッセージが表示される	パスワードは正しいですか？	パスワードの確認入力の内容が一致していません。正しいパスワードを入力してください。
	本機は、正常に作動していますか？	本機を再起動してください。
漢字を入力できない	入力項目は正しいですか？	【*】で表示される項目に漢字は入力できません。
ジョブを削除できない	機械が内部処理を行っています。	しばらく待ってから[更新] をクリックしてください。

8.9 エラーメッセージ

エラーメッセージが表示された場合の処置について説明します。

補足 エラーの内容によって、表示されるメッセージは異なることがあります。



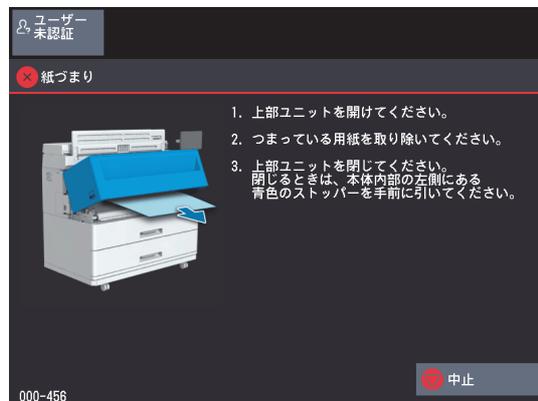
エラーメッセージ	原因	処置
<p>機械内部に異常が発生しました。 電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから電源を入れてください。 なおらないときは、カスタマーコンタクトセンターへ故障を連絡してください。</p> <p>XXX-XXX</p>	<p>機械内部にエラーが発生した</p>	<p>電源を切り、操作パネルの電源／節電ボタンが消灯してから、再度、電源を入れてください。 再び同じメッセージが表示された場合は、「XXX-XXX」の表示内容を書き写してください。 そのあと、電源を切り、操作パネルの電源／節電ボタンが消灯してから、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
<p>読み取りサイズが大きすぎます。 読み込みできません。</p> <p>【確認】をタップしてください。</p> <p>今読み込んだ原稿イメージはメモリーから削除されます。</p>	<p>[規定データ量をオーバー①] スキャンの累積データ量が規定量を超えた</p> <p>規定量： ・ TIFF/PDF/JPEG時は2 GB、DocuWorks時は1 GB ・ 赤黒 TIFF 時については、「作成される赤黒 TIFF ファイルについて (ApeosWide 6050)」(P.344) を参照してください。</p>	<p>【確認】をタップして読み込み待ちの画面に戻り、【次の原稿なし】をタップして読み取りを終了してください。 メッセージ表示直前までのスキャンデータを保存します。</p>
	<p>[データの保存領域不足] スキャンデータを保存するストレージの空き容量が足りない</p> <p>空き容量： ・ スキャン (ボックス保存) / スキャン (URL 送信) の場合、ボックス領域 (12 GB) ・ スキャン (PC 保存) / スキャン (マルチ送信) の場合、テンポラリ領域 (40 GB)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキャン (ボックス保存) / スキャン (URL 送信) の場合、ボックス内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。 ・ スキャン (PC 保存) / スキャン (マルチ送信) の場合、処理中のジョブが終了するまでお待ちください。

エラーメッセージ	原因	処置
読み取りサイズが大きすぎます。 読み込みできません。 [確認] をタップしてください。 今読み込んだ原稿イメージはメモリーから削除されます。	[規定データ量をオーバー②] 読み込んだ原稿が長さの最大値を超えた 例：15 m以上をスキャン	[確認] をタップして、読み取りをキャンセルしてください。 再度、原稿を読み込む場合、最大値以下の原稿をスキャンするか、「読み取りサイズ」を「サイズ入力」へ設定して、サイズを入力してからスキャンしてください。
一度に読み込める原稿枚数を超えました。 [次の原稿なし] をタップしてください。	1ジョブで連続して読み込んだ原稿が999枚を超えた	[次の原稿なし] をタップして、読み取りを終了してください。 メッセージ表示直前までのスキャンデータを保存します。
スキャンデータサイズが、制限を超えたためファイルを作成できません。 再度、ファイルを作成するときは設定を変更して [スタート] をタップしてください。 スキャンを中止するときは [中止] をタップしてください。	[規定データ量をオーバー③] (再設定読み込みが可能な場合) スキャンのデータ量が規定量を超えた →直前に読み込んだ原稿が、制限(幅/長さ・データ量)を超えた	解像度を低くする/縮小する/画質を低くするなど、制限内に収まるように設定を変更して、[スタート] をタップしてください。 原稿を再読み込みすることなく、変更した設定でデータを再作成します。
出力ファイル形式の制限を超えたためファイルを作成できません。 [確認] をタップしてください。 いま読み込んだ原稿イメージはメモリーから削除されます。	[規定データ量をオーバー④] スキャンの幅・長さが、指定したファイル形式における制限の最大値を超えている →直前に読み込んだ原稿が、各ファイル形式の制限(幅/長さの最大値)を超えた 例：ファイル形式がPDF(フルカラー/600 dpi)で、2,772 mmを超えてスキャン	[確認] をタップして読み込み待ちの画面に戻り、[次の原稿なし] をタップして読み取りを終了してください。 メッセージ表示直前までのスキャンデータを保存します。
ボックスがいっぱいです。 ボックスから文書を取り出してください。	スキャン(ボックス保存)にて、1枚目の原稿搬送前に2 MBの空き容量がない	ボックス内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
メモリーがいっぱいです。	スキャン(PC保存) / スキャン(マルチ送信) / スキャン(URL送信)にて、1枚目の原稿搬送前に2MBの空き容量がない	処理中のジョブが終了して空き容量が確保されるまで、しばらくお待ちください。

エラーメッセージ	原因	処置
<p>次の送信先には接続できません。</p> <p>サーバー名/ IP アドレス : 共有名 : 保存場所 :</p>	<p>スキャン (PC保存) の保存先サーバーの設定において、接続確認時にエラーを検出した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバー名などの指定が間違っている ・サーバーの電源が切れている ・サーバー名などの名前解決ができない ・ユーザー名やパスワードが間違っている ・フォルダー名が間違っている／存在しない ・フォルダーが共有設定されていない ・LAN に障害がある (ケーブル抜けやケーブル接触不良含む) ・サーバーが、14 バイトを超える名前のワークグループに属している 	<p>左記のような原因を取り除いて、もう一度スキャンを行ってください。</p>
<p>次の送信先には接続できません。</p> <p>PC 保存宛先 1 xxx PC 保存宛先 2 xxx プリンター 1 xxx ... プリンター 5 xxx URL 送信先 xxx</p> <p>これらの宛先は送信できません。 設定を変更してください。</p>	<p>スキャン (マルチ送信) のマルチ送信宛先の設定において、接続確認時にエラーを検出した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバー名などの指定が間違っている ・サーバーやプリンターの電源が切れている ・サーバー名などの名前解決ができない ・ユーザー名やパスワードが間違っている ・フォルダー名が間違っている／存在しない ・フォルダーが共有設定されていない ・論理プリンター名が間違っている ・LAN に障害がある (ケーブル抜けやケーブル接触不良含む) ・サーバーが、14 バイトを超える名前のワークグループに属している 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記のような原因を取り除いて、もう一度スキャンを行ってください。 ・接続エラーと表示された送信先を、マルチ送信宛先の対象から外してください。
<p>エラーメッセージは表示されていないが、保存先にスキャンデータが転送されない</p> <p>操作パネルの [ジョブ確認] をタップし、表示された [ジョブ確認] 画面で、スキャン (PC 保存) やスキャン (マルチ送信) が「異常終了」の場合</p>	<p>スキャン (PC保存) / スキャン (マルチ送信) において、送信時にエラーが発生した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存先の書き込み権限がない ・保存先のストレージ容量が足りない ・保存先のストレージの書き込みに失敗 ・そのほか、送信時に障害があった (ケーブル抜けやケーブル接触不良を含む LAN 障害や、ストレージエラーなど) 	<p>左記のような原因を取り除いて、もう一度スキャンを行ってください。</p>

8.10 用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止し、紙づまりのエラーメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。



用紙は破れないように、ゆっくり取り除いてください。取り除く途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

処置を終了しても紙づまりのエラーメッセージが表示される場合は、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。紙づまりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

警告

用紙トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

注意

- ・本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。
- ・本機内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源を切り、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

- 注記**
- ・紙づまりが発生したとき、エラーメッセージで紙が詰まった位置を確認してから、詰まった紙を取り除いてください。位置を確認しないでロール紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残り、故障の原因になります。
 - ・紙片が機械内部に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
 - ・紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。
 - ・機械内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

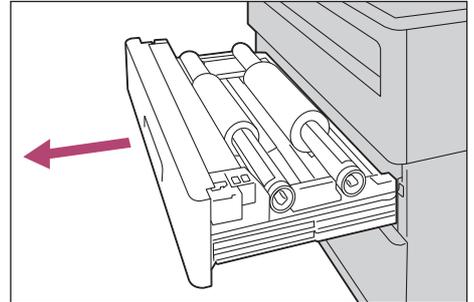
8.10.1 ロール紙トレイでの紙づまり

ロール紙トレイで発生した紙づまりの処置方法について説明します。

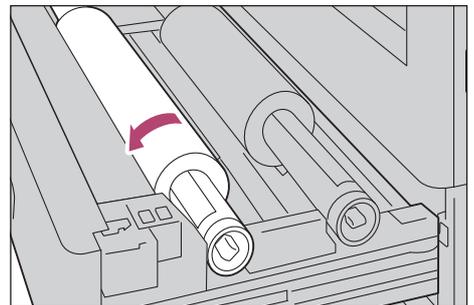
■ ロール紙のミスセットまたは送り出し不良が発生した場合

1. ロール紙トレイを引き出します。

注記 オプションの前方用紙キャッチトレイを装着している場合は、前方用紙キャッチトレイを手前に引き出している場合は、前方用紙キャッチトレイを押し込んでからロール紙トレイを引き出してください。



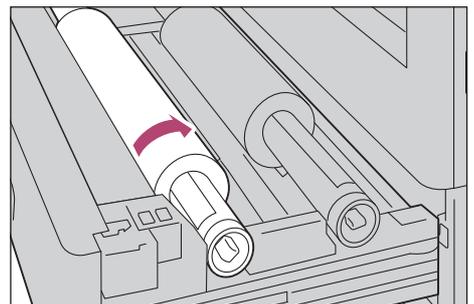
2. ロール紙を巻き戻し、ロール紙トレイを静かに押し込みます。



3. 再度ロール紙トレイを引き出し、ロール紙を回してロール紙の先端をローラーの下に挿入します。

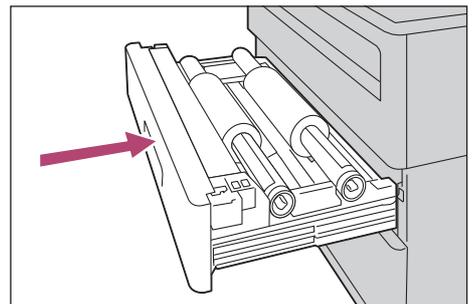
用紙が自動的に引き込まれ、停止します。

注記 用紙の先端などが傷んでいて、ロール紙がうまく引き込まれない場合は、用紙の先端をカットしてからセットしてください。



4. ロール紙トレイを静かに押し込みます。

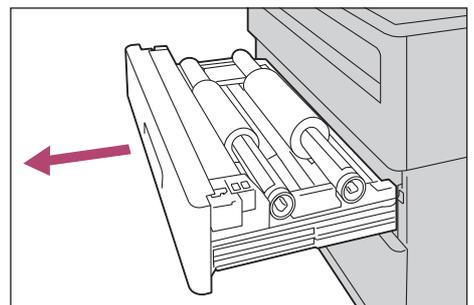
補足 いちばん奥まで確実に押し込んでください。



■ 給紙部から現像部の途中で紙づまりが発生した場合

1. ロール紙トレイを引き出します。

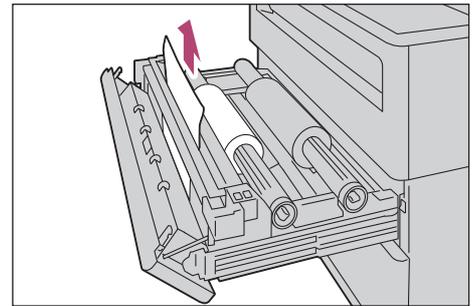
注記 オプションの前方用紙キャッチトレイを装着している場合は、前方用紙キャッチトレイを手前に引き出している場合は、前方用紙キャッチトレイを押し込んでからロール紙トレイを引き出してください。



2. ロール紙トレイのカバーを開けます。

◆ 詰まった用紙がカットされている場合

(1) 詰まった用紙を取り除きます。

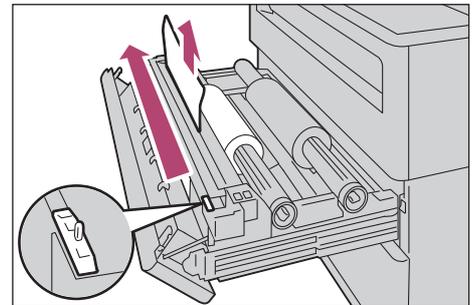


◆ 詰まった用紙がカットされていない場合

(1) カッターを端から端まで動かし、用紙をカットします。

注記 カッターは往復させないでください。

(2) カットした用紙片を取り除きます。

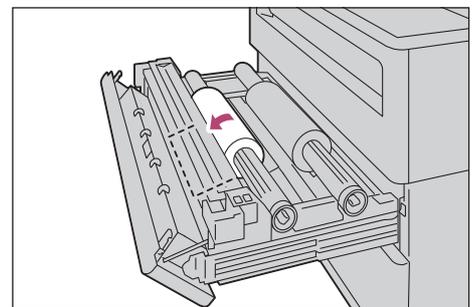


3. ロール紙を回して用紙をロールに巻き取ります。

4. ロール紙トレイのカバーを閉じ、ロール紙トレイを静かに押し込みます。

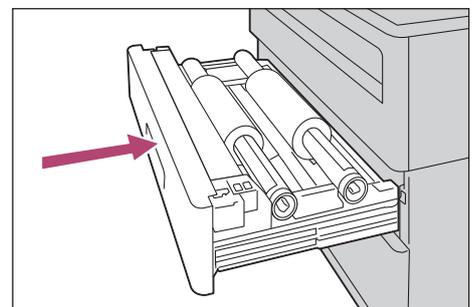
5. 再度ロール紙トレイを引き出し、ロール紙をセットし直します。

参照 「ロール紙のミスセットまたは送り出し不良が発生した場合」(P.253)



6. ロール紙トレイを静かに押し込みます。

補足 いちばん奥まで確実に押し込んでください。

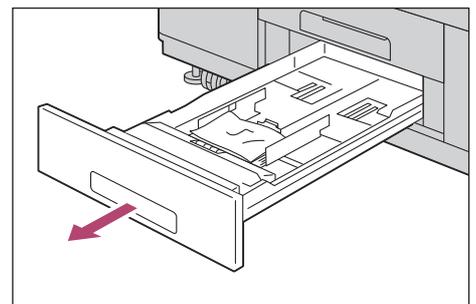


8.10.2 カット紙トレイでの紙づまり

カット紙トレイで発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. カット紙トレイを引き出します。

注記 オプションの前方用紙キャッチトレイを装着している場合は、前方用紙キャッチトレイを押し込んでからカット紙トレイを引き出してください。

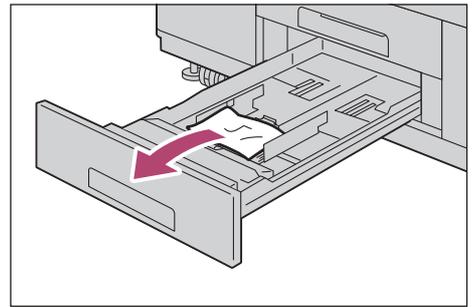


2. 詰まった用紙を取り除きます。

3. カット紙をセットし直します。

参照 「1.7.2 カット紙を補給／交換する」(P.31)

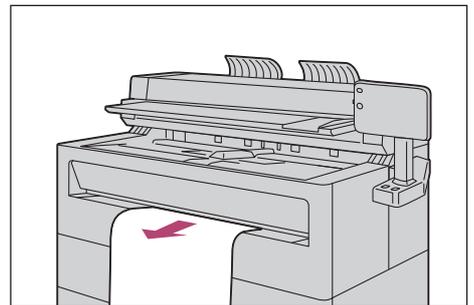
4. カット紙トレイを静かに押し込みます。



8.10.3 手差しテーブルでの紙づまり

手差しテーブルで発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙を手前に引いて、用紙を取り除きます。

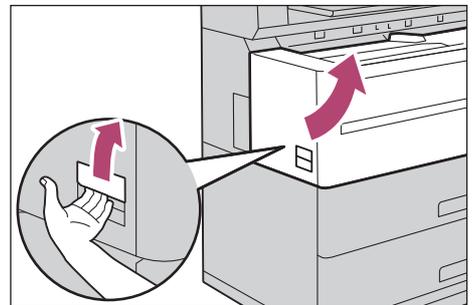


8.10.4 上部ユニットでの紙づまり

上部ユニットの内部で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 上部ユニット開放レバーを上げて、上部ユニットを開けます。

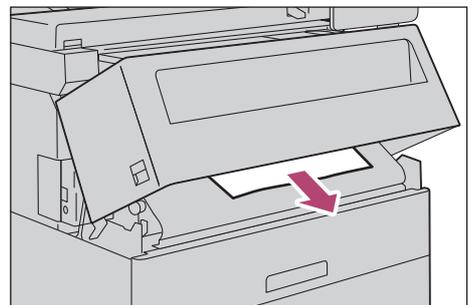
補足 レバーは、中心より左寄り（後部側）を持つと、上げやすくなります。



2. 詰まった用紙が正面から見える場合は、手前にゆっくりと引いて取り除きます。

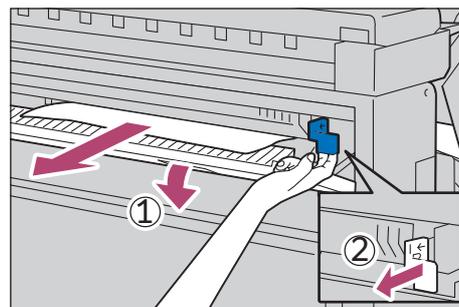
注記

- ・用紙を破らないように取り除いてください。
- ・用紙を取り除くときに、内部の高温部に触れないように注意してください。
- ・詰まった用紙が正面から見えない場合だけ、本体背面から取り除きます。



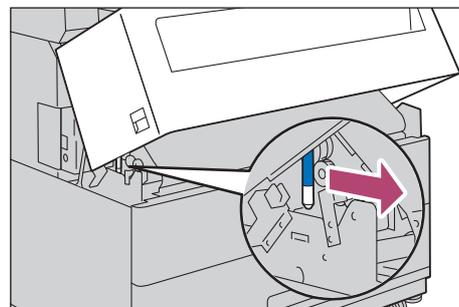
- 3.** 背面カバーを開け (①)、青色のレバーを手前に引いて (②)、詰まった用紙を取り除きます。用紙を取り除いたら、背面カバーを閉じます。

注記 用紙は水平に引き出して取り除いてください。用紙を上
に引くと機構部に引っかかり、用紙が裂ける可能性があ
ります。

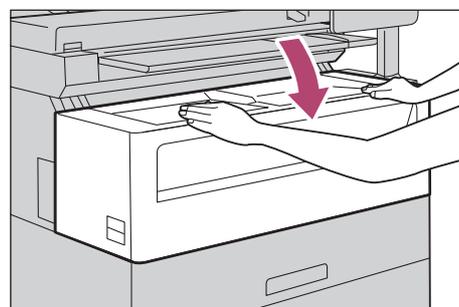


- 4.** プリンター内部の左側にある青色のストッパーを手前に引き
ます。

注記 指などははさまないように注意してください。

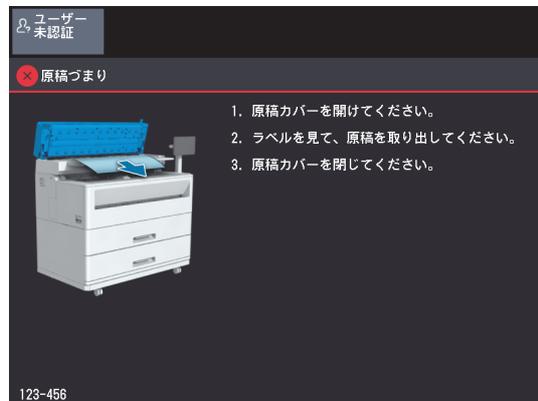


- 5.** 上部ユニットの両端に両手を乗せて、上部ユニットを閉じま
す。



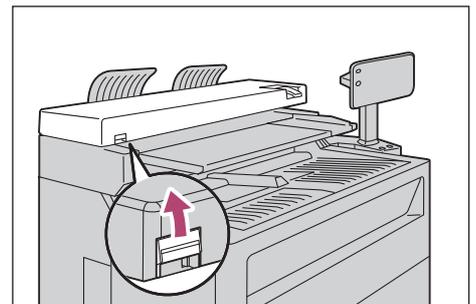
8.11 原稿が詰まった場合

原稿テーブルで原稿が詰まると、機械が停止し、原稿づまりのメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージに従って詰まっている原稿を取り除き、原稿をセットし直してください。

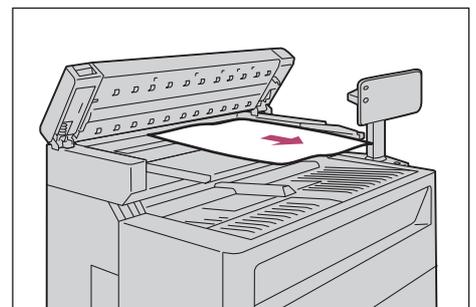


8.11.1 原稿が詰まった場合 (ApeosWide 6050)

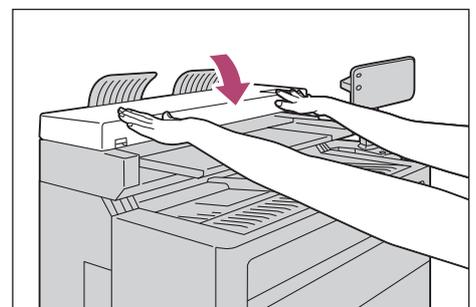
1. 原稿カバーの左端のレバーを上げて、原稿カバーを持ち上げます。



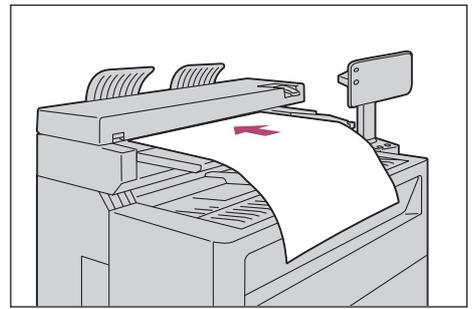
2. 詰まった原稿を取り除きます。



3. 原稿カバーを元に戻します。

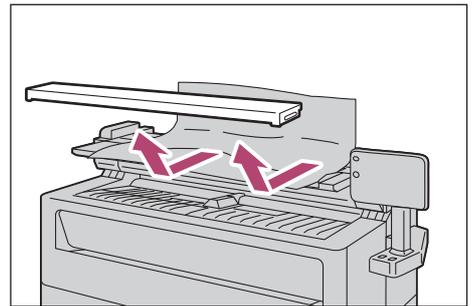


4. 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。

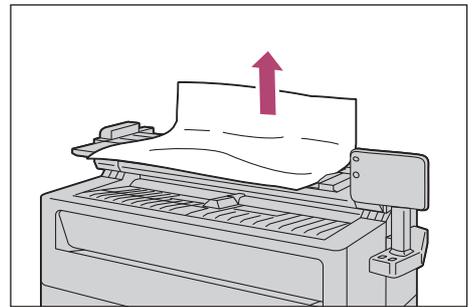


8.11.2 原稿が詰まった場合 (ApeosWide 3030)

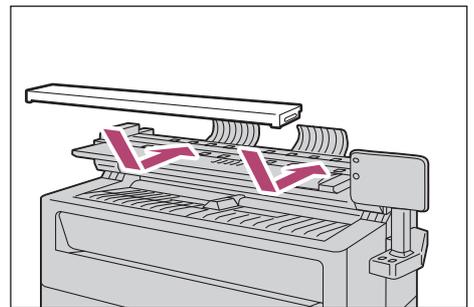
1. 原稿カバーを手前に止まるまで引き、持ち上げて外します。



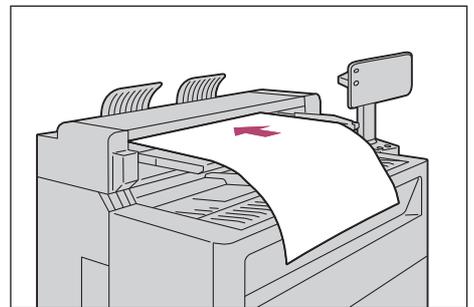
2. 詰まった原稿を取り除きます。



3. 原稿カバーを元に戻します。



4. 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。

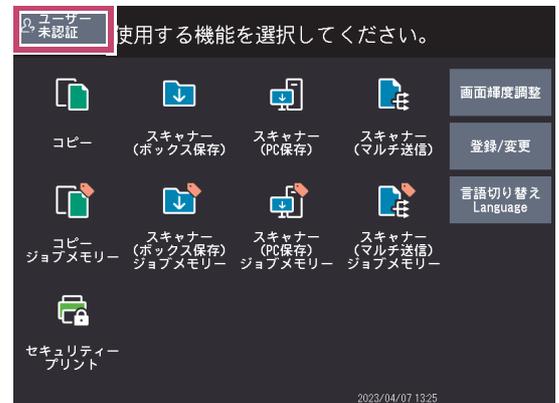


8.12 こんなときには

8.12.1 自動リセットの時間を長くしたい

何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、本機は自動的にリセットされます。自動リセットの時間を長くする場合は、次の設定をします。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。



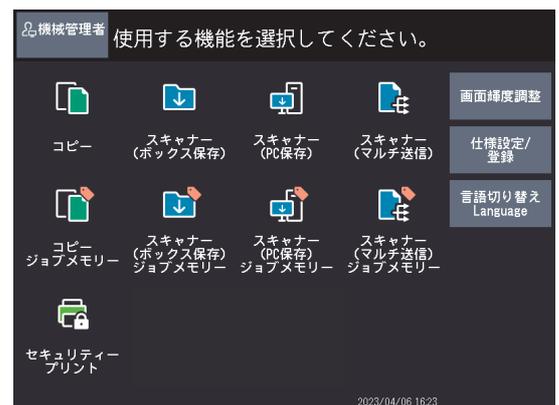
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268)を参照してください。

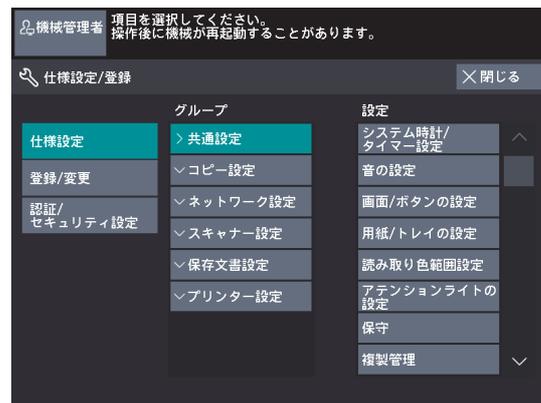


3. ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。

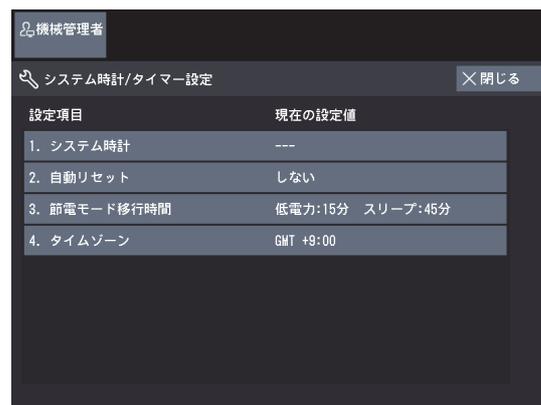
補足 ホーム画面が表示されていないときは、ホームボタンを押して、表示してください。



4. [仕様設定] > [共通設定] > [システム時計／タイマー設定] をタップします。



5. [自動リセット] をタップします。



6. 自動リセットの移行時間を、テンキーで数値を入力するか、[+] [-] をタップして、1秒単位で設定します。

7. [決定] をタップします。

8. [仕様設定／登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] をタップします。

9. [閉じる] をタップします。



8.12.2 節電状態に移行するまでの時間を長くしたい（節電モード移行時間を変更する）

節電機能を設定する手順について説明します。

節電機能を利用するには、低電力モードに移行するまでの時間と、スリープモードに移行するまでの時間の両方を設定します。

補足 低電力モードまでの時間とスリープモードまでの時間は5～120分の間で、それぞれ1分単位で指定できます。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。

3. ホーム画面で [仕様設定／登録] をタップします。

4. [仕様設定] > [共通設定] > [システム時計／タイマー設定] をタップします。
5. [節電モード移行時間] をタップします。
6. 節電モードの移行時間を、テンキーで数値を入力するか、[+] [-] をタップし、1分単位で設定します。

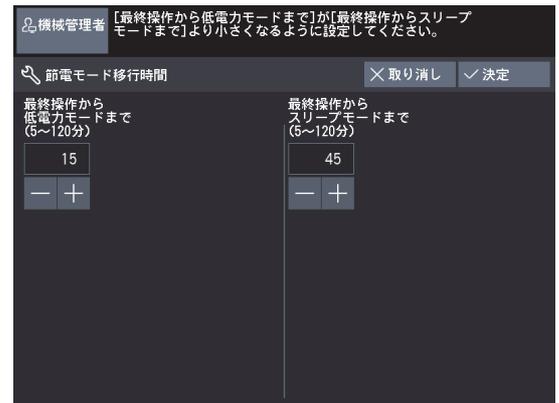
◆ **最終操作から低電力モードまで**

最終操作から低電力モードに移行するまでの時間を設定します。

◆ **最終操作からスリープモードまで**

最終操作からスリープモードに移行するまでの時間を設定します。

補足 [最終操作からスリープモードまで] の時間は、[最終操作から低電力モードまで] の時間より大きくなるように設定してください。



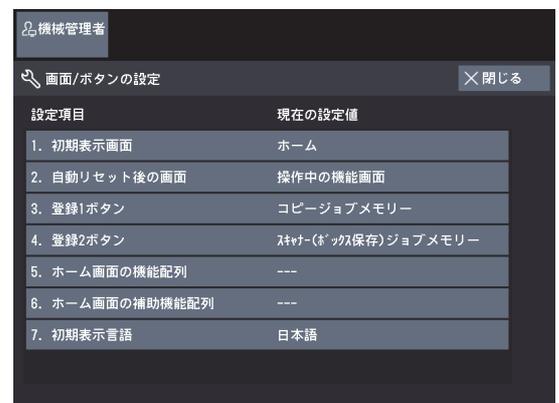
7. [決定] をタップします。
8. [仕様設定／登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] をタップします。
9. [閉じる] をタップします。

8.12.3 初期表示画面を変更したい

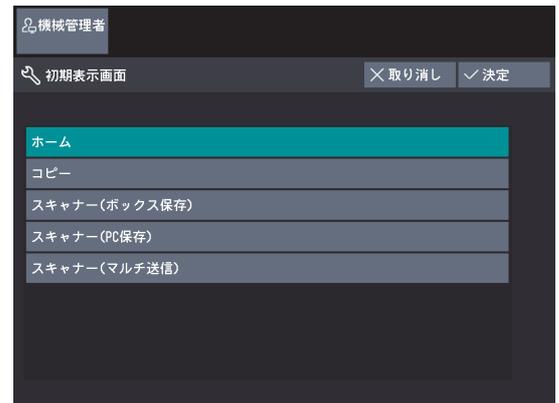
電源を入れたときや節電状態から復帰したときに、表示する画面を変更できます。

補足 ユーザーによって、制限されている機能が初期表示画面に設定されている場合は、ホーム画面が表示されます。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。
補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。
3. ホーム画面で [仕様設定／登録] をタップします。
4. [仕様設定] > [共通設定] > [画面／ボタンの設定] をタップします。
5. [初期表示画面] をタップします。



6. 初期表示する画面を選択します。
7. [決定] をタップします。



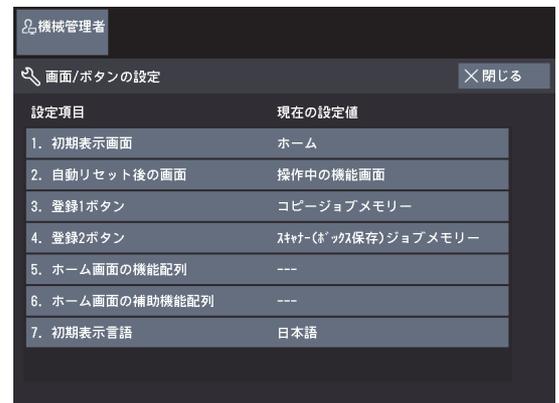
8.12.4 コピー中にコピージョブメモリーを使用できるようにしたい (登録ボタンへ登録する)

登録1、2ボタンに、機能を割り当てることができます。

登録ボタンは、たとえば、コピー中にコピージョブメモリーを使用するときを使用します。ここでは、登録1ボタンに [コピージョブメモリー] を割り当てる場合を例に説明します。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。
3. ホーム画面で [仕様設定／登録] をタップします。
4. [仕様設定] > [共通設定] > [画面／ボタンの設定] をタップします。
5. [登録1ボタン] をタップします。



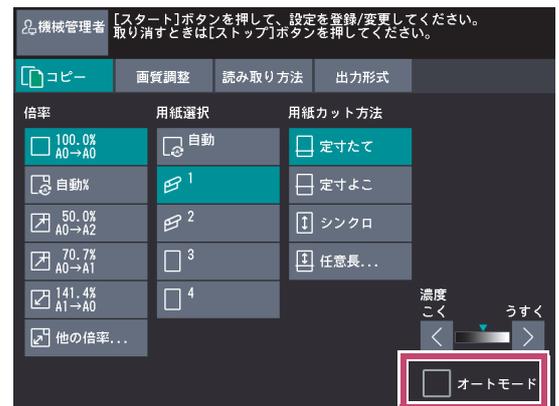
6. [コピージョブメモリー] をタップします。
7. [決定] をタップします。



8.12.5 マニュアルモードを初期画面にしたい

ホーム画面で [コピー] をタップしたときに、[コピー (マニュアルモード)] 画面が表示されるようにする場合は、次の設定を行います。

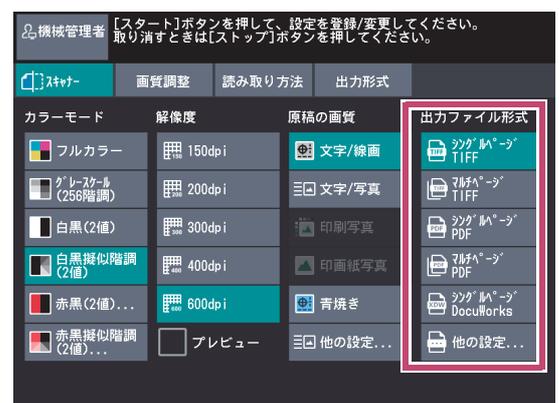
1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。
補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。
3. ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。
4. [仕様設定] > [コピー設定] > [コピー機能設定初期値] をタップします。
5. [オートモード] からチェックマークを外し、[スタート] をタップします。



8.12.6 スキャンデータの出力ファイル形式の初期設定を変えたい

スキャンデータの出力ファイル形式の初期設定を変更する場合、次の設定をします。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。
補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。
3. ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。
4. [仕様設定] > [スキャナー設定] > [スキャナー機能設定初期値] をタップします。
5. [出力ファイル形式] でファイル形式を設定し、[スタート] をタップします。



8.12.7 スタンプのグレーの濃度を変えたい

スタンプのグレーの濃度を変える場合は、次の設定をします。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。

3. ホーム画面で [仕様設定／登録] をタップします。
4. [仕様設定] > [共通設定] > [詳細設定] をタップします。
5. [項目番号] をに「34」を入力し、[確認／変更] をタップします。
6. [変更値] に 0～4 を入力します。

補足 変更値の内容は、次のとおりです。

- 0：うすい
- 1：普通（初期値）
- 2：ややこい
- 3：こいめ
- 4：こい

7. [確認／変更] をタップします。



8.12.8 自動的に用紙を切り替えたくない

自動的に用紙を切り替えたくない場合は、次の設定をします。

■ カット紙が用紙切れしても自動的にロール紙に切り替えたくない場合

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。

補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。

3. ホーム画面で [仕様設定／登録] をタップします。
4. [仕様設定] > [共通設定] > [詳細設定] をタップします。
5. [項目番号] に「30」を入力し、[確認／変更] をタップします。
6. [変更値] に「0」を入力します。
7. [確認／変更] をタップします。



■ ロール紙が用紙切れしても自動的にカット紙に切り替えたくない場合

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。
補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。
3. ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。
4. [仕様設定] > [共通設定] > [詳細設定] をタップします。
5. [項目番号] に「31」を入力し、[確認/変更] をタップします。
6. [変更値] に「0」を入力します。
7. [確認/変更] をタップします。



■ ロール紙が用紙切れしても自動的に他のロール紙に切り替えたくない場合

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。
2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] をタップします。
補足 機械管理者モードに入る方法については、「9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る」(P.268) を参照してください。
3. ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。
4. [仕様設定] > [共通設定] > [用紙/トレイの設定] > [用紙トレイの優先順位] をタップします。
5. 切り替えの対象外とするロール紙トレイを、[自動トレイ切り替え対象外] に設定します。
6. [決定] をタップします。
7. [仕様設定/登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] をタップします。
8. [閉じる] をタップします。



8.12.9 本機を使用しないときの消費電力を節約したい

本機は電源スイッチを切った状態でも、0.8 W以下の電力を消費しています。この消費電力を回避（または節約）するには、次の手順で電源ブレーカーを「切」にします。

注記 電源ブレーカーの切／入は、必ず次の手順で行ってください。

■ 電源ブレーカーを切る

1. 電源を切ります。
2. 操作パネルの電源／節電ボタンが消灯していることを確認してから、電源ブレーカーを切ります。

■ 電源ブレーカーを入れる

1. 電源ブレーカーを入れます。
2. 電源を入れます。

9 仕様設定

仕様設定の方法について説明しています。

9.1	仕様設定の流れ.....	268
9.2	仕様設定メニュー一覧.....	271
9.3	共通設定.....	275
9.4	コピー設定.....	292
9.5	ネットワーク設定.....	302
9.6	スキャナー設定.....	310
9.7	保存文書設定.....	314
9.8	プリンター設定.....	316
9.9	認証／セキュリティ設定.....	319
9.10	EPシステム.....	329

9.1 仕様設定の流れ

仕様を設定／変更するには、機械管理者モードに入る必要があります。

ここでは、仕様設定の基本的な操作について説明します。

参照 機械管理者モードに入らないで行う登録／変更操作については、「6.1 登録／変更」(P.190)を参照してください。

9.1.1 Step1 機械管理者モードに入る

機械管理者モードに入るために、機械管理者のUser IDを入力します。また、「[認証／セキュリティ設定]」の「[認証の設定]」で、「[本体パネルのパスワード使用]」を「[する]」に設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

機械管理者のUser IDおよびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。

参照 変更方法については、「9.9.1 機械管理者情報の設定」(P.319)を参照してください。

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。



2. テンキーまたは表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、「[確定]」をタップします。

- 補足**
- ・本機の設定によっては、表示内容が異なることがあります。
 - ・機械管理者モードに入ると、認証情報の表示エリアに「機械管理者」と表示されます。



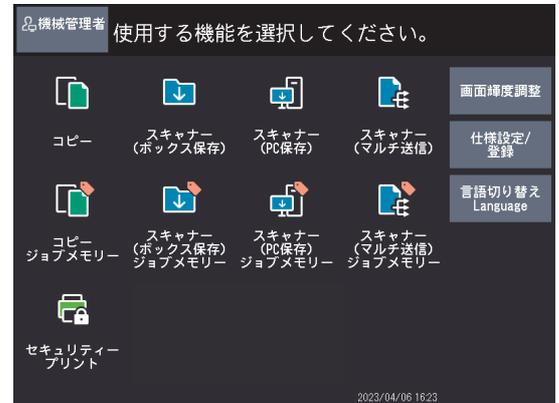
9.1.2 Step2 設定する項目を選択する

[仕様設定/登録] 画面で、設定する項目を選択します。

参照 [仕様設定/登録] 画面で設定できる項目については、「9.2 仕様設定メニュー一覧」(P.271) を参照してください。

1. ホーム画面で [仕様設定/登録] をタップします。

補足 ホーム画面が表示されていないときは、ホームボタンを押して、表示させてください。



2. 設定する項目を選択します。

■ 仕様設定

各機能の初期値などを設定/変更できます。

◆ 共通設定

機械本体の共通機能に関する項目を設定します。

参照 詳細については、「9.3 共通設定」(P.275) を参照してください。

◆ コピー設定

コピー機能の初期値、コピー時の動作、ボタンの表示方法などの設定ができます。

参照 詳細については、「9.4 コピー設定」(P.292) を参照してください。

◆ ネットワーク設定

ポートやプロトコルなどの設定ができます。

参照 詳細については、「9.5 ネットワーク設定」(P.302) を参照してください。

◆ スキャナー設定

スキャン機能の初期値、スキャン時の動作などの設定ができます。

参照 詳細については、「9.6 スキャナー設定」(P.310) を参照してください。

◆ 保存文書設定

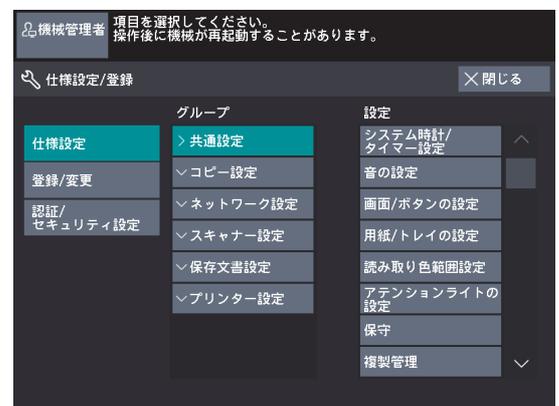
ボックスに保存されている文書と、本機内に保存されているプリント文書の削除方法について設定します。

参照 詳細については、「9.7 保存文書設定」(P.314) を参照してください。

◆ プリンター設定

プリント時の動作の設定ができます。

参照 詳細については、「9.8 プリンター設定」(P.316) を参照してください。



■ 登録／変更

ジョブメモリー、ボックス、宛先などの登録や変更ができます。

参照 詳細については、「6 登録／変更」(P.189)を参照してください。

■ 認証／セキュリティ設定

認証の設定やセキュリティーの設定ができます。

参照 詳細については、「9.9 認証／セキュリティ設定」(P.319)を参照してください。

9.1.3 Step3 機能を設定する

1. 任意の機能を選択します。

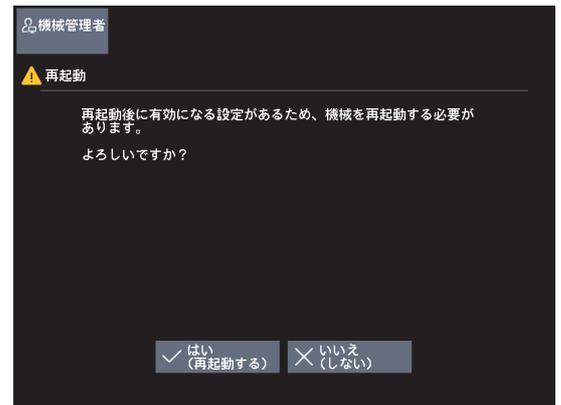
補足 必要に応じて、、 をタップしてください。

2. 設定する項目を選択します。

3. 機能を設定したら、「決定」をタップします。

4. ホーム画面に戻るまで、「閉じる」をタップします。

補足 設定を有効にするための再起動が必要な場合は、「仕様設定／登録」画面で「閉じる」をタップすると「再起動」画面が表示されるので、「はい(再起動する)」をタップしてください。再起動すると、機械管理者モードは自動的に終了します。



9.1.4 Step4 機械管理者モードを終了する

1. 画面左上の認証情報の表示エリアをタップします。

9.2 仕様設定メニュー一覧

次の表は、設定できる項目の一覧です。表示される項目は、機械の構成によって異なります。

共通設定

「システム時計／タイマー設定」 (P.275)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「システム時計」 (P.275) ・ 「自動リセット」 (P.275) ・ 「節電モード移行時間」 (P.275) ・ 「タイムゾーン」 (P.276)
「音の設定」 (P.276)	
「画面／ボタンの設定」 (P.277)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「初期表示画面」 (P.277) ・ 「自動リセット後の画面」 (P.277) ・ 「登録 1、2 ボタン」 (P.278) ・ 「ホーム画面の機能配列」 (P.278) ・ 「ホーム画面の補助機能配列」 (P.278) ・ 「初期表示言語」 (P.278)
「用紙／トレイの設定」 (P.279)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「用紙トレイの系列／種類設定」 (P.279) ・ 「用紙トレイ設定の操作」 (P.280) ・ 「用紙トレイの優先順位」 (P.280) ・ 「用紙種類の優先順位」 (P.280)
「読み取り色範囲指定」 (P.281)	
「アテンションライトの設定」 (P.282)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ライトの点灯」 (P.282) ・ 「ブザーの鳴動」 (P.282)
「保守」 (P.283)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「EP 通信確認」 (P.283) ・ 「データの一括削除」 (P.283) ・ 「ソフトウェアオプションの設定」 (P.283) ・ 「ロール紙の先端カット★」 (P.283) ・ 「IC カード情報の確認」 (P.283)
「複製管理」 (P.284)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「印字する日付の形式」 (P.284) ・ 「文字列の大きさ」 (P.284) ・ 「印刷の濃度」 (P.284) ・ 「強制複製管理 - コピー」 (P.285) ・ 「強制複製管理 - クライアントプリント」 (P.285)
「その他の設定」 (P.285)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「トナー濃度」 (P.285) ・ 「原稿読み込み開始方法」 (P.285) ・ 「原稿サイズ検知切り換え (ApeosWide 6050)」 (P.286) ・ 「特 A 系列のサイズ設定」 (P.286) ・ 「データの暗号化」 (P.287) ・ 「ソフトウェアダウンロード」 (P.287) ・ 「宛先表登録／変更の制限」 (P.288) ・ 「ジョブログ収集時のスタンプ色優先度」 (P.288) ・ 「状態表示ランプ (緑)」 (P.288)

「詳細設定」 (P.288)

コピー設定

「基本コピー画面の表示機能」 (P.292)

・「お好み機能 1、2」 (P.292)

「プリセットボタンの設定」 (P.292)

・「倍率ボタン 3～5 段目」 (P.292)

「コピー機能設定初期値」 (P.293)

「自動トレイ切り替え」 (P.295)

「任意長の設定」 (P.295)

「オートモードの用紙種類設定」 (P.296)

「紙折りの設定」 (P.297)

・「自動排出回転」 (P.297)

「スタンプ日付書式の設定」 (P.298)

・「書式」 (P.298)
 ・「年」 (P.298)
 ・「月」 (P.298)
 ・「頭文字」 (P.298)
 ・「区切り文字」 (P.298)

「スタンプ位置自動時の設定」 (P.298)

「複製管理向き自動時の設定」 (P.300)

「ユーザー ID/ 出力日時 of 印字設定★」 (P.300)

「詳細設定」 (P.301)

ネットワーク設定

「ポート設定」 (P.302)

・「LPD」 (P.303)
 ・「SMB」 (P.303)
 ・「SNMP」 (P.303)
 ・「FTP」 (P.303)
 ・「メール送信★」 (P.303)
 ・「インターネットサービス (HTTP)」 (P.303)
 ・「SOAP」 (P.303)
 ・「WebDAV」 (P.303)

「プロトコル設定」 (P.303)

・「Ethernet 設定」 (P.303)
 ・「TCP/IP - IP 動作モード」 (P.304)
 ・「IPv4 - IP アドレス」 (P.304)
 ・「IPv4 - サブネットマスク」 (P.304)
 ・「IPv4 - ゲートウェイアドレス」 (P.304)
 ・「IPv6 - アドレスの手動設定」 (P.304)
 ・「IPv6 - 手動設定 IP アドレス」 (P.304)
 ・「IPv6 - 手動IPアドレスプレフィクス」 (P.305)
 ・「IPv6 - 手動設定ゲートウェイ」 (P.305)
 ・「IPv6 - 自動設定アドレス」 (P.305)

「EP プロキシサーバー設定」 (P.305)	<ul style="list-style-type: none"> ・「プロキシサーバーの使用」 (P.305) ・「HTTPS プロキシサーバー - サーバー名」 (P.305) ・「HTTPS プロキシサーバー - ポート番号」 (P.305) ・「HTTPS プロキシサーバー - 認証」 (P.305) ・「HTTPS プロキシサーバー - ログイン名」 (P.305) ・「HTTPS プロキシサーバー - パスワード」 (P.305)
「SMTP サーバー設定★」 (P.306)	<ul style="list-style-type: none"> ・「送信時の認証方式」 (P.306) ・「SMTP AUTH - ログイン名」 (P.306) ・「SMTP AUTH - パスワード」 (P.306) ・「SMTPサーバー - サーバー名/アドレス」 (P.306) ・「SMTP サーバー - ポート番号」 (P.306)
「外部認証サーバー/ディレクトリサービス設定」 (P.306)	<ul style="list-style-type: none"> ・「認証システムの設定」 (P.306) ・「LDAP サーバー/ディレクトリサービス設定」 (P.307)
「SSL/TLS 設定」 (P.308)	<ul style="list-style-type: none"> ・「本体の証明書 - サーバー」 (P.308) ・「HTTP-SSL/TLS 通信」 (P.308) ・「HTTP-SSL/TLS 通信ポート番号」 (P.308) ・「SMTP-SSL/TLS 通信★」 (P.309)
「詳細設定」 (P.309)	
スキャナー設定	
「プリセットボタンの設定」 (P.310)	<ul style="list-style-type: none"> ・「原稿の画質ボタン 1 ~ 5 段目」 (P.310) ・「出力ファイル形式ボタン 1 ~ 5 段目」 (P.310)
「スキャナー機能設定初期値」 (P.311)	
「その他の設定」 (P.312)	<ul style="list-style-type: none"> ・「TIFF の形式」 (P.312) ・「マルチ送信プリンター転送フォーマット」 (P.312) ・「URL 送信の文書保存期間★」 (P.312)
「詳細設定」 (P.313)	
保存文書設定	
「保存文書設定」 (P.314)	<ul style="list-style-type: none"> ・「文書の保存期間」 (P.314) ・「蓄積プリントの削除」 (P.315) ・「プリント時の確認画面の表示」 (P.315)
プリンター設定	
「ジョブリカバリー方法」 (P.316)	

「その他の設定」 (P.317)	<ul style="list-style-type: none">・「TIFF- 拡張時の設定」 (P.317)・「HPGL- 円弧描画」 (P.317)・「HPGL- 破線描画」 (P.317)・「ラベルオフセット」 (P.317)・「位置合わせマークの描画位置」 (P.317)・「長辺判定」 (P.317)・「長辺判定 -A0 ~ A4」 (P.317)・「ディザパターン設定」 (P.317)・「細線黒ソリッド描画」 (P.317)
「詳細設定」 (P.318)	
認証／セキュリティ設定	
「機械管理者情報の設定」 (P.319)	<ul style="list-style-type: none">・「機械管理者 ID」 (P.319)・「機械管理者パスワード」 (P.319)
「スタンプデータ管理者情報の設定」 (P.320)	<ul style="list-style-type: none">・「スタンプデータ管理者 ID」 (P.320)・「スタンプデータ管理者パスワード」 (P.320)
「認証の設定」 (P.321)	<ul style="list-style-type: none">・「認証方式の設定」 (P.321)・「アクセス制御 サービスへのアクセス」 (P.321)・「ユーザー登録」 (P.322)・「登録内容の削除／リセット」 (P.323)・「認証情報の設定」 (P.324)・「機械管理者認証の上限」 (P.325)・「本体パネルのパスワード使用」 (P.325)・「プライベートプリントの設定」 (P.326)・「詳細設定」 (P.327)
「ジョブの操作の設定」 (P.327)	<ul style="list-style-type: none">・「実行完了ジョブの表示設定」 (P.327)

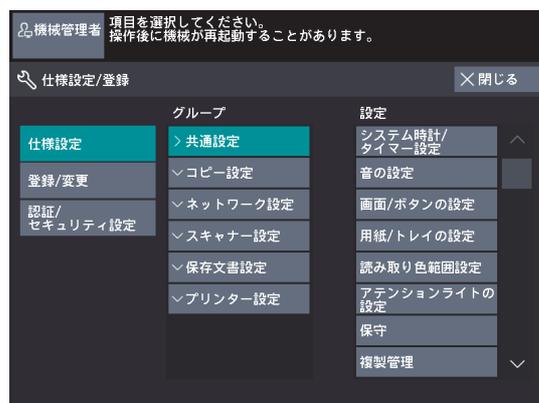
9.3 共通設定

【共通設定】では、機械本体の共通機能に関する仕様を設定します。

1. 【仕様設定／登録】画面で、【仕様設定】 > 【共通設定】をタップします。

参照 【仕様設定／登録】画面を表示する方法については、「9.1 仕様設定の流れ」(P.268)を参照してください。

2. 設定／変更する項目を選択します。



9.3.1 システム時計／タイマー設定

時刻をセットしたり、節電やリセットなどの機能が働くまでの時間(タイマー)を設定します。

1. 【システム時計／タイマー設定】をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、【閉じる】をタップします。

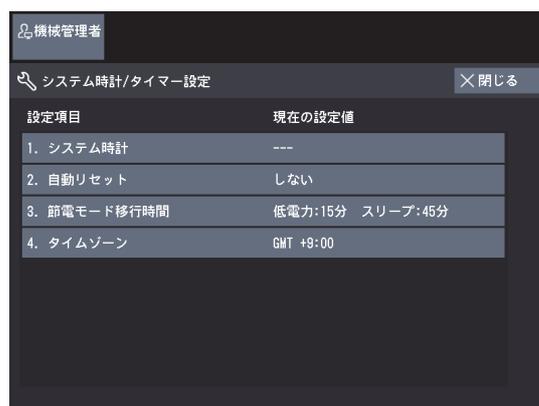
■ システム時計

本機のシステム時計の日付と時刻を指定します。ここで指定された日付と時刻が、リストやレポートにプリントされます。

【年】、【月】、【日】、【時】、【分】を指定します。

【日付の形式】から【年／月／日】、【月／日／年】、【日／月／年】のどれかを選択すると、【年】、【月】、【日】の順番が変更できます。

補足 【日付の形式】の変更は、タッチパネルディスプレイに表示される日付に反映され、プリントされる日付には反映されません。



■ 自動リセット

何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、自動的にリセットされる時間を指定します。

【する】を選択した場合は、30～180秒の範囲で1秒単位で設定します。

指定しない場合は、【しない】を選択してください。

工場出荷時の値は、【60】秒です。

■ 節電モード移行時間

節電モードには、「低電力モード」と「スリープモード」があり、設定時間が経過すると次のように移行し、消費電力を下げます。

【本機を最後に操作(最終操作)】 → 【低電力モード】 → 【スリープモード】

補足 低電力モードおよびスリープモードに移行しないように設定することはできません。

◆ 最終操作から低電力モードまで

最終操作から低電力モードに移行するまでの時間を、5～120分の範囲で1分単位で設定します。

工場出荷時の値は、【15】分です。

◆ 最終操作からスリープモードまで

最終操作からスリープモードに移行するまでの時間を5～120分の範囲で1分単位で設定します。

工場出荷時の値は、[45] 分です。

補足 [最終操作からスリープモードまで] の時間は、[最終操作から低電力モードまで] の時間より大きくなるように指定してください。

■ タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。

−12～+12時の範囲で30分単位で設定します。

工場出荷時の値は、[+9] 時 [0] 分です。

9.3.2 音の設定

操作の確認音や機械の異常などを知らせる音を、鳴らすかどうかを設定します。

工場出荷時の値は、各項目ともに音量 (+2) です。

1. [音の設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

補足 「標準音」の最大音量でも音量が小さい場合は、「ピープ音」を使用してください。



設定項目	説明	設定できる値
音の種類	音の種類を設定します。 補足 工場出荷時の値は「標準音」です。	標準音、ピープ音
正常入力音	操作パネルに表示されているボタンを正しく選択したときに鳴る音量を設定します。	なし、音量 (+1～+5)
異常入力音	選択できないボタンを選択したときや、エラーが発生している状態で操作をしたときに鳴る音量を設定します。	なし、音量 (+1～+5)
正常終了音	次のジョブが正常に終了したときに鳴る音量を設定します。 ・コピー ・スキャナー ・プリンター ・保存文書受信 ・その他	なし、音量 (+1～+5)

設定項目	説明	設定できる値
異常終了音	次のジョブが異常終了したときに鳴る音量を設定します。 ・コピー ・スキャナー ・プリンター ・保存文書受信 ・その他	なし、 音量 (+1~+5)
自動リセット事前通知音	自動リセット機能を設定している場合に、自動的に初期画面に戻る5秒前に鳴る音量を設定します。	なし、 音量 (+1~+5)
異常警告音	原稿や用紙が詰まるなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音量を設定します。	なし、 音量 (+1~+5)
用紙切れ警告音	用紙トレイの用紙切れによって、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音量を設定します。	なし、 音量 (+1~+5)
トナー残量警告音	トナーカートリッジが交換時期になったときに鳴る音量を設定します。	なし、 音量 (+1~+5)
ログイン音	機械管理者や認証ユーザーとして本機にログインしたときに鳴る音量を設定します。	音量 (+1~+5)
起動/終了音	起動時および、本機の電源を切ったときに鳴る音量を設定します。	音量 (+1~+5)

9.3.3 画面/ボタンの設定

電源を入れたときに表示する画面を設定したり、操作パネルの登録1、2ボタンに機能を登録します。

1. [画面/ボタンの設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ 初期表示画面

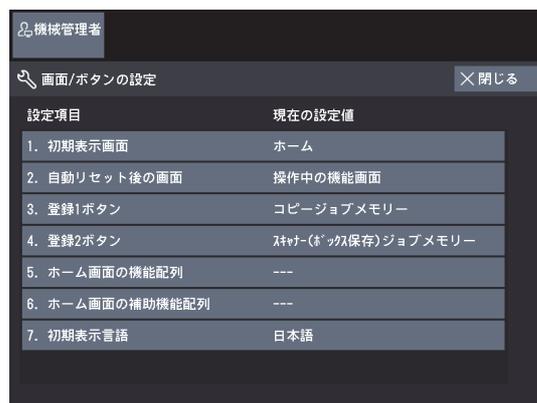
電源を入れたときや節電状態から復帰したとき、自動リセット機能が働いたときに、表示する画面を設定します。

[ホーム]、[コピー]、[スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC保存)]、[スキャナー (マルチ保存)] から選択します。

工場出荷時の値は、[ホーム] です。

補足 ・ [自動リセット後の画面] で [初期表示画面] を選択すると、自動リセット機能が働いたときに初期表示画面が表示されます。選択方法については、「自動リセット後の画面」(P.277) を参照してください。

・ 認証の設定で利用制限している機能を初期表示画面に設定した場合は、ホーム画面が表示されます。



■ 自動リセット後の画面

自動リセット後の画面を設定します。

[操作中の機能画面] または [初期表示画面] を選択します。

工場出荷時の値は、[操作中の機能画面] です。

■ 登録 1、2 ボタン

登録1、2ボタンに、機能を登録することができます。

[コピー]、[スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC保存)]、[スキャナー (マルチ送信)]、[スキャナー (URL送信)]、[コピージョブメモリー]、[スキャナー (ボックス保存) ジョブメモリー]、[スキャナー (PC保存) ジョブメモリー]、[スキャナー (マルチ送信) ジョブメモリー]、[スキャナー (URL送信) ジョブメモリー] から選択します。

機能を登録しない場合は、[(未設定)] を選択してください。

工場出荷時の値は、登録1ボタン [コピージョブメモリー]、登録2ボタン [スキャナー (ボックス保存) ジョブメモリー] です。

■ ホーム画面の機能配列

ホーム画面の機能ボタンの表示や表示順を変更できます。

[コピー]、[スキャナー (ボックス保存)]、[スキャナー (PC保存)]、[スキャナー (マルチ送信)]、[スキャナー (URL送信)]、[コピージョブメモリー]、[スキャナー (ボックス保存) ジョブメモリー]、[スキャナー (PC保存) ジョブメモリー]、[スキャナー (マルチ送信) ジョブメモリー]、[スキャナー (URL送信) ジョブメモリー]、セキュリティプリント/プライベートプリントから選択して設定します。

表示させない場合は、[(未設定)] を選択してください。

■ ホーム画面の補助機能配列

ホーム画面の機能補助ボタンの表示や表示順を変更できます。

[画面輝度調整]、[登録/変更]、[セキュリティプリント]、または [プライベートプリント]、[言語切り替え Language]、[読み取りセンサーつなぎ目補正]、[定着器の設定]、[用紙トレイの系列/種類設定] から選択して設定します。

表示させない場合は、[(未設定)] を選択してください。

補足 [読み取りセンサーつなぎ目補正] は、ApeosWide 3030 でだけ表示、設定できます。



■ 初期表示言語

電源を入れたときに表示される言語を設定します。

[日本語] または [英語] を選択します。

工場出荷時の値は、[日本語] です。

補足 宛先名などが ASCII 文字以外の文字で入力されている場合、英語に切り替えると正しく表示されないことがあります。

9.3.4 用紙／トレイの設定

用紙の系列や種類、用紙トレイの優先順位などを設定します。

1. [用紙／トレイの設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。



■ 用紙トレイの系列／種類設定

用紙の系列、種類、厚さを設定します。

◆ ロール紙／手差し

- ・用紙系列

[A系列]、[JIS B系列]、[ISO B系列]、[特A系列]、[Arch系列-1]、[Arch系列-2]、[ANSI系列] から選択します。

工場出荷時の値は、[A系列] です。

- ・用紙種類

[普通紙]、[トレペ]、[フィルム] から選択します。

工場出荷時の値は、[普通紙] です。

- ・厚さ

[ふつう]、[やや厚め]、[厚め] から選択します。

工場出荷時の値は、[ふつう] です。

◆ カット紙トレイ

- ・用紙系列

[JIS系列]、[ISO系列]、[Arch系列]、[ANSI系列] から選択します。

工場出荷時の値は、[JIS系列] です。

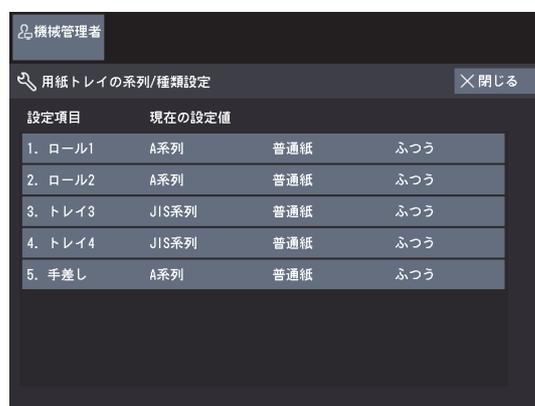
- ・用紙種類

[普通紙] 固定です。

- ・厚さ

[ふつう]、[やや厚め]、[厚め] から選択します。

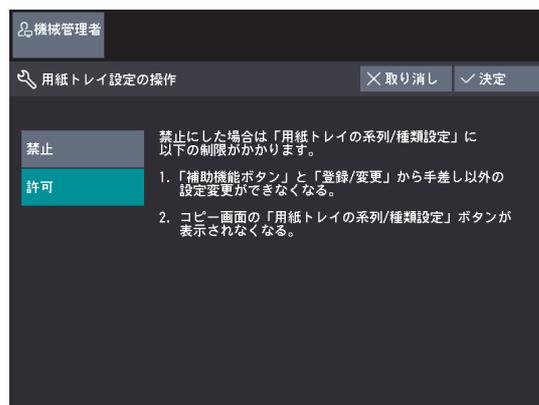
工場出荷時の値は、[ふつう] です。



■ 用紙トレイ設定の操作

[用紙トレイの系列/種類設定] (P.199) にロール紙トレイとカット紙トレイを表示するには、[許可] に設定します。
工場出荷時の値は、[許可] です。

補足 [用紙トレイの系列/種類設定] をホーム画面、コピー画面に表示させるには、[許可] に設定します。



■ 用紙トレイの優先順位

次の条件が一致した場合に使用する、用紙トレイの優先順位を設定します。

◆ コピー時

- ・ 用紙選択が自動に設定されている
- ・ 同一サイズの用紙が複数セットされている

◆ プリント時

- ・ 用紙選択が自動に設定されている
- ・ 同一サイズの用紙が複数セットされている
- ・ プリントデータに用紙サイズ、用紙トレイの指定がない



[1番目]、[2番目]、[3番目]、[4番目]、[自動トレイ切り替え対象外] から選択します。

工場出荷時の値は、ロール1 [3番目]、ロール2 [4番目]、トレイ3 [1番目]、トレイ4 [2番目] です。

補足 異なる用紙トレイに同じ優先順位を設定することはできません。

■ 用紙種類の優先順位

次の条件が一致した場合に、使用する用紙種類の優先順位を設定します。

- ・ 用紙選択が自動に設定されている
- ・ 同一サイズの用紙が複数セットされている

[自動トレイ選択しない]、[1番目]、[2番目]、[3番目]、[4番目] から選択します。

工場出荷時の値は、普通紙 [1番目]、トレペ [自動トレイ選択しない]、フィルム [自動トレイ選択しない] です。

- 補足**
- ・ すべての用紙種類に同じ優先順位を設定することもできます。ただし、すべてに [自動トレイ選択しない] を設定することはできません。
 - ・ 用紙トレイの優先順位より、用紙種類の優先順位の設定が優先されます。

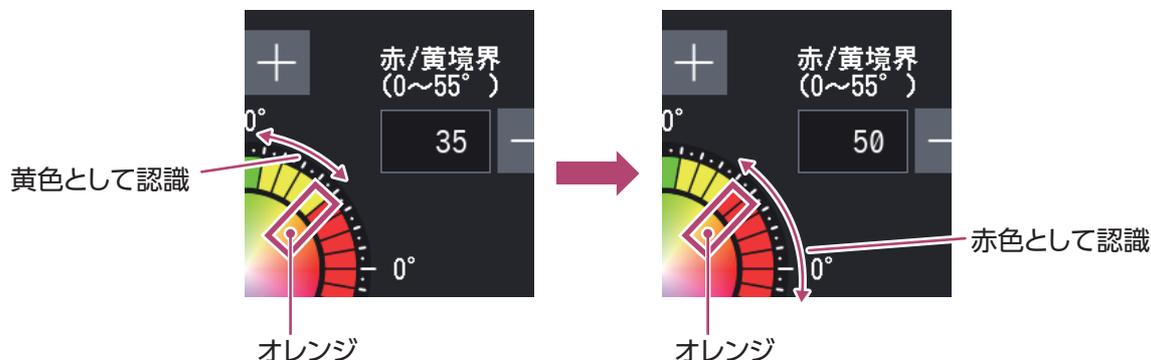


9.3.5 読み取り色範囲指定

色相環の度数を設定します。

各色の境界にある色を、どちらの色として認識するかを設定します。

たとえば、[赤/黄境界] が [35] に設定されている場合、下記のイラストの黄色と赤の間にあるオレンジは黄色として認識されますが、[50] に設定すると、赤色として認識されます。



設定した読み取り色の範囲は、[カラーモード] や [色別濃度調整] で使用されます。
工場出荷時の値は、次のとおりです。

- ・ 赤/黄境界：35
- ・ 黄/緑境界：75
- ・ 緑/水色境界：165
- ・ 水色/青境界：225
- ・ 青/紫境界：275
- ・ 紫/赤境界：295

1. [読み取り色範囲指定] をタップします。
2. [+] [-] をタップし、数値を設定します。
3. [決定] をタップします。



9.3.6 アテンションライトの設定

アテンションライト（オプション）を装着している場合に、紙づまりや用紙切れなどの異常発生時にライトを点灯するかどうか、ブザーを鳴らすかどうかを設定します。

補足 アテンションライトの点灯条件については、カスタマーエンジニアにご相談ください。

1. [アテンションライトの設定] をタップします。

補足 オプションのアテンションライトが装着されている場合に、[アテンションライトの設定] が表示されます。

2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ ライトの点灯

異常発生時にアテンションライトを点灯するかどうかを設定します。[する] または [しない] を選択します。

工場出荷時の値は、[する] です。

■ ブザーの鳴動

異常発生時にブザーを鳴らすかどうかを設定します。

[する] を選択した場合は、鳴動時間を [10秒]、[30秒]、[60秒]、[120秒]、[180秒]、[無制限] から選択します。ブザーを鳴らさない場合は、[しない] を選択してください。

工場出荷時の値は、[しない] です。

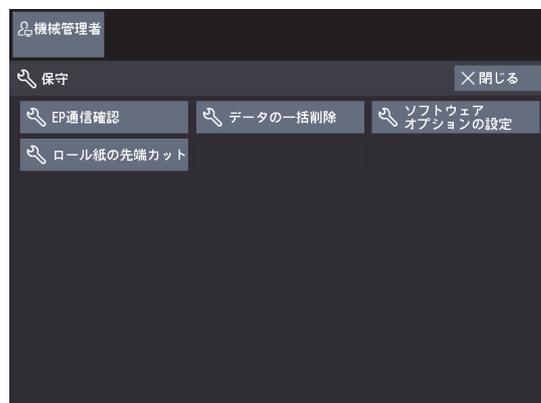
補足 [無制限] を選択すると、障害が対処されるまでブザーが鳴り続けます。



9.3.7 保守

点検／修理の依頼やデータの一括削除、ICカード情報の確認ができます。

1. [保守] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。



■ EP 通信確認

本機能は、使用しないでください。

この機能は、カスタマーエンジニアがEPシステムとの接続ができているかを確認するためのものです。

■ データの一括削除

本機能は、使用しないでください。

この機能は、弊社が本機を回収するときに、お客様の機密情報の漏えいを防ぐためのものです。データの一括削除を実行すると、本機に登録／設定したデータがすべて削除されます。

■ ソフトウェアオプションの設定

本機能は、使用しないでください。

この機能は、カスタマーエンジニアが設定します。

■ ロール紙の先端カット★

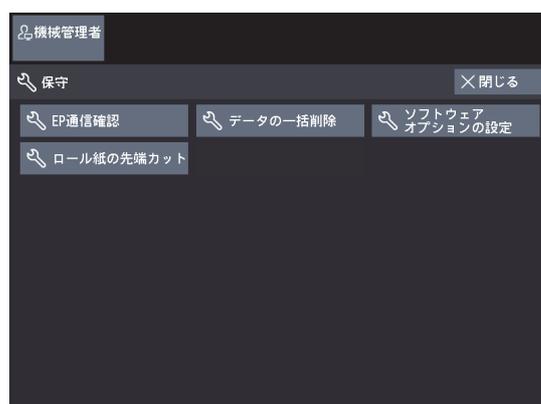
この機能は、カスタマーエンジニアが設定します。

■ IC カード情報の確認

ICカード情報が確認できます。

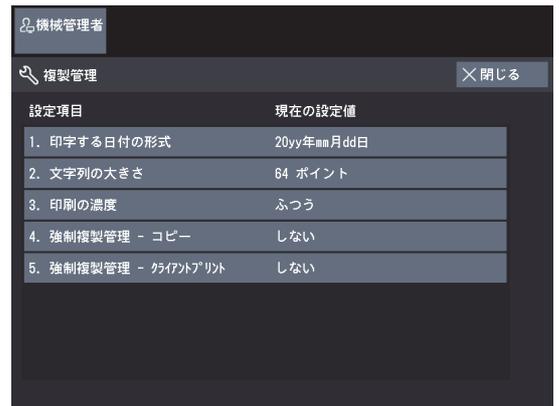
補足 オプションのICカードリーダーが接続されている場合に、[ICカード情報の確認]が表示されます。

1. [ICカード情報の確認] をタップします。
2. ICカードリーダーの上にICカードをタッチします。



9.3.8 複製管理

複製管理で印字する文字列の詳細を設定します。
設定項目は次のとおりです。



■ 印字する日付の形式

複製管理で印字する日付の形式を設定します。
[20yy/mm/dd]、[dd/mm/20yy]、[mm/dd/20yy]、[20yy年mm月dd日] から選択します。
工場出荷時の値は、[20yy年mm月dd日] です。



■ 文字列の大きさ

複製管理で印字する文字列の大きさを設定します。
[80ポイント]、[64ポイント]、[48ポイント] から選択します。
工場出荷時の値は、[64 ポイント] です。



■ 印刷の濃度

複製管理で印字する文字列の濃度を設定します。
[うすく]、[ふつう]、[こく] から選択します。
工場出荷時の値は、[ふつう] です。



■ 強制複製管理 - コピー

コピーするときに、強制的に複製管理の印字をするかどうかを設定します。

[しない] または [する] を選択します。

[する] を選択した場合は、ユーザー登録No.、プリント日時、機械のシリアル番号が印字されます。

工場出荷時の値は、[しない] です。



■ 強制複製管理 - クライアントプリント

プリントするときに、強制的に複製管理の印字をするかどうかを設定します。

[しない] または [する] を選択します。

[する] を選択した場合は、ユーザー登録No.、プリント日時、機械のシリアル番号が印字されます。

工場出荷時の値は、[しない] です。



9.3.9 その他の設定

1. [その他の設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ トナー濃度

トナーの濃度を設定します。

[うすく]、[ややうすく]、[ふつう]、[ややこく]、[こく] から選択します。

工場出荷時の値は、[ふつう] です。

■ 原稿読み込み開始方法

原稿をセットしたあと、自動で読み込みを開始するか、タッチパネルディスプレイの [スタート] で開始するかを設定します。

[自動スタート] または [マニュアルスタート] を選択します。

工場出荷時の値は、[自動スタート] です。

補足 コピー、スキャンに対して有効です。

◆ 自動スタート

原稿をセットすると、自動的に読み込みを開始します。

◆ マニュアルスタート

操作パネル台の〈スタート〉ボタンを押すと、原稿の読み込みを開始します。

補足 タッチパネルの [スタート] をタップしても原稿の読み込みを開始できます。



■ 原稿サイズ検知切り換え (ApeosWide 6050)

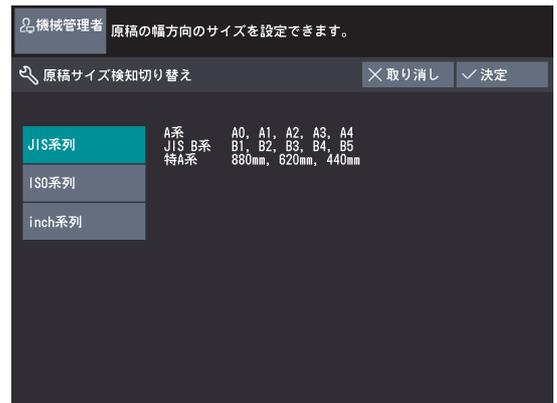
定形サイズの原稿を自動的に検知するときの、原稿サイズを設定します。

[JIS系列]、[ISO系列]、[inch系列] から選択します。

工場出荷時の値は、[JIS系列] です。

補足 この機能は、ApeosWide 6050でだけ表示、設定できます。

設定項目	原稿サイズ系列	自動検知する原稿幅
JIS系列	A系	A0、A1、A2、A3、A4
	JIS B系	B1、B2、B3、B4、B5
	特A系	880 mm、620 mm、440 mm
ISO系列	A系	A0、A1、A2、A3、A4
	ISO B系	B1、B2、B3、B4、B5
	特A系	880 mm、620 mm、440 mm
inch系列	Arch系-1	36"、24"、18"、12"、9"
	Arch系-2	30"、21"、15"、10.5"
	ANSI系	34"、22"、17"、11"、8.5"



■ 特 A 系列のサイズ設定

- 補足**
- ・ 詳細設定の項目番号 [70] が [1] に設定されている場合に、310 mmを検知します。
 - ・ 詳細設定の項目番号 [70] が [2] に設定されている場合に、[特 A 系列のサイズ設定] が表示されます。詳細については、「9.3.10 詳細設定」(P.288) を参照してください。

特A系列のサイズを設定します。

工場出荷時の値は、次のとおりです。

サイズ	設定項目	工場出荷時の値
特A0幅	880 mm	880 mm
	860 mm	
特A1幅	625 mm	620 mm
	620 mm	
特A2幅	440 mm	440 mm
	435 mm	



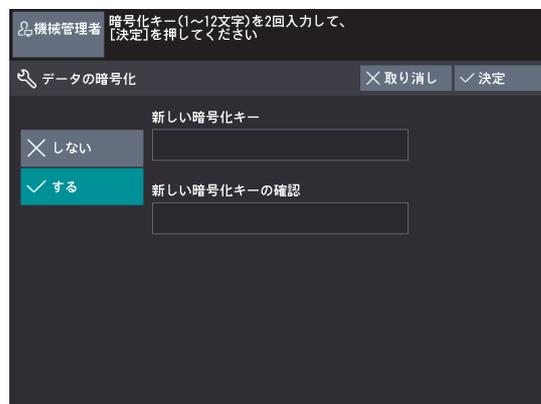
■ データの暗号化

本機のストレージに記録されるデータを暗号化するかどうかを設定します。

データの暗号化を設定すると、コピー、スキャン、プリントの処理で、ストレージにデータを書き込むときに自動的に暗号化されます。機能ごとに暗号化をするかしないかを設定することはできません。暗号化することにより、ストレージを取り出して、直接ストレージ内の保存データを取り出す不正アクセスを防ぎます。

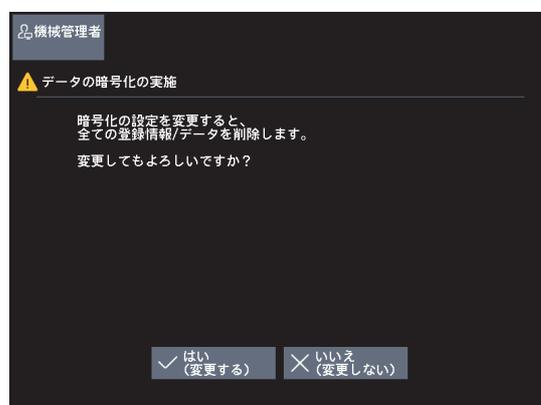
[する] を選択した場合は、[新しい暗号化キー]、[暗号化キーの確認] を選択し、1～12桁までの暗号化キーを入力します。

データを暗号化しない場合は、[しない] を選択してください。工場出荷時の値は、[しない] です。



[する] を選択して [決定] をタップすると、[データの暗号化の実施] 画面が表示されます。

[はい(変更する)] または [いいえ(変更しない)] を選択します。



◆ データ暗号化機能の利用開始と設定変更について

データの暗号化の設定／解除、および暗号化キーを変更した場合、本機を再起動する必要があります。対応する記憶領域（ストレージ）は、再起動時に初期化されます。このとき、切り替え前のデータは削除されます。

記憶領域には、次のようなデータが保存されます。

- ・ スプールされているプリントデータ
- ・ ボックス内のスキャンデータ
- ・ 宛先表のデータ

- 補足**
- ・ データの暗号化機能の利用開始と設定変更は、必ず、必要な設定や文書を保存してから行ってください（宛先表は、インターネットサービスから取得してください）。
 - ・ 現在接続されているストレージが、暗号化の設定と一致しない場合は、エラーとなります。エラーメッセージと処置については、「8.9 エラーメッセージ」(P.249) を参照してください。
 - ・ カスタマーエンジニアでも暗号化キーの参照や復元はできません。暗号化キーの内容を忘れないようにしてください。
 - ・ データの暗号化の設定が完了するまで時間がかかります。
 - ・ データの暗号化の設定でエラーが発生した場合、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。画面の指示に従って、本機を再起動してください。
 - ・ 次回起動時は、データの暗号化 [しない] の設定で本機が起動します。
 - ・ データの暗号化の設定中は、コピー、スキャン、プリントなどの操作ができません。

■ ソフトウェアダウンロード

この機能は、カスタマーエンジニアが設定します。

■ 宛先表登録／変更の制限

[スキャン (PC保存)]、[スキャン (マルチ送信)] 時に使用する宛先の登録／変更を制限するかどうかを設定します。

[しない] または [する] を選択します。工場出荷時の値は、[しない] です。

補足 [する] に設定すると、機械管理者以外は宛先を登録／変更できません。

■ ジョブログ収集時のスタンプ色優先度

スタンプは、1ページにつき2つまで押すことができますが、ApeosWare Log Management Serverless EditionやJobLog Analyzerで集計できるスタンプは1ページにつき1つです。

1ページに異なる色のスタンプを押した場合、どの色を集計するかを設定します。

[黒]、[グレー] それぞれに、1番目または2番目の優先順位を設定できます。

工場出荷時の値は、次のとおりです。

- ・ [黒] : [1 番目]
- ・ [グレー] : [2 番目]

■ 状態表示ランプ (緑)

操作パネルの状態表示ランプの緑色点滅をさせるかどうかを設定します。

工場出荷時の値は、[有効] です。

9.3.10 詳細設定

1. [詳細設定] をタップします。
2. [項目番号] を入力し、[確認／変更] をタップします。
参照 項目番号については、「項目番号：共通設定」(P.288) を参照してください。
3. [変更値] を入力します。
4. [確認／変更] をタップします。

■ 項目番号：共通設定

項目番号	説明	変更値	工場出荷時の値
3	原稿サイズの定形／非定形を判断するためのプラス方向のマージンを設定します。5 mmに設定した場合は、定形サイズの数値より5mm長いサイズまでを定形サイズとして判断します。	0～20 (mm)	5 (mm)
4	原稿サイズの定形／非定形を判断するためのマイナス方向のマージンを設定します。5 mmに設定した場合は、定形サイズの数値より5mm短いサイズまでを定形サイズとして判断します。	0～20 (mm)	5 (mm)

項目番号	説明	変更値	工場出荷時の値
5	用紙カット方法:[シンク口]によるコピーや、読み取りサイズ:[自動検知]によるスキャンを指定したときの読み取り保証の長さを設定します。	0~15 (m) (0または実装メモリー以上の値を設定した場合は、コピー出力が終了するまで次の原稿の読み込みは行われない)	6 (m)
8	スタンプ一覧をプリントするとき、給紙するロール/トレイを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2ロールタイプ <ul style="list-style-type: none"> 1:ロール1 2:ロール2 ・ 4ロールタイプ <ul style="list-style-type: none"> 1:ロール1 2:ロール2 3:ロール3 4:ロール4 ・ 2ロール2トレイタイプ <ul style="list-style-type: none"> 1:ロール1 2:ロール2 3:トレイ3 4:トレイ4 	1:ロール1
9	スタンプ一覧をプリントするときの、用紙カット方法を設定します。	1:定寸たて 2:定寸よこ 3:シンク口	3:シンク口
12	プロットモードへ移行する時間を設定します。	3~60 (秒)	30 (秒)
14	追加コピー機能を使用するかどうかを設定します。	0:使用しない 1:使用する	1:使用する
30	カット紙トレイからロール紙トレイへの自動用紙切り替えをするかどうかを設定します。	0:自動用紙切り替えをしない 1:自動用紙切り替えをする	1:自動用紙切り替えをする
31	ロール紙トレイからカット紙トレイへの自動用紙切り替えをするかどうかを設定します。	0:自動用紙切り替えをしない 1:自動用紙切り替えをする	1:自動用紙切り替えをする
33	シンク口カットを指定したとき、原稿の読み込み終了後にコピーを出力するかどうかを設定します。	0:読み込み処理と平行して出力 1:読み込み終了後出力	1:読み込み終了後出力
34	グレースタンプの濃度を設定します。	0:うすい 1:普通 2:ややこい 3:こいめ 4:こい	1:普通
40	ApeosWide6050で原稿サイズを自動判断するとき、非定形サイズの原稿を直近の定形サイズと判断するかどうかを設定します。	1:コピー時に実施 3:コピー/スキャン時に実施	1:コピー時に実施

項目番号	説明	変更値	工場出荷時の値
<p>ApeosWide6050で原稿サイズを自動判断するとき、検知対象とすることがサイズ系列ごとに設定します。 41～47をすべて「0」に設定した場合、コピーは最大幅、スキャンは自動検知で動作します。</p>			
41	JIS/ISO A系	0：検知対象としない 1：コピー時に検知対象とする 2：スキャン時に検知対象とする 3：コピー／スキャン時ともに検知対象とする	3：コピー／スキャン時ともに検知対象とする
42	JIS B系		3：コピー／スキャン時ともに検知対象とする
43	ISO B系		3：コピー／スキャン時ともに検知対象とする
44	特A系		3：コピー／スキャン時ともに検知対象とする
45	Arch-1系		3：コピー／スキャン時ともに検知対象とする
46	Arch-2系		3：コピー／スキャン時ともに検知対象とする
47	ANSI系		3：コピー／スキャン時ともに検知対象とする
<p>[原稿の画質] ごとに、線を強調するかどうかを設定します。 ただし、線強調モードはフルカラーに対応していません。</p>			
53	文字／線画	0：しない 1：線強調	0：しない
54	文字／写真		0：しない
55	印刷写真		0：しない
56	印画紙写真		0：しない
57	青焼き		0：しない
58	透過		0：しない
59	濃淡むら原稿		0：しない
65	読み取りの無彩色のレベルを調整します。	0～254（値が小さいほど、薄い濃度の色判定を行う）	5

項目番号	説明	変更値	工場出荷時の値
ゴミ筋軽減の機能を設定します。			
66	フルカラー以外	<ul style="list-style-type: none"> ・ ApeosWide 6050 の場合 0：しない 1：弱 2：強 3：強＋ 4：強＋＋ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ApeosWide 6050 の場合 3：強＋ ・ ApeosWide 3030 の場合 0：しない
67	フルカラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ApeosWide 3030 の場合 0：しない 1：弱 2：強 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ApeosWide 6050 の場合 0：しない ・ ApeosWide 3030 の場合 0：しない
70	特A系列のサイズを定義します。	1：定形たて 880×1240 mm、 620×880 mm、 440×620 mm、 310×440 mm 定形よこ 880×620 mm、 620×440 mm、 440×310 mm、 310×220 mm 2：定形たて 880×1230 mm、 860×1210 mm、 625×880 mm、 620×871 mm、 440×625 mm、 435×620 mm 定形よこ 880×625 mm、 860×610 mm、 625×440 mm、 620×435 mm	1

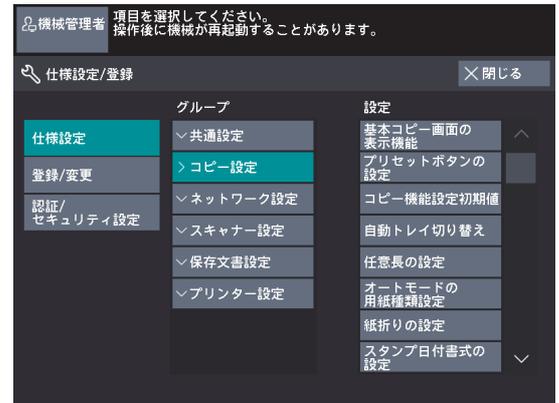
9.4 コピー設定

[コピー設定] では、コピー機能に関する仕様を設定します。

1. [仕様設定/登録] 画面で、[仕様設定] > [コピー設定] をタップします。

参照 [仕様設定/登録] 画面を表示する方法については、「9.1 仕様設定の流れ」(P.268) を参照してください。

2. 設定/変更する項目を選択します。



9.4.1 基本コピー画面の表示機能

[コピー (マニュアルモード)] 画面の右側に表示する機能をカスタマイズできます。よく使う機能を設定しておく、そのほかのボタンを探す操作などが省けます。

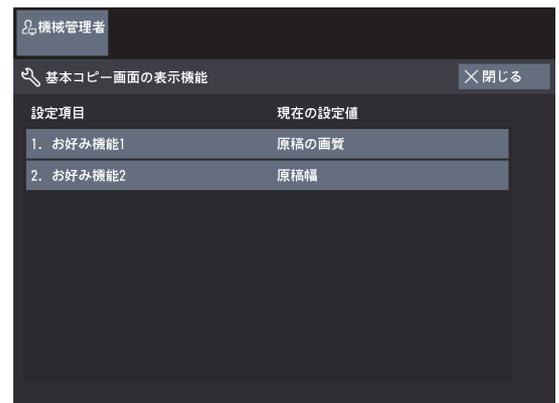
1. [基本コピー画面の表示機能] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ お好み機能 1、2

[コピー (マニュアルモード)] 画面の右側に表示する機能を設定します。

[原稿の画質]、[濃度/シャープネス/コントラスト]、[地色除去]、[中間調の振分け]、[色別濃度調整]、[原稿幅]、[コピー位置]、[読み取り開始位置]、[わく消し]、[鏡像/ネガボジ反転]、[原稿読み取り速度]、[自動画像回転]、[複製管理]、[排出先]、[紙折り]、[仕分け]、[スタンプ]、[先端後端余白]、[マルチジョブ] (ApeosWide 6050の場合)、[サンプルコピー] から選択します。

工場出荷時の値は、お好み機能1 [原稿の画質]、お好み機能2 [原稿幅] です。



9.4.2 プリセットボタンの設定

[コピー (マニュアルモード)] 画面に表示される倍率を変更します。

1. [プリセットボタンの設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

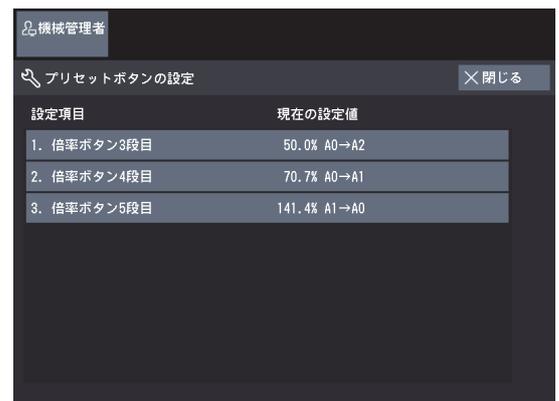
■ 倍率ボタン 3～5 段目

[コピー (マニュアルモード)] 画面の [倍率] の3～5段めに表示される倍率を設定します。

[25.0%]、[35.3%]、[50.0%]、[70.7%]、[141.4%]、[200.0%]、[283.0%]、[400.0%] から選択します。

工場出荷時の値は、次のとおりです。

- ・ 倍率ボタン 3 段目：50.0 %
- ・ 倍率ボタン 4 段目：70.7 %
- ・ 倍率ボタン 5 段目：141.4 %

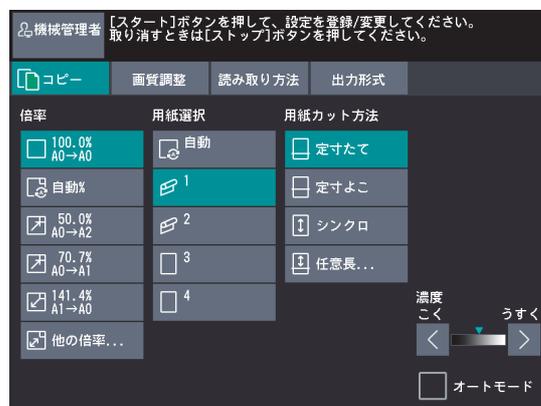


9.4.3 コピー機能設定初期値

コピー機能の初期値を設定します。電源を入れたときや節電状態から復帰したとき、[リセット] を押したとき、自動リセット機能が働いたときに、ここで設定されている初期値の状態に戻ります。

よく使う機能や値を初期値に設定しておく、コピーのたびに設定する操作が省けます。

1. [コピー機能設定初期値] をタップします。
2. 設定/変更する項目をタップします。
3. 設定値を選択し、[スタート] をタップします。



設定項目	説明	工場出荷時の値
オートモード	オートモードまたはマニュアルモードのどちらかを選択します。	オートモード
原稿の向き	[コピー (オートモード)] 画面にある、[原稿の向き] を設定します。	定形たて
用紙の向き	[コピー (オートモード)] 画面にある、[用紙の向き] および [回転方向] を設定します。	[原稿の向き] が [定形たて] の場合：たて [原稿の向き] が [定形よこ] の場合：よこ 反時計回り
対応表(マトリックス)	[コピー (オートモード)] 画面にある、対応表(マトリックス) を設定します。	
マニュアルモード		
倍率	[コピー (マニュアルモード)] 画面にある、[倍率] の初期値を設定します。	100.0 %
用紙選択	[コピー (マニュアルモード)] 画面にある、[用紙選択] の初期値を設定します。	ロール1
用紙カット方法	[コピー (マニュアルモード)] 画面にある、[用紙カット方法] の初期値を設定します。	定寸たて
原稿の画質	[画質調整] 画面にある、[原稿の画質] の初期値を設定します。	文字/線画
濃度	[画質調整] 画面にある、[濃度] の初期値を設定します。	ふつう
シャープネス	[画質調整] 画面にある、[シャープネス] の初期値を設定します。	ふつう

設定項目	説明	工場出荷時の値
コントラスト	[画質調整] 画面にある、[コントラスト] の初期値を設定します。	ふつう
地色除去	[画質調整] 画面にある、[地色除去] の初期値を設定します。	自動 (0)
中間調の振り分け	[画質調整] 画面にある、[中間調の振り分け] の初期値を設定します。	しない
色別濃度調整	[画質調整] 画面にある、[色別濃度調整] を選択時の初期値を設定します。	調整しない
原稿幅	[読み取り方法] 画面にある、[原稿幅] の初期値を設定します。	・ ApeosWide 6050 : 自動検知 ・ ApeosWide 3030 : 自動検知 (A 系列)
コピー位置	[読み取り方法] 画面にある、[コピー位置] の初期値を設定します。	移動しない
読み取り開始位置	[読み取り方法] 画面にある、[読み取り開始位置] の初期値を設定します。	0 mm
わく消し	[読み取り方法] 画面にある、[わく消し] の初期値を設定します。	標準
鏡像	[読み取り方法] 画面にある、[鏡像] の初期値を設定します。	しない
ネガポジ反転	[読み取り方法] 画面にある、[ネガポジ反転] の初期値を設定します。	しない
原稿読み取り速度	[読み取り方法] 画面にある、[原稿読み取り速度] の初期値を設定します。	高速
自動画像回転	[読み取り方法] 画面にある、[自動画像回転] の初期値を設定します。	時計回り
複製管理	[出力形式] 画面にある、[複製管理] の初期値を設定します。	しない
排出先	[出力形式] 画面にある、[排出先] の初期値を設定します。	前方排出
紙折り	[出力形式] 画面にある、[紙折り] の初期値を設定します。	しない (前方排出)
仕分け	[出力形式] 画面にある、[仕分け] の初期値を設定します。	スタック (ページごと)
スタンプ	[出力形式] 画面にある、[スタンプ] の初期値を設定します。	スタンプ1 : しない スタンプ2 : しない 登録番号 : 未設定 色 : 黒 位置 / 向き : 自動 ナンバリング : しない 日付 : しない
先端後端余白	[出力形式] 画面にある、[先端後端余白] の初期値を設定します。	先端 : 0 mm 後端 : 0 mm

* マルチジョブ、サンプルコピーを初期値として設定することはできません。

9.4.4 自動トレイ切り替え

選択しているトレイの用紙がなくなったときに、切り替えるトレイを設定します。
工場出荷時の値は、[自動用紙選択時切り替える] です。

補足 [自動用紙選択時切り替える] は、[コピー] 画面やプリンタードライバーの [用紙トレイ選択] で [自動] を選択しているときに切り替えます。

1. [自動トレイ切り替え] をタップします。
2. [自動用紙選択時切り替える] または [大きなサイズの用紙に切り替える] を選択します。



9.4.5 任意長の設定

コピーの [用紙のカット方法] 設定画面で [任意長] を指定したときの、任意長の初期値を設定します。
この設定は、用紙サイズごとに、210～15,000 mmの範囲で設定します。
工場出荷時の値は、次のとおりです。

系列	設定項目	工場出荷時の値
A系列	A0幅	1189 mm
	A1幅	841 mm
	A2幅	594 mm
	A3幅	420 mm
JIS B系列	B1幅	1030 mm
	B2幅	728 mm
	B3幅	515 mm
ISO B系列	B1幅	1000 mm
	B2幅	707 mm
	B3幅	500 mm
特A系列	880 mm幅	1240 mm
	620 mm幅	880 mm
	440 mm幅	620 mm
	310 mm幅	440 mm

系列	設定項目	工場出荷時の値
Arch系列	36 inch幅	1219 mm
	30 inch幅	1066 mm
	24 inch幅	914 mm
	18 inch幅	610 mm
	15 inch幅	533 mm
	12 inch幅	457 mm
ANSI系列	34 inch幅	1118 mm
	22 inch幅	864 mm
	17 inch幅	559 mm
	11 inch幅	432 mm

1. [任意長の設定] をタップします。
2. 設定する用紙サイズをタップします。
3. 任意長を、数字ボタンで数値を入力するか、[+] [-] をタップして設定します。
4. [閉じる] をタップします。



9.4.6 オートモードの用紙種類設定

オートモードでコピーする場合に、原稿の向きに対する用紙の種類を設定します。工場出荷時の値は、各サイズともに [普通紙] です。

1. [オートモードの用紙種類設定] をタップします。
2. 原稿の向きを選択します。
3. 設定する用紙サイズをタップします。



4. 用紙の種類を [普通紙]、[トレペ]、[フィルム]、[指定なし] から選択します。

補足 [指定なし] 以外を指定した場合は、指定した種類の用紙がトレイにセットされていないと、用紙切れのエラーになります。

5. [決定] をタップします。



9.4.7 紙折りの設定

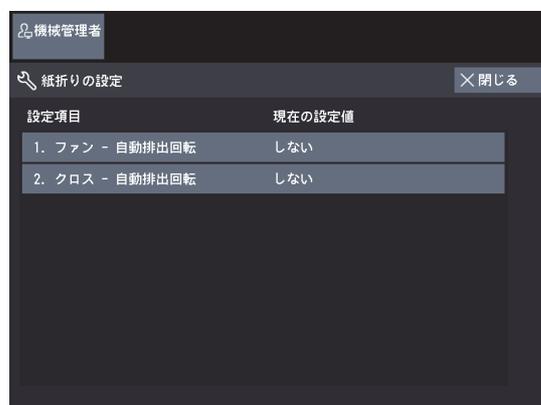
オプションの標準フォルダーを接続しているときに、紙折りの回転方向を設定します。

1. [紙折りの設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ 自動排出回転

[ソート (1部ごと)] を設定したときに、部数ごとに出力を90度回転できます。

[しない] または [する] を選択します。工場出荷時の値は、[しない] です。



9.4.8 スタンプ日付書式の設定

スタンプの日付の書式を設定します。

1. [スタンプ日付書式の設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ 書式

[年月日]、[月日年]、[日月年] から選択します。工場出荷時の値は、[年月日] です。

■ 年

[4桁]、[2桁]、[2桁] から選択します。工場出荷時の値は、[4桁] です。

■ 月

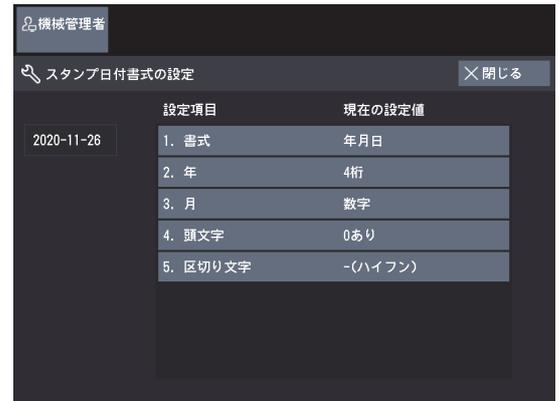
[数字] または [英語] を選択します。工場出荷時の値は、[数字] です。

■ 頭文字

[0 あり] または [0 なし] を選択します。工場出荷時の値は、[0 あり] です。

■ 区切り文字

[- (ハイフン)]、[/ (スラッシュ)]、[. (ピリオド)]、[, (カンマ)] から選択します。工場出荷時の値は、[- (ハイフン)] です。



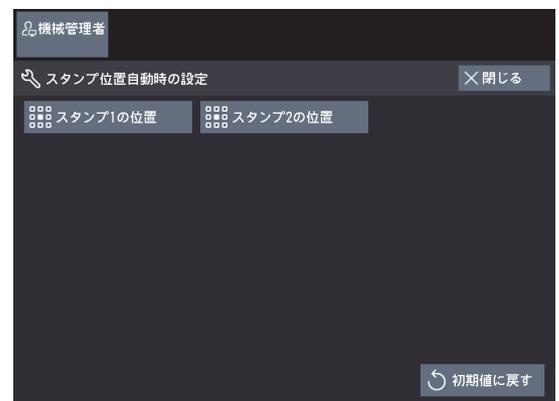
9.4.9 スタンプ位置自動時の設定

スタンプを付けてコピーする場合、[位置/向き] が[自動]に設定されているときに採用されるスタンプの位置を、用紙サイズ別に設定します。

補足 この設定は、[スタンプの向き] を除いて、プリント時のスタンプ位置にも適用されます。プリント時のスタンプの向きについては、インターネットサービスで [プロパティ] > [サービス] > [プリント] > [スタンプ位置自動時の設定] の [スタンプの向き] を設定してください。

1. [スタンプ位置自動時の設定] をタップします。
2. [スタンプ 1 の位置] または [スタンプ 2 の位置] をタップします。

補足 [初期値に戻す] をタップすると、すべてのスタンプの位置を工場出荷時の設定に戻します。



3. 設定する用紙サイズ系列を選択します。

4. 用紙サイズと向きを選択します。



5. スタンプの位置を設定します。

補足 [初期値に戻す] をタップすると、設定した値を工場出荷時の値に戻します。

◆ **左上起点**

用紙の上端左側を原点として、たて方向 0 ~ 9,999 mm、よこ方向 0 ~ 999 mm の範囲で指定できます。

◆ **左下起点**

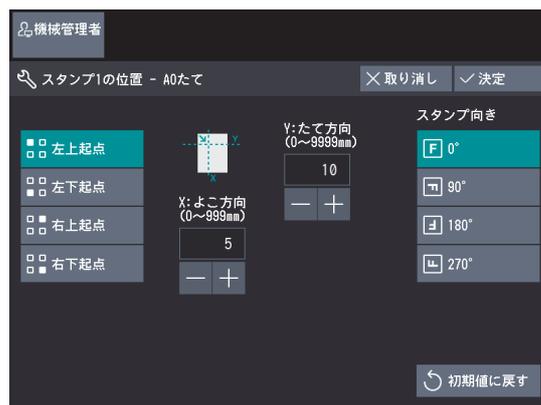
用紙の下端左側を原点として、たて方向とよこ方向の数値を指定できます。

◆ **右上起点**

用紙の上端右側を原点として、たて方向とよこ方向の数値を指定できます。

◆ **右下起点**

用紙の下端右側を原点として、たて方向とよこ方向の数値を指定できます。



6. スタンプの向きを設定します。

7. [決定] をタップします。

9.4.10 複製管理向き自動時の設定

複製管理してコピーする場合、[向き] が[自動]に設定されているときに採用される文字列の向きを、用紙サイズ別に設定します。

1. [複製管理向き自動時の設定] をタップします。
2. 設定する用紙サイズ系列を選択します。
3. 用紙サイズと向きを選択します。
4. 印字する文字列の向きを設定します。
5. [決定] をタップします。



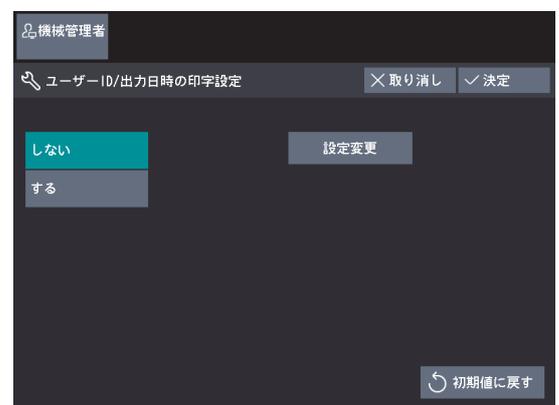
9.4.11 ユーザー ID/ 出力日時 of 印字設定★

コピーするときに、ユーザー IDと出力日時の印字をするかどうかを設定します。

1. [ユーザー ID/ 出力日時の印字設定] をタップします。
2. [しない] または [する] を選択します。

補足 [する] を選択した場合は、ユーザー ID と出力日時が印字されます。工場出荷時の値は、[しない] です。

参照 [設定変更] については、「9.4.9 スタンプ位置自動時の設定」(P.298) の手順 3～7 を参照してください。



9.4.12 詳細設定

1. [詳細設定] をタップします。
2. [項目番号] を入力し、[確認/変更] をタップします。
参照 項目番号については、「項目番号：コピー設定」(P.301) を参照してください。
3. [変更値] を入力します。
4. [確認/変更] をタップします。



■ 項目番号：コピー設定

項目番号	項目	変更値	工場出荷時の値
30	バナーシートのトレイを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 ロールタイプ <ul style="list-style-type: none"> 1：ロール 1 2：ロール 2 ・ 4 ロールタイプ <ul style="list-style-type: none"> 1：ロール 1 2：ロール 2 3：ロール 3 4：ロール 4 ・ 2 ロール 2 トレイタイプ <ul style="list-style-type: none"> 1：ロール 1 2：ロール 2 3：トレイ 3 4：トレイ 4 	1：ロール1
31	バナーシート用紙の長さを設定します。	210～2500 (mm)	210 (mm)
70	[濃淡むら原稿] のむらの大きさの初期値を設定します。	1～80	20
80	[サンプルコピー] の [読み取り開始位置] の初期値を設定します。	0～1200 (mm)	0
81	[サンプルコピー] の [読み取り寸法] の初期値を設定します。	50～200 (mm)	50

9.5 ネットワーク設定

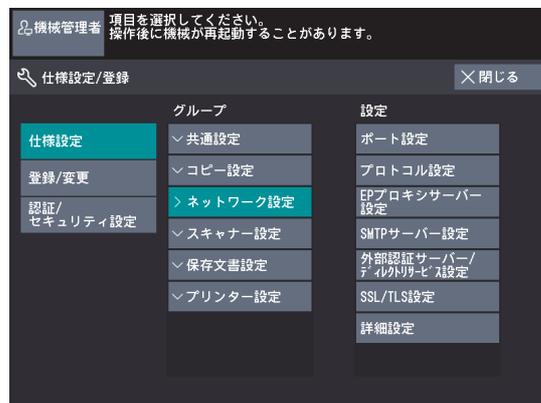
[ネットワーク設定] では、ネットワークに関する仕様を設定します。

- 参照**
- ・ネットワーク設定については、「6.2 IPアドレスの設定」(P.201) も参照してください。
 - ・インターネットサービスを使うと、さらに詳細な設定ができます。インターネットサービス画面の右上にある [ヘルプ] をクリックして表示される、ヘルプを参照してください。

1. [仕様設定/登録] 画面で、[仕様設定] > [ネットワーク設定] をタップします。

参照 [仕様設定/登録] 画面を表示する方法については、「9.1 仕様設定の流れ」(P.268) を参照してください。

2. 設定/変更する項目を選択します。



9.5.1 ポート設定

ポートの起動を設定します。各アプリケーションや機能で使用するポートは次のとおりです。

○ : 使用するポート

アプリケーション/機能	ポート							
	LPD	SMB	SNMP	FTP	メール送信 (SMTP)	HTTP	SOAP	WebDAV
BT-PlotAssistant	—	—	—	○	—	—	—	—
リプロサーバ BT-X	—	—	—	○	—	—	—	—
スタンプツール	—	—	○	○	—	—	—	—
ApeosWide Plot ドライバー	○	—	○	—	—	—	—	—
ネットワークスキャナ ユーティリティ3	—	—	○	—	—	—	○	○
スキャナー (PC 保存) *	—	○	—	—	—	—	—	—
スキャナー (URL送信) ★	—	—	—	—	○	—	—	—
ApeosWare Management Suite 2	—	—	○	—	—	—	○	—
DocuWorks (ボックス経由時)	—	—	○	—	—	—	○	○
MacPPD	○	—	—	—	—	—	—	—

* マルチ送信でのPC保存も含まれます。

工場出荷時の値は、各ポートともに [起動] です。

1. [ポート設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ LPD

LPDを使用するときは、[起動] に設定します。

■ SMB

SMBを使用するときは、[起動] に設定します。

■ SNMP

SNMPを使用するときは、[起動] に設定します。

■ FTP

FTPを使用するときは、[起動] に設定します。

■ メール送信★

メール送信するときは、[起動] に設定します。

■ インターネットサービス (HTTP)

HTTPを使用するときは、ポート番号を指定し [起動] に設定します。
ポート番号の工場出荷時の値は、[80] です。

■ SOAP

SOAPを使用するときは、[起動] に設定します。

■ WebDAV

WebDAVを使用するときは、[起動] に設定します。

設定項目	現在の設定値
1. LPD	起動
2. SMB	起動
3. SNMP	起動
4. FTP	起動
5. メール送信	起動
6. インターネットサービス(HTTP)	起動(80)
7. SOAP	起動
8. WebDAV	起動

9.5.2 プロトコル設定

通信に必要な条件を設定します。[プロトコル設定] では、次の項目を設定できます。

1. [プロトコル設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ Ethernet 設定

Ethernetの通信速度の種類を、次の項目から設定します。
工場出荷時の値は、[自動] です。

◆ 自動

Ethernetの通信速度が自動的に検知されます。

◆ 1000BASE - T

1000BASE - Tに固定して使用する場合に選択します。

◆ 100BASE - TX (全二重)

100BASE - TX (全二重) に固定して使用する場合に選択します。

設定項目	現在の設定値
1. Ethernet設定	自動
2. TCP/IP - IP動作モード	IPv4モード
3. IPv4 - IPアドレス	192.168.1.100
4. IPv4 - サブネットマスク	255.255.255.0
5. IPv4 - ゲートウェイアドレス	192.168.1.1
6. IPv6 - アドレスの手動設定	しない

◆ 100BASE - TX (半二重)

100BASE - TX (半二重) に固定して使用する場合に選択します。

◆ 10BASE - T (全二重)

10BASE - T (全二重) に固定して使用する場合に選択します。

◆ 10BASE - T (半二重)

10BASE - T (半二重) に固定して使用する場合に選択します。

■ TCP/IP - IP 動作モード

TCP/IPのインターネットプロトコルの種類を、次の項目から設定します。
工場出荷時の値は、[IPv4モード] です。

◆ IPv4 モード

IPv4のインターネットプロトコルに固定して使用する場合に選択します。

◆ IPv6 モード

IPv6のインターネットプロトコルに固定して使用する場合に選択します。

◆ デュアルスタック

IPv4、IPv6の両方のインターネットプロトコルを使用する場合に選択します。

■ IPv4 - IP アドレス

IPアドレスを設定します。

xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255の間の数値です。ただし、最初のxxxには127と224～255の間の数値は使用できません。

工場出荷時の値は、[192.168.150.150] です。

■ IPv4 - サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255の間の数値です。

工場出荷時の値は、[255.255.255.0] です。

■ IPv4 - ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255の間の数値です。ただし、最初のxxxには127と224～255の間の数値は使用できません

工場出荷時の値は、[0.0.0.0] です。

■ IPv6 - アドレスの手動設定

IPアドレスを手動で設定します。

IPアドレスおよび手動設定ゲートウェイを直接入力する場合は、[する] を選択します。

工場出荷時の値は、[しない] です。

■ IPv6 - 手動設定 IP アドレス

IPアドレスを設定します。

IPアドレスをxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxxの形式で入力します。xxxxは16進数です。

補足 [IPv6- アドレスの手動設定] を [する] に設定した場合だけ入力します。

■ IPv6 - 手動 IP アドレスプレフィクス

IPv6アドレスプレフィクスを0～128の範囲で設定します。
工場出荷時の値は、[64] です。

補足 [IPv6- アドレスの手動設定] を [する] に設定した場合だけ入力します。

■ IPv6 - 手動設定ゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを設定します。

ゲートウェイアドレスをxxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxxの形式で入力します。xxxは16進数です。

補足 [IPv6- アドレスの手動設定] を [する] に設定した場合だけ入力します。

■ IPv6 - 自動設定アドレス

自動で設定されたリンクローカルアドレス、IPv6アドレス、ゲートウェイアドレスが表示されます。

9.5.3 EP プロキシサーバー設定

1. [EP プロキシサーバー設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ プロキシサーバーの使用

プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。
工場出荷時の値は [しない] です。

■ HTTPS プロキシサーバー - サーバー名

プロキシサーバーのサーバー名を、255文字まで設定できます。

■ HTTPS プロキシサーバー - ポート番号

プロキシサーバーのポート番号を、1～65535の範囲で指定します。
工場出荷時の値は [8080] です。

■ HTTPS プロキシサーバー - 認証

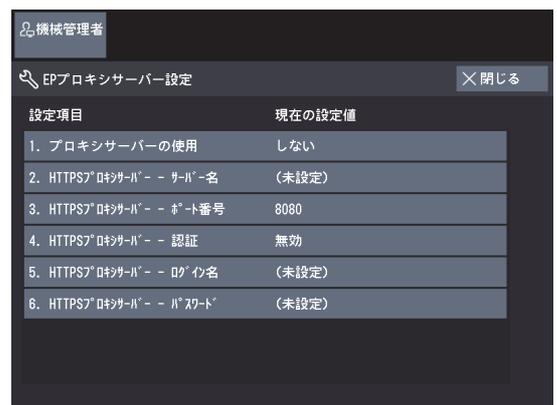
プロキシサーバーの認証を有効にするかどうかを設定します。
工場出荷時の値は [無効] です。

■ HTTPS プロキシサーバー - ログイン名

プロキシサーバーにログインするときのログイン名を、31文字まで設定します。

■ HTTPS プロキシサーバー - パスワード

プロキシサーバーにログインするときのパスワードを、31文字まで設定します。



9.5.4 SMTP サーバー設定★

1. [SMTP サーバー設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ 送信時の認証方式

プロキシサーバーの認証を有効にするかどうかを設定します。
工場出荷時の値は [無効] です。

■ SMTP AUTH - ログイン名

SMTPサーバーにログインするときのログイン名を設定します。

■ SMTP AUTH - パスワード

SMTPサーバーにログインするときのパスワードを設定します。

■ SMTP サーバー - サーバー名/アドレス

SMTPサーバーのサーバー名/アドレスを設定します。

■ SMTP サーバー - ポート番号

SMTPサーバーのポート番号を指定します。
工場出荷時の値は [25] です。



9.5.5 外部認証サーバー/ディレクトリサービス設定

1. [外部認証サーバー/ディレクトリサービス設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ 認証システムの設定

認証するためのシステムを設定します。

◆ 認証システム

認証するためのシステムを、[Authentication Agent] または [LDAP] から選択できます。

認証システムを変更しても、変更前の認証システムで運用されていた個人ボックスは自動的に削除されません。これらの個人ボックスが不要な場合は、削除する必要があります。新しい認証システムにおいても、同じUser IDを使用する場合は、同じユーザーの個人ボックスとして利用できます。

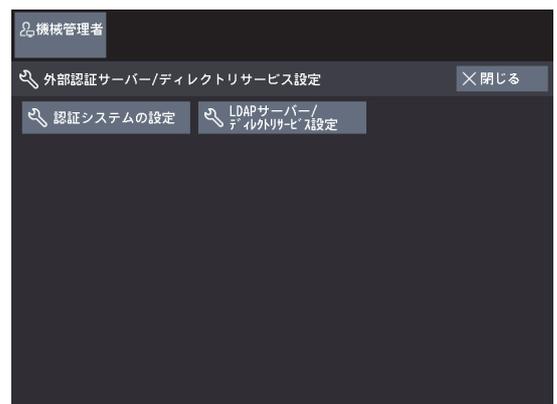
工場出荷時の値は、[Authentication Agent] です。

◆ 認証応答待ち時間の上限

認証の応答の待ち時間の上限を、1～75秒の範囲で1秒単位で設定します。
工場出荷時の値は、[5] 秒です。

◆ ユーザー情報検索時間の上限

ユーザー情報の検索の待ち時間の上限を、1～120秒の範囲で1秒単位で設定します。
工場出荷時の値は、[30] 秒です。



■ LDAP サーバー／ディレクトリサービス設定

LDAPを設定します。

◆ プライマリーサーバー - 名前／アドレス

プライマリーサーバーのサーバー名またはIPアドレスを指定します。

◆ プライマリーサーバー - ポート番号

プライマリーサーバーのポート番号を、1～65535の範囲で指定します。
工場出荷時の値は、[389] です。

◆ セカンダリーサーバー - 名前／アドレス

セカンダリーサーバーのサーバー名またはIPアドレスを指定します。

◆ セカンダリーサーバー - ポート番号

セカンダリーサーバーのポート番号を、1～65535の範囲で指定します。
工場出荷時の値は、[389] です。

◆ 認証方式

LDAP認証の認証方式を、[直接認証] または [ユーザー属性認証] から選択できます。

・ 直接認証

入力した User ID とパスワードで、LDAP サーバーに認証を行います。

・ ユーザー属性認証

入力した User ID 欄の情報は、[入力ユーザー名の属性] に設定された属性の値として、LDAP サーバーで検索するために使用されます。見つかったユーザーの、[認証用ユーザー名の属性] に設定された属性の値は、本機でのジョブの User ID およびボックスの所有者として使用されます。

工場出荷時の値は、[直接認証] です。

◆ 入力ユーザー名の属性

LDAP認証の認証方式が [ユーザー属性認証] の場合に、操作パネルからユーザー名として入力する値に対応した、LDAPサーバーに登録されているUserAttribute情報の属性を設定します。たとえば、メールアドレスを入力させる場合は「mail」を設定します。32文字まで入力できます。

工場出荷時の値は、[mail] です。

◆ 認証用ユーザー名の属性

LDAPサーバーに登録されているUserAttribute情報の中から実際に、本機でのジョブのUser IDおよびボックスの所有者として使用する属性を入力します。32文字まで入力できます。

工場出荷時の値は、[sAMAccountName] です。

◆ ユーザー名追加文字列の使用

操作パネルから認証情報を入力するときに、[ユーザー名の追加文字列] で入力した情報を自動で付加するかどうかを設定します。

工場出荷時の値は、[使用しない] です。

◆ ユーザー名の追加文字列

ユーザー名追加文字列を使用する場合に、追加する文字列を設定します。64文字まで入力できます。[ユーザー名追加文字列の使用] で [使用する] を設定した場合にその固定文字列を入力します。例) [入力ユーザー名の属性] に「mail」を設定し、その対象ユーザーの登録情報が「mail@myhost.example.com」だった場合、通常は「mail@myhost.example.com」と入力する必要があります。しかし、[ユーザー名追加文字列の使用] を [使用する] に設定し、[ユーザー名の追加文字列] で「@myhost.example.com」と指定すれば、操作パネルから入力するデータは「mail」だけで後ろの「@myhost.example.com」は本機が付加するので、入力の手間を簡略化できます。

◆ IC カード認証に使用する属性

ICカードを使用してLDAP認証する場合に、カードIDの検索属性を設定します。半角32文字以内で設定します。

◆ ネットワーク用ユーザー ID 属性

ICカードを使用してLDAP認証する場合に、ICカードのカードIDで検索するユーザー名の属性を設定します。取得したユーザー名は、本機でのジョブのUser IDおよびボックスの所有者として使用されます。半角英数字32文字以内で設定します。

工場出荷時の値は、[sAMAccountName] です。

◆ 検索用ログイン名

サーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。ディレクトリーサービスの認証が必要なときだけ設定してください。ユーザー名を設定する場合は、255文字まで入力できます。

◆ 検索用パスワード

[検索用ログイン名] で指定したユーザーのログインパスワードを設定します。半角英数字で32文字まで入力できます。

◆ 検索起点エントリー (DN)

検索の起点となる文字列を、255文字まで入力できます。

◆ リフェラルの使用

接続したLDAPサーバーから、別のLDAPサーバーへの接続を指示された場合に、指示されたサーバーに再接続するかどうかを設定します。

工場出荷時の値は、[使用しない] です。

◆ リフェラルのホップ数上限

リフェラル機能を使用する場合に、接続するサーバーの切り替えを何回まで許可するかを、1～5回の範囲で設定します。

工場出荷時の値は、[5] 回です。

9.5.6 SSL/TLS 設定

SSL/TLS通信に必要な条件を設定します。[SSL/TLS 設定] では、次の項目を設定できます。

1. [SSL/TLS 設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ 本体の証明書 - サーバー

本機に格納されている証明書の発行先一覧が表示されます。SSL/TLS通信に使用する証明書を選択します。

補足 証明書は、あらかじめインターネットサービスから設定しておく必要があります。設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

■ HTTP-SSL/TLS 通信

HTTP-SSL/TLS通信を有効にするかどうかを設定します。

[有効] または [無効] を選択します。工場出荷時の値は、[無効] です。

■ HTTP-SSL/TLS 通信ポート番号

HTTP-SSL/TLS通信で使用するポート番号を入力します。

工場出荷時の値は、[443] です。



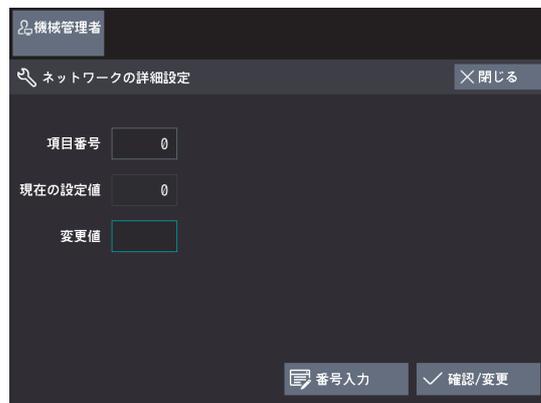
■ SMTP-SSL/TLS 通信★

SMTP-SSL/TLS通信の接続を有効にするかどうかを設定します。

工場出荷時の値は、[無効] です。

9.5.7 詳細設定

1. [詳細設定] をタップします。
2. [項目番号] を入力し、[確認/変更] をタップします。
参照 項目番号については、「項目番号：ネットワーク設定」(P.309) を参照してください。
3. [変更値] を入力します。
4. [確認/変更] をタップします。



■ 項目番号：ネットワーク設定

項目番号	項目	変更値	工場出荷時の値
0	ActiveDirectoryの無効ユーザー判定を設定します。	0：判定しない 1：判定する	0：判定しない

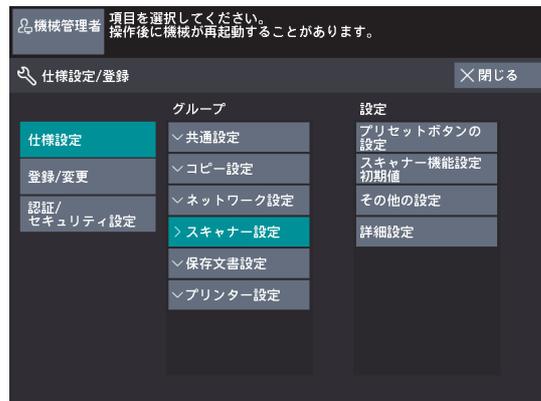
9.6 スキャナー設定

[スキャナー設定] では、スキャン機能に関する仕様を設定します。

1. [仕様設定／登録] 画面で、[仕様設定] > [スキャナー設定] をタップします。

参照 [仕様設定／登録] 画面を表示する方法については、「9.1 仕様設定の流れ」(P.268) を参照してください。

2. 設定／変更する項目を選択します。



9.6.1 プリセットボタンの設定

[スキャナー] 画面に表示される原稿の画質、出力ファイル形式を変更します。

1. [プリセットボタンの設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ 原稿の画質ボタン 1～5 段目

[スキャナー] 画面の [原稿の画質] の1～5段目に表示される原稿の画質を設定します。

[文字／線画]、[文字／写真]、[印刷写真]、[印画紙写真]、[青焼き]、[透過] から選択します。

工場出荷時の値は、次のとおりです。

- ・ 原稿の画質ボタン 1 段目：文字／線画
- ・ 原稿の画質ボタン 2 段目：文字／写真
- ・ 原稿の画質ボタン 3 段目：印刷写真
- ・ 原稿の画質ボタン 4 段目：印画紙写真
- ・ 原稿の画質ボタン 5 段目：青焼き

■ 出力ファイル形式ボタン 1～5 段目

[スキャナー] 画面の [出力ファイル形式] の1～5段目に表示される出力ファイル形式を設定します。

[シングルページTIFF]、[マルチページTIFF]、[シングルページPDF]、[マルチページPDF]、[シングルページDocuWorks]、[マルチページDocuWorks]、[JPEG] から選択します。

工場出荷時の値は、次のとおりです。

- ・ 出力ファイル形式ボタン 1 段目：シングルページ TIFF
- ・ 出力ファイル形式ボタン 2 段目：マルチページ TIFF
- ・ 出力ファイル形式ボタン 3 段目：シングルページ PDF
- ・ 出力ファイル形式ボタン 4 段目：マルチページ PDF
- ・ 出力ファイル形式ボタン 5 段目：シングルページ DocuWorks

補足 ApeosWide 3030 の場合、[JPEG] を選択するには、オプションのカラースキャンメモリーキットが必要です。



9.6.2 スキャナー機能設定初期値

スキャン機能の初期値を設定します。電源を入れたときや節電状態から復帰したとき、[リセット] をタップしたとき、自動リセット機能が働いたときに、ここで設定されている初期値の状態に戻ります。

よく使う機能や値を初期値に設定しておくこと、スキャンのたびに設定する操作が省けます。

1. [スキャナー機能設定初期値] をタップします。
2. 設定/変更する項目をタップします。
3. 設定値を設定し、スタートをタップします。



設定項目	説明	工場出荷時の値
カラーモード	[スキャナー] 画面にある、[カラーモード] の初期値を設定します。	白黒擬似階調 (2値)
解像度	[スキャナー] 画面にある、[解像度] の初期値を設定します。	600 dpi
プレビュー	[スキャナー] 画面にある、[プレビュー] の初期値を設定します。	オフ (プレビューを表示しない)
原稿の画質	[画質調整] 画面にある、[原稿の画質] の初期値を設定します。	文字/線画
出力ファイル形式	[画質調整] 画面にある、[出力ファイル形式] の初期値を設定します。	シングルページTIFF
濃度	[画質調整] 画面にある、[濃度] の初期値を設定します。	ふつう
シャープネス	[画質調整] 画面にある、[シャープネス] の初期値を設定します。	ふつう
コントラスト	[画質調整] 画面にある、[コントラスト] の初期値を設定します。	ふつう
地色除去	[画質調整] 画面にある、[地色除去] の初期値を設定します。	自動 (0)
中間調の振り分け	[画質調整] 画面にある、[中間調の振り分け] の初期値を設定します。	標準
色別濃度調整	[画質調整] 画面にある、[色別濃度調整] の初期値を設定します。	調整しない
倍率	[読み取り方法] 画面にある、[倍率] の初期値を設定します。	100.0 %
読み取りサイズ	[読み取り方法] 画面にある、[読み取りサイズ] の初期値を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • ApeosWide 6050 : 自動検知 • ApeosWide 3030 : 自動検知 (A 系列)

設定項目	説明	工場出荷時の値
わく消し	[読み取り方法] 画面にある、[わく消し] の初期値を設定します。	標準
読み取り開始位置	[読み取り方法] 画面にある、[読み取り開始位置] の初期値を設定します。	0 mm
原稿読み取り速度	[読み取り方法] 画面にある、[原稿読み取り速度] の初期値を設定します。	高速
画質/ファイルサイズ	[出力形式] 画面にある、[画質/ファイルサイズ] の初期値を設定します。	画質：標準画質 ファイル：ふつう
文書名	[出力形式] 画面にある、[ファイル名] のヘッダー文字を設定します。	—
件名 (URL 送信)	[出力形式] 画面にある、[件名 (URL送信)] を設定します。	—

9.6.3 その他の設定

1. [その他の設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ TIFF の形式

[スキャナー] 画面の [出力ファイル形式] の、TIFF (JPEG圧縮) の形式を設定します。

読み込むソフトウェアに応じて [TIFF V6] または [TTN2] を選択します。工場出荷時の値は、[TIFF V6] です。

■ マルチ送信プリンター転送フォーマット

[スキャナー (マルチ送信)] 画面で [カラーモード] が、[フルカラー] または [グレースケール (256階調)] の場合に、宛先にプリンターを指定したときの出力ファイル形式を設定します。

[TIFF] または [JPEG] を選択します。工場出荷時の値は、[TIFF] です。

■ URL 送信の文書保存期間★

URL送信したスキャン文書は、一定の時間が経過すると自動的に削除されます。自動削除までの時間を設定します。工場出荷時の値は、[3時間] です。



9.6.4 詳細設定

1. [詳細設定] をタップします。
2. [項目番号] を入力し、[確認/変更] をタップします。
参照 項目番号については、「項目番号：スキャナー設定」(P.313) を参照してください。
3. [変更値] を入力します。
4. [確認/変更] をタップします。



■ 項目番号：スキャナー設定

項目番号	項目	変更値	工場出荷時の値
0	スキャナー (PC保存) 文書、スキャナー (マルチ送信) 文書のファイル名へのUser ID付加を設定します。	0 : 付加しない 1 : 付加する	0 : 付加しない
70	[濃淡むら原稿] のむらの大きさの初期値を設定します。	1~80	20

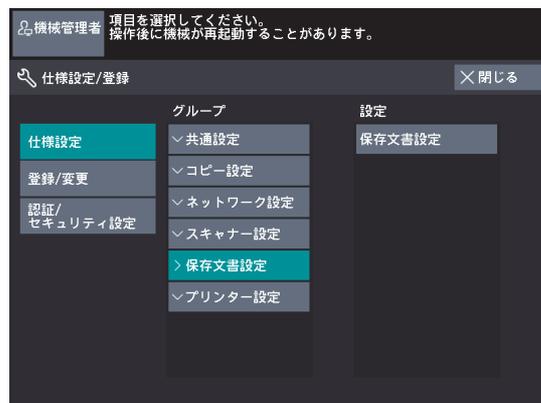
9.7 保存文書設定

【保存文書設定】では、本機の文書保存機能に関する仕様を設定します。

1. 【仕様設定／登録】画面で、【仕様設定】 > 【保存文書設定】をタップします。

参照 【仕様設定／登録】画面を表示する方法については、「9.1 仕様設定の流れ」(P.268)を参照してください。

2. 設定／変更する項目を選択します。



9.7.1 保存文書設定

文書の保存期間や、蓄積プリント文書の削除について設定します。

1. 【保存文書設定】をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、【閉じる】をタップします。



■ 文書の保存期間

文書の保存期間を設定します。自動的に削除する場合は、削除する日（経過日数）と時刻を設定できます。この設定は、各保存文書に共通の設定となります。

工場出荷時の値は、【設定しない】です。

補足 インターネットサービスから設定することもできます。設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

◆ 設定しない

文書の保存期間を設定しないため、保存されている文書は自動的に削除されることはありません。



◆ 設定する

文書の保存期間を設定します。[保存期間]、[削除時刻]で設定した時刻になると、文書は自動的に削除されます。

補足

- ・ 保存期間を経過しても、削除時刻に本機の電源が入っていない場合、文書は削除されません。次に本機の電源を入れたときに削除されます。
また、削除時刻にスリープモードに移行している場合も、文書は削除されません。
次の日の削除時刻に、スリープモードに移行していなければ削除されます。
- ・ 自動削除を設定する場合は、文書を削除する動作を有効に設定してください。詳細については、「保存期間経過文書の削除」(P.193)を参照してください。
- ・ 保存期間
文書の保存期間を、1～14日の範囲で指定します。
- ・ 削除時刻
保存期間が過ぎた文書の削除する時刻を、0～23時、00～59分の範囲で指定します。

■ 蓄積プリントの削除

保存期間経過後の蓄積プリント文書を削除するかどうかを設定します。

工場出荷時の値は、[無効]です。

◆ 有効

保存期間経過後の指定された時刻に、文書は削除されます。

補足

保存期間が設定されていない場合は、[有効]に設定しても文書は削除されません。

◆ 無効

指定されている保存期間を経過しても、文書は削除されません。

■ プリント時の確認画面の表示

蓄積プリント文書をプリントするときに、プリント後の文書削除に関する確認画面を表示するかどうかを設定します。

工場出荷時の値は、[する]です。

◆ しない

プリント後に文書は自動的に削除されます。

◆ する

確認画面が表示されます。プリント後の文書を削除するかどうかを選択できます。

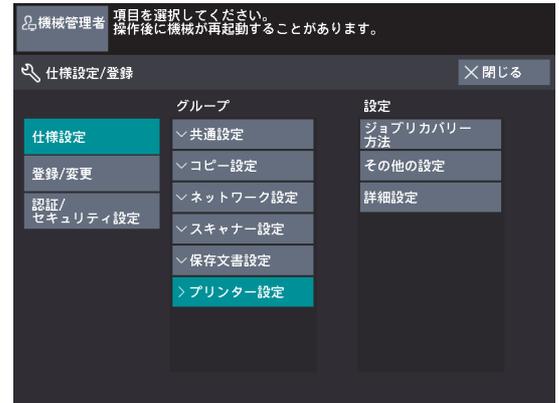
9.8 プリンター設定

プリントに関する設定をします。

1. [仕様設定／登録] 画面で、[仕様設定] > [プリンター設定] をタップします。

参照 [仕様設定／登録] 画面を表示する方法については、「9.1 仕様設定の流れ」(P.268)を参照してください。

2. 設定／変更する項目を選択します。



9.8.1 ジョブリカバリー方法

電源を切ったときに未完了のプリントジョブを、次に電源を入れたときにもう一度プリントするかどうかを設定します。

工場出荷時の値は、[しない] です。

1. [ジョブリカバリー方法] をタップします。
2. 必要に応じて、項目を設定します。

◆ **しない**

電源を切ったときに出力されなかったプリントジョブは、すべてキャンセルされます。

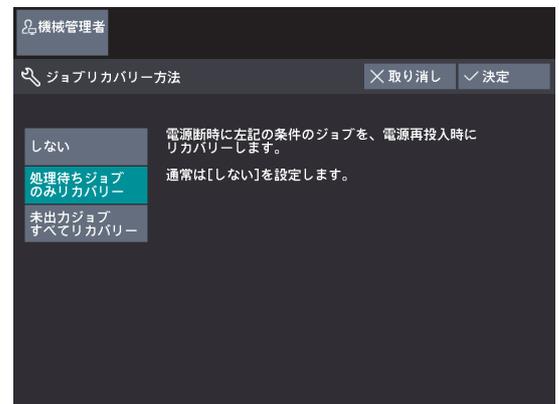
◆ **処理待ちジョブのみリカバリー**

電源を切ったときに、スプールが完了していたジョブだけをもう一度プリントします。

◆ **未出力ジョブすべてリカバリー**

電源を切ったときに、出力されなかったジョブをすべてもう一度プリントします。

3. [決定] をタップします。



9.8.2 その他の設定

データフォーマットごとに、描画処理の詳細を設定します。
通常は、工場出荷時の値を設定します。

1. [その他の設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

■ TIFF- 拡張時の設定

拡大縮小時のモードを指定します。
[PHOTO] または [LINE] を選択します。工場出荷時の値は、
[PHOTO] です。

■ HPGL- 円弧描画

円弧の描画方法を設定します。
[分解能コマンドを使用する] または [分解能コマンドを無視する] を選択します。工場出荷時の値は、
[分解能コマンドを無視する] です。

■ HPGL- 破線描画

破線の描画方法を設定します。
[NORMAL] または [EXTEND] を選択します。工場出荷時の値は、
[NORMAL] です。

■ ラベルオフセット

ラベル描画の描画位置を用紙の角からのX、Y方向の距離で指定します。
[0] ~ [100 (mm)] から選択します。工場出荷時の値は、X : [5]、Y : [3] です。

■ 位置合わせマークの描画位置

分割マークの描画位置のオフセットとオーバーラップを指定します。
オフセットは [0] ~ [100 (mm)]、オーバーラップは [0] ~ [400 (mm)] から選択します。工場出荷時の値は、
オフセット : [3]、オーバーラップ : [0] です。

■ 長辺判定

長辺判定をするかどうかを設定します。
[する] または [しない] を選択します。工場出荷時の値は、
[しない] です。

■ 長辺判定 -A0 ~ A4

入力データの長辺側の許容範囲を、各定形サイズの長辺から選択します。
通常は、それぞれA0→A1、A1→A2、A2→A3、A3→A4、A4→A4のように設定します。

■ ディザパターン設定

ディザパターンと濃度の組み合わせを選択します。
[パターン1 (うすく・ふつう・こく)]、[パターン2 (うすく・ふつう・こく)]、
[パターン3 (うすく・ふつう・こく)] から選択します。工場出荷時の値は、
[パターン1 (ふつう)] です。

■ 細線黒ソリッド描画

指定した線幅以下の細い線を、ディザを使わず黒色で描画するかどうかを設定します。
[しない] または [する (1~511 pixel)] を選択します。工場出荷時の値は、
[しない] です。



9.8.3 詳細設定

1. [詳細設定] をタップします。
2. [項目番号] を入力し、[確認/変更] をタップします。
参照 項目番号については、「項目番号：プリンター設定」(P.318) を参照してください。
3. [変更値] を入力します。
4. [確認/変更] をタップします。



■ 項目番号：プリンター設定

項目番号	項目	変更値	工場出荷時の値
1	ジョブ途中で用紙が少なくなった場合に、用紙の出力する向きを切り替えて出力するかどうかを設定します。*	0：切り替えを行わない 1：切り替えを行う	0：切り替えを行わない
3	ジョブログのパスの表示を設定します。	0：表示しない 1：表示する	1：表示する

* プリンタードライバーから複数ページを出力した場合、1 ジョブが 1 枚となるため切り替えの対象にはなりません。

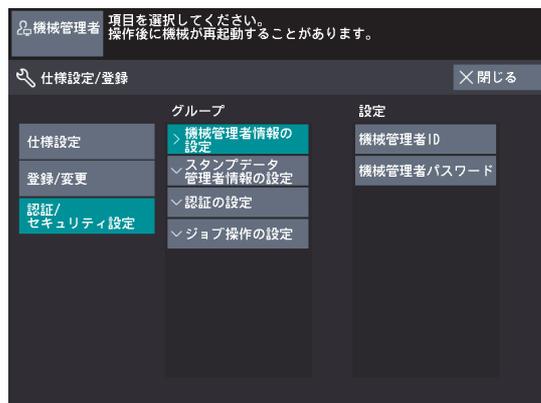
9.9 認証／セキュリティ設定

[認証／セキュリティ設定] では、本機のセキュリティーの設定ができます。

1. [仕様設定／登録] 画面で、[認証／セキュリティ設定] をタップします。

参照 [仕様設定／登録] 画面を表示する方法については、「9.1 仕様設定の流れ」(P.268) を参照してください。

2. 設定／変更する項目を選択します。



9.9.1 機械管理者情報の設定

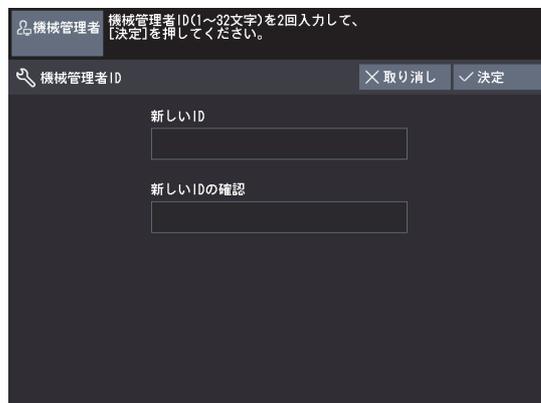
[機械管理者情報の設定] では、機械管理者IDおよびパスワードを設定します。

設定変更の抑止やセキュリティー確保のために、機械管理者IDおよびパスワードの設定をお勧めします。

■ 機械管理者 ID

機械管理者の User ID を設定します。半角1～32文字まで入力できます。

1. [機械管理者情報の設定] > [機械管理者 ID] をタップします。
2. [新しい ID] を選択します。
3. 表示されたキーボードを使って、32文字以内で機械管理者 ID を入力し、[決定] をタップします。
4. [新しい ID の確認] を選択し、同じ機械管理者 ID を入力し、[決定] をタップします。
5. [決定] をタップします。
6. 確認画面が表示されたら、[はい (変更する)] をタップします。



■ 機械管理者パスワード

機械管理者のパスワードを設定します。

セキュリティーを強化するためにも、パスワードの設定をお勧めします。

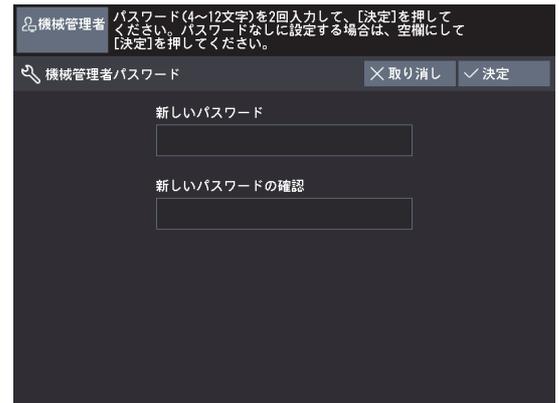
機械管理者モードに入るときに機械管理者パスワードの入力を必要とするには、[認証／セキュリティ設定] の [認証の設定] で、[本体パネルのパスワード使用] を [する] に設定します。

パスワードは、機械管理者の User ID を設定してから、4～12文字の範囲で指定します。

補足 機械管理者パスワードは、インターネットサービスから設定を変更するときにも使用します。

参照 本体パネルのパスワード使用については、「本体パネルのパスワード使用」(P.325) を参照してください。

1. [機械管理者情報の設定] > [機械管理者パスワード] をタップします。
2. [新しいパスワード] を選択します。
3. 表示されたキーボードを使って、4 ~ 12 文字以内で機械管理者パスワードを入力し、[決定] をタップします。
4. [新しいパスワードの確認] を選択し、同じ機械管理者パスワードを入力し、[決定] をタップします。
5. [決定] をタップします。
6. 確認画面が表示されたら、[はい (変更する)] をタップします。



9.9.2 スタンプデータ管理者情報の設定

スタンプデータ管理者とは、ネットワーク上のコンピューターから、本機にスタンプデータを登録できるユーザーです。

[スタンプデータ管理者情報の設定] では、スタンプデータ管理者のIDおよびパスワードを設定します。

設定変更の防止やセキュリティ保持のために、スタンプデータ管理者IDおよびパスワードを工場出荷時の値から変更することをお勧めします。

補足 インターネットサービスから設定することもできます。設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

■ スタンプデータ管理者 ID

スタンプデータ管理者のUser IDを設定します。半角1~32文字まで入力できます。

工場出荷時の値は、「stamp」です。

1. [スタンプデータ管理者情報の設定] > [スタンプデータ管理者 ID] をタップします。
2. [新しい ID] を選択します。
3. 表示されたキーボードを使って、32 文字以内でスタンプデータ管理者 ID を入力し、[決定] をタップします。
4. [新しい ID の確認] を選択し、同じスタンプデータ管理者 ID を入力し、[決定] をタップします。
5. [決定] をタップします。
6. 確認画面が表示されたら、[はい (変更する)] をタップします。



■ スタンプデータ管理者パスワード

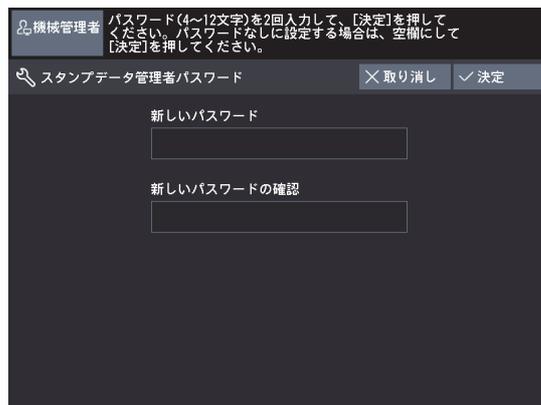
スタンプデータ管理者のパスワードを指定します。

セキュリティを強化するためにも、パスワードの設定をお勧めします。

パスワードは、スタンプデータ管理者のUser IDを設定してから、4~12文字の範囲で指定します。

工場出荷時の値は、「stamp」です。

1. [スタンプデータ管理者情報の設定] > [スタンプデータ管理者パスワード] をタップします。
2. [新しいパスワード] を選択します。
3. 表示されたキーボードを使って、4 ～ 12 文字以内でスタンプデータ管理者パスワードを入力し、[決定] をタップします。
補足 パスワードなしに設定する場合は、空欄にして [決定] をタップしてください。
4. [新しいパスワードの確認] を選択し、同じスタンプデータ管理者パスワードを入力し、[決定] をタップします。
5. [決定] をタップします。
6. 確認画面が表示されたら、[はい (変更する)] をタップします。



9.9.3 認証の設定

[認証の設定] では、認証機能の運用に関する設定を行います。

■ 認証方式の設定

認証方式を設定します。

- ・ 認証しない
認証機能を利用しません。
- ・ 本体認証
本機に登録されたユーザー情報を、認証に使用します。
- ・ 外部認証
外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を、認証に使用します。

工場出荷時の値は [認証しない] です。

1. [認証の設定] > [認証方式の設定] をタップします。
2. [認証しない]、[本体認証]、[外部認証] から選択します。
3. [決定] をタップします。



■ アクセス制御 サービスへのアクセス

利用を制限する操作を設定します。

利用制限した場合の、機能の利用方法は次のとおりです。

設定値	ICカードなし	ICカードあり (User ID認証と併用)	
		ICカード使用	操作パネル使用
制限する	操作パネルで認証ユーザーのUser IDを入力	ICカードリーダーに認証ユーザーのICカードをタッチ	操作パネルで認証ユーザーのUser IDを入力
制限しない	誰でも利用可能	ICカードリーダーにICカード*をタッチ	

* カードの所有者は、認証ユーザー／認証未登録ユーザーを問わない

1. [認証の設定] > [アクセス制御 サービスへのアクセス] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

◆ コピー

コピー機能を制限するかどうかを設定します。
[制限しない] または [制限する] を選択します。
工場出荷時の値は、[制限する] です。

◆ スキャナー (ボックス保存)

スキャナー (ボックス保存) 機能を制限するかどうかを設定します。
[制限しない] または [制限する] を選択します。
工場出荷時の値は、[制限する] です。

◆ スキャナー (PC 保存)

スキャナー (PC 保存) 機能を制限するかどうかを設定します。
[制限しない] または [制限する] を選択します。
工場出荷時の値は、[制限する] です。

◆ スキャナー (マルチ送信)

スキャナー (マルチ送信) 機能を制限するかどうかを設定します。
[制限しない] または [制限する] を選択します。
工場出荷時の値は、[制限する] です。

◆ プリンター

プリンター機能を制限するかどうかを設定します。
[制限しない] または [制限する] を選択します。
工場出荷時の値は、[制限する] です。



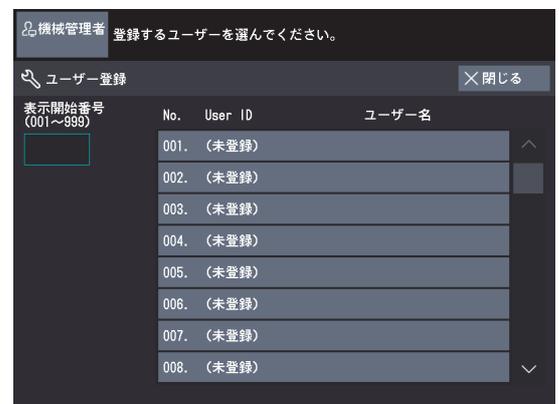
■ ユーザー登録

認証機能を有効にした場合、登録したユーザーの認証を行うために、User IDおよびユーザー名を登録します。ユーザーデータは、本体認証を使用する場合、999件まで登録できます。

- 補足**
- ・ユーザー登録は、「認証方式の設定」(P.321) で、使用する認証モードを設定してから行ってください。
 - ・機能制限の [コピー禁止] または [プリンター禁止] が設定されている場合でも、スキャナー (マルチ送信) が使用できるときは、プリンターまたはローカルプリンターからプリント出力することができます。

1. [認証の設定] > [ユーザー登録] をタップします。
2. 登録するユーザー番号を選択します。

- 補足**
- ・ をタップして前画面、 をタップして次画面を表示できます。
 - ・ 任意のユーザー番号を先頭に表示させたい場合、[表示開始番号] にユーザー番号を入力してください。



3. 項目を選択し、設定します。

4. 設定が終わったら、[閉じる] をタップします。

◆ User ID

本機を利用するための User ID を入力します。
半角 32 文字まで入力できます。

◆ ユーザー名

ユーザー名を設定します。半角 32 文字（全角 16 文字）まで入力できます。

参照 文字の入力方法については、「1.6 文字の入力方法について」(P.28) を参照してください。

◆ パスワード

パスワードを設定します。セキュリティを強化するためにも、パスワードの設定をお勧めします。パスワードは、4～12 文字の範囲で設定できます。

補足 パスワードは、[本体パネルのパスワード使用] が [する] に設定されている場合、認証するときに必要になります。

◆ メールアドレス

メールアドレスを設定します。半角英数記号で 128 文字まで入力できます。

◆ 機能制限 - コピー

[制限しない] または [コピー禁止] を選択します。

- ・ [制限しない]：コピー機能の制限はしません。
- ・ [コピー禁止]：コピー機能の使用を禁止します。

工場出荷時の値は、[制限しない] です。

◆ 機能制限 - スキャナー

[制限しない] または [スキャナー禁止] を選択します。

- ・ [制限しない]：スキャナー機能の制限はしません。
- ・ [スキャナー禁止]：スキャナー機能の使用を禁止します。

工場出荷時の値は、[制限しない] です。

◆ 機能制限 - プリンター

[制限しない] または [プリンター禁止] を選択します。

- ・ [制限しない]：プリント機能の制限はしません。
- ・ [プリンター禁止]：プリント機能の使用を禁止します。

工場出荷時の値は、[制限しない] です。

◆ IC カード ID

IC カードの ID を設定します。半角英数記号で 32 文字まで入力できます。

◆ すべての登録内容を削除

登録した情報がすべて削除されます。



■ 登録内容の削除／リセット

全登録ユーザーに対して、一括で登録内容を削除したり、リセットしたりできます。

1. [認証の設定] > [登録内容の削除/リセット] をタップします。
2. 削除する項目を選択し、[削除/リセット] をタップします。

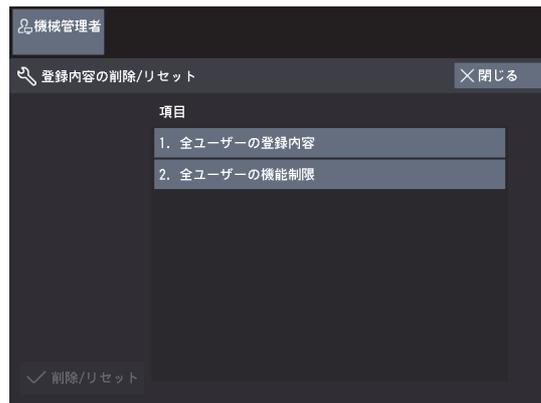
◆ **全ユーザーの登録内容**

ユーザーごとに登録している設定内容をすべて削除します。

補足 ユーザーが作成したボックスおよびボックス内の文書も削除されます。大量の文書がボックス内に残っている場合などは、削除に時間がかかることがあります。

◆ **全ユーザーの機能制限**

ユーザーごとに登録している機能制限をすべて [制限しない] にリセットします。



■ **認証情報の設定**

1. [認証の設定] > [認証情報の設定] をタップします。
2. 必要に応じて項目を設定し、[閉じる] をタップします。

補足 [認証方式の設定] が [外部認証] の場合に、[外部認証情報の本体保存] と [保存済み外部認証情報削除] が表示されます。

◆ **認証解除時の確認画面表示**

認証解除時に確認画面を表示するかどうかを設定します。工場出荷時の値は、[しない] です。

◆ **IC カード連携モード**

IC カード認証時に、パスワードの入力を要求するかどうかを設定します。工場出荷時の値は、[パスワード入力必要] です。

◆ **外部認証情報の本体保存**

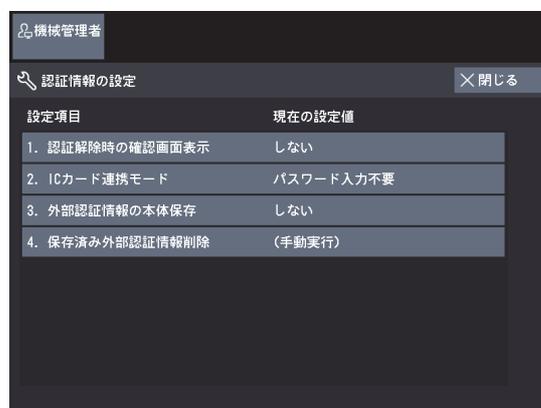
外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存するかどうかを設定します。工場出荷時の値は、[しない] です。

補足 ユーザー情報が保存されるのは、IC カード認証でパスワード入力なしの場合だけです。操作パネル認証時のユーザー情報は保存されません。

◆ **保存済み外部認証情報削除**

本機に保存している外部認証情報を削除します。

補足 ・ 認証方式の設定によって、表示される項目が次のように異なります。



		認証方式の設定		
		認証しない	本体認証	外部認証
認証情報の設定	認証解除時の確認画面表示	○	○	○
	ICカード連携モード	○	○	△*1
	外部認証情報の本体保存	×	×	△*2
	保存済み外部認証情報削除	×	×	△*2

* 1 [外部認証情報の本体保存] が [する] のときは、[IC カード連携モード] が表示されません。

* 2 [IC カード連携モード] が [パスワード入力必要] のときは、[外部認証情報の本体保存] と [保存済み外部認証情報削除] が表示されません。

・ IC カードリーダーが接続されていないときは、[IC カード連携モード]、[外部認証情報の本体保存] および [保存済み外部認証情報削除] が表示されません。

■ 機械管理者認証の上限

機械管理者のなりすましによる不正な設定が行われないようするための機能です。機械管理者IDの認証に連続して失敗した場合にアクセスを拒否するように、その失敗回数を設定できます。

回数は、1～10回の範囲で指定できます。

工場出荷時の値は、[5] 回です。

- 補足**
- ・本機を再起動すると、失敗した回数はリセットされます。
 - ・アクセス拒否状態を解除するときは、本機を再起動してください。

1. [認証の設定] > [機械管理者認証の上限] をタップします。
2. [設定する] をタップします。
3. 上限の回数を、数字ボタンで数値を入力するか、[+] [-] をタップして設定します。
4. [決定] をタップします。



■ 本体パネルのパスワード使用

認証機能を使用している場合、ユーザーが本機を操作するときの認証時に、パスワードを入力するかどうかを設定します。また、認証機能を使用していない場合でも、機械管理者モードに入るときにパスワードを入力するかどうかを設定できます。

セキュリティを強化するためにも、パスワードの設定をお勧めします。

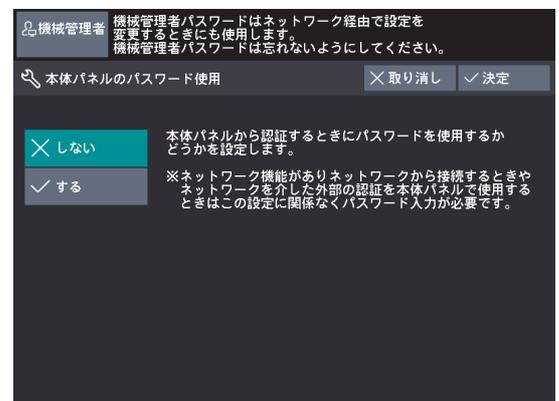
[する] を選択すると、「機械管理者パスワード」(P.319) および「ユーザー登録」の「パスワード」(P.323) の設定が有効になります。

[しない] を選択すると、上記の設定でパスワードが指定されていてもパスワードの入力は要求されません。

工場出荷時の値は、[しない] です。

- 補足**
- ・インターネットサービスなどの外部からのアクセス時には、パスワードの使用の設定に関係なく、常にパスワードの入力が必要です。
 - ・機械管理者パスワードは、インターネットサービスから設定を変更するときにも使用します。

1. [認証の設定] > [本体パネルのパスワード使用] をタップします。
2. [しない] または [する] を選択します。
3. [決定] をタップします。



■ プライベートプリントの設定

受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

- 補足**
- ・ 外部認証時、[プリントの認証に従う] を選択した場合は、[認証成功のジョブ]、[User ID なしのジョブ] の設定は無視され、すべてのプリントジョブがプリントされます。
 - ・ プライベートプリントを使用しない設定にした場合、ホーム画面に [プライベートプリント] は表示されず、[セキュリティープリント] が表示されます。

1. [認証の設定] > [プライベートプリントの設定] をタップします。

2. 各項目を設定します。

3. [決定] をタップします。

◆ プリンターの認証に従う

受信したジョブに対する動作を設定します。
工場出荷時の値は、[プリンターの認証に従う] です。

◆ プライベートプリントに保存

受信したジョブをプライベートプリントに保存します。

◆ 認証成功のジョブ

認証に成功したジョブに対する動作を設定します。

- 補足**
- ・ [プライベートプリントに保存する] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリントを指示しても無視されます。
 - ・ プリントジョブをプライベートプリントに保存する場合は、User ID は半角 32 文字以内で設定してください。プリンタードライバーで設定した User ID が半角 32 文字を超えている場合、プリントジョブは中止され、プライベートプリントには保存されません。

・ プrint

受信したジョブをすべてプリントします。クライアント側でプリントするときの設定によって、セキュリティープリントに保存されるか通常にプリントされます。

・ プライベートプリントに保存

受信したジョブをプライベートプリントに保存します。

工場出荷時の値は、[プリント] です。

◆ User ID なしのジョブ

認証用 User ID が付加されていないジョブに対する動作を設定します。

- 補足** インターネットサービスから設定することもできます。
設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

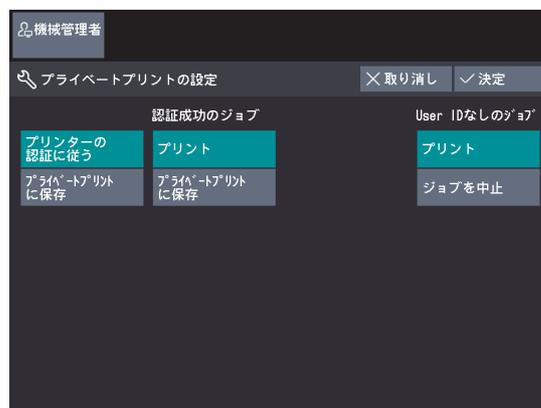
・ プrint

認証属性を持たないジョブをすべてプリントします。

・ ジョブを中止

認証属性を持たないジョブをすべて削除します。

工場出荷時の値は、[ジョブを中止] です。



■ 詳細設定

1. [認証の設定] > [詳細設定] をタップします。
2. [項目番号] を入力し、[確認／変更] をタップします。
参照 項目番号については、「項目番号：認証／セキュリティ設定」(P.327) を参照してください。
3. [変更値] を入力します。
4. [確認／変更] をタップします。



◆ 項目番号：認証／セキュリティ設定

項目番号	項目	変更値	工場出荷時の値
0	LPR/FTPから取得したUser IDによるプリント動作を設定します。	0：機能なし 1：キャンセル 2：プリント 3：プライベートプリントへ保存	0：機能なし
1	UserIDの表示において、入力IDではなく取得した関連IDを使用するか設定します。	0：入力IDを使用する 1：関連IDを使用する	1：関連IDを使用する

9.9.4 ジョブの操作の設定

■ 実行完了ジョブの表示設定

実行完了ジョブの表示制限を設定します。

ジョブ履歴の表示／非表示、一部情報の表示制限ができます。

補足 インターネットサービスから設定することもできます。
 設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. [ジョブの操作の設定] > [実行完了ジョブの表示設定] をタップします。
2. 各項目を設定し、[決定] をタップします。

◆ 常に表示する

実行完了ジョブを常に表示します。

◆ 認証中は表示する

認証機能を使用している場合、実行完了ジョブを表示します。

工場出荷時の値は、[認証中は表示する] です。

◆ 表示しない

実行完了ジョブを表示しません。

[表示対象ジョブ]、[表示情報の制限] は [実行完了ジョブの表示設定] の設定に依存していて、実行完了ジョブの表示内容もそれぞれの設定状態で変化します。設定の組み合わせとジョブの表示内容は、次の表のとおりです。[表示情報の制限] の工場出荷時の値は、[しない] です。

補足 機械管理者は、表示情報の制限を受けません。



・ 認証機能を使用していないとき

設定項目			ジョブ表示内容			
実行完了 ジョブの 表示設定	表示対象の ジョブ	表示情報の 制限	機械管理者	未認証の ユーザー	認証ユーザー	
					自分の ジョブ	他人の ジョブ
常に表示 する	-	しない	すべて表示 *1	すべて表示*1	-	-
		する		一部情報を 「*****」で表示*2		
認証中は 表示する	-	-		非表示*3		
表示しない	-	-				

- * 1全てのジョブ履歴、すべての項目を表示します。
- * 2ジョブ名、排出先の情報を「*****」で表示します。
- * 3ジョブ履歴を表示しません。

・ 認証機能を使用しているとき

設定項目			ジョブ表示内容			
実行完了 ジョブの 表示設定	表示対象の ジョブ	表示情報の 制限	機械管理者	未認証の ユーザー	認証ユーザー	
					自分の ジョブ	他人の ジョブ
常に表示 する	-	しない	すべて表示 *1	すべて表示*1	すべて表示 *1	すべて表示 *1
		する		一部情報を 「*****」で表示*2	すべて表示 *1	一部情報を 「*****」 で表示*2
認証中は 表示する	全て	しない		非表示*3	すべて表示 *1	すべて表示 *1
		する	非表示*3	すべて表示 *1	一部情報を 「*****」 で表示*2	
	認証ユー ザーのジョ ブのみ	-	非表示*3	すべて表示 *1	非表示*3	
表示しない	-	-	非表示*3	非表示*3	非表示*3	

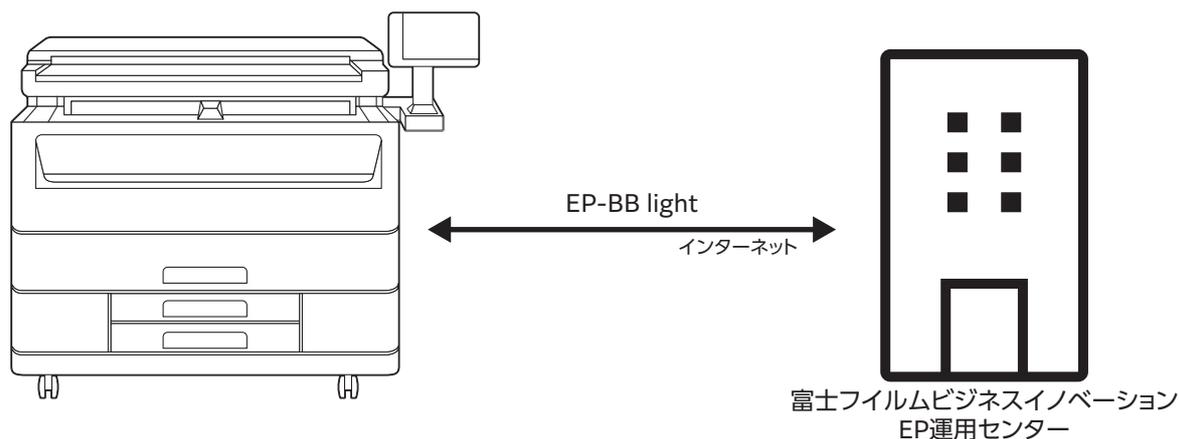
- * 1全てのジョブ履歴、すべての項目を表示します。
- * 2ジョブ名、排出先の情報を「*****」で表示します。
- * 3ジョブ履歴を表示しません。

9.10 EP システム

EP（エレクトロニック・パートナーシップ）とは、本機と弊社のEP運用センターをインターネットまたは公衆回線で結ぶことで、機械の管理業務を自動化するシステムです。

本機でEPシステムを使用する場合の操作について説明しています。

- 補足**
- ・ EP システムのサービスは、機械の電源が切れている状態ではご利用できません。
 - ・ EP システムは、一部の地域でご利用できない場合があります。適用については、営業担当者または販売店にお問い合わせください。



EPシステムで利用できるサービスは、次のとおりです。

メーターカウントの自動検針

毎月、設定した日時に、メーターのカウントを機械が自動的に弊社に通知します。

10 付録

本機の主な仕様、オプション製品一覧、保守サービス、注意／制限事項などについて説明しています。

10.1	主な仕様	332
10.2	オプション製品一覧	339
10.3	保守サービスについて	342
10.4	注意／制限事項について	343

10.1 主な仕様

本機の主な仕様を記載します。製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 基本機能

項目	内容		
	ApeosWide 6050	ApeosWide 3030	
形式	コンソールタイプ*1		
メモリー容量	4 GB (最大：4 GB)		
ストレージ容量	128 GB以上		
書き込み解像度	1,200×1,200 dpi		
連続プリント速度*2	A0	5.0 枚/分	3.2 枚/分
	A1	ヨコ：9.7 枚/分、タテ：7.0 枚/分	ヨコ：7.0 枚/分、タテ：5.0 枚/分
	A2	ヨコ：13 枚/分、タテ：9.7 枚/分	ヨコ：9.0 枚/分、タテ：7.0 枚/分
	A3	ヨコ：17 枚/分、タテ：13 枚/分	ヨコ：10 枚/分、タテ：9.0 枚/分
	A4*3	ヨコ：23 枚/分、タテ：17 枚/分	ヨコ：12 枚/分、タテ：10 枚/分
給紙方式/給紙容量	【4ロールタイプ】 ロール給紙2段×2本、手差し給紙 (1枚送り) 【2ロール2トレイタイプ (マルチファンクションモデル)】 ロール給紙1段×2本、カット紙トレイ 305枚×2段、手差し給紙 (1枚送り)	【4ロールタイプ】 ロール給紙2段×2本、手差し給紙 (1枚送り) 【2ロールタイプ】 ロール給紙1段×2本、手差し給紙 (1枚送り) 【2ロール2トレイタイプ (マルチファンクションモデル)】 ロール給紙1段×2本、カット紙トレイ 305枚×2段、手差し給紙 (1枚送り)	
用紙サイズ	ロール給紙	【ロール紙】 A0、A1、A2、A3、JIS B1、JIS B2、JIS B3、ISO B1、ISO B2、ISO B3、特A0 (880 mm / 860 mm)、特A1 (625 mm / 620 mm)、特A2 (440 mm / 435 mm)、特A3 (310 mm)、36"、34"、30"、24"、22"、18"、17"、15"、12"、11" 幅：279.4~914.4 mm 外径：175 mm以下	
	カット紙トレイ	【カット紙】 A3、A4、A4ヨコ、JIS B4、ISO B4、11×17"、8.5×11"、8.5×11"ヨコ、9×12"	
	手差し給紙	【カット紙】 A0、A1、A2、A3、A4、JIS B1、JIS B2、JIS B3、JIS B4、ISO B1、ISO B2、ISO B3、ISO B4、特A0 (880 mm / 860 mm)、特A1 (625 mm / 620 mm)、特A2 (440 mm / 435 mm)、36"、34"、30"、24"、22"、18"、17"、15"、12"、11"、9"、8.5" 幅：210~914.4 mm 長さ：210~2,000 mm	
ロール紙のカット方法	定寸カット、シンクロカット、任意長カット		

項目	内容	
	ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
用紙種類* ⁴ / 用紙坪量	ロール給紙：普通紙：64~81.4 g/m ² 、トレーシングペーパー：55~85 g/m ² 、フィルム：75 μm カット紙トレイ：普通紙：64~81.4 g/m ² 手差し：普通紙：64~78 g/m ² 、トレーシングペーパー：55~85 g/m ² 、フィルム：75 μm	
画像欠け幅* ⁵	ロール/カット紙：先端 5 mm、後端 5 mm、左/右 3 mm (ロール外径 (残量) 100 mm以上) * ⁵	
ウォームアップ・タイム	180秒以下 (室温22℃)	
電源	AC100 V±10 %、20 A、50/60 Hz 共用	AC100 V±10 %、15 A、50/60 Hz 共用
最大消費電力* ⁶	最大：2.0 kW	最大：1.5 kW
大きさ	プリンターモデル： 幅1,170×奥行736×高さ1,116 mm マルチファンクションモデル： 幅1,432×奥行736×高さ1,180mm	プリンターモデル： 幅1,170×奥行729×高さ1,116 mm マルチファンクションモデル： 幅1,432×奥行729×高さ1,180 mm
質量* ⁷	4ロールタイプ (プリンターモデル)：237 kg 4ロールタイプ (マルチファンクションモデル)：277 kg 2ロール2トレイタイプ (マルチファンクションモデル)：255 kg	4ロールタイプ (マルチファンクションモデル)：264 kg 2ロールタイプ (プリンターモデル)：197kg 2ロールタイプ (マルチファンクションモデル)：227kg 2ロール2トレイタイプ (マルチファンクションモデル)：242 kg
機械占有寸法	プリンターモデル： 幅1,170×奥行740 mm マルチファンクションモデル： 幅1,432×奥行740 mm	プリンターモデル： 幅1,170×奥行730 mm マルチファンクションモデル： 幅1,432×奥行730 mm

* 1 スキャナー、プリンター一体型。

* 2 画質調整のため速度が低下することがあります。用紙種類によっては生産性が落ちることがあります。

* 3 トレイ 3 (上段) から給紙。

* 4 弊社推奨紙の使用をお勧めします。使用条件によっては、正しく印刷されない場合があります。

* 5 ロール外径 (残量) 100 mm 未満のとき、画像欠けは先端後端ともに 8 mm。

* 6 電源を切った状態 (ブレーカー入り状態) では、0.8 W 以下です。

スリープモードでは、次の値になります。

機種名	マルチファンクションモデル	プリンターモデル
ApeosWide 6050	4.7 W	4.7 W
ApeosWide 3030	4.8 W	4.8 W

* 7 トナー、用紙は含まない状態の質量です。

■ コピー機能

項目	内容	
	ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
原稿台方式	原稿移動式	
原稿サイズ* 1	最大幅:914.4 mm、最小幅:176 mm 最大長:15,000 mm、最小長:210 mm	最大幅:914.4 mm、最小幅:182 mm 最大長:15,000 mm、最小長:210 mm
原稿の厚さ	前方排出時:0.05~0.2 mm 後方排出時:0.05~12.7 mm* 2	前方排出時:0.05~0.2 mm 後方排出時:0.05~1.0 mm* 3
原稿種類	文字/線画、文字/写真、印刷写真、印画紙写真、青焼き、透過、濃淡むら原稿	
解像度	600×600 dpi	
複写サイズ	幅:210~914.4 mm、長さ:210~15,000 mm (普通紙) 幅:210~914.4 mm、長さ:210~2,500 mm (トレーシングペーパー/フィルム)	
連続複写枚数* 4	99枚	
ファーストコピー・タイム	23秒 (A0サイズ、上段ロール1使用、 前方排出時) 22秒 (A0サイズ、上段ロール1使用、 後方排出時)	25秒 (A0サイズ、上段ロール1使用、 前方排出時) 24秒 (A0サイズ、上段ロール1使用、 後方排出時)
複写倍率	等倍	1:1±0.4 %
	固定倍率	25 %、35.3 %、50 %、70.7 %、100 %、141.4 %、200 %、283 %、400 %
	任意倍率	25~400 % (0.1 %きざみ)
メモリー容量* 5	4 GB (最大:4 GB)	
コピーおよび原稿入力機能	手差しコピー、追加コピー* 6、割り込みコピー オートモード (原稿の向き/自動用紙選択/自動倍率)、マニュアルモード、倍率、用紙選択、用紙カット方法、原稿の画質、濃度、シャープネス、コントラスト、地色除去、中間調の振り分け、色別濃度調整* 6、原稿幅、コピー位置、読み取り開始位置、わく消し、鏡像、ネガポジ反転、原稿読み取り速度、自動画像回転、複製管理、紙折り* 7、排出先* 8、仕分け (スタック/ソート/配布パターン* 9)、先端後端余白、スタンプ (黒/グレー) * 10、マルチジョブ* 9、サンプルコピー* 6	

* 1 読み取り最大長は、読み取り条件により変わります。

* 2 厚さが0.2 mmを超え、12.7 mmまでの平面な硬い原稿 (スチレンボード、厚紙) を読み込みできます。

ただし、原稿を手で支える必要があります。また、原稿を正確に読み込みできることを保証するものではありません。

* 3 厚さが0.2 mmを超え、1.0 mmまでの平面な硬い原稿 (スチレンボード、厚紙) を読み込むことができます。

ただし、原稿を手で支える必要があります。また、原稿を正確に読み込みできることを保証するものではありません。

* 4 画質安定化処理のため、機能の動作を一時的に中断することがあります。

* 5 出力データの種類や内容によっては、記載されるメモリー容量でも画像を正しく出力されることは保障できない場合があります。

* 6 ApeosWide 3030 で追加コピー、色別濃度調整、サンプルコピーを利用するときは、オプションのカラーキャンニングメモリーキットが必要です。

* 7 オプションのシンプルフォルダーまたは標準フォルダー接続時。

* 8 オプションのシンプルフォルダーまたは標準フォルダー未接続時。

* 9 この機能は、ApeosWide 6050 でだけ使用できます。

* 10 オプション。

■ プリント機能

項目	内容	
	ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
プリントサイズ	コピー機能の複写サイズに準ずる	
連続プリント枚数	99枚* ¹	
ファーストプリント・タイム	22秒 (A0、1.28 MBデータ、上段ロール1使用、前方排出時) 21秒 (A0、1.28 MBデータ、上段ロール1使用、後方排出時)	
倍率精度	100±0.4 % (室温22℃、湿度55 %) * ²	
ページ記述言語	標準	なし
	オプション	Adobe PostScript 3
対応プロトコル	TCP/IP (IPv4/IPv6、LPR、FTP)	
対応 OS * ³	標準	Windows 11、Windows 10 Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、 Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012
	オプション (Adobe PostScript 3)	macOS 13 / 12 / 11 / 10.15 / 10.14 / 10.13
データフォーマット	標準	HP-GL、HP-GL/2、HP RTL (HP Designjet 1050C準拠) TIFF、JFIF (JPEG)、CAL5
	オプション	Adobe PostScript 3、PDF
インターフェイス	Ethernet : 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 2系統	

* 1 長尺もしくは厚手用紙での連続プリントの場合は画質安定化処理のため機械の動作を一時的に中断することがあります。

* 2 A0 を超える場合は除きます。

* 3 最新の対応 OS については、弊社公式サイトをご覧ください。

■ スキャン機能

項目	内容	
	ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
形式	標準	カラーレスキャナー
	オプション	モノクロレスキャナー
読み取りサイズ* ²	幅：176～914.4 mm 長さ：210～15,000 mm	幅：182～914.4 mm 長さ：210～15,000 mm
解像度	600×600 dpi、400×400 dpi、300×300 dpi、200×200 dpi、150×150 dpi	
読み取り階調	フルカラー、グレースケール (256階調)、白黒擬似階調 (2値)、白黒 (2値)、赤黒擬似階調 (2値)、赤黒 (2値)	フルカラー* ¹ 、グレースケール (256階調) * ¹ 、白黒擬似階調 (2値)、白黒 (2値)
読み取りモード	文字／線画、文字／写真、印刷写真、印画紙写真、青焼き、透過、濃淡むら原稿	

項目		内容	
		ApeosWide 6050	ApeosWide 3030
原稿読み取り速度	モノクロ／グレースケール	高速：152.4 mm/秒 中速：76.2 mm/秒 超低速：25.4 mm/秒	超高速：203.2 mm/秒（解像度300 dpi以下） 高速：101.6 mm/秒 低速：50.8 mm/秒
	フルカラー	高速：152.4 mm/秒（解像度300 dpi以下） 中速：50.8 mm/秒 超低速：25.4 mm/秒	中速：67.6 mm/秒（解像度300 dpi以下） 超低速：33.8 mm/秒
インターフェイス		Ethernet：1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T	
ボックス保存	対応プロトコル	TCP/IP（WebDAV、HTTP）	
	出力フォーマット* ³	白黒（2値）：TIFF、PDF、DocuWorks文書 グレースケール：TIFF、PDF、JPEG、DocuWorks文書 フルカラー：TIFF、PDF、JPEG、DocuWorks文書 赤黒：TIFF、PDF	白黒（2値）：TIFF、PDF、DocuWorks文書 グレースケール：TIFF、PDF、JPEG、DocuWorks文書 フルカラー：TIFF、PDF、JPEG、DocuWorks文書
	ドライバー	ネットワークスキャナ ユーティリティ ³	
	ドライバー対応OS* ⁴	プリント機能の対応OSに準ずる	
PC保存	対応プロトコル	TCP/IP（SMB）	
	対応OS* ⁴	プリント機能の対応OSに準ずる	
	出力フォーマット* ³	白黒（2値）：TIFF、PDF、DocuWorks文書 グレースケール：TIFF、PDF、JPEG、DocuWorks文書 フルカラー：TIFF、PDF、JPEG、DocuWorks文書 赤黒：TIFF、PDF	白黒（2値）：TIFF、PDF、DocuWorks文書 グレースケール：TIFF、PDF、JPEG、DocuWorks文書 フルカラー：TIFF、PDF、JPEG、DocuWorks文書
プリンター転送	インターフェイス	Ethernet：1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T	
	対応プロトコル	TCP/IP（LPR）	

* 1 オプションのカラーキャンメモリキットが必要です。

* 2 カラーキャンの場合は長さ 7,500 mm まで。読み取り階調により最大長は変わります。また、連携するソフトウェアおよび出力フォーマット／圧縮形式／解像度により、最大長が制限されます。

* 3 PDF、DocuWorks 文書は、インターネットサービス取り出し時。

* 4 最新の対応 OS については、弊社公式サイトをご覧ください。

■ コピー倍率一覧表

補足 原稿サイズと倍率の組み合わせによっては、画像が欠ける場合があります。

A 系列の定形倍率

原稿	コピー				
	A4	A3	A2	A1	A0
A4	100.0 %	141.4 %	200.0 %	283.0 %	400.0 %
A3	70.7 %	100.0 %	141.4 %	200.0 %	283.0 %
A2	50.0 %	70.7 %	100.0 %	141.4 %	200.0 %
A1	35.3 %	50.0 %	70.7 %	100.0 %	141.4 %
A0	25.0 %	35.3 %	50.0 %	70.7 %	100.0 %

■ 定形サイズ

補足 ピクセルは、プリント時における 600 dpi の値です。

定形サイズ	幅		高さ	
	mm	ピクセル	mm	ピクセル
A0	841	19,872	1,189	28,088
A1	594	14,032	841	19,872
A2	420	9,928	594	14,032
A3	297	7,016	420	9,928
A4	210	4,968	297	7,016
JIS B1	728	17,200	1,030	24,336
JIS B2	515	12,168	728	17,200
JIS B3	364	8,600	515	12,168
JIS B4	257	6,072	364	8,600
JIS B5 * 1	182	—	257	—
ISO B1	707	16,704	1,000	23,624
ISO B2	500	11,816	707	16,704
ISO B3	353	8,344	500	11,816
ISO B4	250	5,912	353	8,344
ISO B5 * 1	176	—	250	—
ANSI E (34×44")	863.6	20,400	1,117.6	26,400
ANSI D (22×34")	558.8	13,200	863.6	20,400
ANSI C (17×22")	431.8	10,200	558.8	13,200
ANSI B (11×17")	279.4	6,600	431.8	10,200

定形サイズ	幅		高さ	
	mm	ピクセル	mm	ピクセル
ANSI A (8.5×11")	215.9	5,104	279.4	6,600
ARCH E (36×48")	914.4	21,600	1,219.2	28,800
ARCH D (24×36")	609.6	14,400	914.4	21,600
ARCH C (18×24")	457.2	10,800	609.6	14,400
ARCH B (12×18")	304.8	7,200	457.2	10,800
ARCH A (9×12")	228.6	5,400	304.8	7,200
特 A0 (880×1240 mm) * 2	880	20,792	1,240	29,296
特 A1 (620×880 mm) * 2	620	14,648	880	20,792
特 A2 (440×620 mm) * 2	440	10,400	620	14,648
特 A3 (310×440 mm) * 2	310	7,328	440	10,400
特 A0 (860×1210 mm) * 3	860	20,320	1,210	28,584
特 A1 (620×871 mm) * 3	620	14,648	871	20,576
特 A2 (435×620 mm) * 3	435	10,280	620	14,648
特 A0 (880×1230 mm) * 3	880	20,792	1,230	29,056
特 A1 (625×880 mm) * 3	625	14,768	880	20,792
特 A2 (440×625 mm) * 3	440	10,400	625	14,768
ARCH 30 (30×42")	762	18,000	1,066.8	25,200
ARCH 21 (21×30")	533.4	12,600	762	18,000
ARCH 15 (15×10.5")	381	9,000	533.4	12,600
ARCH 10.5 (10.5×15")	266.7	6,300	381	9,000

* 1 スキャンのときだけ利用できます。

* 2 詳細設定の項目番号 [70] が [1] に設定されている場合に利用できます。詳細については、[9.3.10 詳細設定] (P.288) を参照してください。

* 3 詳細設定の項目番号 [70] が [2] に設定されている場合に利用できます。詳細については、[9.3.10 詳細設定] (P.288) を参照してください。

10.2 オプション製品一覧

10.2.1 オプション製品 (ApeosWide 6050)

ApeosWide 6050の主なオプション製品は次のとおりです。お買い求めは、販売店にご連絡ください。

商品名	説明
シンプルフォルダー	ジャバラに紙折りする装置です。
シンプルフォルダー接続キット	シンプルフォルダーを接続します。
標準フォルダー	A4サイズ仕上げができる紙折り装置です。
標準フォルダー接続キット	標準フォルダーを接続します。
原稿 U ターンガイド A	原稿を前方にUターンさせるガイドです。
後方原稿キャッチトレイ	本体後方に排出された原稿を平らな状態で収容するトレイです。
前方用紙キャッチトレイ	本体前方に排出された用紙を収容するトレイです。
後方用紙収容トレイ (サイズ MIX 対応)	本体後方に排出された用紙を収容するトレイです。サイズが混在した用紙の収容にも対応しています。
後方用紙収容トレイ (サイズ MIX 対応) 接続キット	後方用紙収容トレイ (サイズMIX対応) を接続します。
ペーパーロールシャフト	ロール紙交換用のシャフトです。
Scan Counter KIT	リセットができる原稿枚数カウンターです。
アテンションライト	紙づまりや用紙切れなどを知らせるライトです。
アテンションライトキット	アテンションライトを接続します。
手差しガイド	手差しテーブルに用紙をセットするときに使用するガイドです。
モビリティプレート	重量分散用プレートです。
Foot	標準フォルダーまたはシンプルフォルダーを接続するときや、地震対策KITを装備するときに必要です。
用紙キャッチボックス	シンプルフォルダー用のオプションです。排出された用紙を受けるボックス (キャスター付き) です。
フラット用紙トレイ	シンプルフォルダー用のオプションです。折らずに排出された用紙を収容するトレイです。
ドキュメントキャリア	極端に薄い原稿や切り貼り原稿、破れなどのある原稿をコピーするときに、はさんで利用します。
AW6050 スタンプキット	スタンプを利用するためのキットです。
AW6050 PS/PDF キット	PDF/PostScriptフォーマットデータを出力するためのキットです。
AW 6050/3030 ユーザーズガイド	ユーザーズガイドの印刷マニュアルです。
IC カードリーダー B (外付け型)	ICカード認証するときに使用します。
IC カードリーダー D (外付け型)	ICカード認証するときに使用します。
リプロサーバ BT-X	アプリケーションで設定情報を付加したプリントデータを送ることによって、配布先ごとに部数、拡大/縮小、紙折りなどを設定した複雑なプリントを行うことができるサーバーソフトウェアです。

商品名	説明
BT-PlotAssistant	コンピューターからプリントデータを直接転送し、出力するためのツールです。 部数や縮小・拡大の指示をしたり、本機の状態や設定を確認したりすることもできます。

10.2.2 オプション製品 (ApeosWide 3030)

ApeosWide 3030の主なオプション製品は次のとおりです。お買い求めは、販売店にご連絡ください。

商品名	説明
シンプルフォルダー	ジャバラに紙折りする装置です。
シンプルフォルダー接続キット	シンプルフォルダーを接続します。
標準フォルダー	A4サイズ仕上げができる紙折り装置です。
標準フォルダー接続キット	標準フォルダーを接続します。
原稿 U ターンガイド B	原稿を前方にUターンさせるガイドです。
カラースキャンメモリーキット	スキャン、コピー機能を拡張するキットです。
後方原稿キャッチトレイ	本体後方に排出された原稿を平らな状態で収容するトレイです。
前方用紙キャッチトレイ	本体前方に排出された用紙を収容するトレイです。
後方用紙収容トレイ (サイズ MIX 対応)	本体後方に排出された用紙を収容するトレイです。 サイズが混在した用紙の収容にも対応しています。
後方用紙収容トレイ (サイズ MIX 対応) 接続キット	後方用紙収容トレイ (サイズMIX対応) を接続します。
ペーパーロールシャフト	ロール紙交換用のシャフトです。
アテンションライト	紙づまりや用紙切れなどを知らせるライトです。
アテンションライトキット	アテンションライトを接続します。
手差しガイド	手差しテーブルに用紙をセットするときに使用するガイドです。
モビリティプレート	重量分散用プレートです。
Foot	標準フォルダーまたはシンプルフォルダーを接続するときや、地震対策KITを装備するときが必要です。
用紙キャッチボックス	シンプルフォルダー用のオプションです。排出された用紙を受けるボックス (キャスター付き) です。
フラット用紙トレイ	シンプルフォルダー用のオプションです。折らずに排出された用紙を収容するトレイです。
ドキュメントキャリア	極端に薄い原稿や切り貼り原稿、破れなどのある原稿をコピーするときに、はさんで利用します。
後方排出切り替えキット	用紙を後方排出するためのキットです。
AW3030 スタンプキット	スタンプを利用するためのキットです。
AW3030 PS/PDF キット	PDF/PostScriptフォーマットデータを出力するためのキットです。
AW 6050/3030 ユーザーズガイド	ユーザーズガイドの印刷マニュアルです。
IC カードリーダー B (外付け型)	ICカード認証するときを使用します。

商品名	説明
ICカードリーダー D (外付け型)	ICカード認証するときに使用します。
リプロサーバ BT-X	アプリケーションで設定情報を付加したプリントデータを送ることによって、配布先ごとに部数、拡大／縮小、紙折りなどを設定した複雑なプリントを行うことができるサーバーソフトウェアです。
BT-PlotAssistant	コンピューターからプリントデータを直接転送し、出力するためのツールです。 部数や縮小・拡大の指示をしたり、本機の状態や設定を確認したりすることもできます。

10.2.3 主な関連ソフトウェア

商品名	説明
ApeosWide Plot ドライバー	Windowsコンピューターから本機にプリントするためのドライバーです。
ネットワークスキャナーユーティリティ 3	本機で読み込んだ文書をコンピューターのTWAIN対応アプリケーションで取り込むためのドライバーです。
MAC PPD	MacOSコンピューターから本機にプリントするためのドライバーです。

- 補足**
- ・ 関連ソフトウェアは、メディア（ソフトウェア／製品マニュアル）からインストールできます。
 - ・ 最新のソフトウェアを入手するためのホームページアドレス（URL）は、次のとおりです。
<https://www.fujifilm.com/fb/download/>
- なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

10.3 保守サービスについて

本機を安心してお使いいただくために、トータルサービス契約とスポット保守サービス方式の2種類の保守サービス方式があります。

10.3.1 トータルサービス契約

コピー／プリントの枚数に応じて、所定のコピー／プリント料金をいただくメーター料金制によって、次のサービスをお引き受けする契約です。

機械の修理と点検、ドラムの交換

機械が故障した場合は、お客様の要請によってカスタマーエンジニアが訪問し、修理します。また、必要に応じて故障箇所以外の点検・調整や、ドラムの交換を実施します。

定期的な消耗品の配送

機械を正常な状態で使用していただくために必要なトナーカートリッジなどの消耗品（用紙は除く）を、定期的にお届けします。

ただし、地域により、または一部の消耗品については、定期配送を行わない場合があります。詳細は営業担当者へお問い合わせください。

部品の交換

修理や点検で部品の交換が必要な場合に交換します。

10.3.2 スポット保守サービス

保守サービスおよび消耗品類の供給を、お客様の要請のつど、弊社営業時間内に有料でお引き受けする方式です。

10.3.3 補修用性能部品の保有期間について

弊社は機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しています。

10.4 注意／制限事項について

本機を使用する場合の、注意および制限について説明します。

10.4.1 本機使用上の注意／制限

■ 本機の設置／移動について

- ・ 本機を移動する場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
- ・ 本機が作動しているとき、本機に衝撃を与えないでください。
- ・ 本機外部にあるファンの吸排出口の近くには物を置かないでください。

■ 機械操作上の注意点

画像不良の原因になるため、プリンターの上部ユニットを10分以上、開放したままにしないでください。

■ 電源を切るときの注意点

- ・ 操作パネルで操作できなくなったり、エラー画面を閉じられなくなった場合は、電源／節電ボタンを長押ししてください。
- ・ 電源を切ったあと、再度電源を入れる場合は、操作パネルの電源／節電ボタンが消灯しているか確認してから電源を入れてください。

10.4.2 コピー機能での注意／制限

■ オートモードの用紙選択の制限

オートモードの用紙選択は、原稿の向きによって、次のような制限があります。

用紙系列	原稿の向き	制限
A 系列	定形たて	制限はありません。
	定形よこ	原稿サイズ：A0は選択できません。 用紙選択：A0は選択できません。
	シンクロ	用紙選択：A4は選択できません。

■ 左側へのコピー位置の制限

左側へのコピー位置を指定した場合、実際には次の量で移動します。(単位：mm)

ただし、プリンターの状態や用紙のセットの状態によって、異なる結果になることもあります。

指定量	実際の移動量	指定量	実際の移動量	指定量	実際の移動量
0	0	17	16	34	33
1	0	18	16	35	35
2	0	19	18	36	35
3	2	20	18	37	37
4	2	21	20	38	37
5	4	22	21	39	39
6	4	23	22	40	39

指定量	実際の移動量	指定量	実際の移動量	指定量	実際の移動量
7	6	24	22	41	41
8	6	25	24	42	41
9	8	26	24	43	43
10	8	27	26	44	43
11	10	28	26	45	45
12	10	29	28	46	45
13	12	30	28	47	47
14	12	31	30	48	47
15	14	32	30	49	49
16	14	33	33	50	49

10.4.3 スキャン機能での注意／制限

■ スキャン最大長について（解像度 600 dpi の場合）

出力ファイル形式	カラーモード			
	フルカラー	グレースケール (256階調)	白黒 (2値) / 白黒擬似階調 (2値)	赤黒 (2値) / 赤黒擬似階調 (2値) (ApeosWide 6050)
TIFF	2,772 mm	2,772 mm	15,000 mm	3,156 mm
PDF	2,772 mm	2,772 mm	15,000 mm	15,000 mm
PDF セキュリティ	2,772 mm	2,772 mm	5,077 mm	5,077 mm
DocuWorks	2,772 mm	2,772 mm	2,774 mm	-
JPEG	2,772 mm	2,772 mm	-	-

- * 1 フルカラーとグレースケールは、JPEG フォーマットの最大ピクセル数の制限による最大長です。解像度を変更することで最大長は変わります。
- * 2 フルカラーで解像度 150 dpi の場合は 7,500 mm まで。
- * 3 ApeosWide 3030 の場合、色別濃度調整機能利用時は 7,500 mm まで。

■ 作成されるスキャンデータのファイルサイズについて

スキャンデータ生成時に1ファイルのサイズが2 GB (DocuWorksの場合は1 GB) を超えた場合は、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。直前まで読み込んだ蓄積原稿でマルチページファイルを保存するか、すべてキャンセルするかを選択します。

■ 作成される赤黒 TIFF ファイルについて (ApeosWide 6050)

【赤黒 (2値)】または【赤黒擬似階調 (2値)】を指定してスキャンすると、出力ファイル形式でPDF、JPEGなどTIFF以外のフォーマットを指定していても、次の場合に内部でフルカラーのTIFFファイルが生成されます。そのため、読み取り最大長や、マルチページTIFFのページ数制限が適用されます。

- ・保存先がボックスの場合
- ・スキャナー（マルチ送信）で宛先に【プリンター】が指定されている場合

◆ 読み取り最大長

原稿幅	解像度	読み取り最大長
36"	150 dpi	15,000 mm
	200 dpi	15,000 mm
	300 dpi	12,626 mm
	400 dpi	7,098 mm
	600 dpi	3,156 mm
A0	150 dpi	15,000 mm
	200 dpi	15,000 mm
	300 dpi	13,728 mm
	400 dpi	7,722 mm
	600 dpi	3,432 mm

◆ マルチページ TIFF のページ数制限

原稿サイズ	解像度				
	150 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
A4	740ページ	416ページ	185ページ	104ページ	46ページ
A3	370ページ	208ページ	92ページ	52ページ	23ページ
A2	185ページ	104ページ	46ページ	26ページ	11ページ
A1	92ページ	52ページ	23ページ	12ページ	5ページ
A0	46ページ	26ページ	11ページ	6ページ	2ページ

■ 作成される DocuWorks 文書のサイズについて

[出力ファイル形式] で、[シングルページDocuWorks] または [マルチページDocuWorks] を選択した場合は、原稿サイズによって作成されるDocuWorks文書のサイズが異なります。

原稿サイズ	作成されるDocuWorks文書
1辺が2,400 mmに収まるサイズ	原稿サイズと同じ
1辺が2,400 mmを超えるサイズ	1辺が2,400 mmに収まるサイズ*1*2

- * 1 DocuWorks 文書は解像度を高めて保存するため、画像の品質は劣化しません。
DocuWorks Desk/Viewer 7.x以降から印刷する場合は、印刷画面で「印刷用紙の大きさに合わせて拡大／縮小」を選択することで、任意のサイズにプリントできます。たとえば、印刷用紙サイズに次の「元のサイズ」情報のサイズを指定することで、原稿と同じサイズでプリントできます。
DocuWorks Desk で対象の文書を選択（クリック）すると、画面左下に元のサイズ情報が表示されます。
(例：「元のサイズ 420×3,000 mm」)
- * 2 たとえば、420×3,000 mm の原稿の場合は、336×2,400 mm の DocuWorks 文書を作成します。

■ スキャナー（ボックス保存）について

- ・ボックスのスキャンデータ最大保存容量は約 12 GB です。
- ・お使いのアプリケーションによっては、コンピューターからの取り出しに失敗して、文書を消失してしまうことがあります。スキャンに関する注意制限の詳細については、弊社ダウンロードサイトのネットワークスキャナユーティリティ 3 のページに記載している「注意制限事項」を参照してください。
- ・ネットワークスキャナードライバーのスキャンデータ一覧の画面では、非定形文書の [サイズ] 項目が空白になります。
- ・複数のコンピューターから同時に、同じボックス内の同じ文書を取り出すことはできません。

■ スキャナー（マルチ送信）について

◆ 論理プリンターについて

論理プリンター個別の設定は、インターネットサービスで行います。
本機からは設定および確認はできません。

参照 インターネットサービスについては、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

◆ プrintについて

- ・ApeosWide シリーズ以外のプリンターで、存在しない論理プリンター（番号、名前）を指定した場合、出力結果はプリンターの仕様に従います。
- ・ApeosWide シリーズ以外のプリンターの場合、部数はスキャンのプリント設定画面での設定と、出力するプリンターが持つ論理プリンターの設定の両方の影響を受けることがあります。

◆ IPv6 接続におけるスキャンデータ送信について

TCP/IP IP動作モード	接続先	スキャナー（PC保存）／スキャナー（マルチ送信）		
		ネットワーク参照	サーバー保存	プリンター送信
IPv6モード	同一サブネット	×	△*3	○
	異なるサブネット	×	△*3	○
デュアルスタック	同一サブネット	○	△*3	○
	異なるサブネット	△*2	△*3	○

* 1 IPv4 環境で動作。

* 2 IPv4 環境で動作するネットワーク内にドメインコントローラが設置されている場合は可能。

* 3 最新の対応 OS については、弊社公式サイトをご覧ください。

■ スキャナー（URL 送信）について★

機能を使用するには、あらかじめ本体認証または外部認証の設定と認証ユーザーにメールアドレスが登録されていることが必要です。

10.4.4 プリント機能での注意／制限

参照 プリント機能での注意／制限は、インターネットサービスのヘルプも参照してください。

■ プリント最大長について

用紙の種類が普通紙の場合は15,000 mm、トレーシングペーパーまたはフィルムの場合は2,500 mmです。

■ コピー／スキャン操作中のプリントについて

スキャナー（ボックス保存）、スキャナー（PC保存）、スキャナー（URL送信）の場合、スキャン操作中でもプリントすることができます。

補足 ApeosWide 3030 で、オプションのカラースキャンメモリーキットが装着されていない場合は、スキャン操作とプリントを同時に行うことはできません。

コピーまたはスキャナー（マルチ送信）の場合は、コピー／スキャン操作の終了後に次のタイミングでプリントが開始されます。

◆ 何も操作しない場合

モード確保時間（30秒固定）経過後、仕様設定機能で設定した〔プロットモード移行時間〕を過ぎた時点で、プリントが開始されます。

〔プロットモード移行時間〕の工場出荷時の値は30秒ですので、コピー／スキャン操作の終了後、1分（モード確保時間（30秒）＋プロットモード移行時間（30秒））経過するとプリントが開始されます。

◆ モード確保時間（30 秒）中にホームボタンを押した場合

モード確保時間（30秒固定）はキャンセルされ、ホームボタンを押してから、仕様設定機能で設定した〔プロットモード移行時間〕を過ぎた時点で、プリントが開始されます。

たとえば、コピー／スキャン操作が終了してから10秒後にホームボタンを押した場合、40秒（ホームボタンを押すまでの時間（10秒）＋プロットモード移行時間（30秒：工場出荷時））経過するとプリントが開始されます。

参照 〔プロットモード移行時間〕の設定方法については、「9.3.10 詳細設定」（P.288）を参照してください。

■ ArcEPS を使用したプリントについて

ArcEPSを使ってプリントしている場合、プリントが開始されてから一定時間は、ArcEPSがプリント処理を占有します。この間は、ArcEPS以外のプリントはできません。

10.4.5 IPv6 接続の注意／制限

- ・マルチプレフィックス環境（IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境）では、本機から外部ネットワークへの送信に失敗する可能性があります。
- ・マルチプレフィックス環境（IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境）では、登録されていないアドレスで通信されることがあります。
- ・自動設定する IPv6 アドレス（IPv6 自動設定アドレス、IPv6 DNS サーバーアドレス）には、取得した IPv6 アドレスが運用上使用できないアドレスが設定されることがあります。
運用上使用できない IPv6 アドレスとは、サイトローカルアドレス（fec0::）や文書作成用アドレス空間（2001:db8::/32）のアドレスのことです。
- ・IP 動作モードがデュアルスタックで、IPv4/IPv6 ともに DNS 情報が設定されていて、FQDN で指定されている装置と通信するとき、本機の起動直後には、IPv4 の DNS 情報が使用されることがあります。
- ・本機の IP アドレスとして表示されるアドレスが変わることがあります。
たとえば、デュアルスタックモードで IPv4 アドレスと IPv6 アドレスのどちらか一方が表示されない、IPv6 アドレスの内容が変わるなどです。
- ・WINS は IPv6 ネットワークでは通信できません。
- ・本機で「IPv6 有効」かつ「IPv4 無効」が設定されている場合、スキャナー（PC 保存）の SMB 転送のネットワーク参照機能による格納先指定が使用できません。
- ・IPv4 環境ではブロードキャストを使用したルータ超え検索ができますが、IPv6 環境ではブロードキャスト検索はできません。また、ルータを超えた検索には対応していないので、マルチキャストに応答するのはローカルリンク内でのマルチキャスト（FF02::1）だけです。
- ・DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境では、スキャナー（PC 保存）の保存先サーバーにサーバー名を指定すると、スキャンしたデータの送信に失敗します。

10.4.6 その他の注意／制限

■ オプションのシンプルフォルダーまたは標準フォルダー使用時について

- ・紙折りしたあと、折り部または折り部の近くではがれたトナーが印刷面に付着する場合があります。

■ 線のゆらぎについて

- ・機構上、用紙幅方向の直線での一部で、ゆらぎが発生する場合があります。

保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、 消耗品のご注文

カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

電話番号は、プリンター本体に貼付のカードやシールに書かれています。

受付時間 土曜、日曜、祝日を除く
9時～17時30分（一部の地域では異なります）

電話番号 機械本体の貼付カードをご確認ください。

●ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター

電話：0120-27-4100（通話料無料）

FAX：0120-05-5035（通話料無料）

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く 9時～12時、13時～17時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

ApeosWide 6050/3030

ユーザーズガイド

著作者 — 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行年月日 — 2025年9月 第1版

発行者 — 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

(管理 No.:FD1043J1-4)